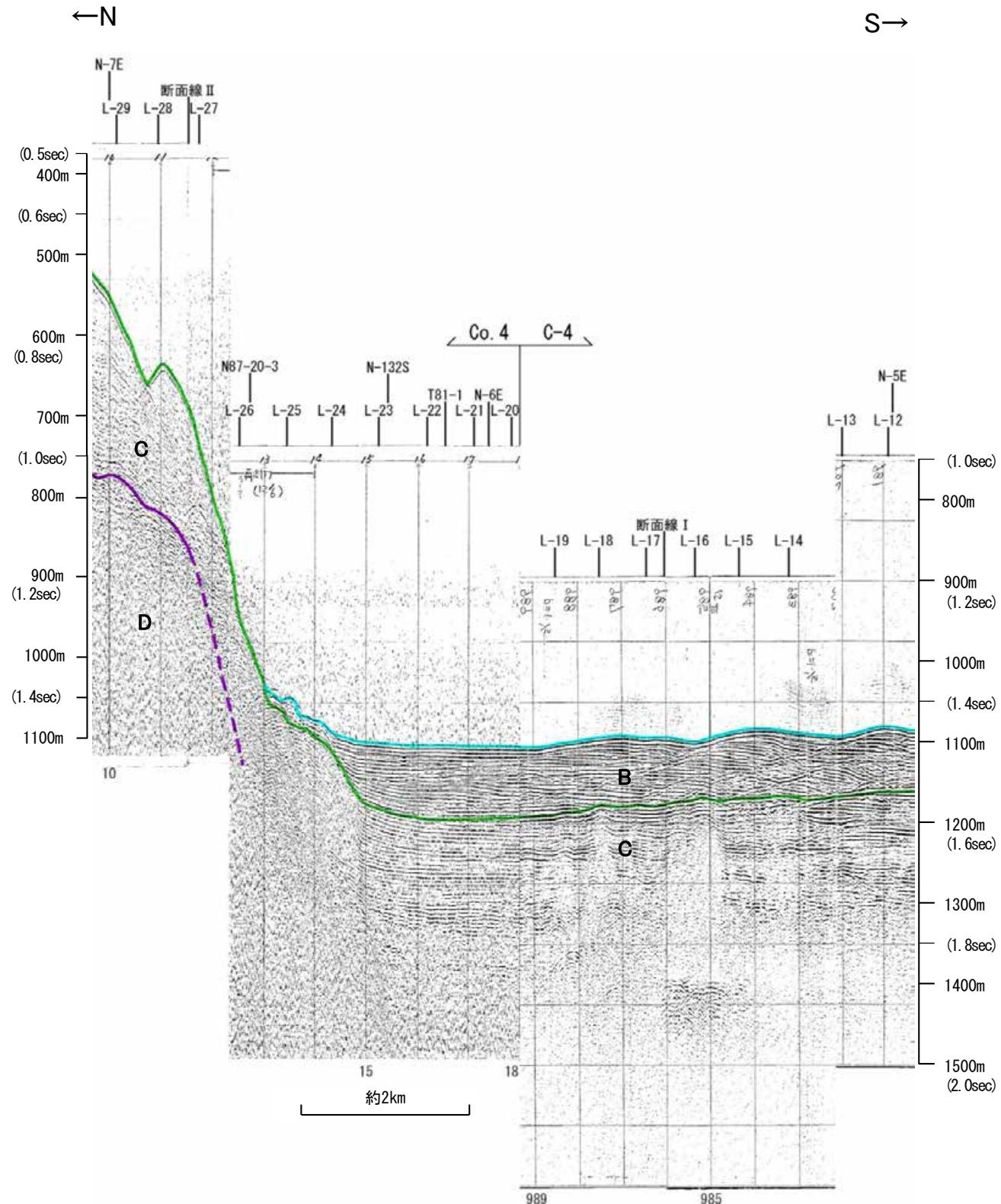
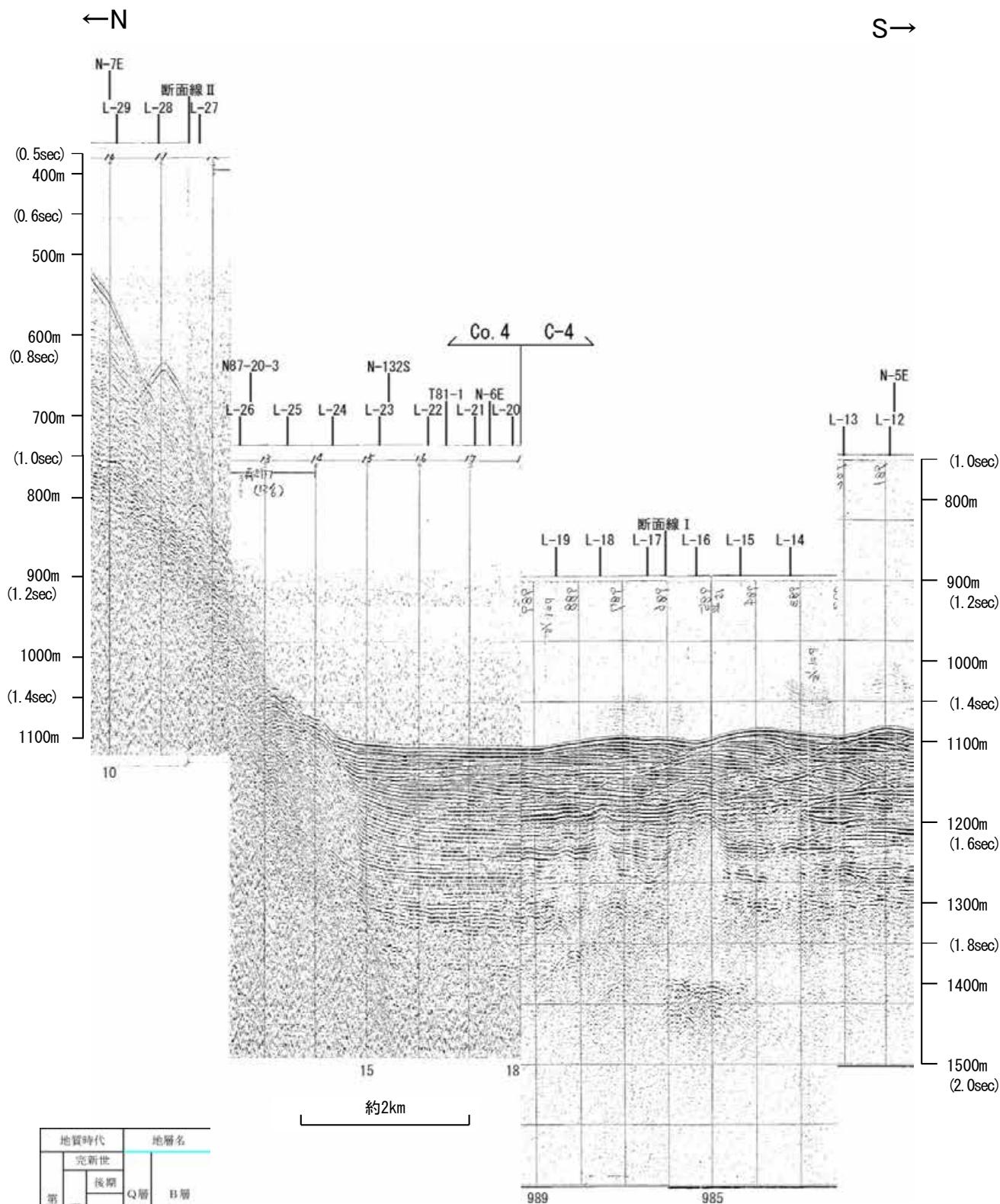
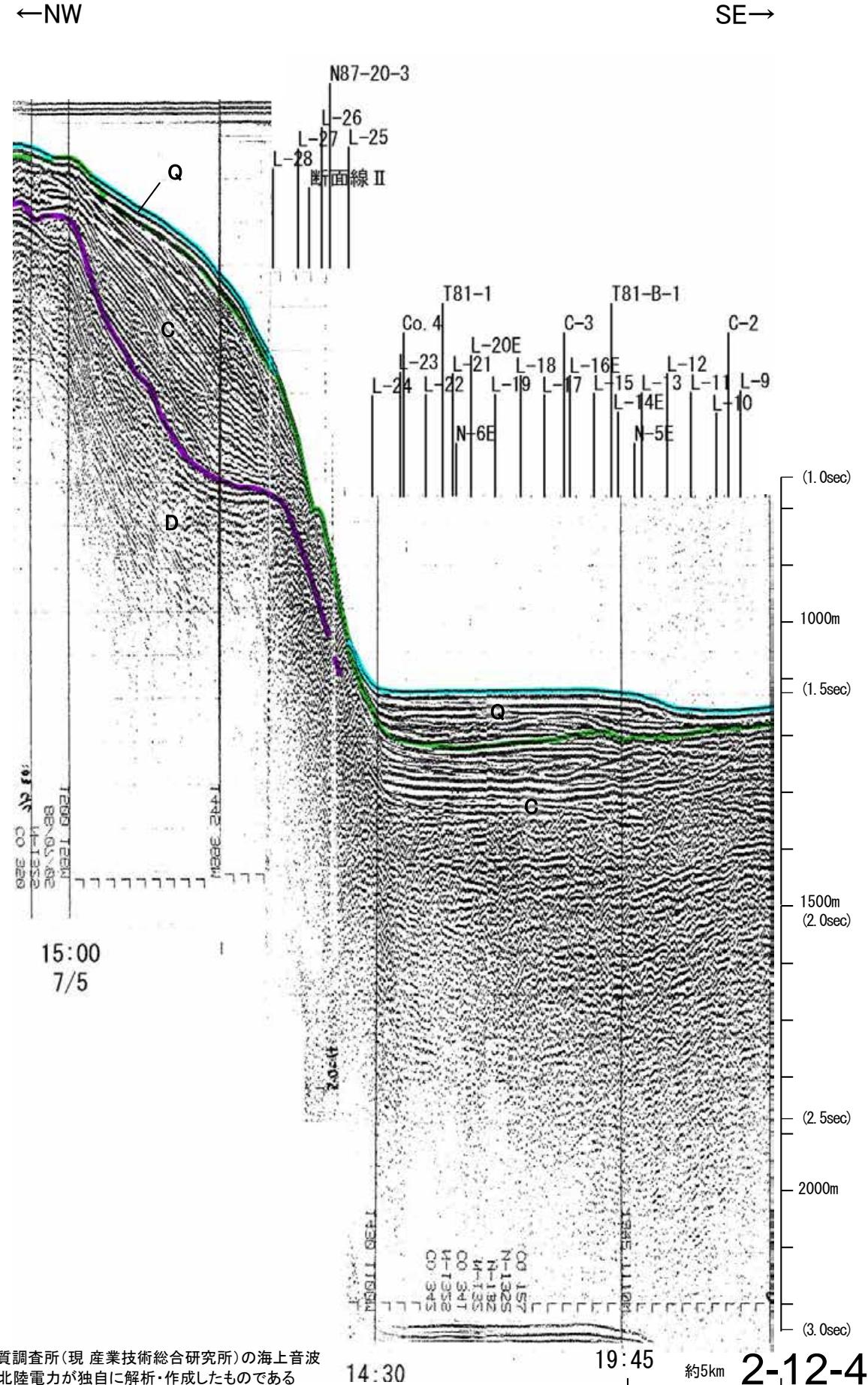
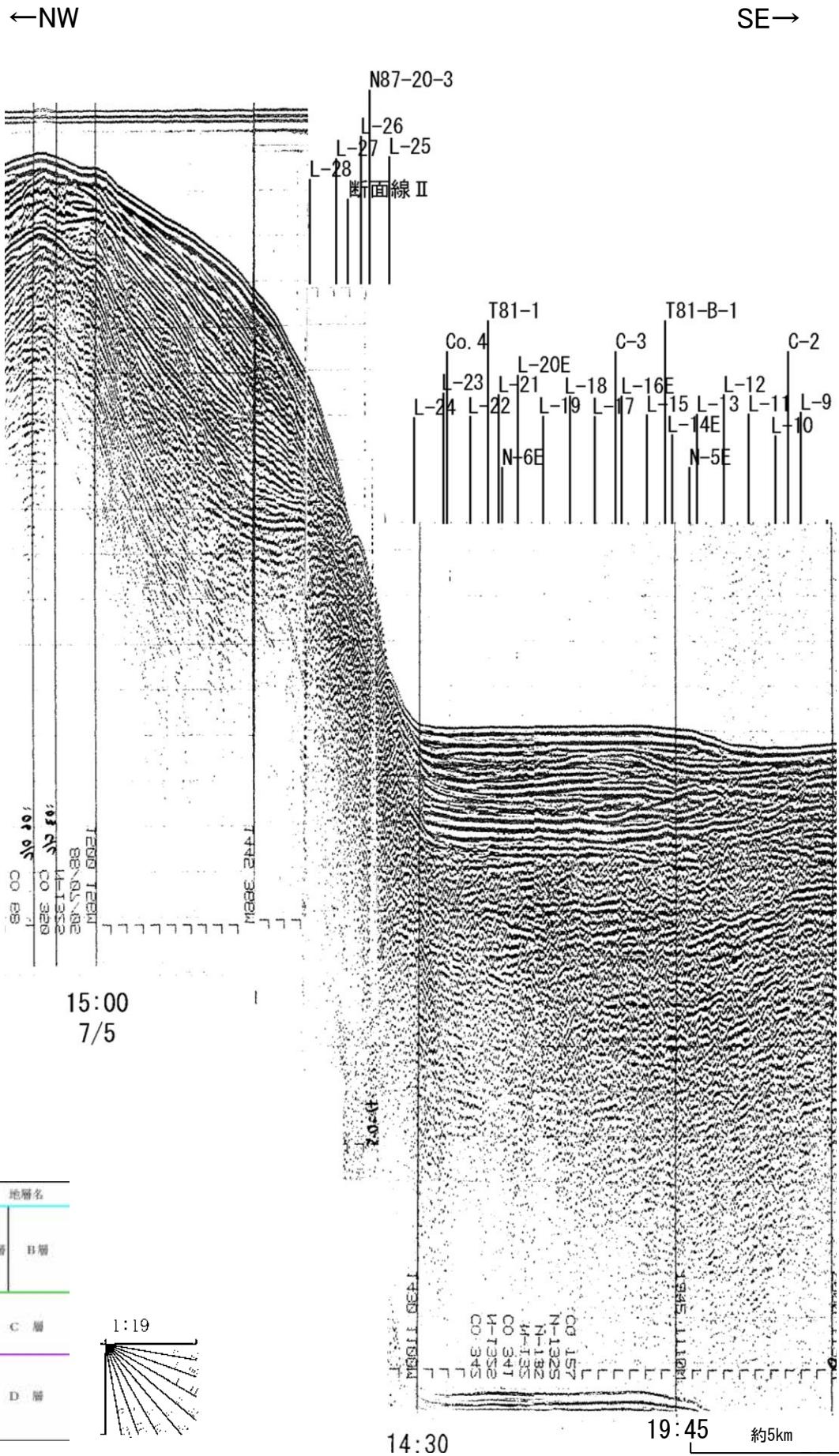


# 海上保安庁スパーカー Co.4,C-4



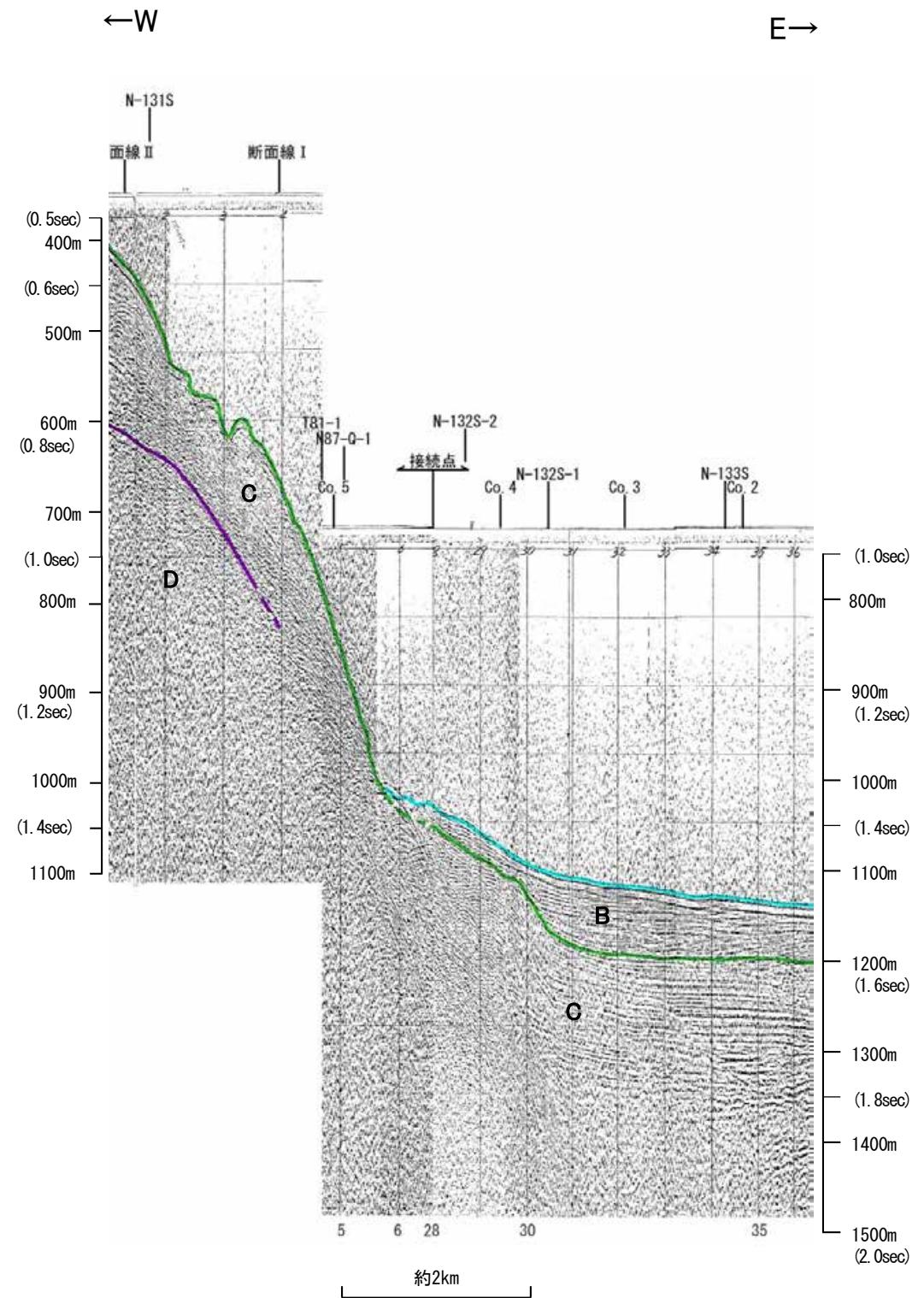
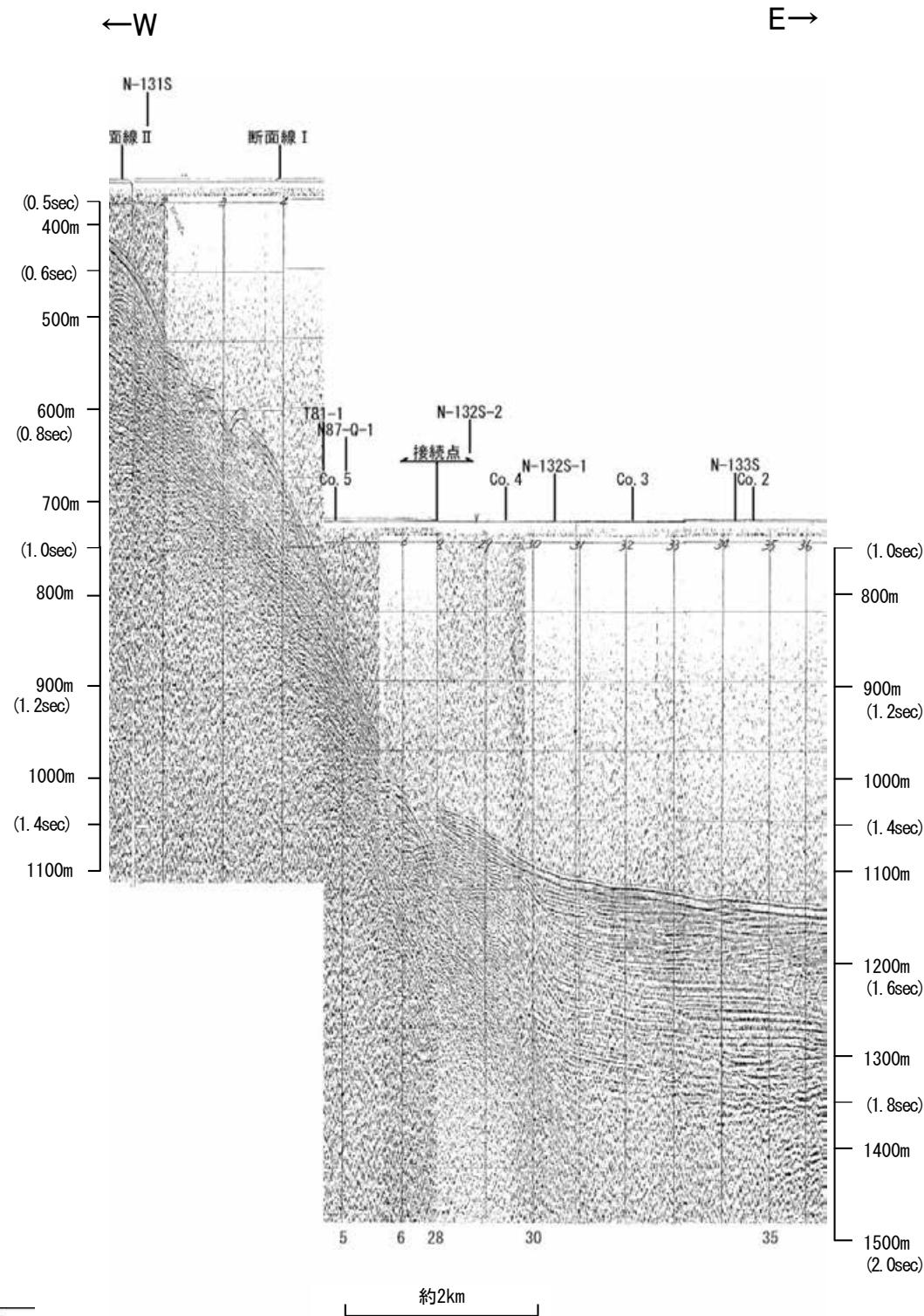
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-132S

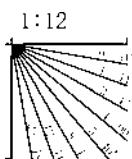


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-24

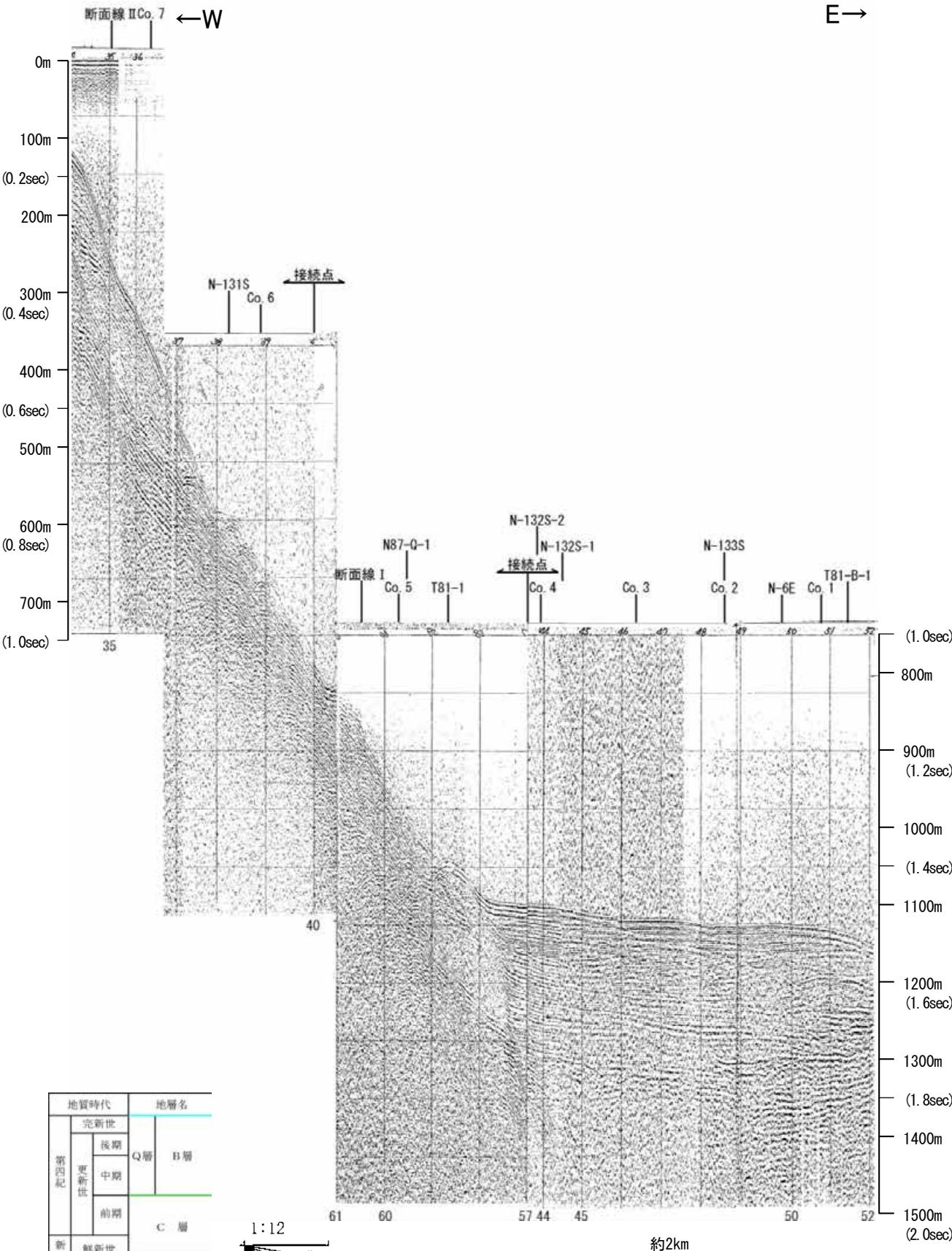


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	C層
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

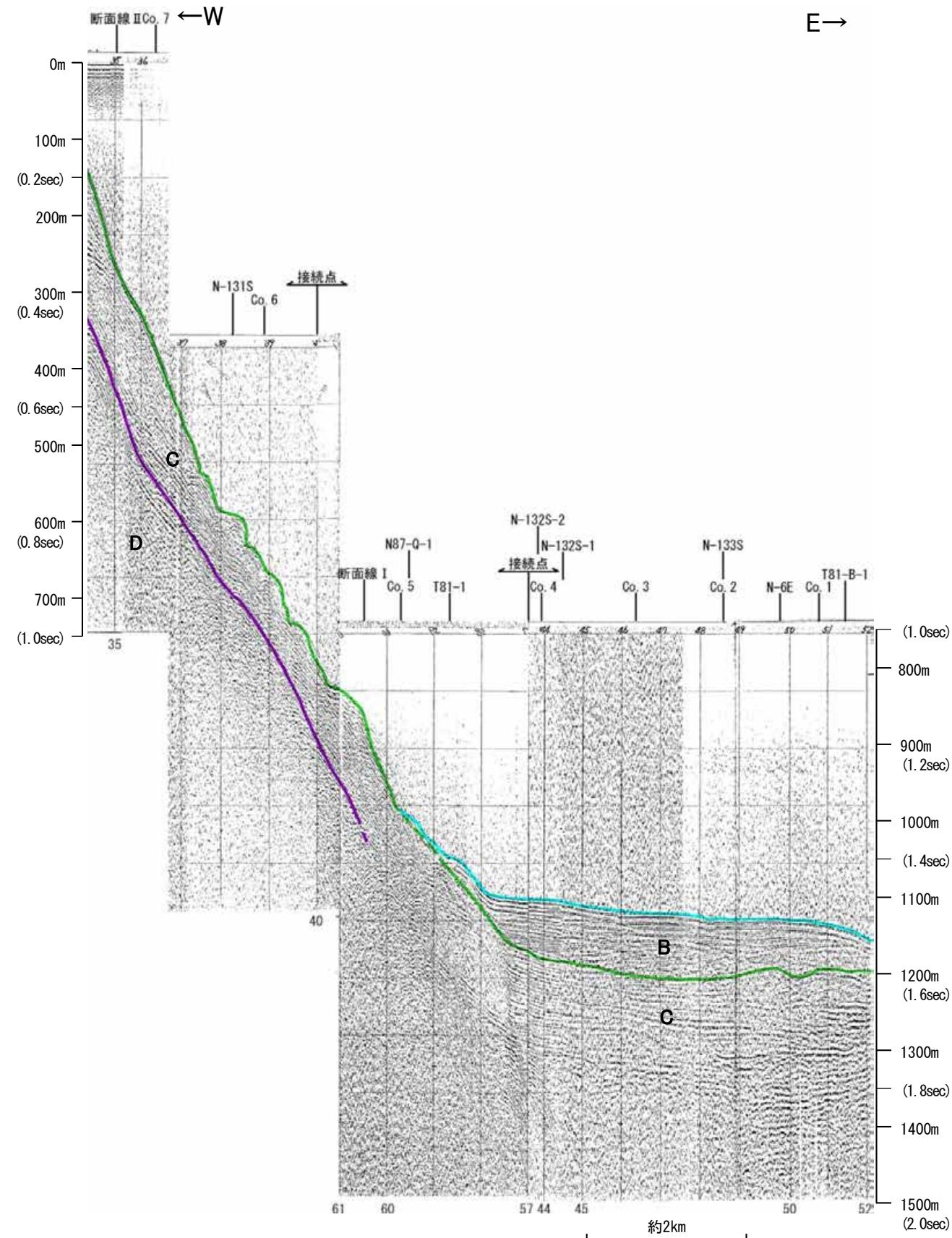
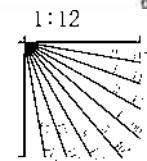


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-23



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期		C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
先第三紀			



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

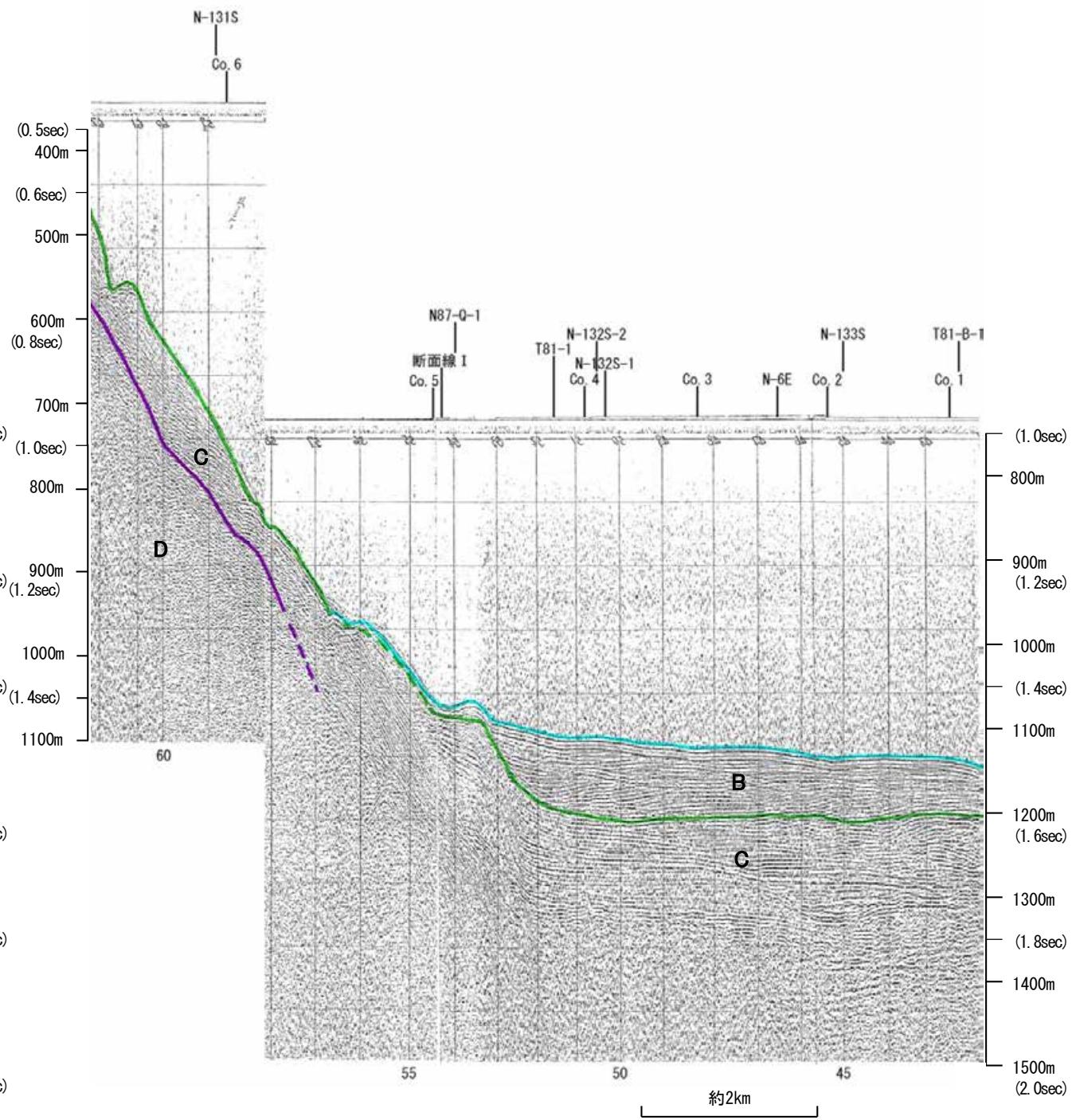
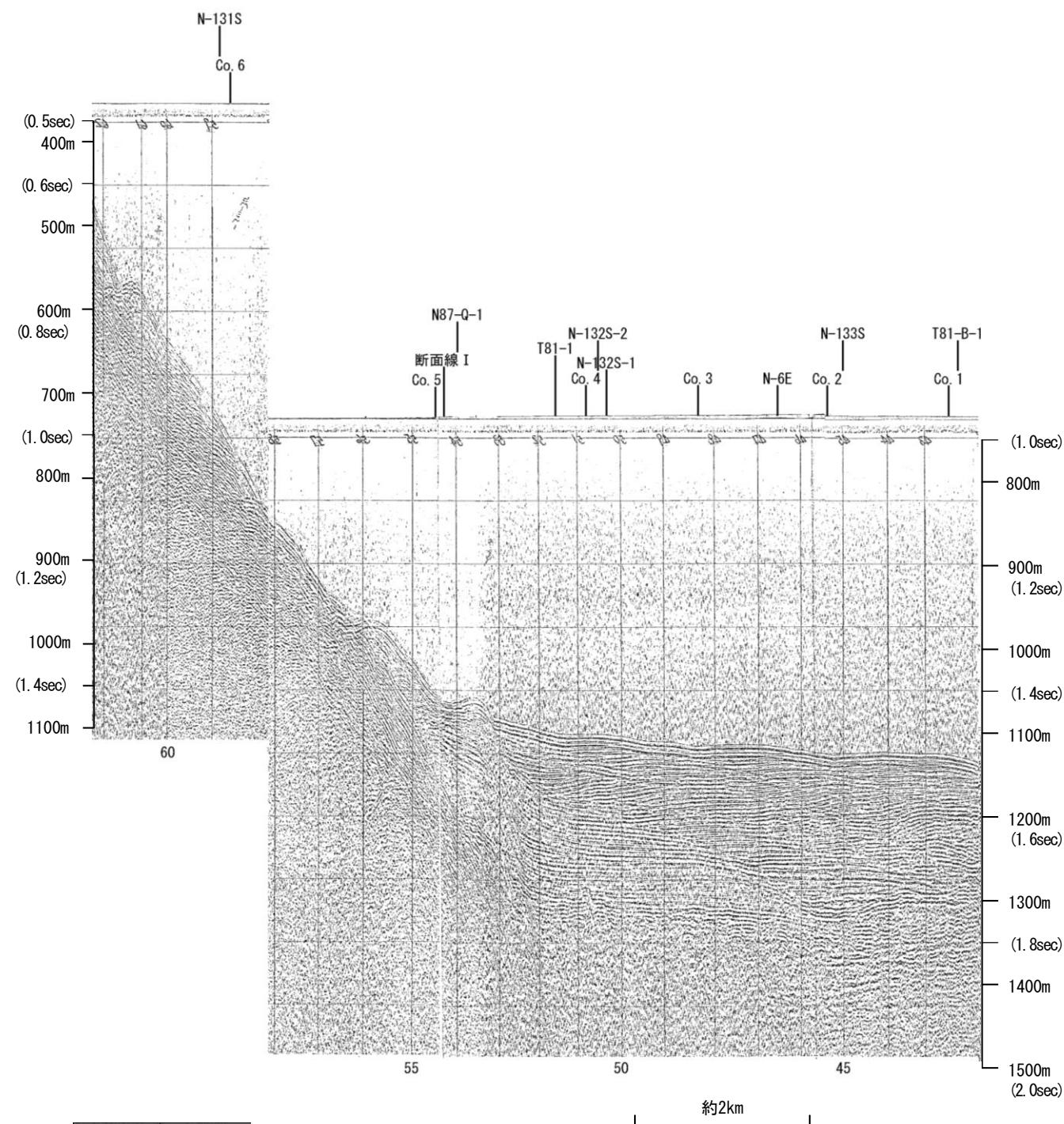
# 海上保安庁スパーカー L-22

←W

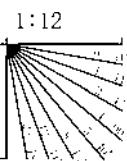
E→

←W

E→

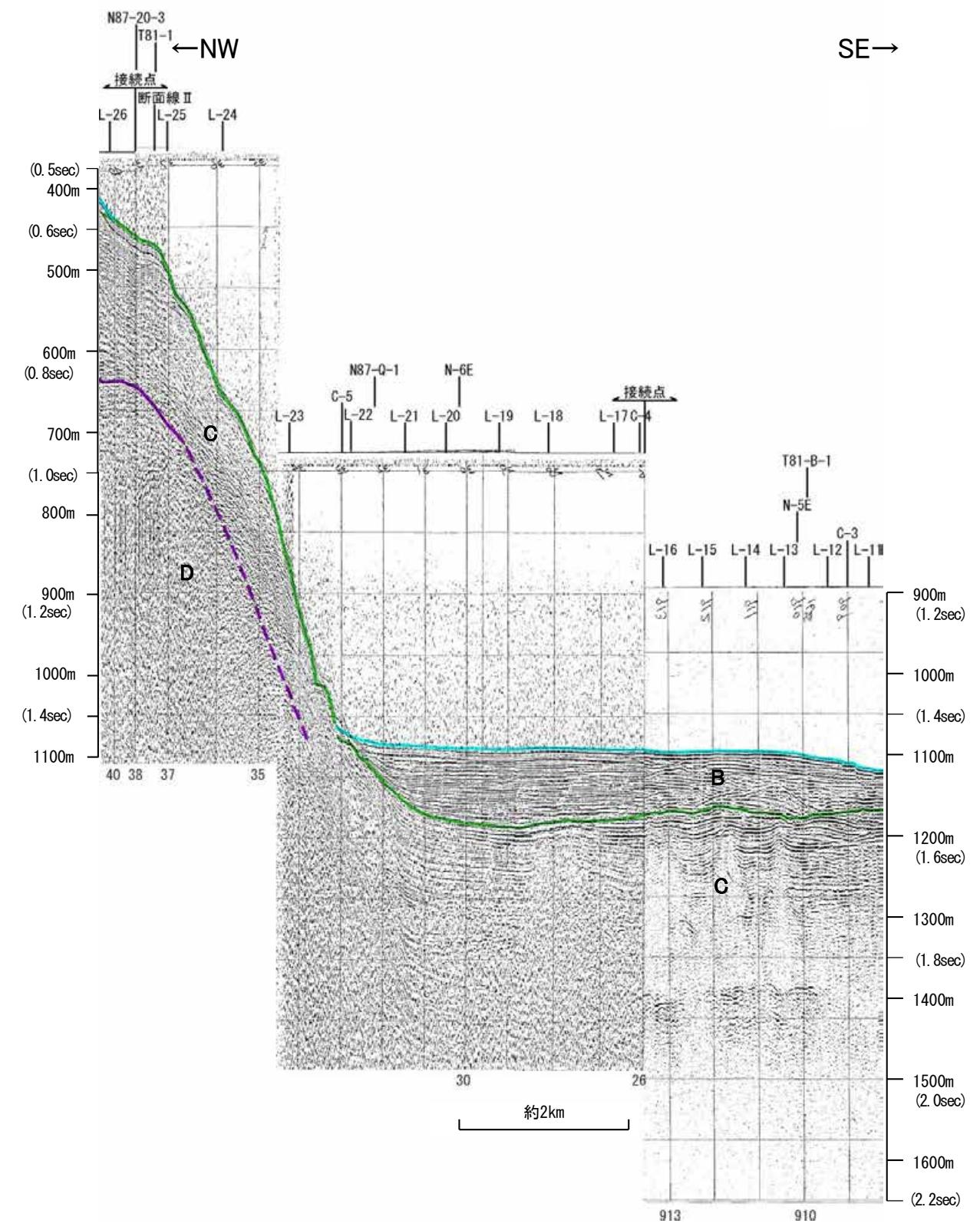
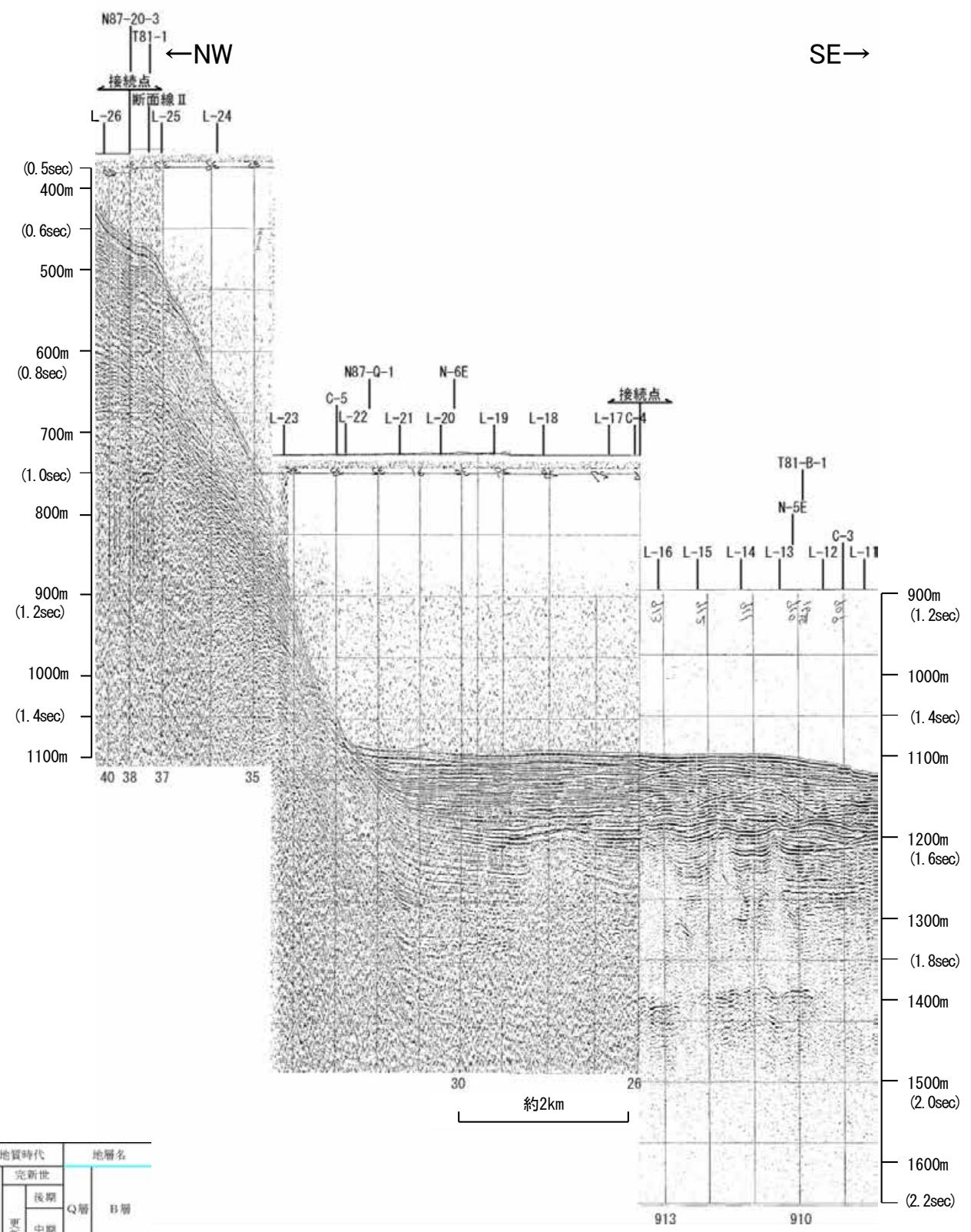


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	C層
	鮮新世		
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			

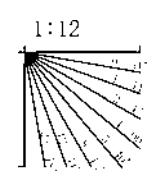


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 断面線 I

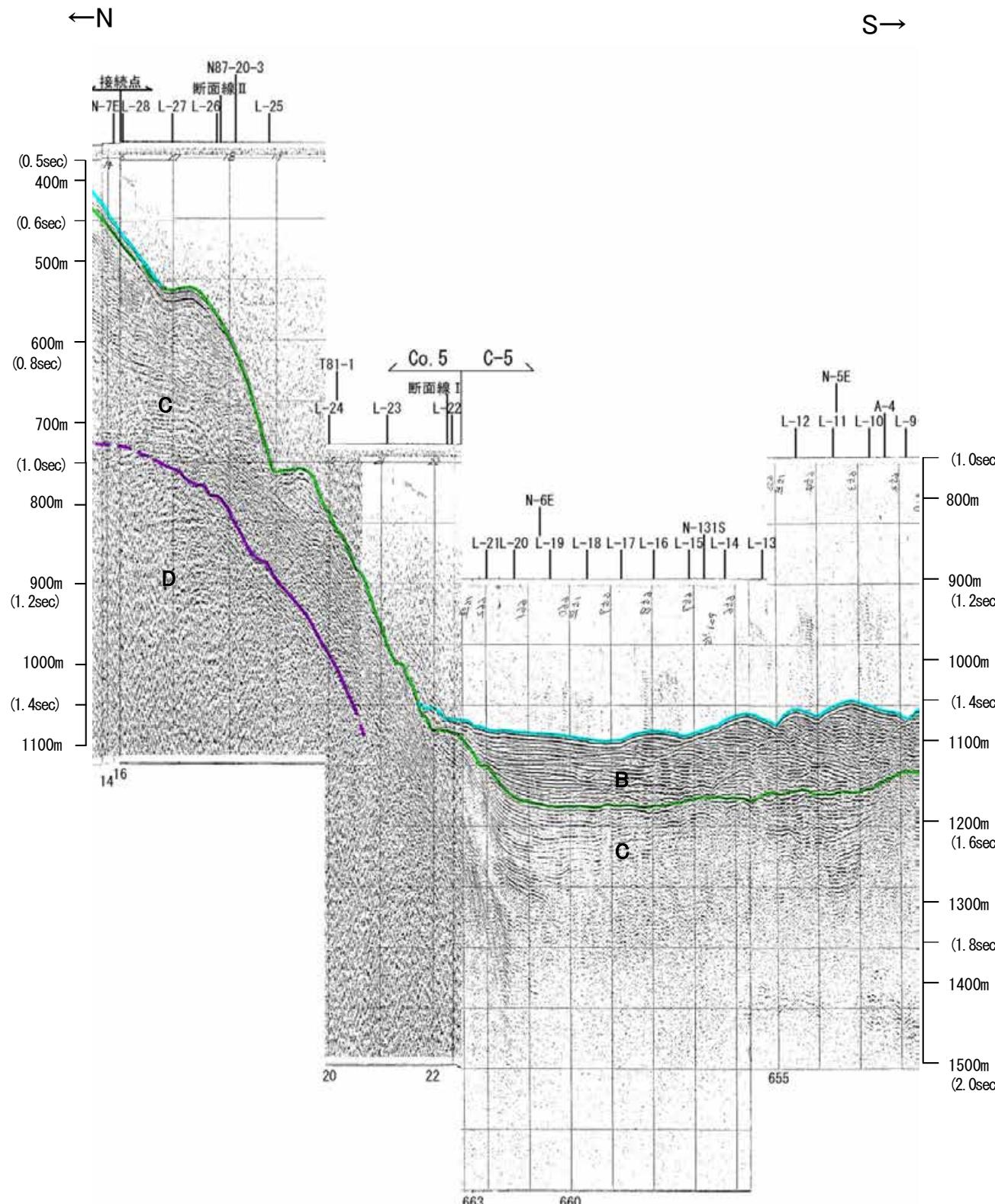
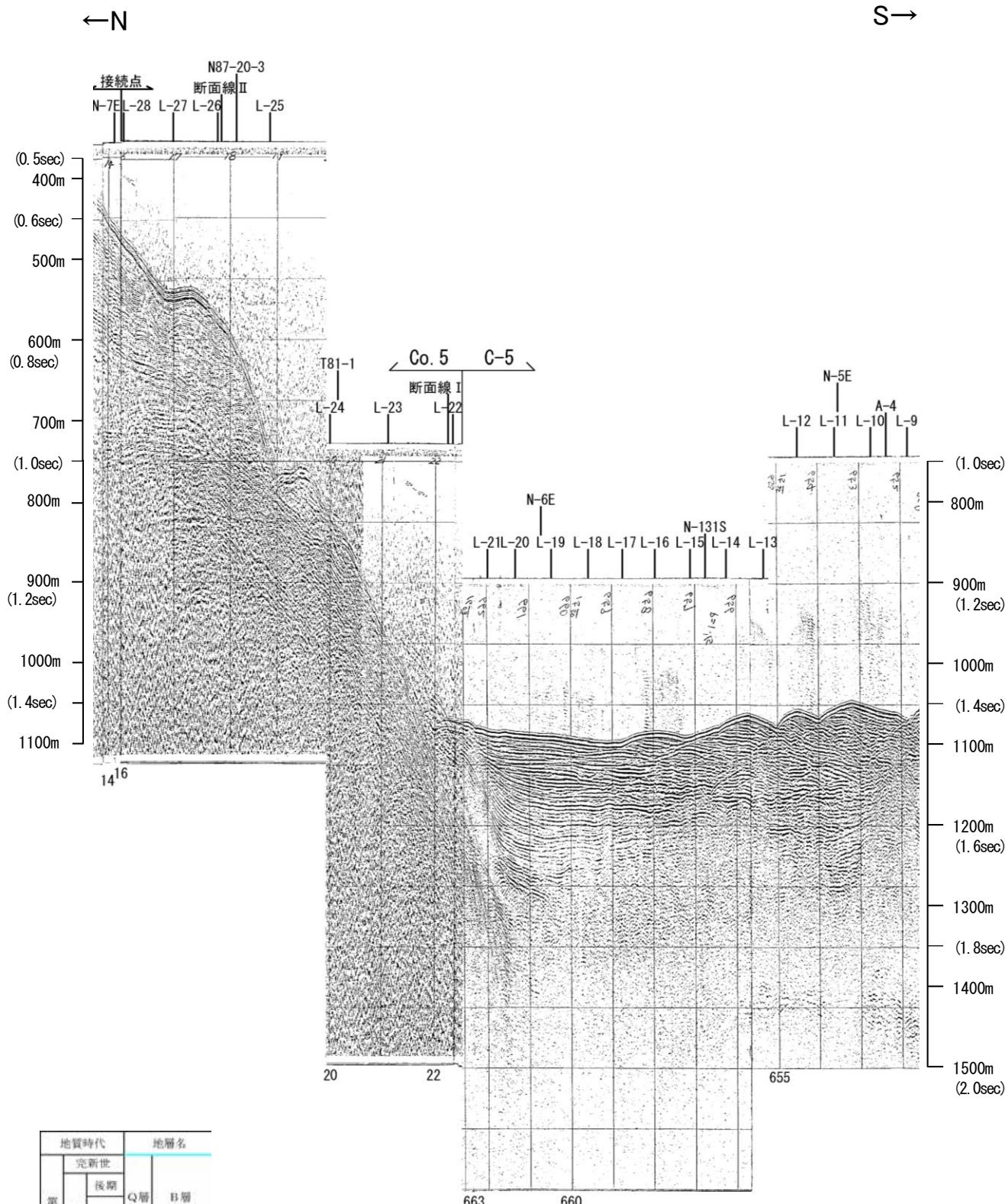


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	
	後期	Q層 B層
	中期	
	前期	C層
第三紀	鮮新世	
	中新世	D層
先第三紀		

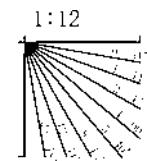


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー Co.5,C-5



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	
	中新世		C層
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

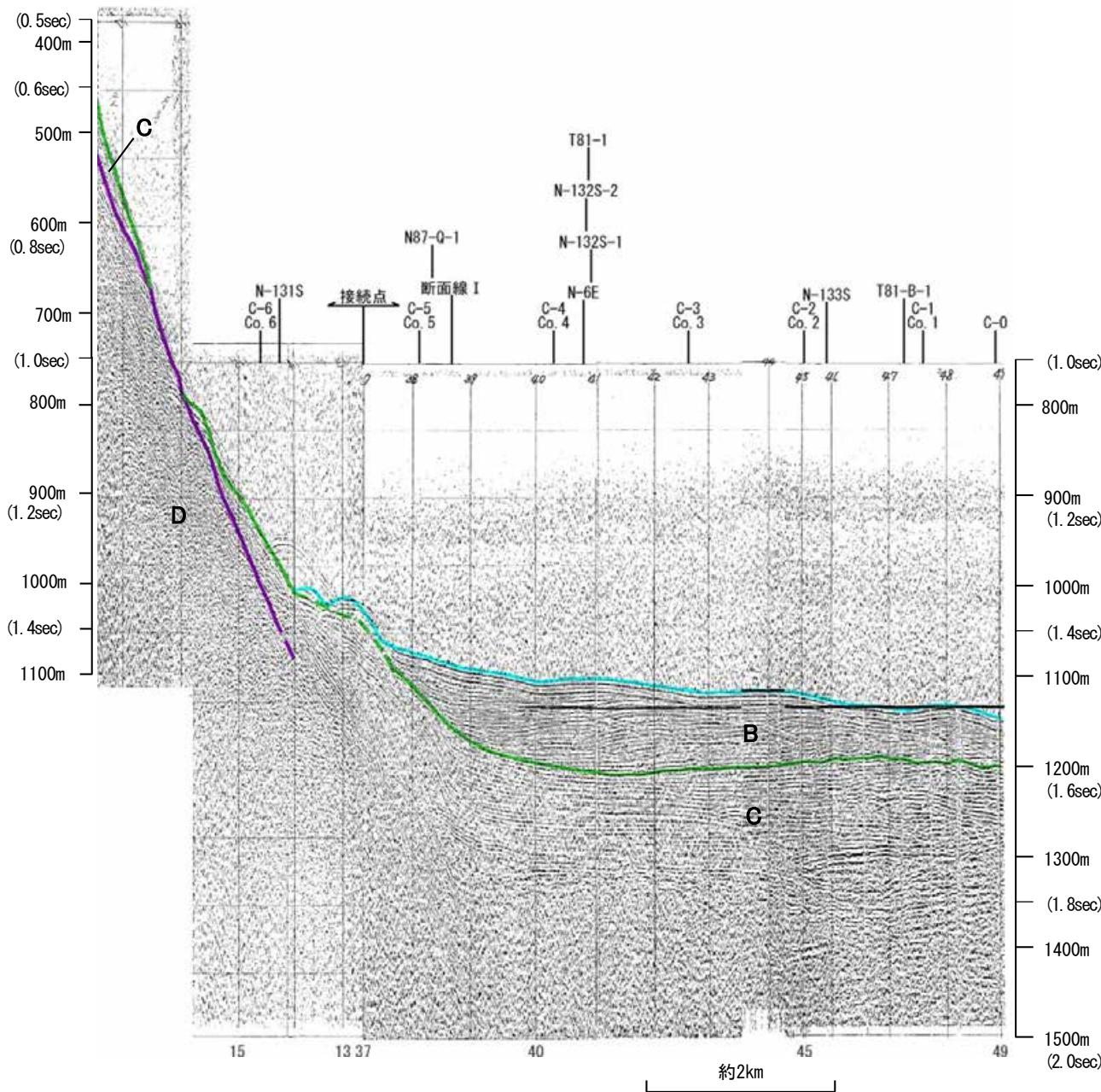
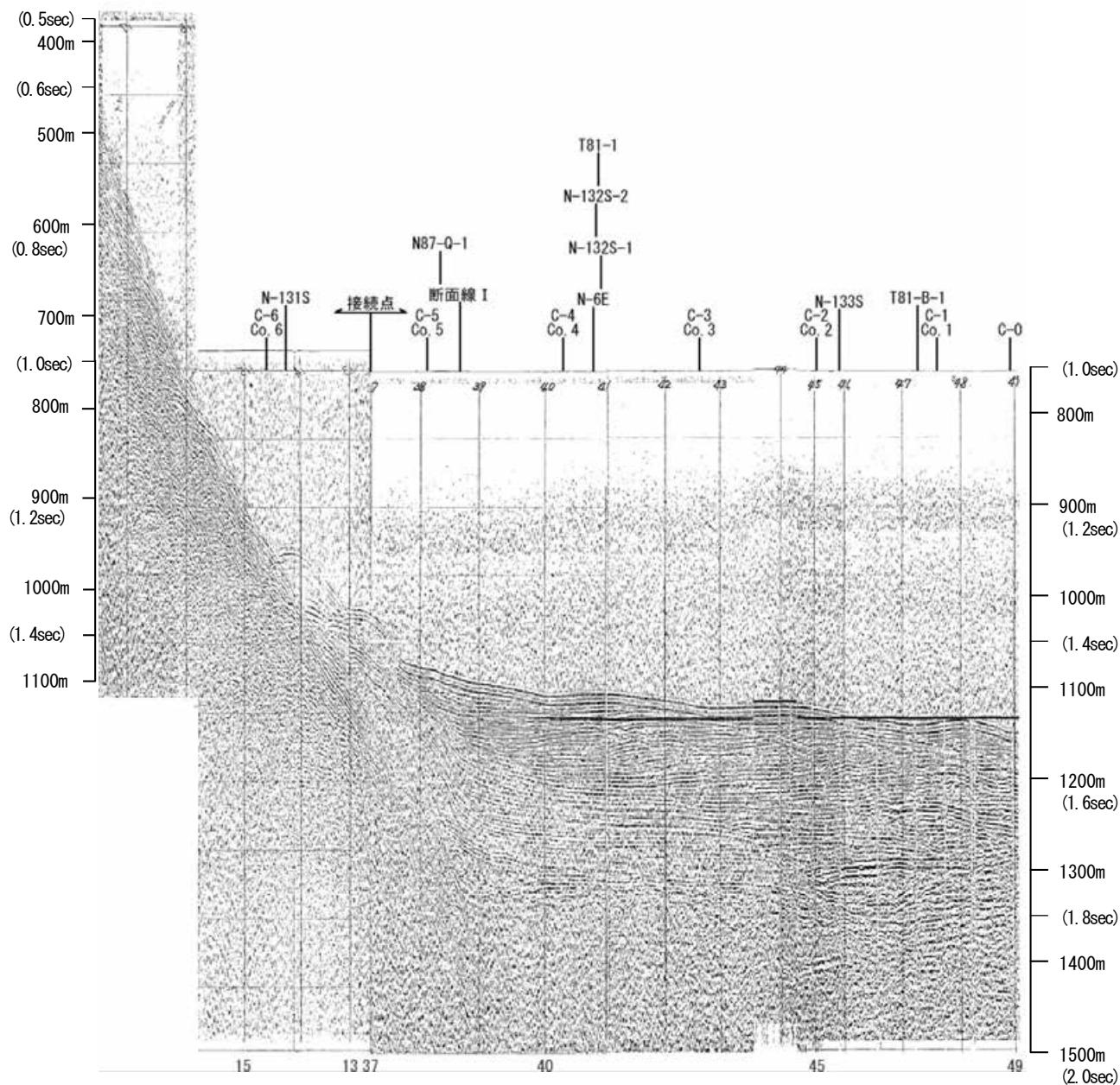
# 海上保安庁スパーカー L-21

←W

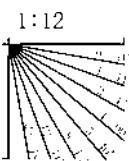
E→

←W

E→



地質時代	地層名	
完新世		
第四紀	後期	Q層 B層
	中期	
	前期	C層
鮮新世		
新第三紀	中新世	D層
	古第三紀	
先第三紀		

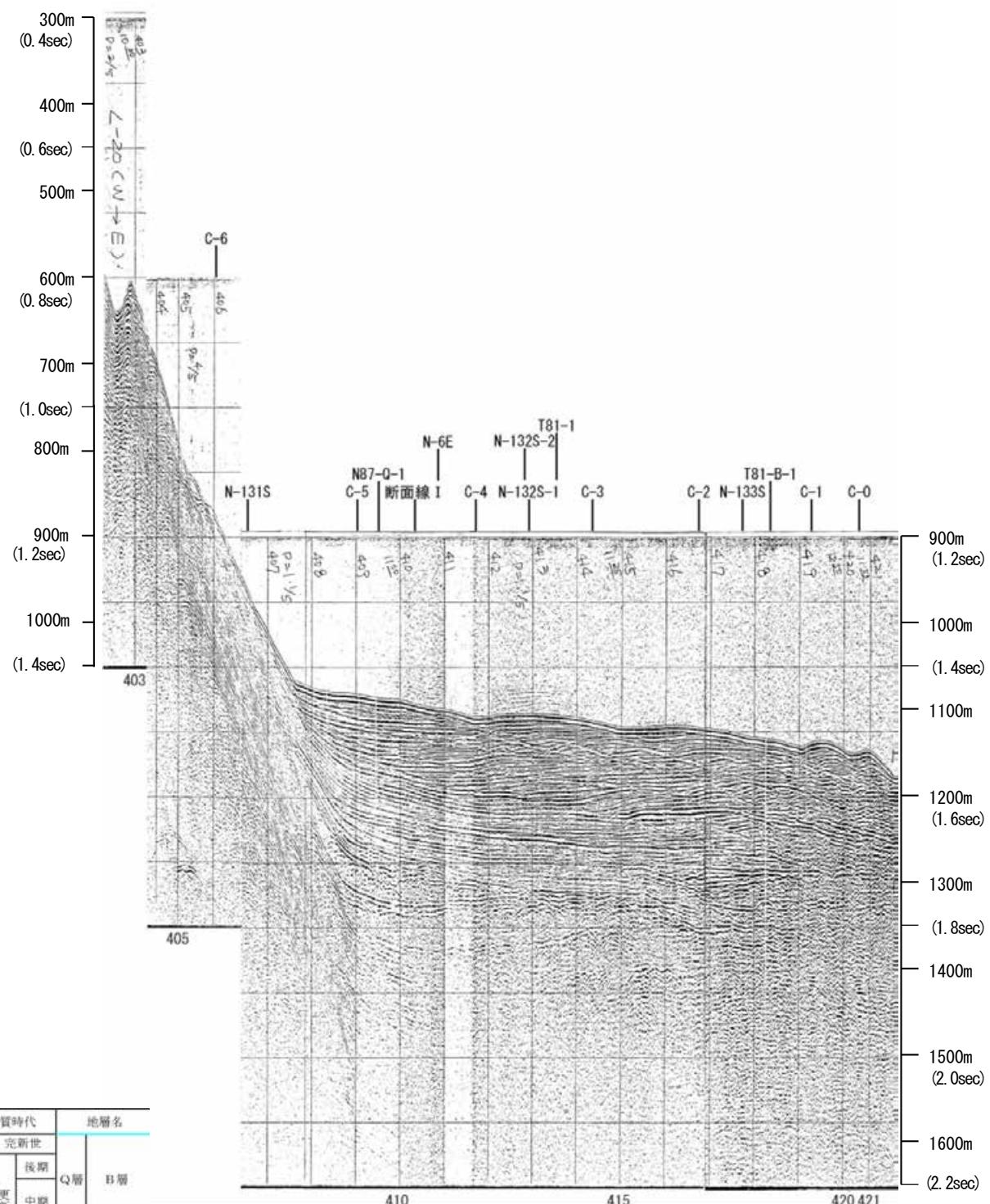


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

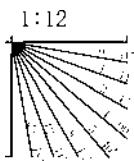
# 海上保安庁スパーカー L-20

←W

E→

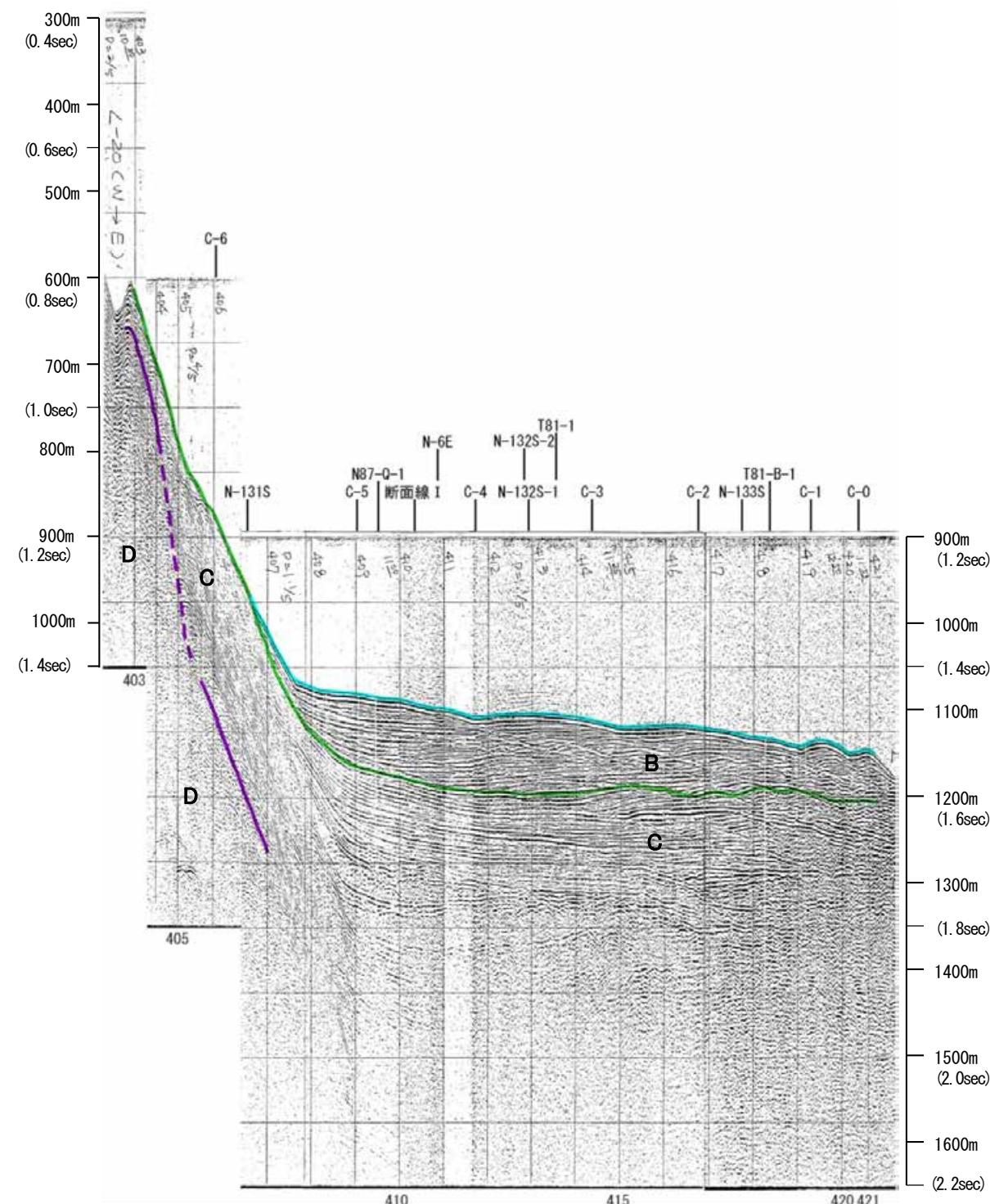


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	
	中新世		C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



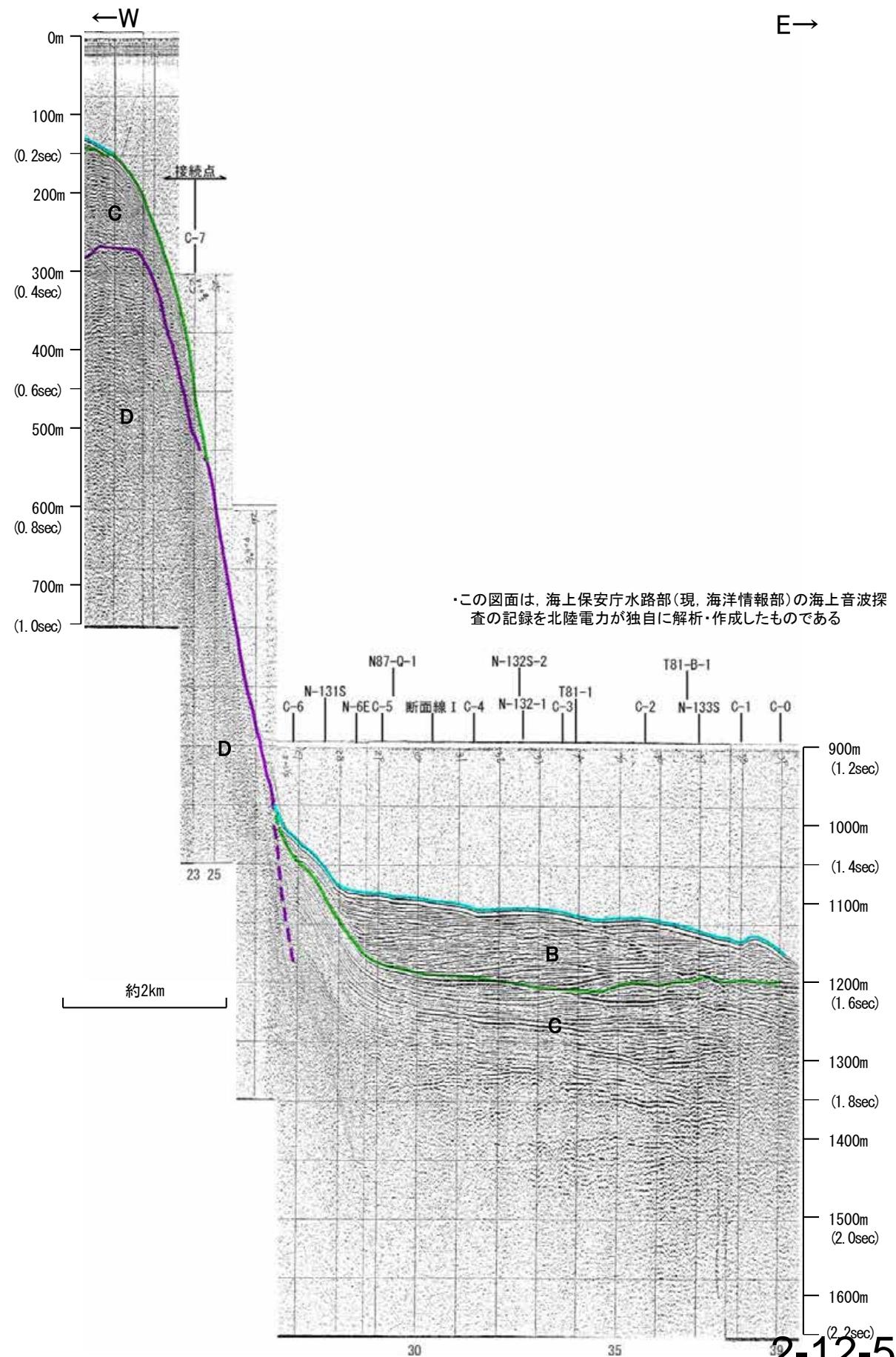
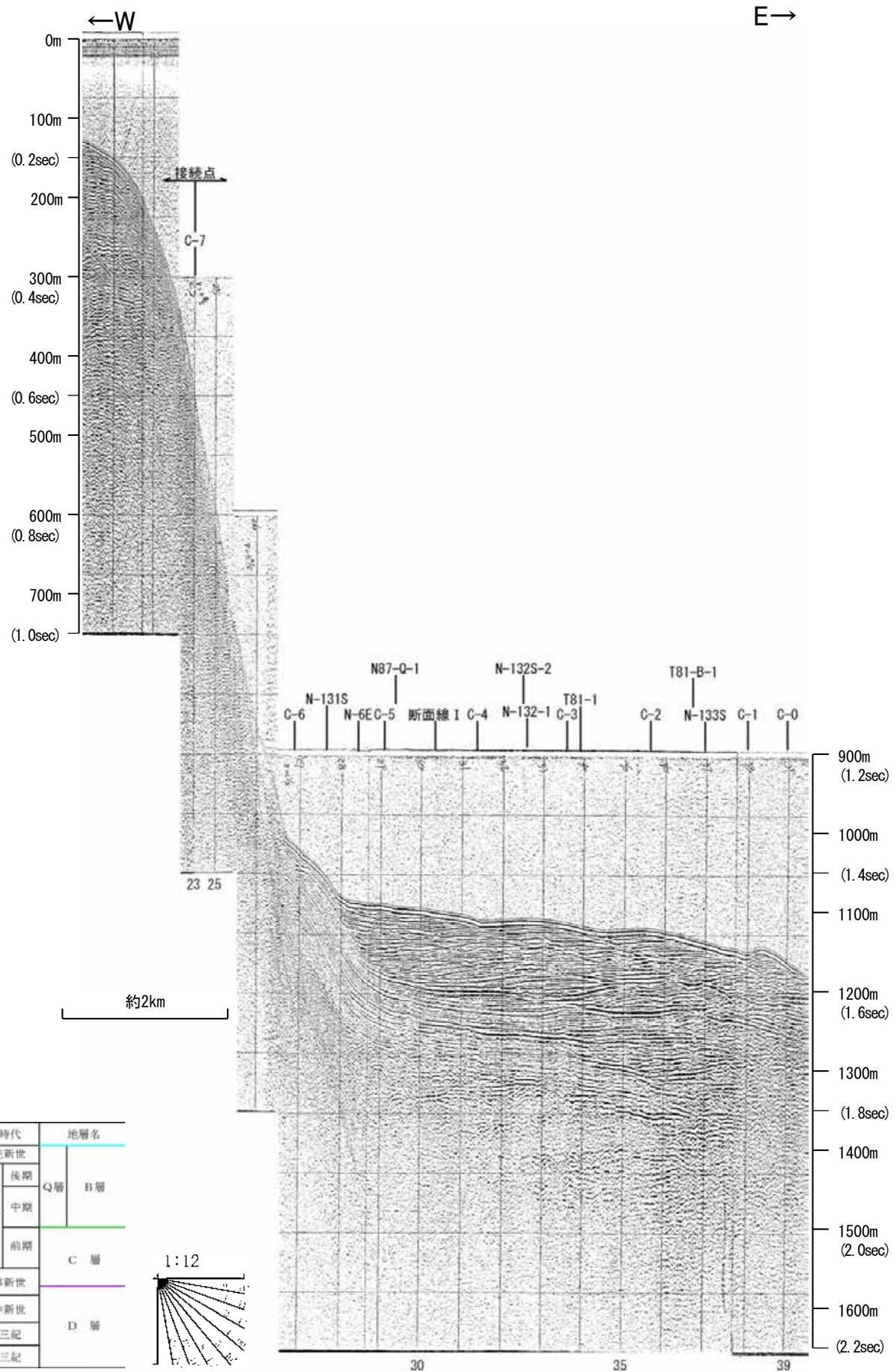
←W

E→



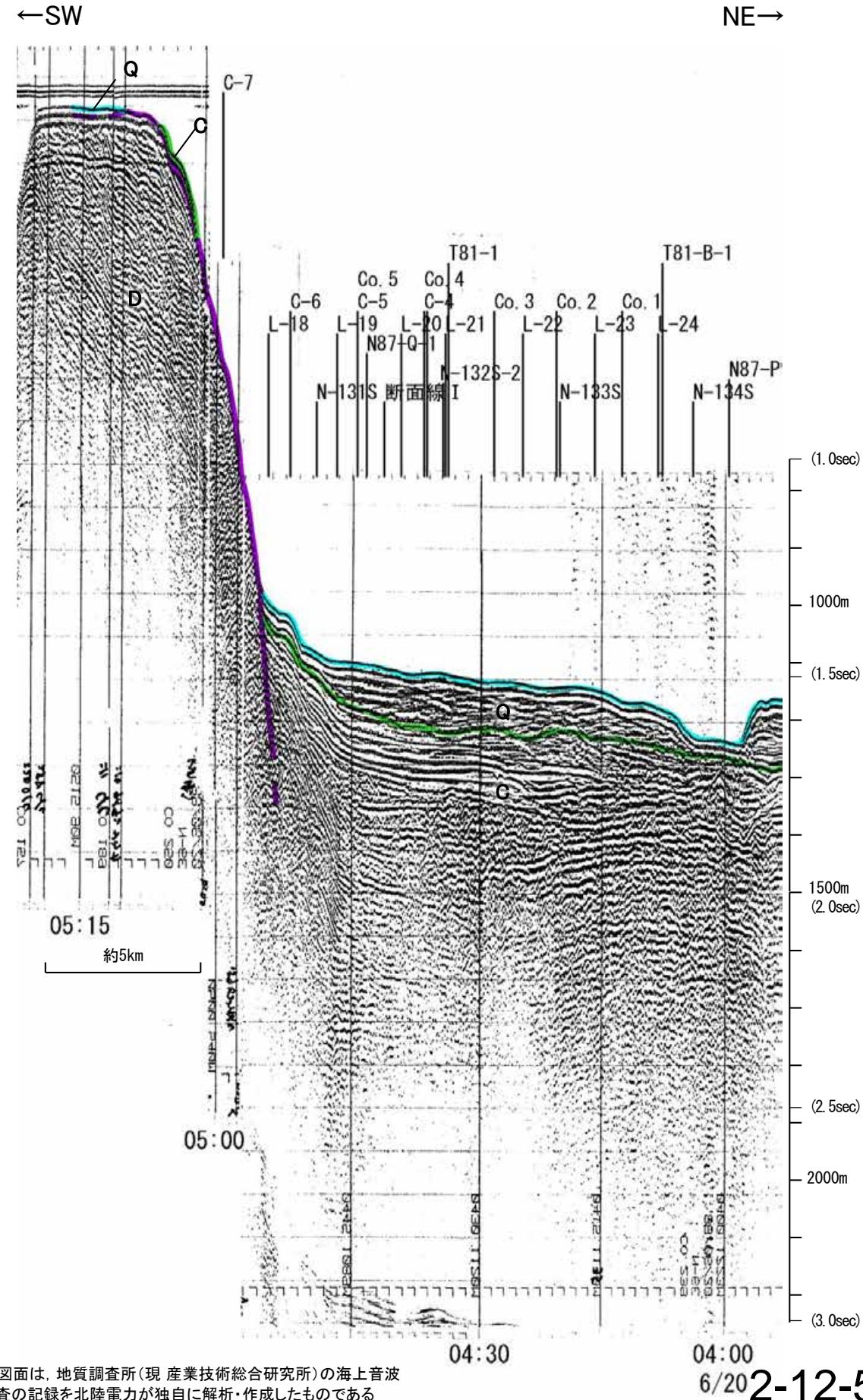
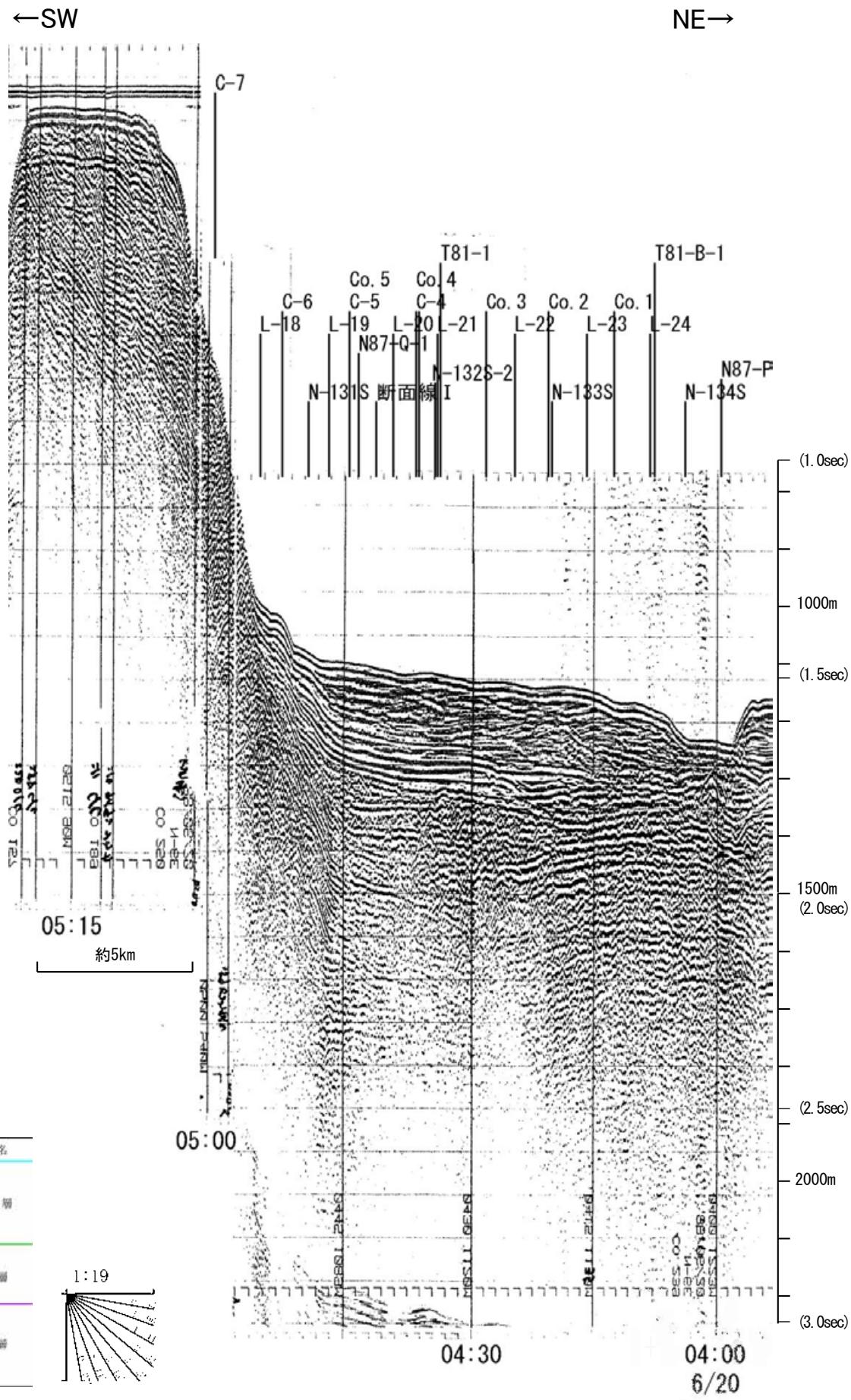
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-19

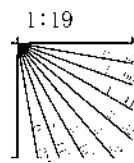


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-6E



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			

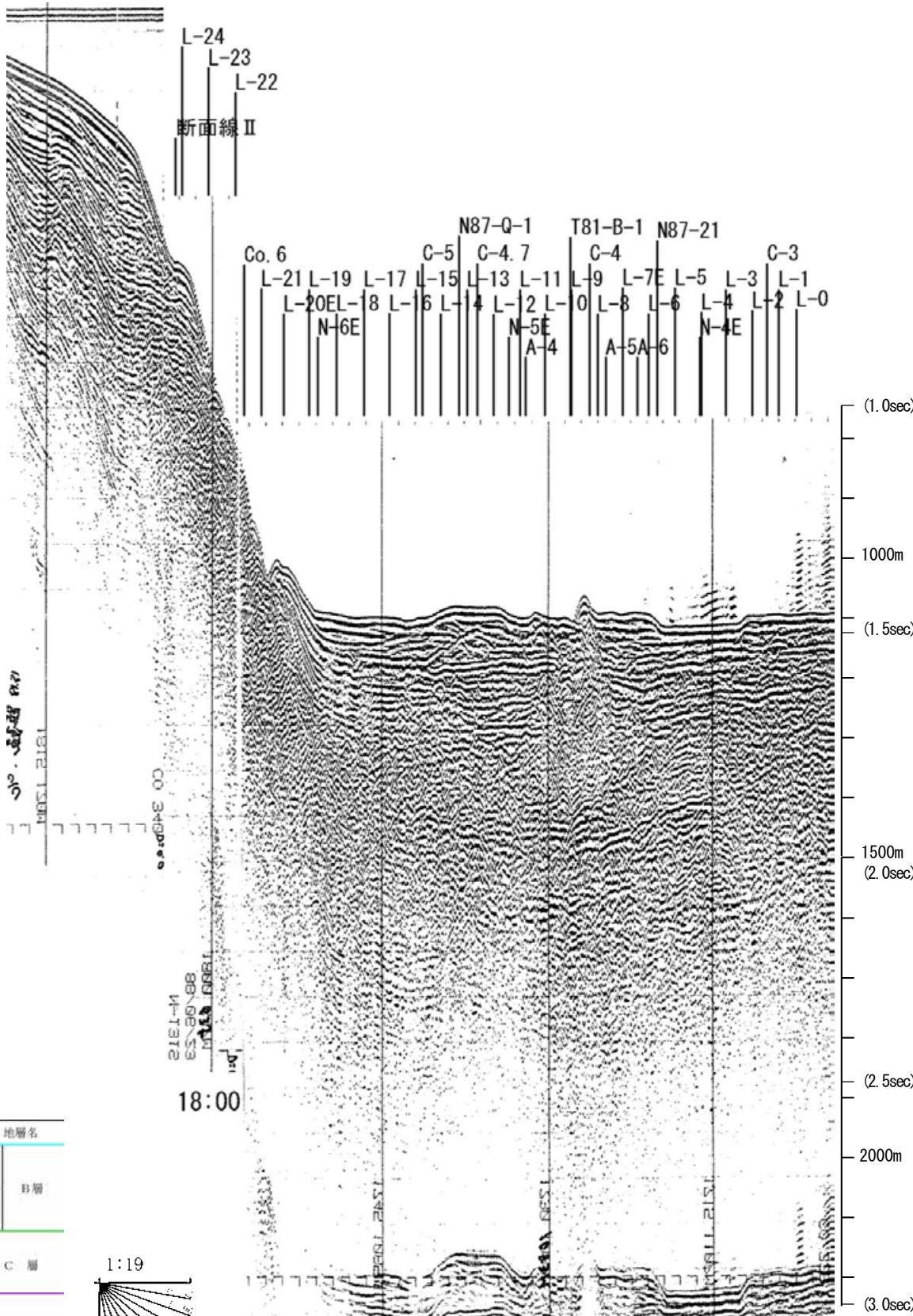


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-131S

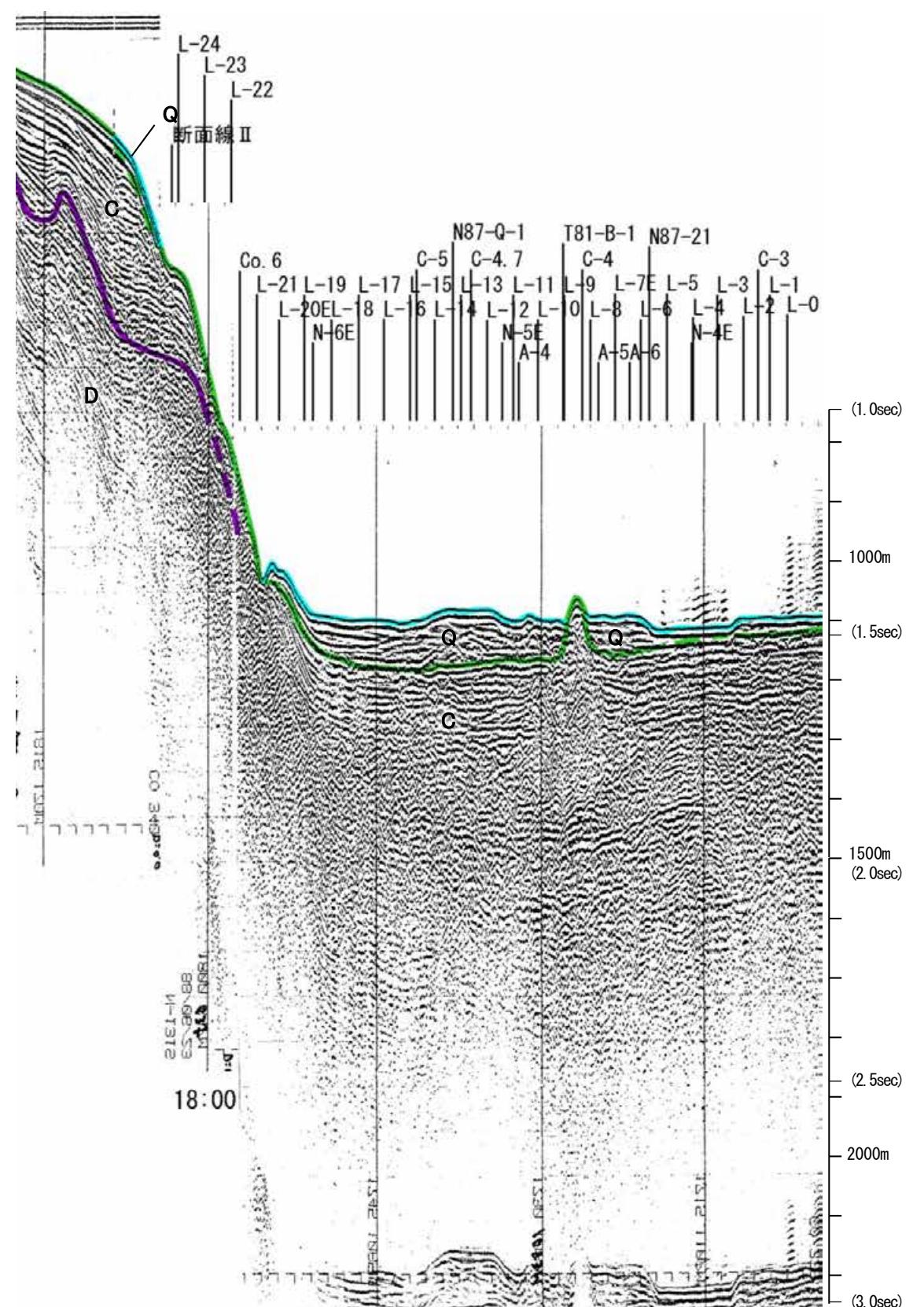
←NW

SE→

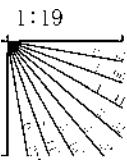


←NW

SE→



地質時代		地層名	
表土層	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
新山層	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			



17:30  
6/23

約5km

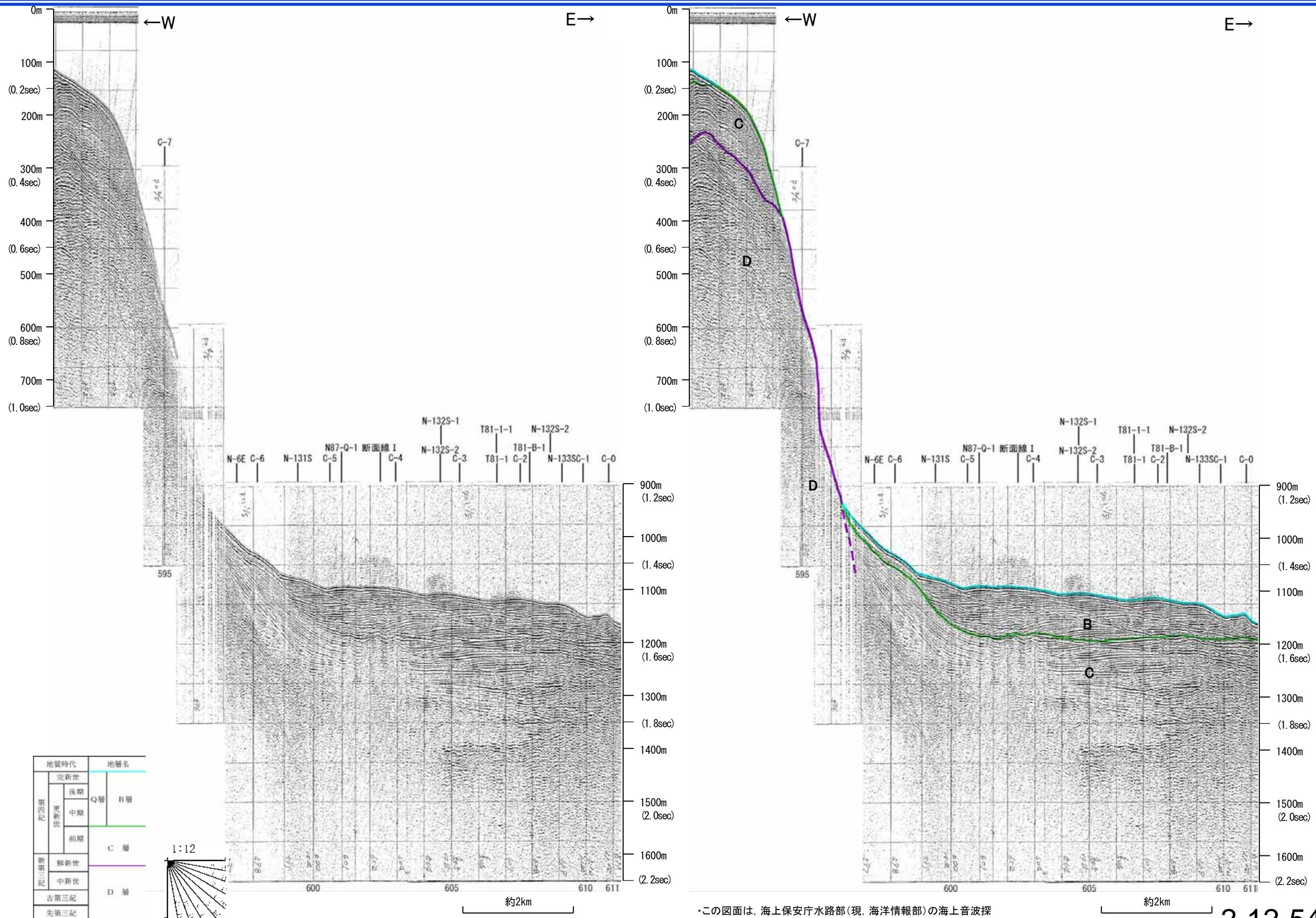
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

17:30  
6/23

約5km

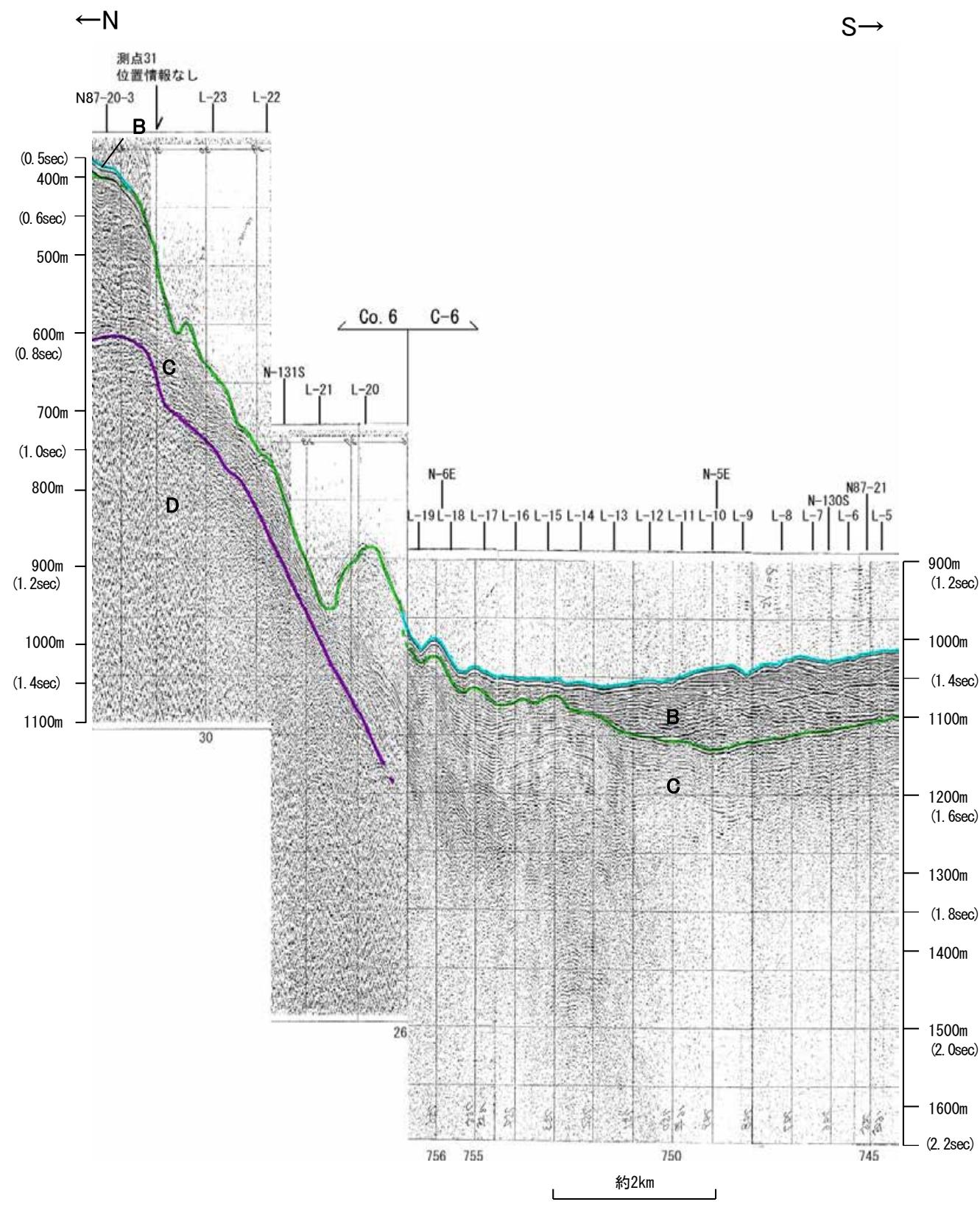
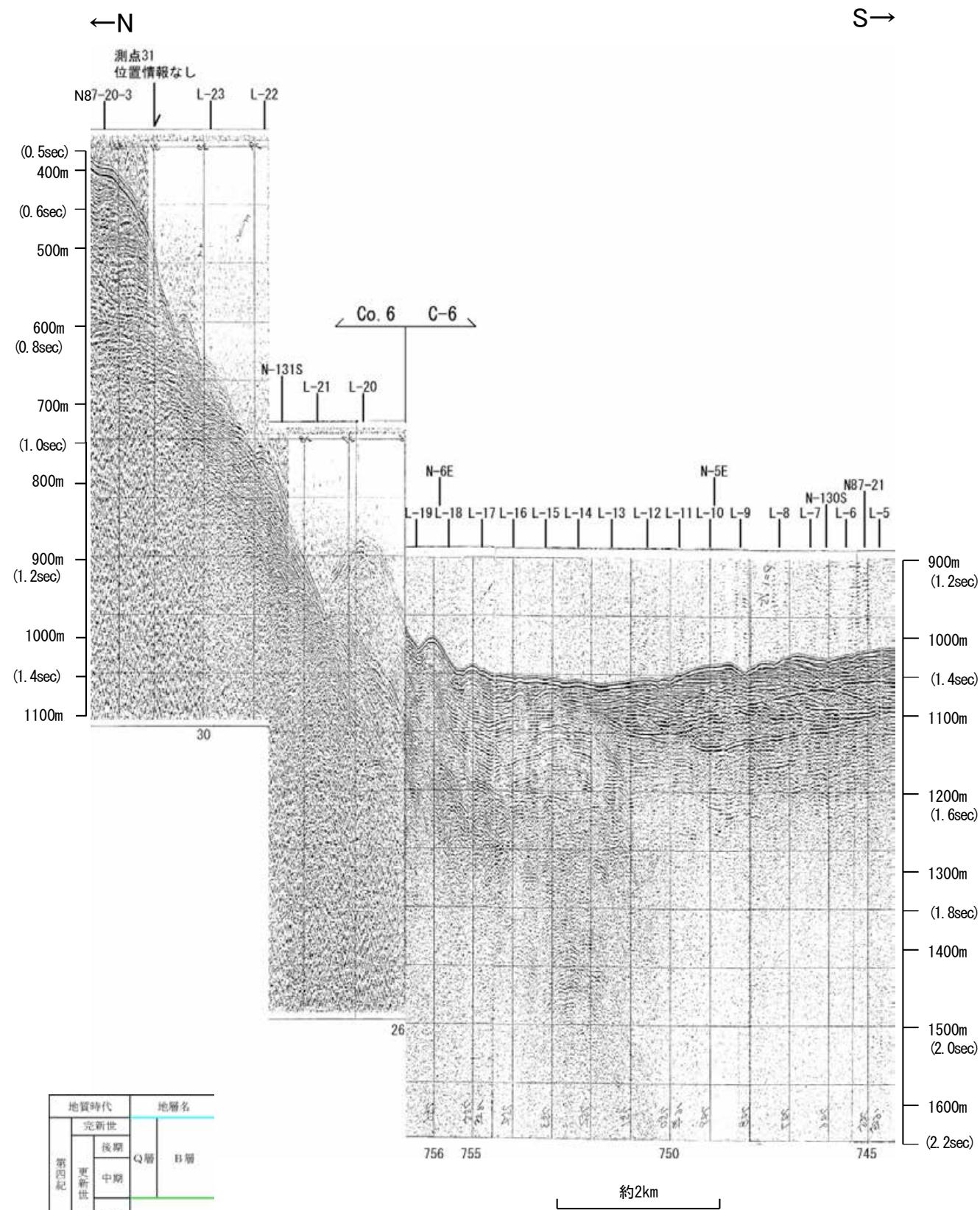
2-12-53

# 海上保安庁スパーカー L-18



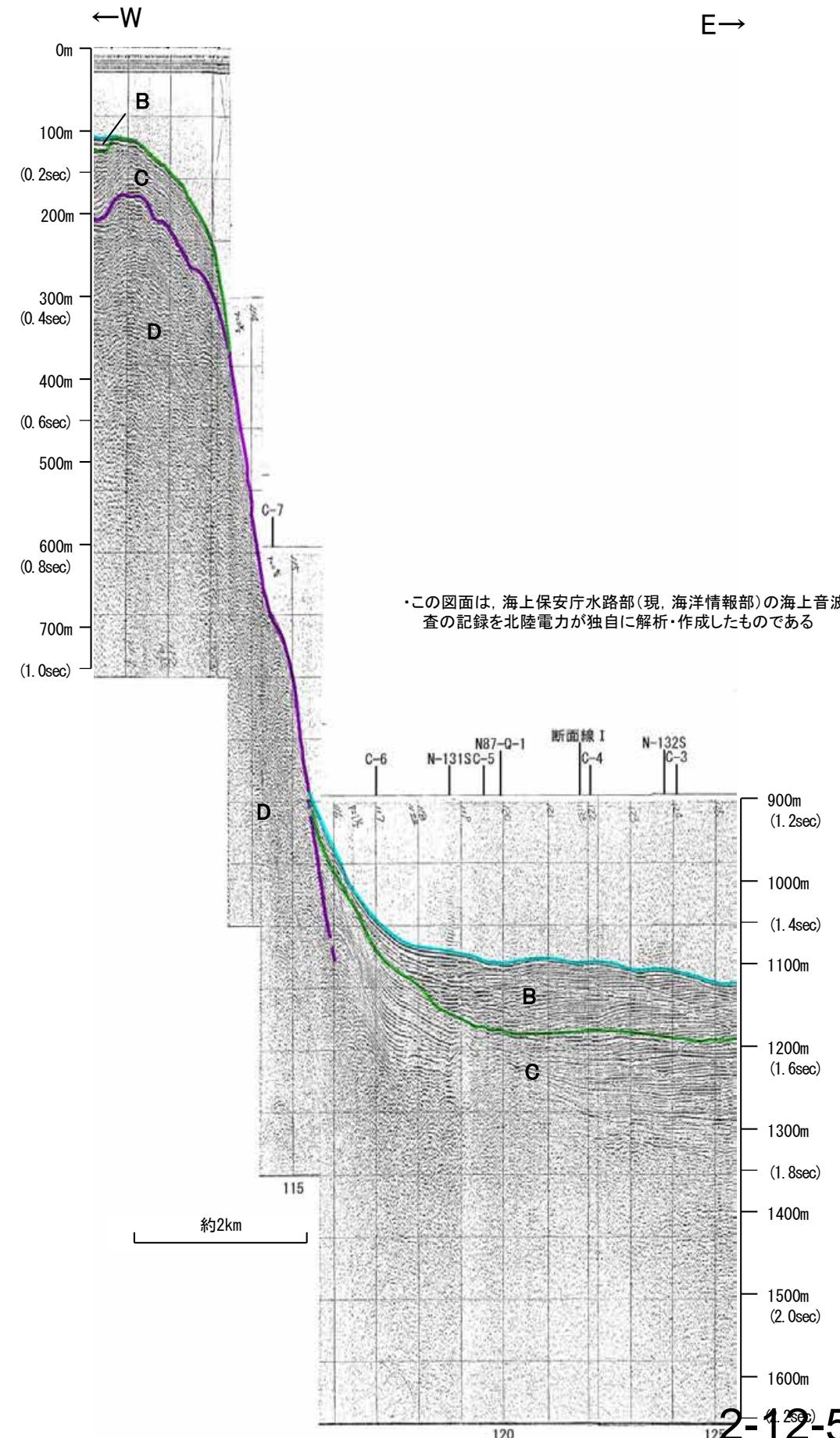
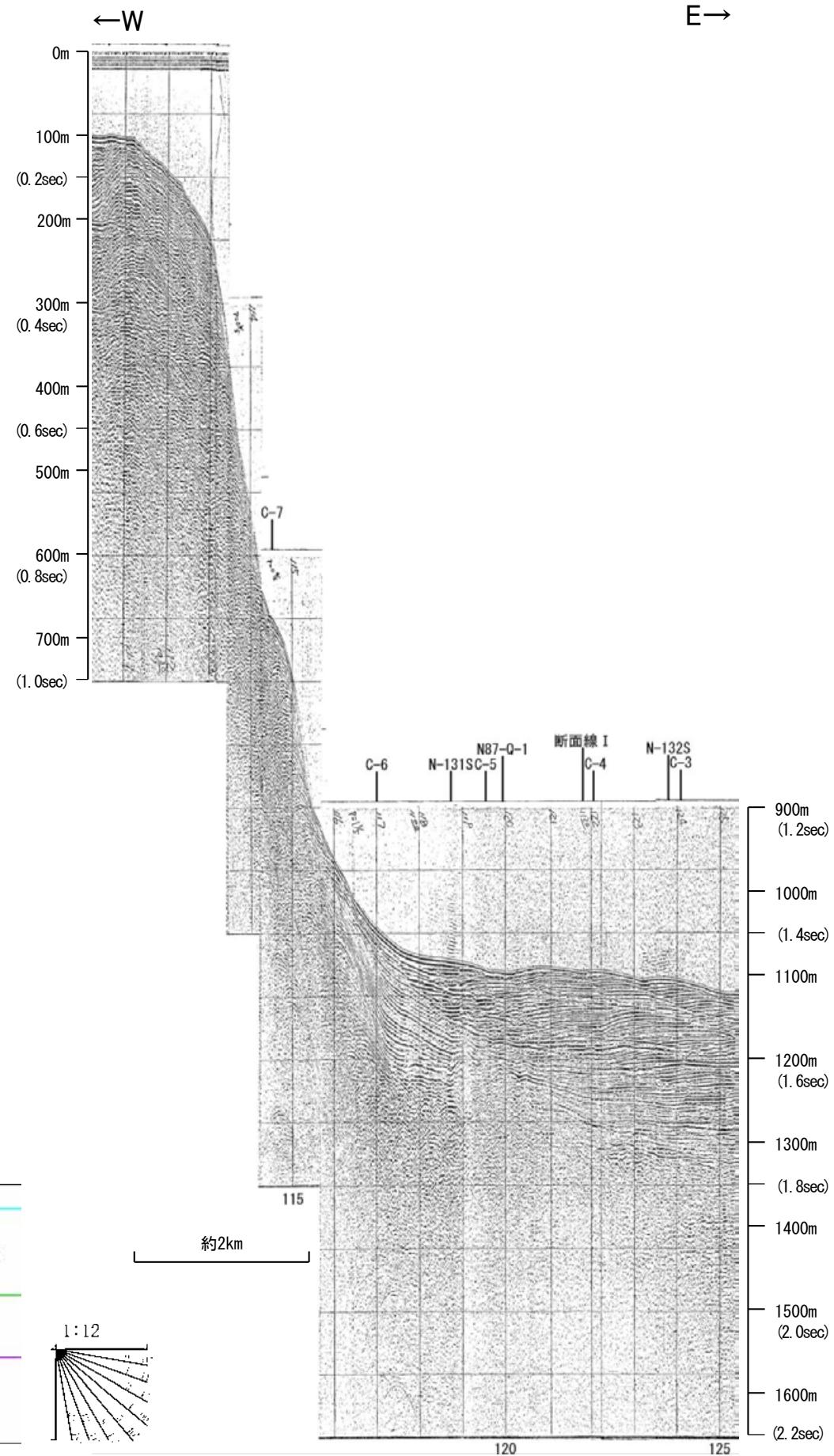
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー Co.6, C-6

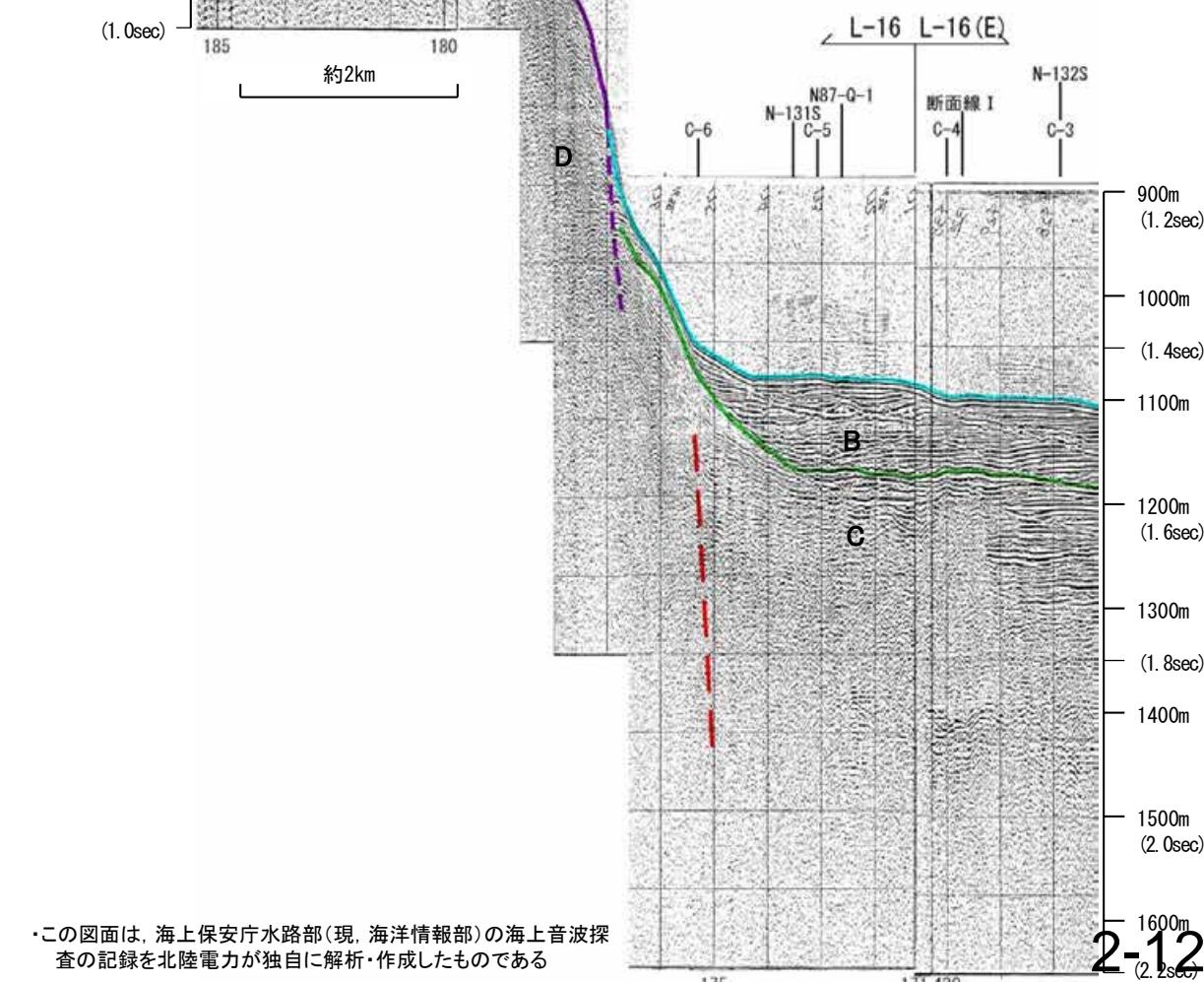
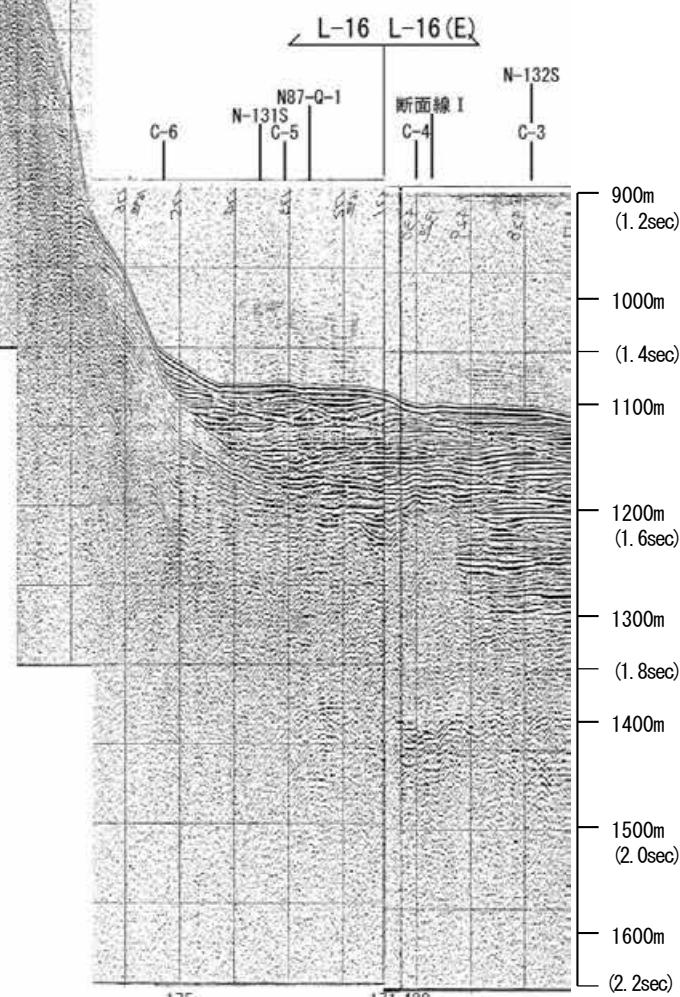
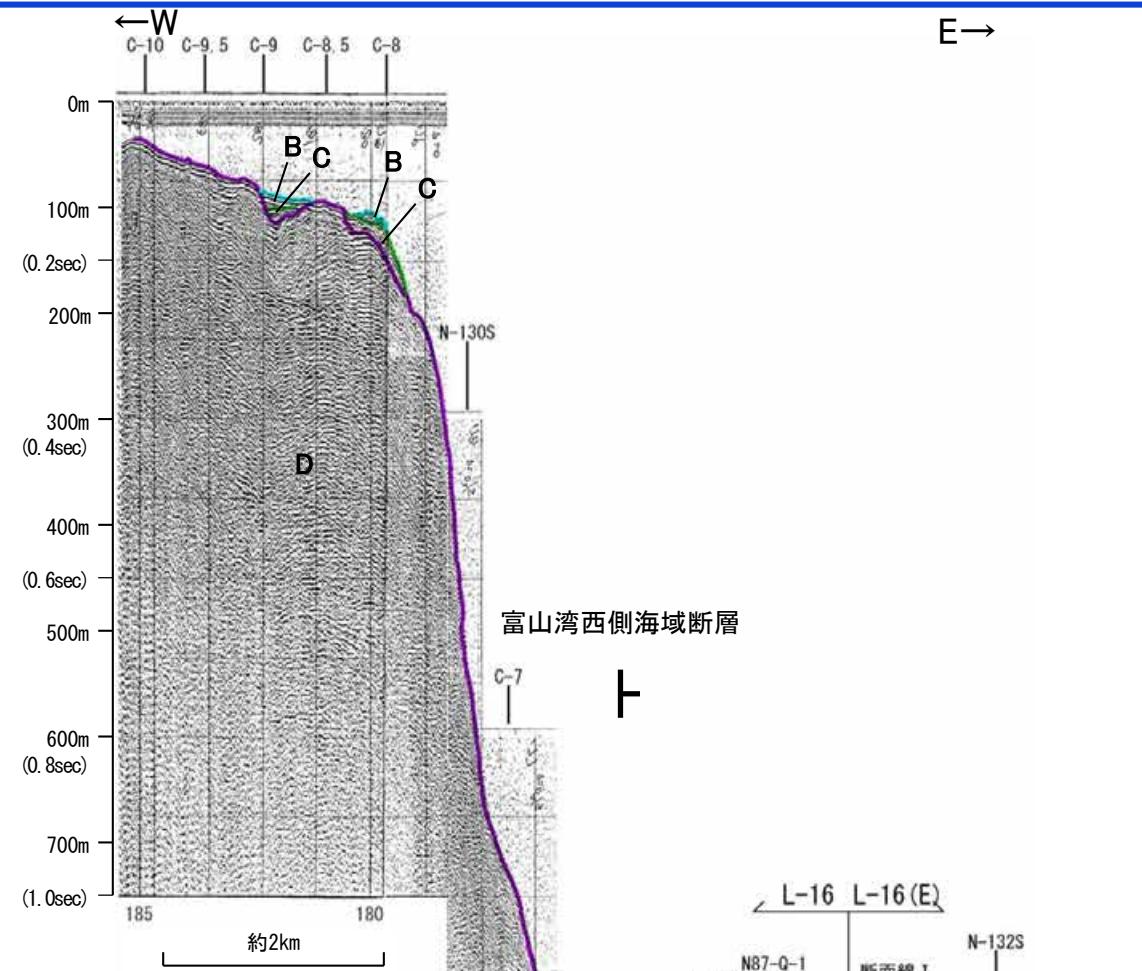
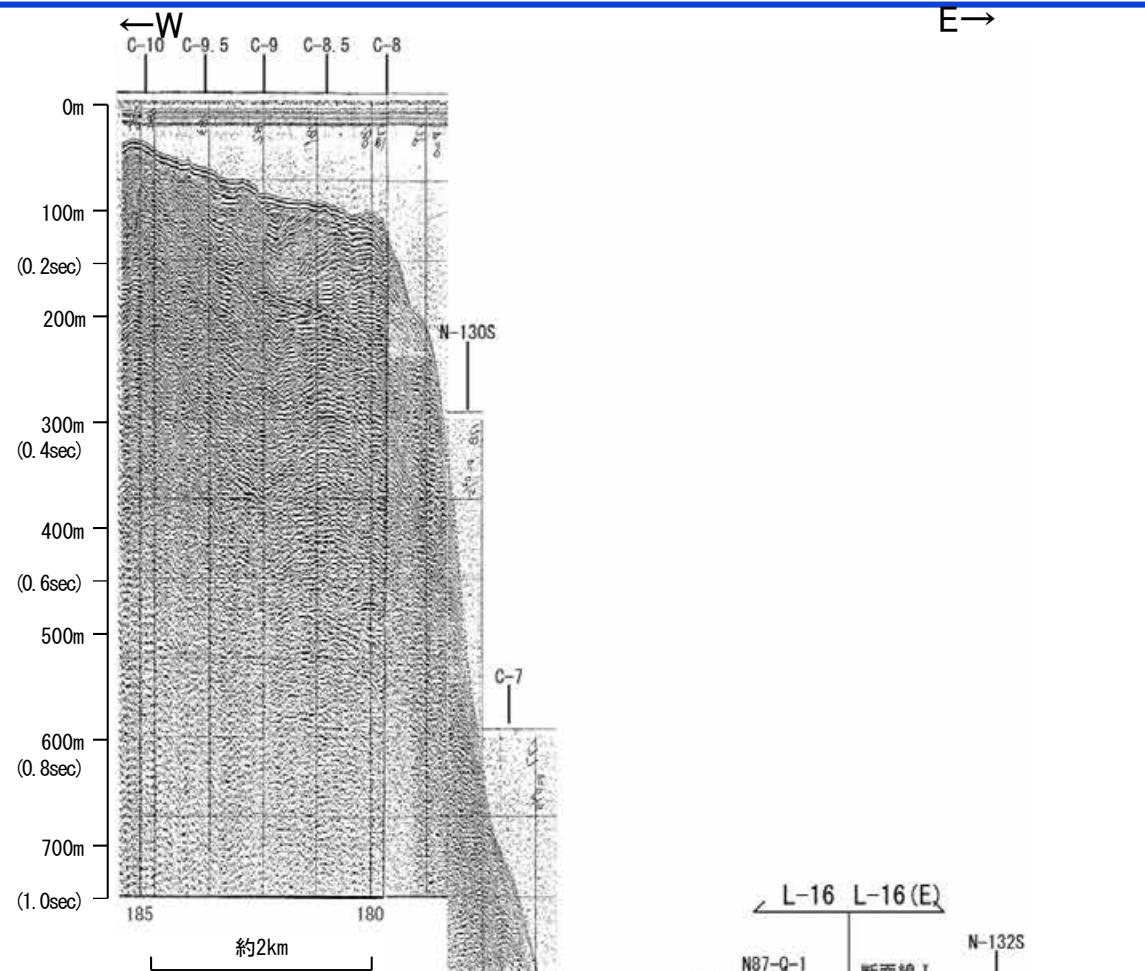


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

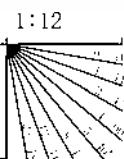
# 海上保安庁スパーカー L-17



# 海上保安庁スパーカー L-16

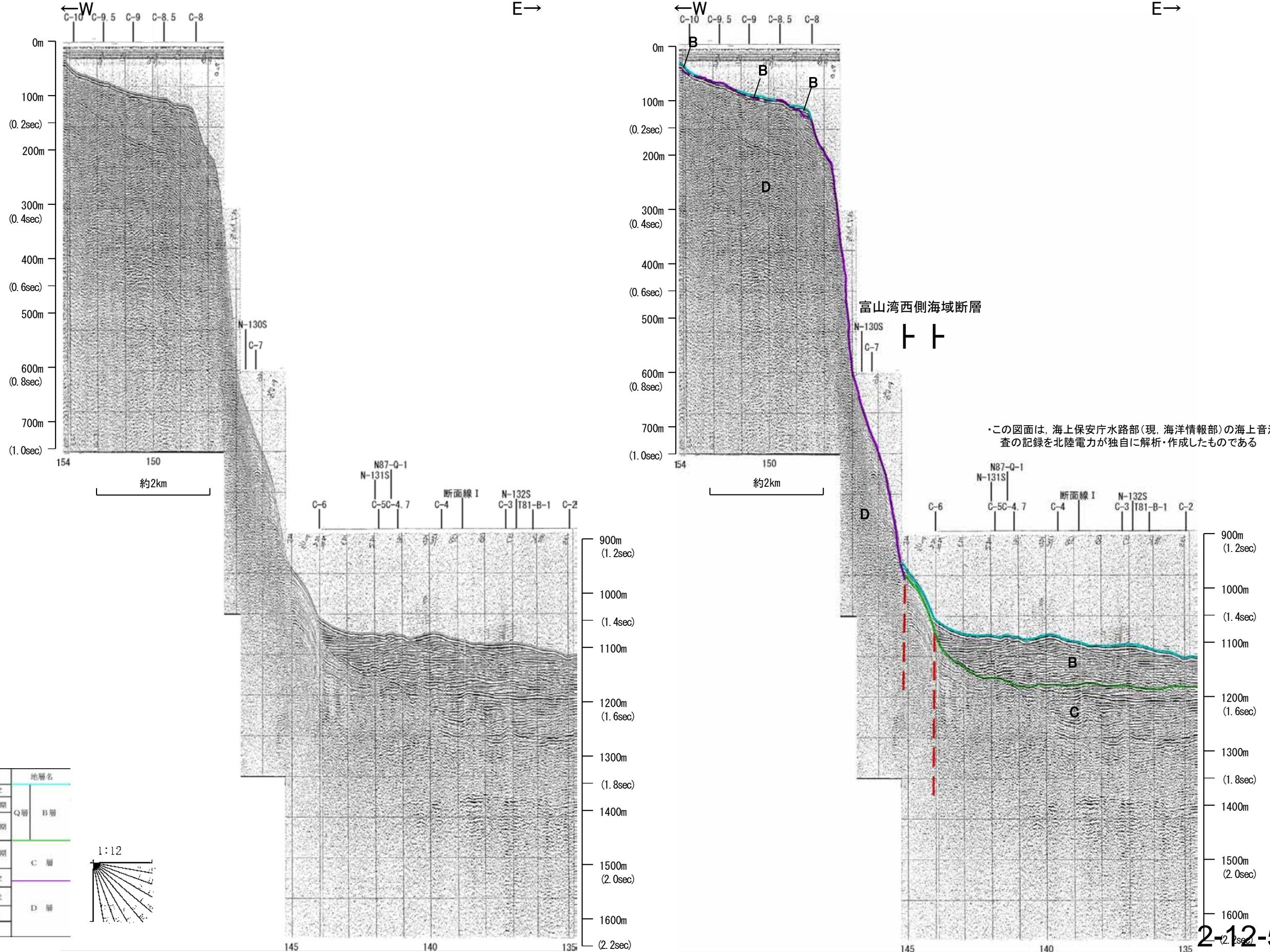


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期		C層
第三紀	新第三紀		
	古第三紀		D層
先第三紀			

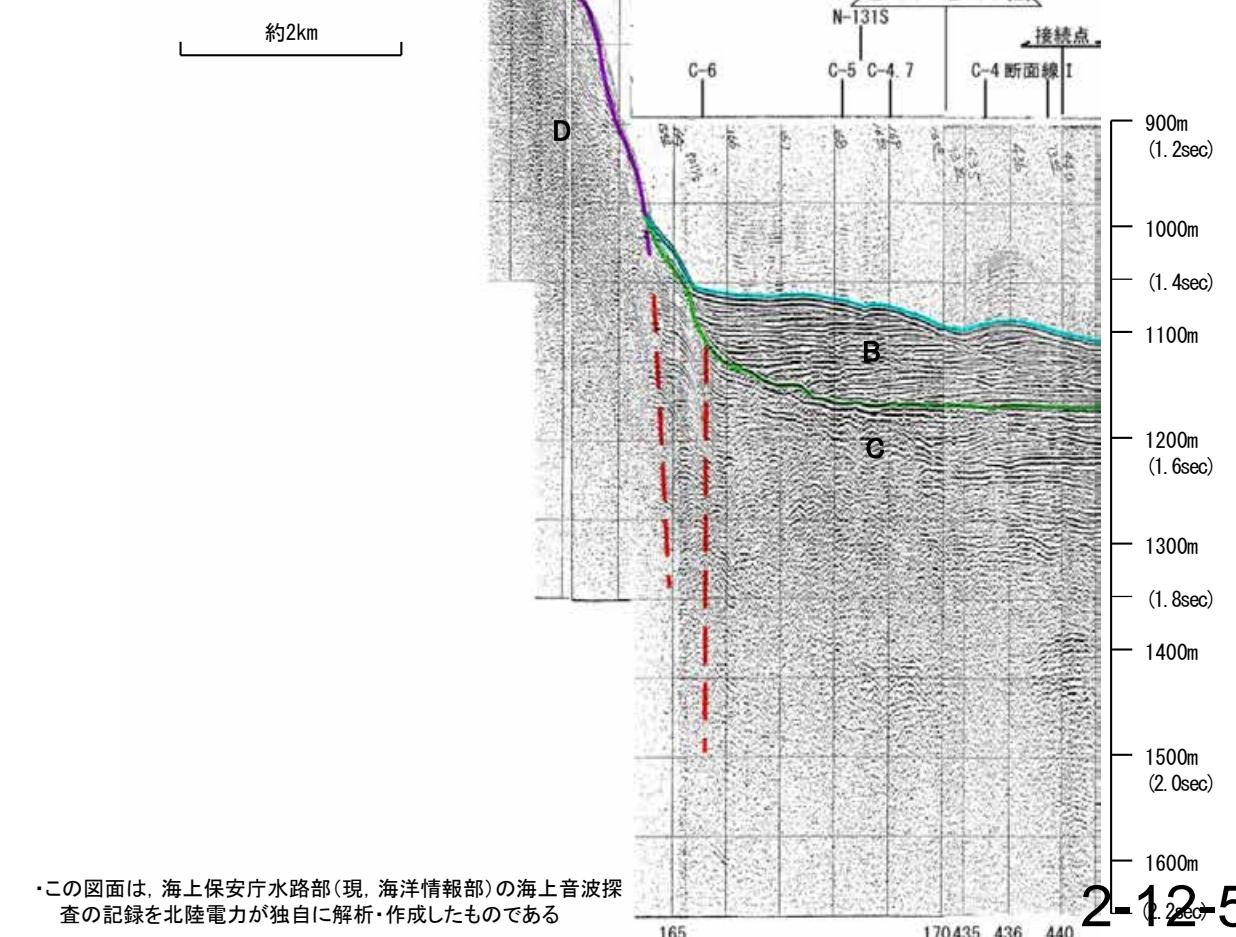
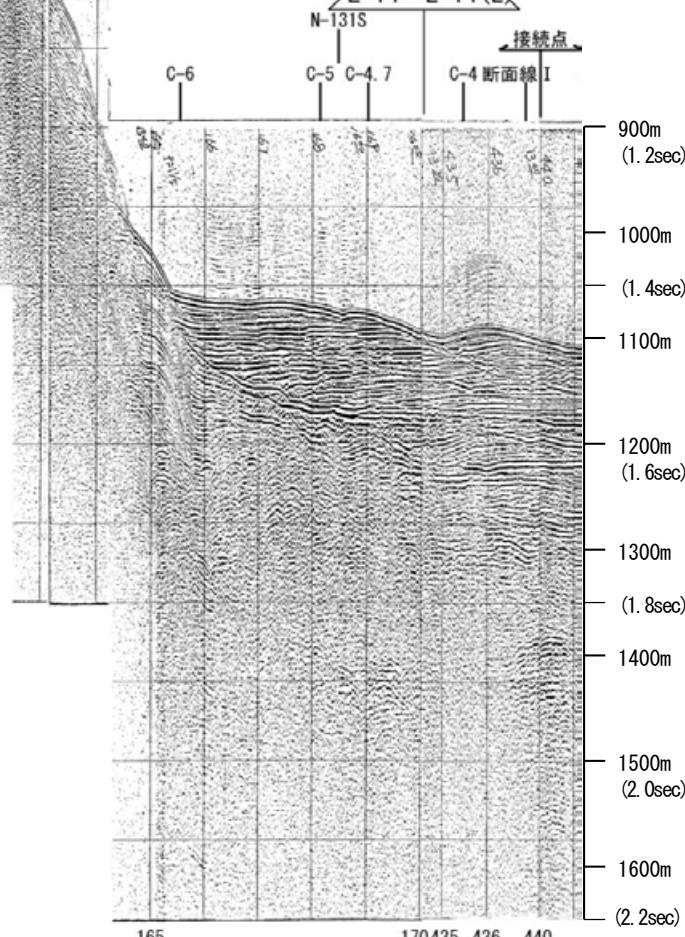
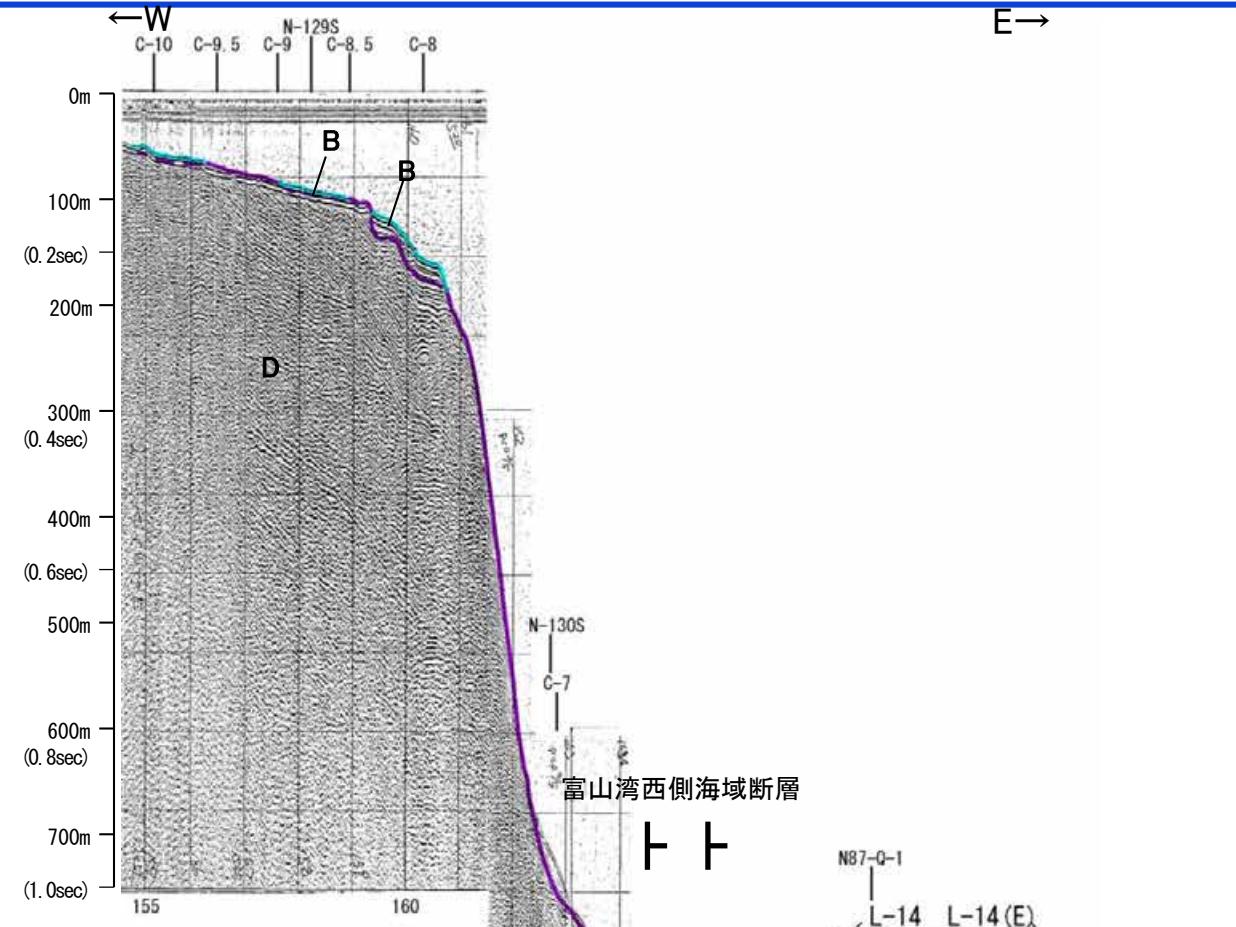
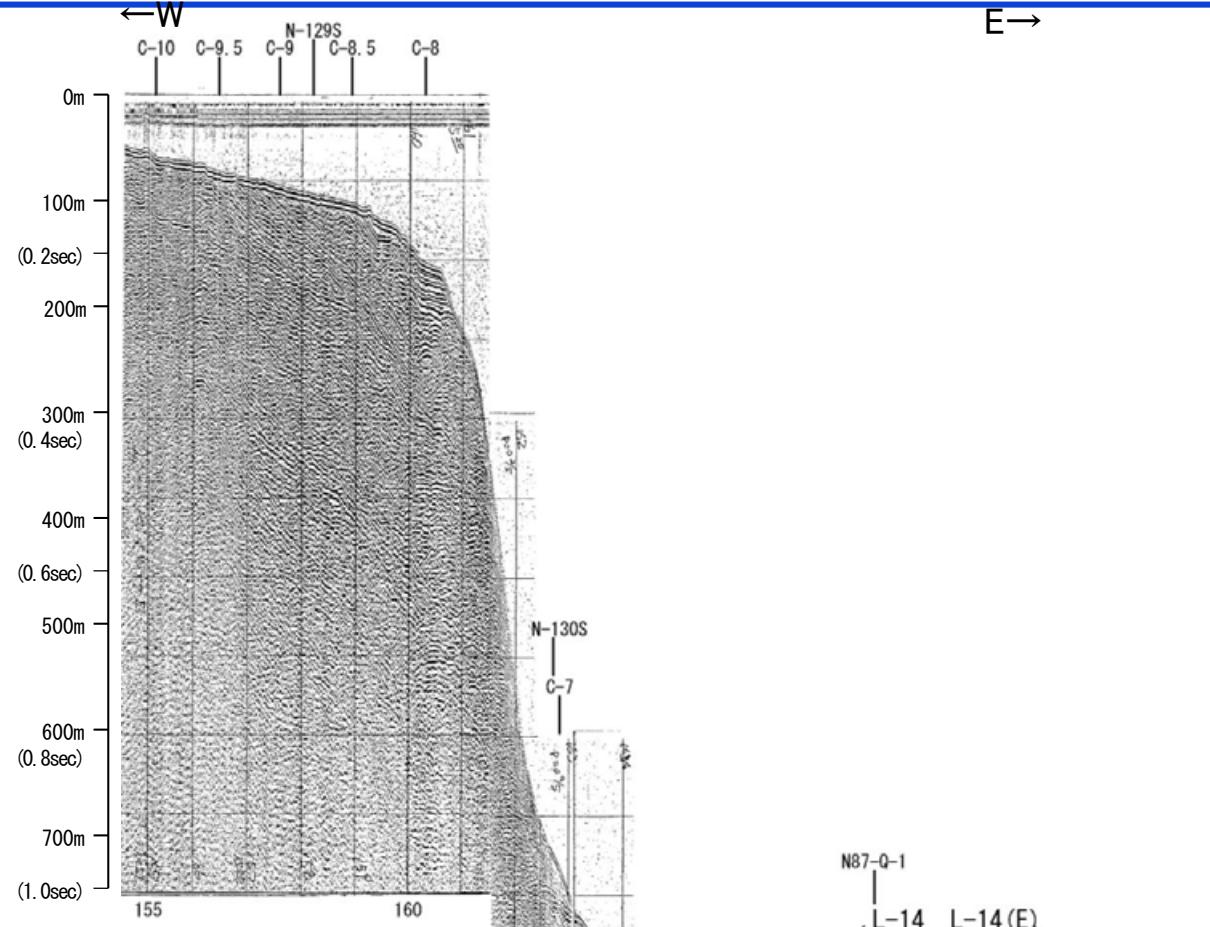


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

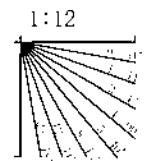
# 海上保安庁スパーカー L-15



# 海上保安庁スパーカー L-14

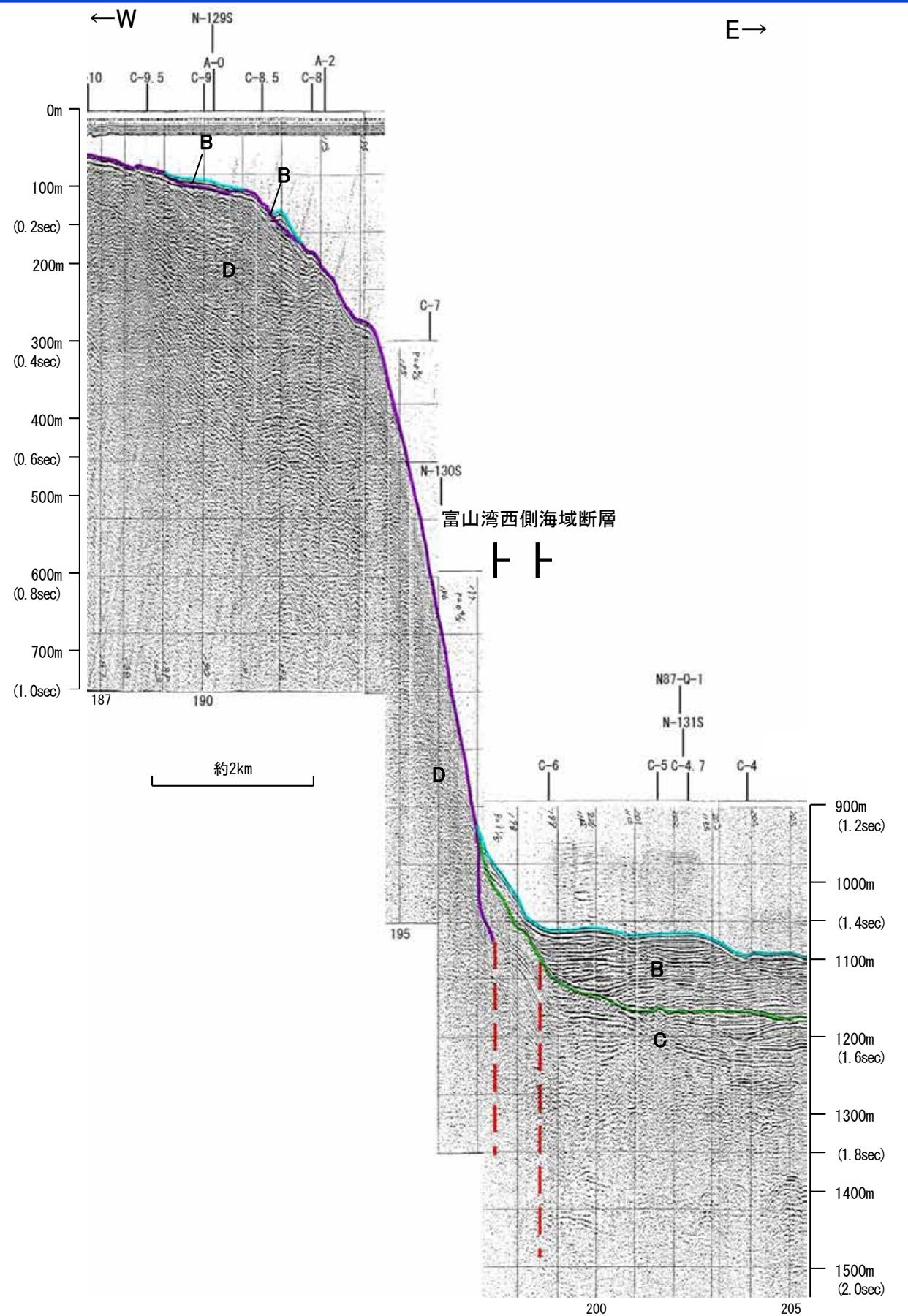
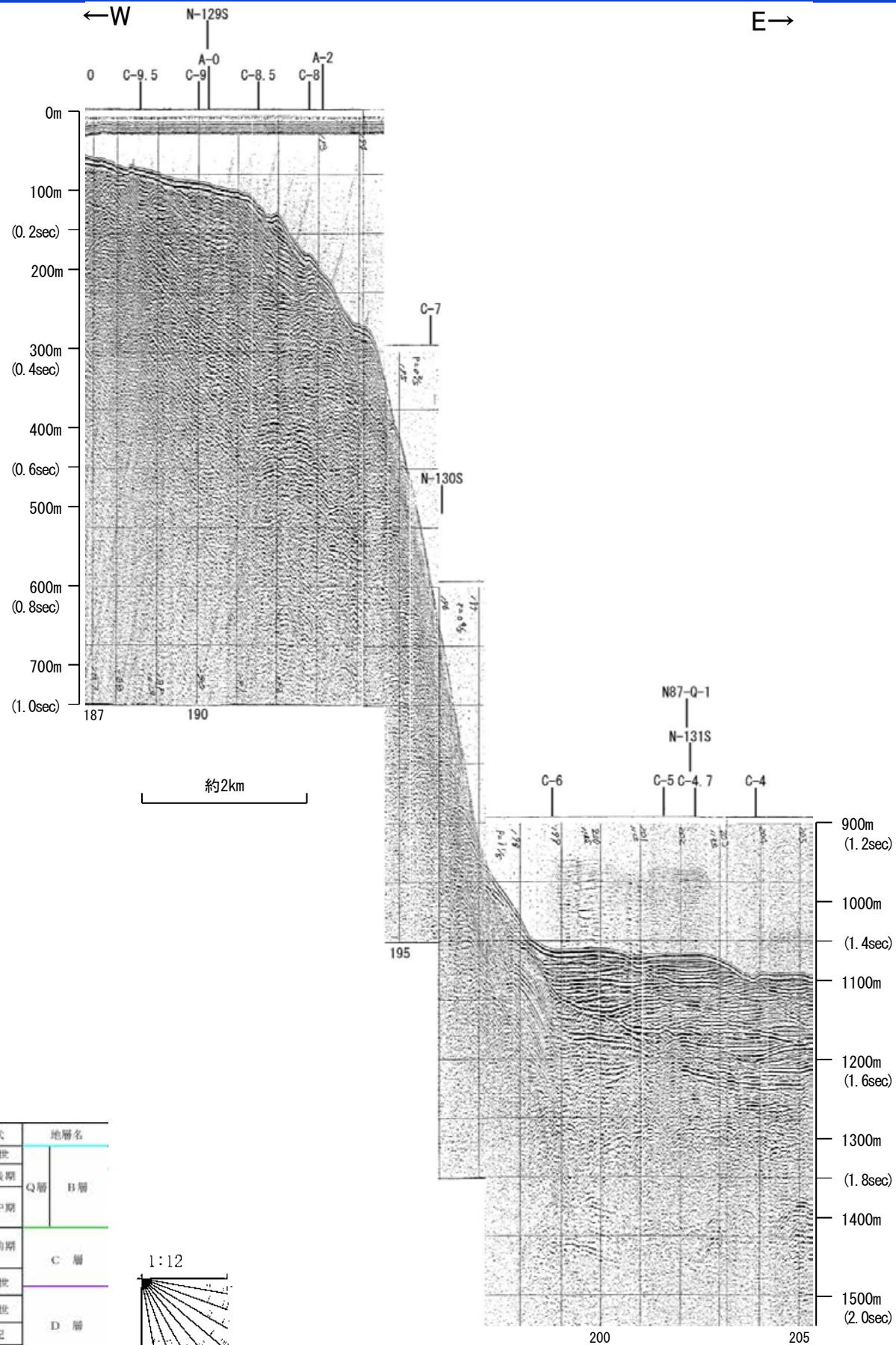


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 B層
	後期	
	更新世	中期
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



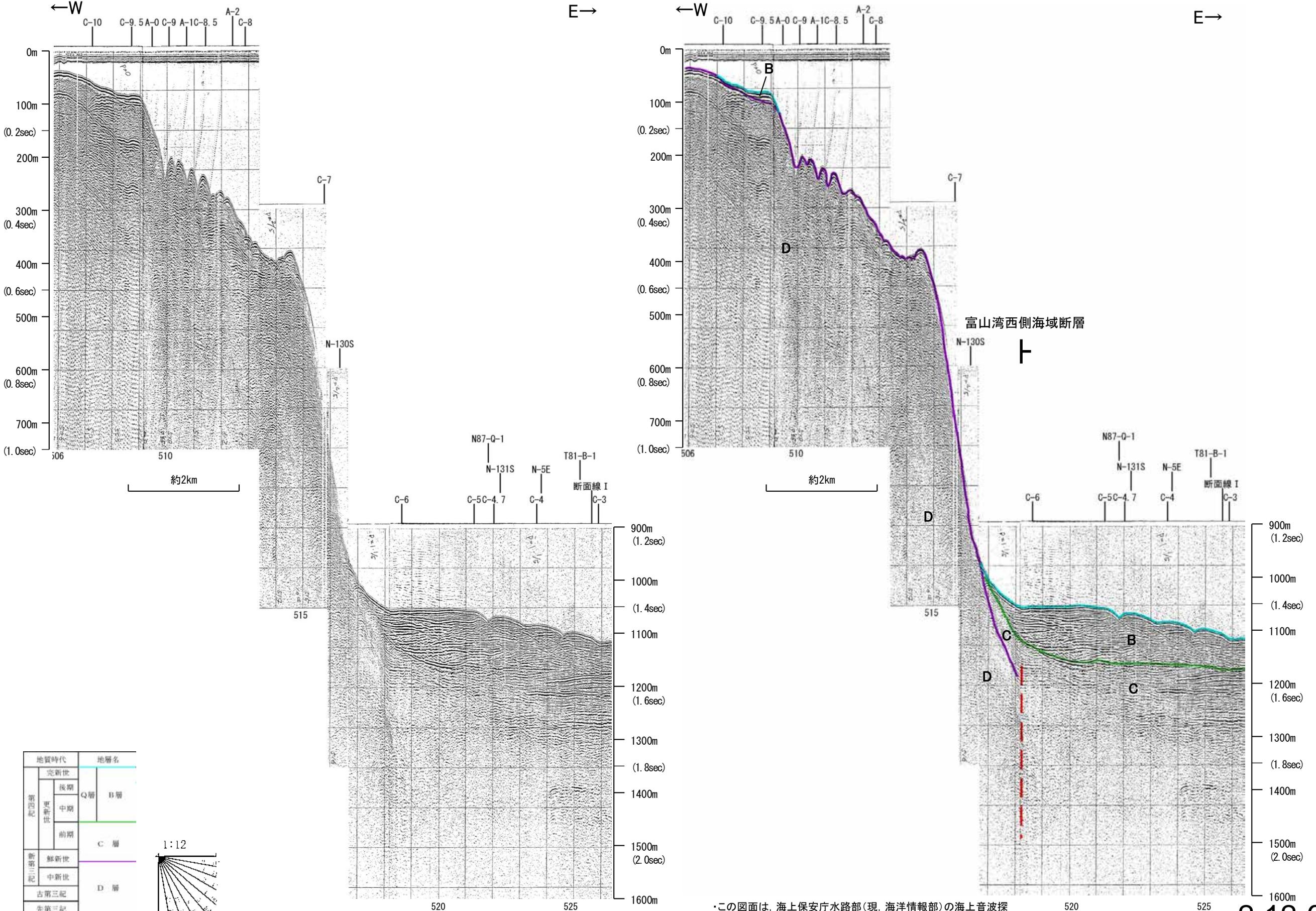
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-13



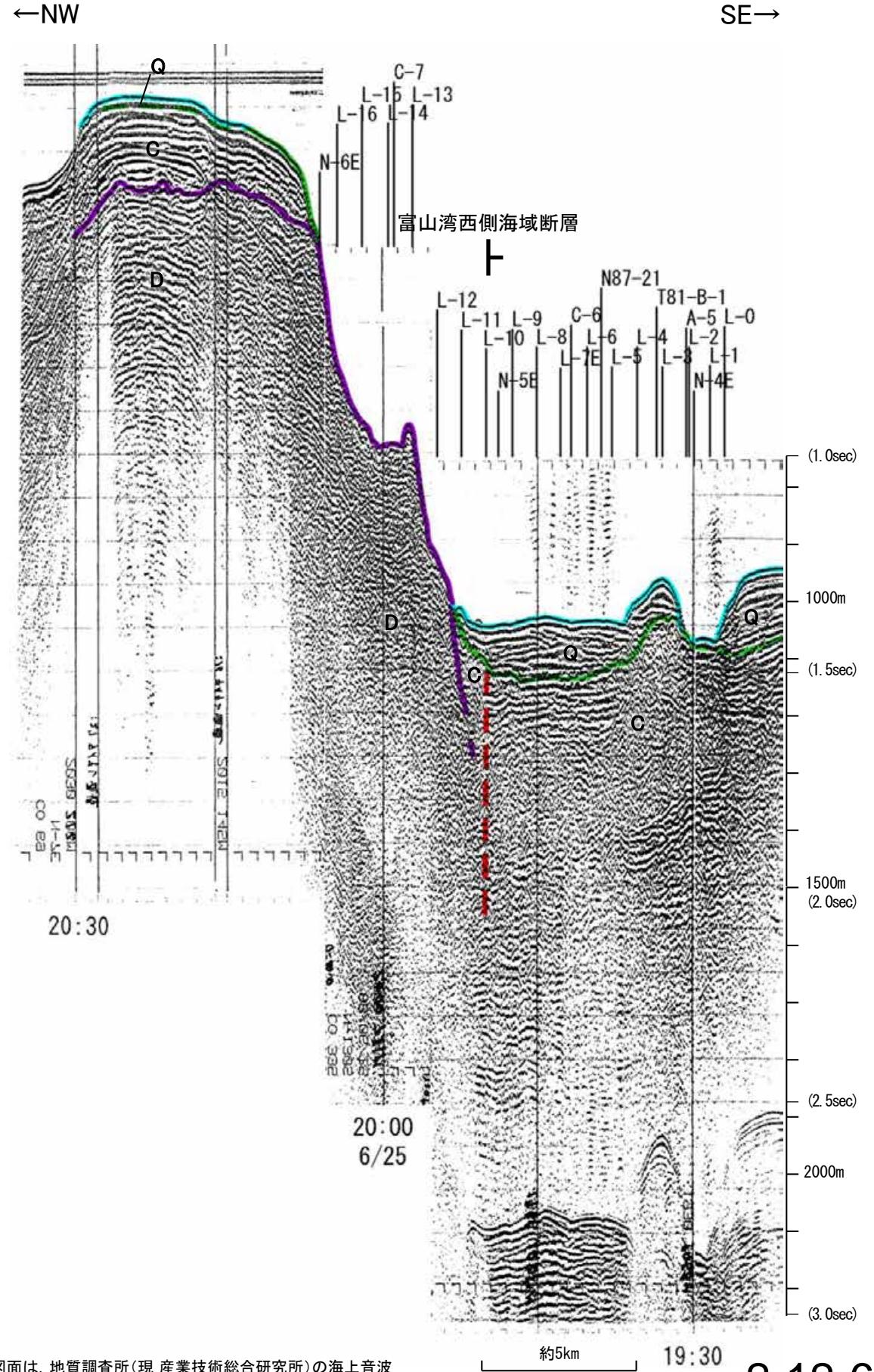
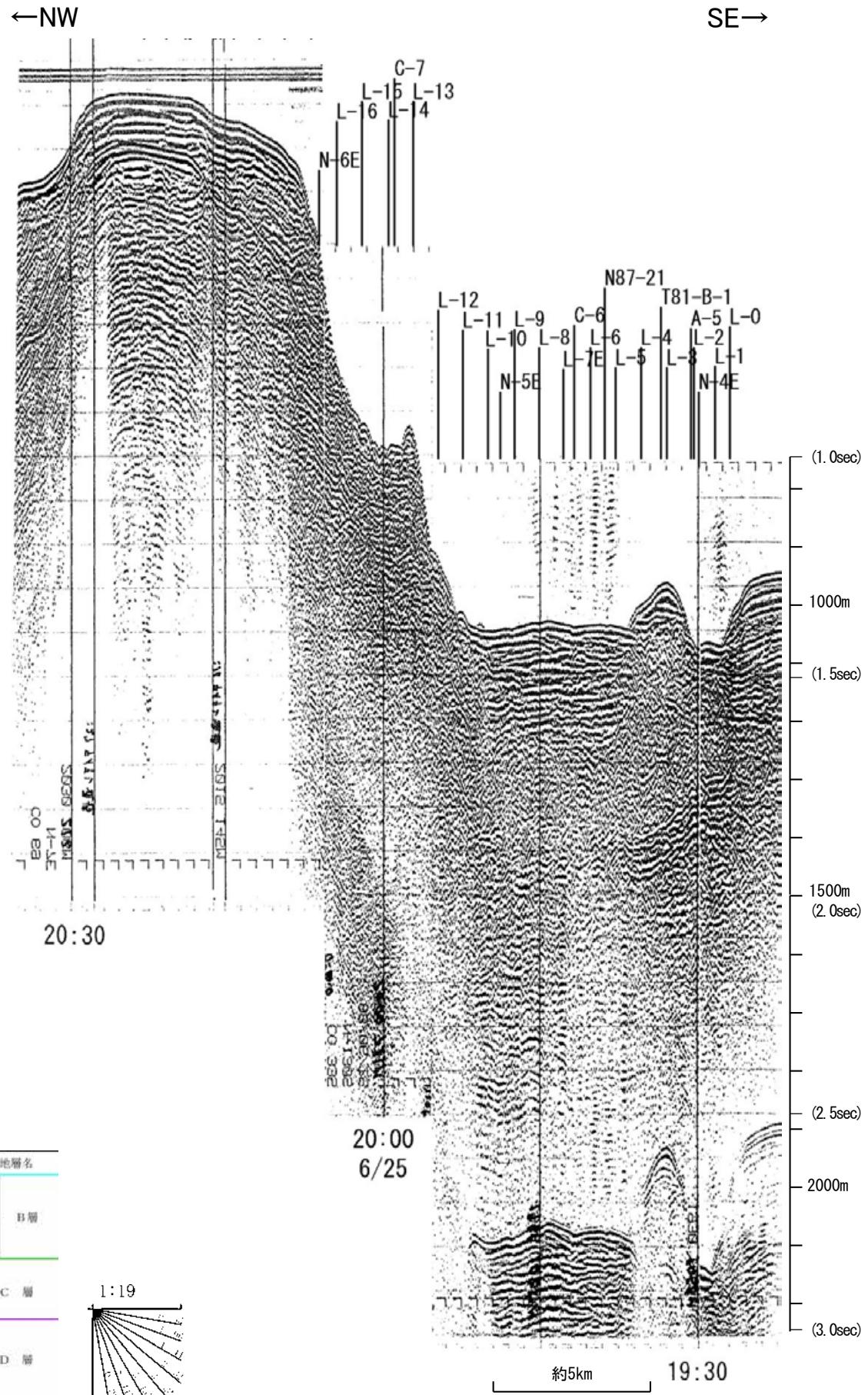
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-12

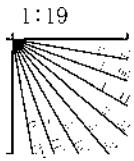


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-130S

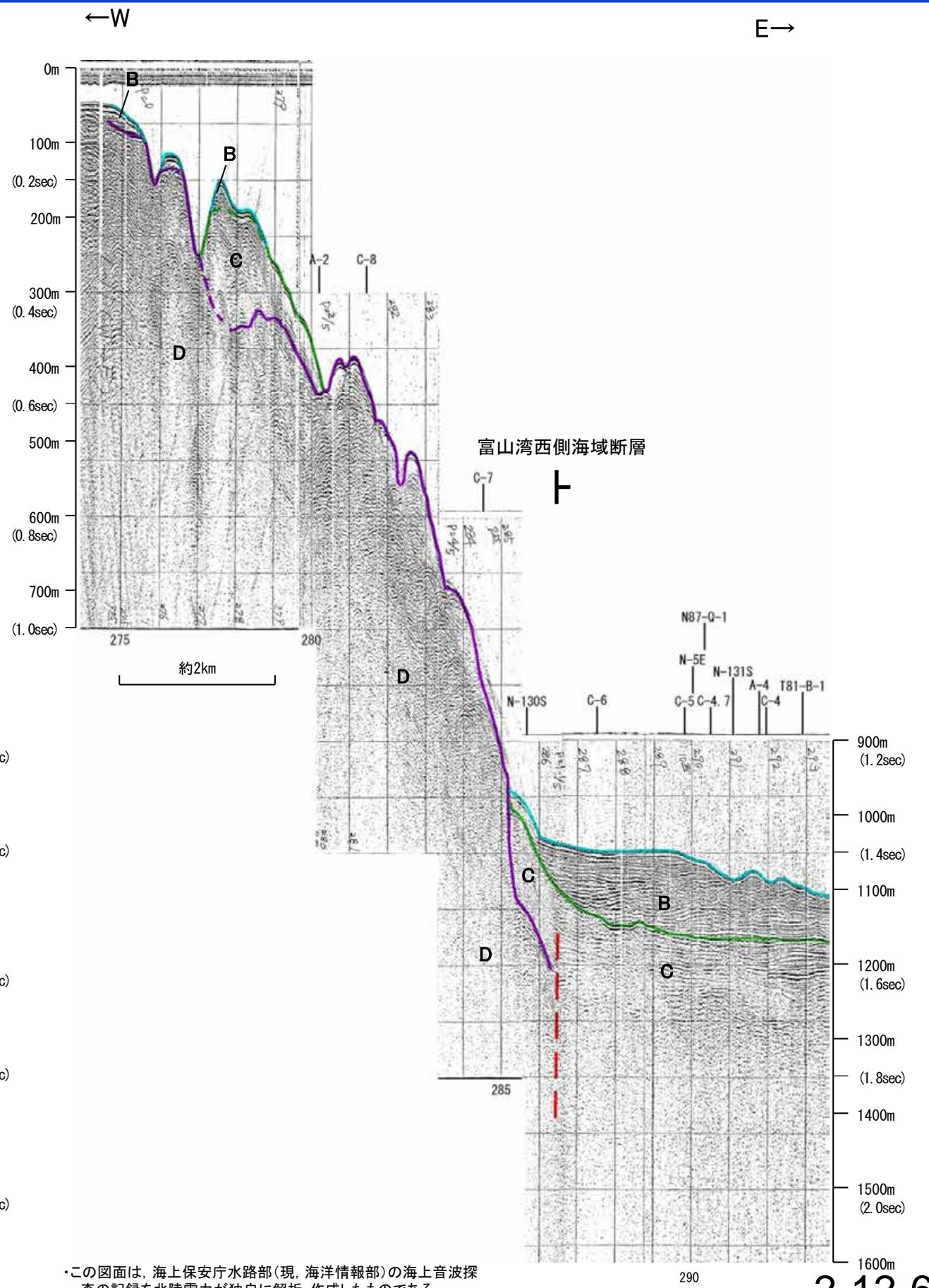
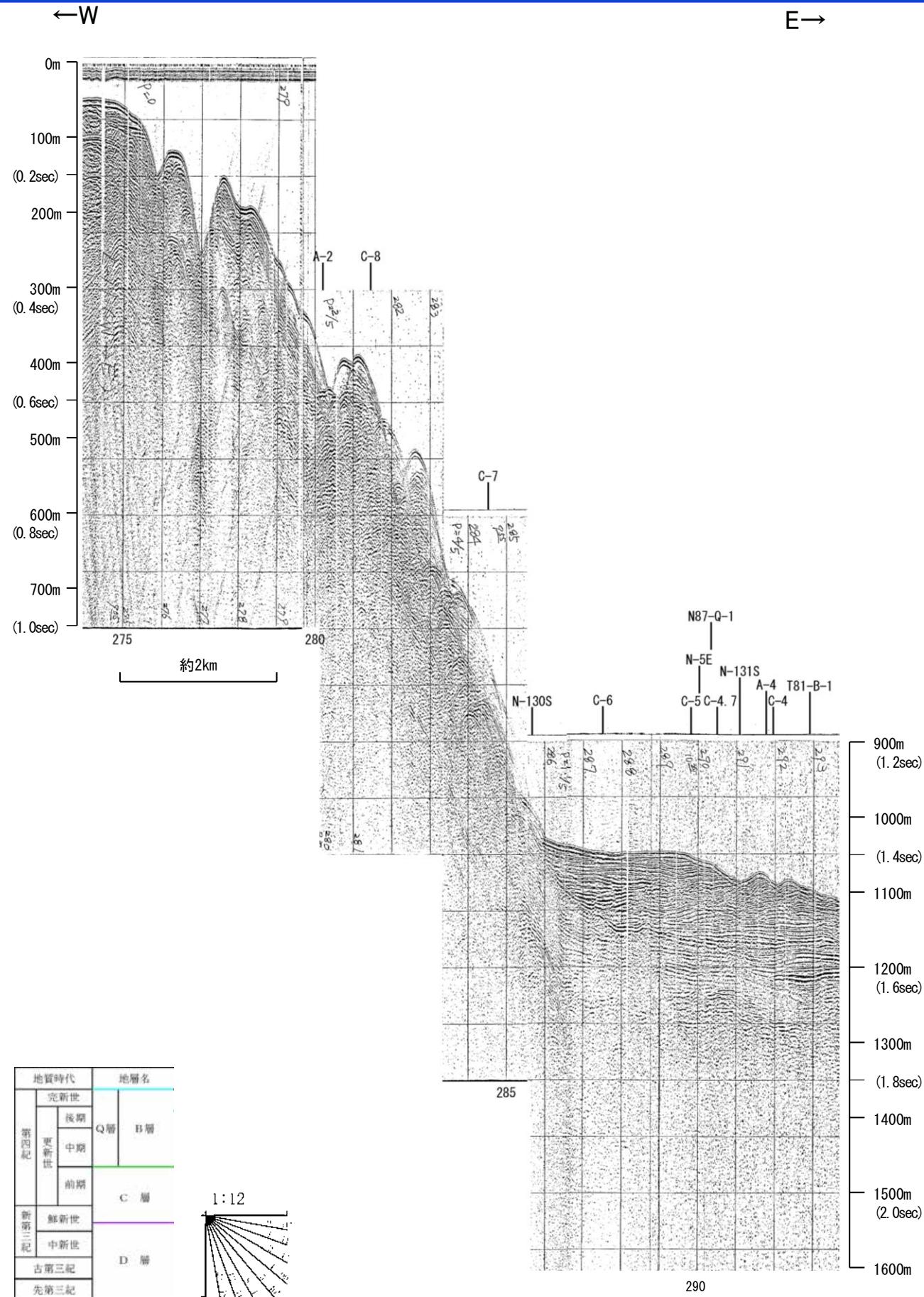


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	C層
	新第三紀	中新世	D層
	古第三紀		
	先第三紀		



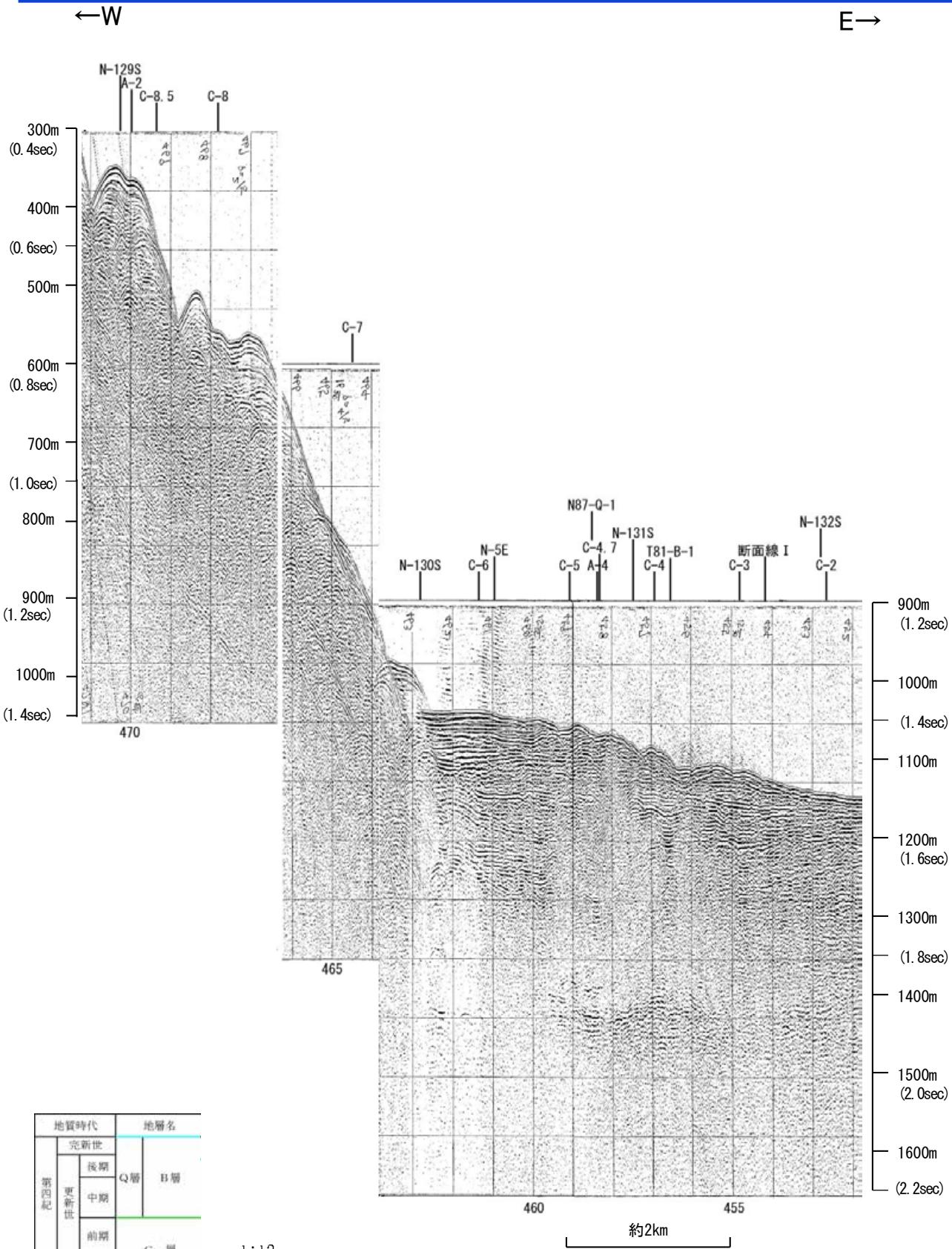
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-11

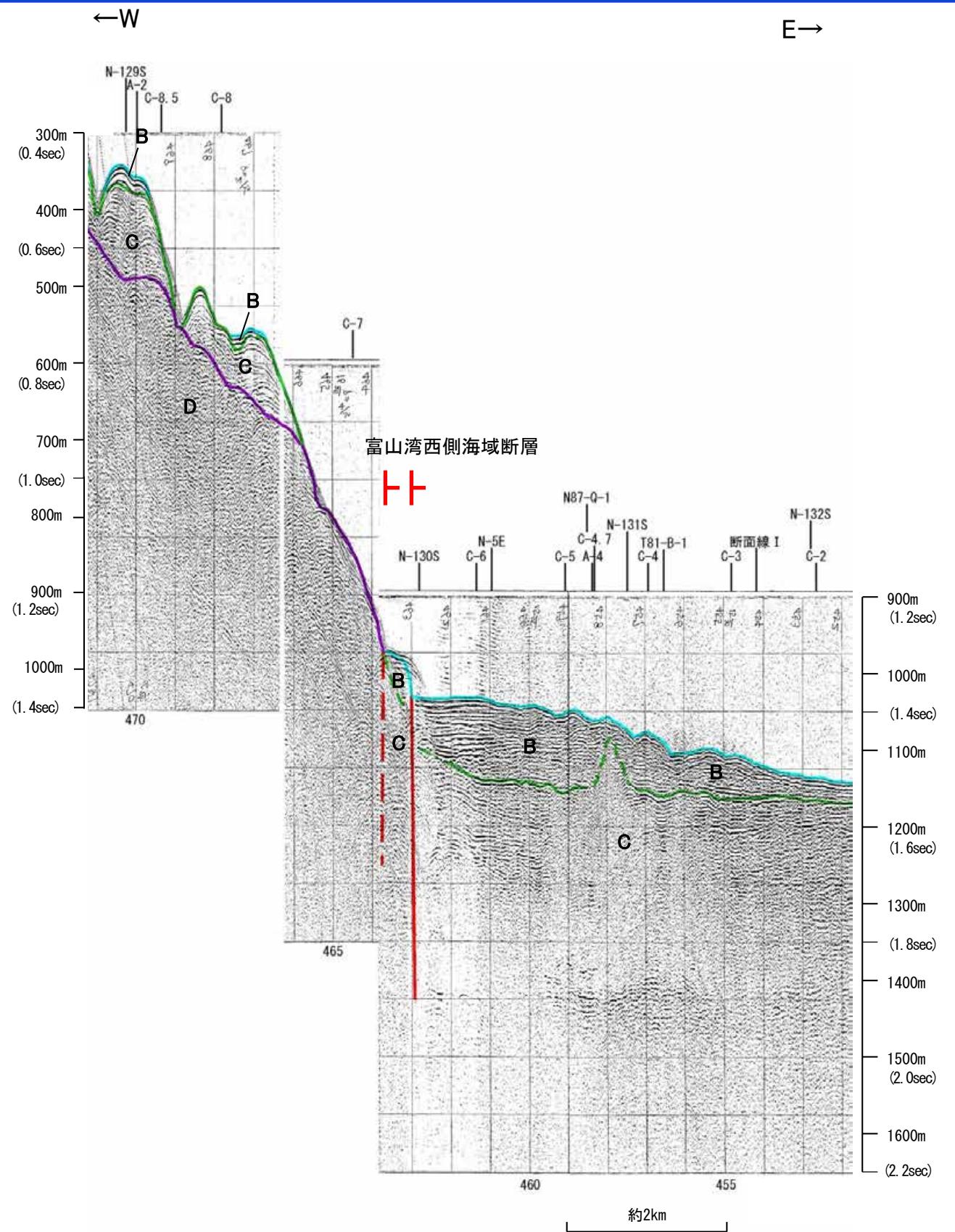
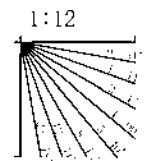


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-10

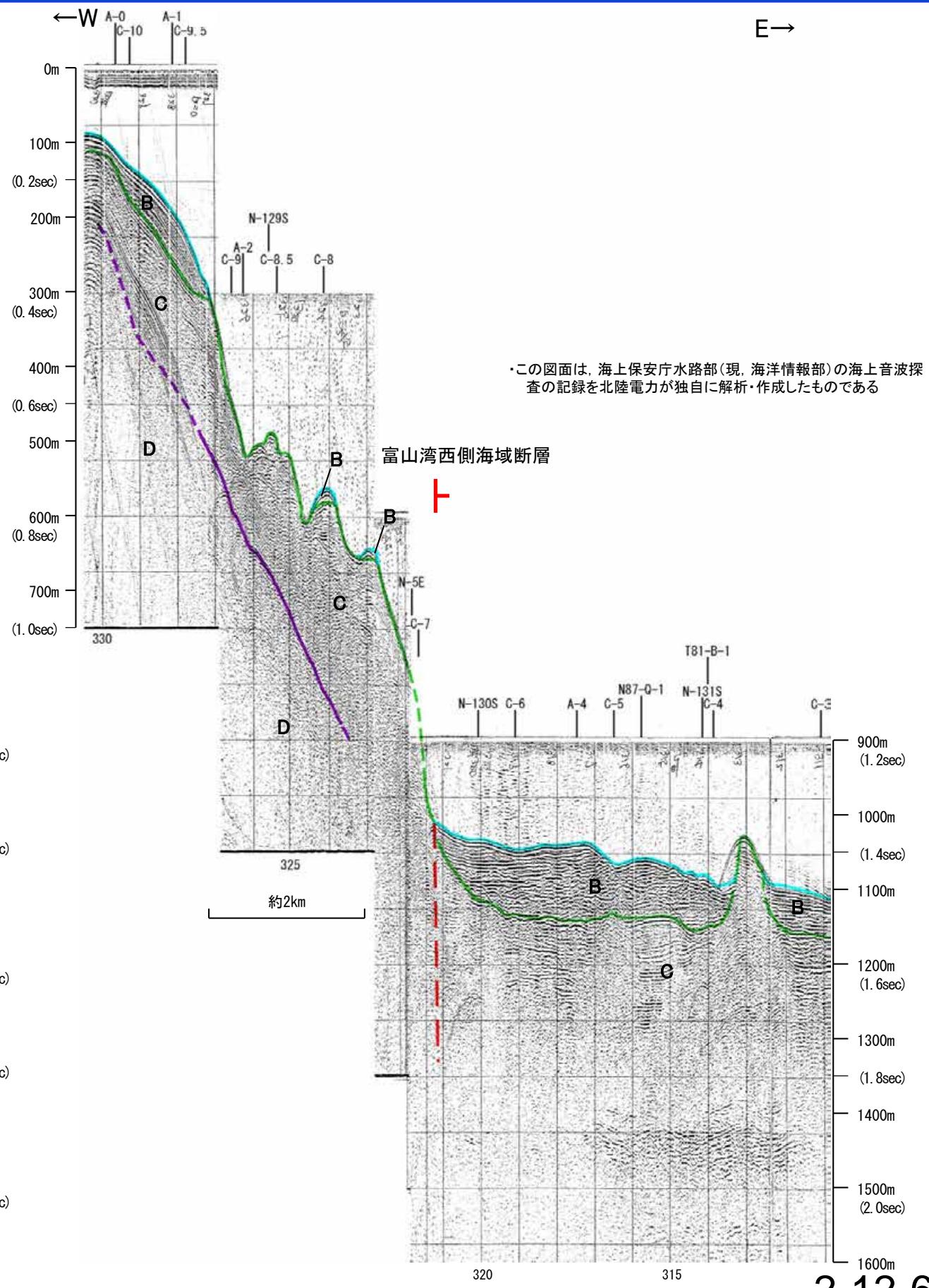
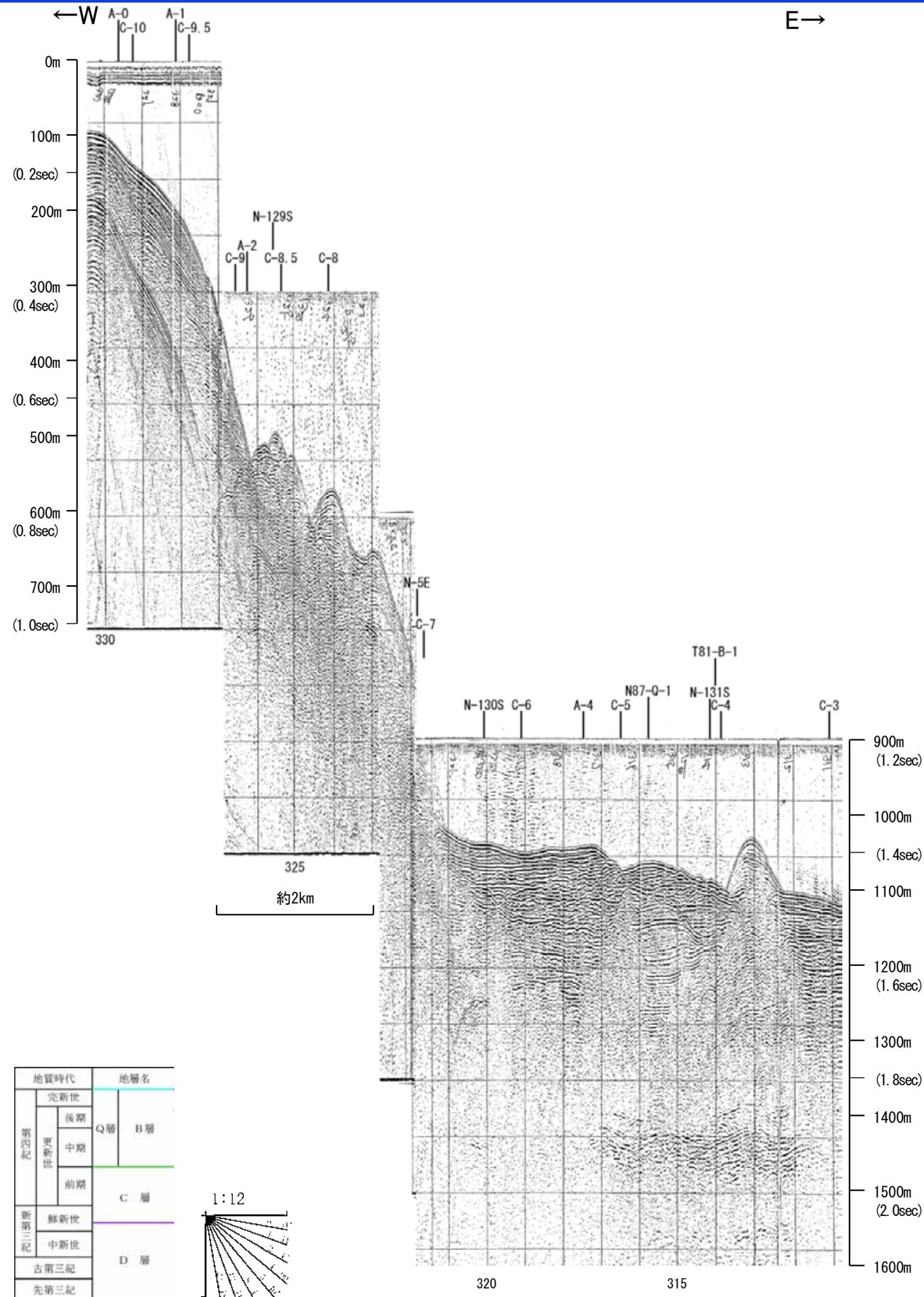


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
第三紀	新第三紀		
	中新世		
古第三紀			
			D層
先第三紀			



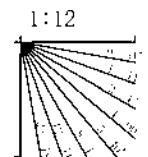
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-9

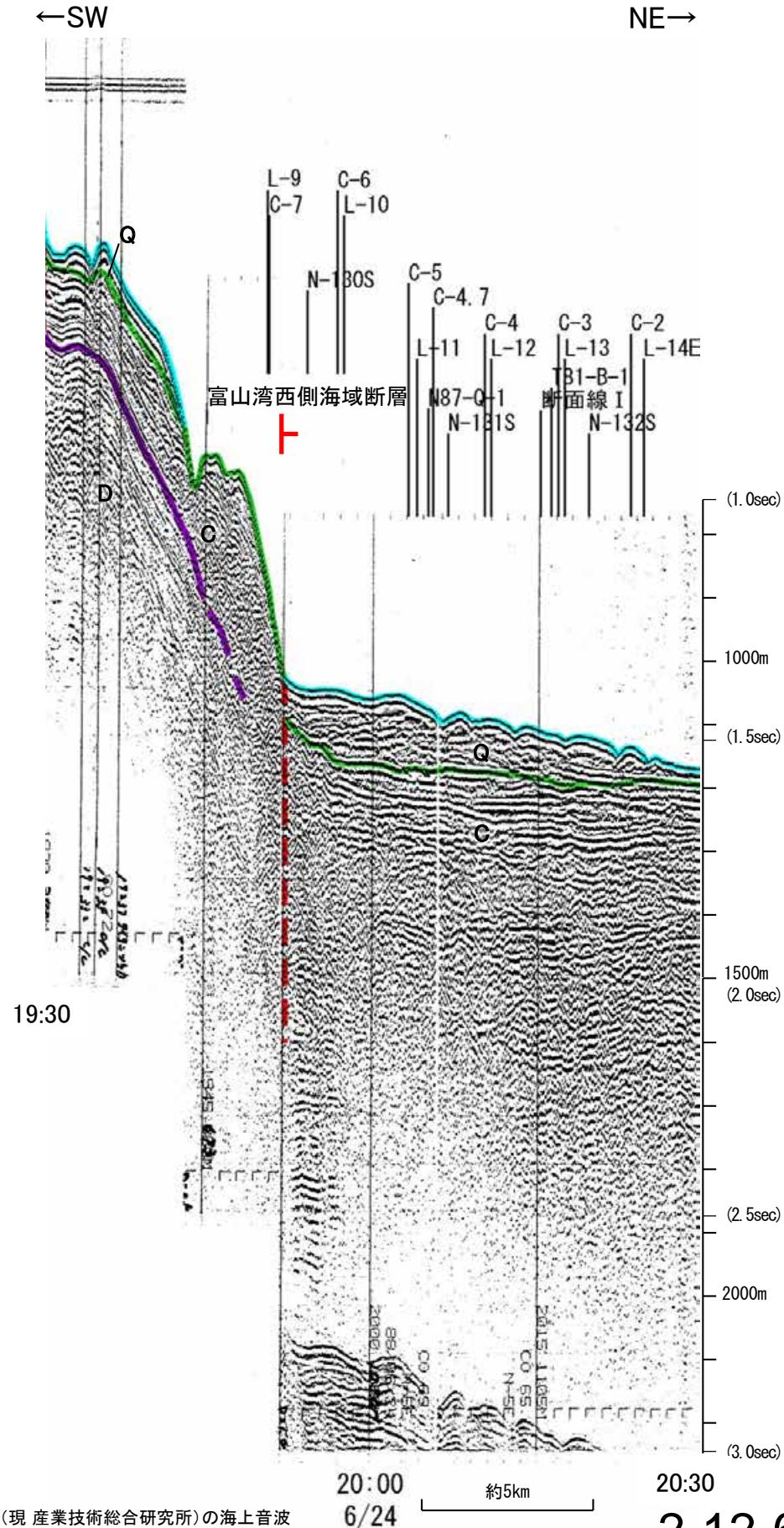
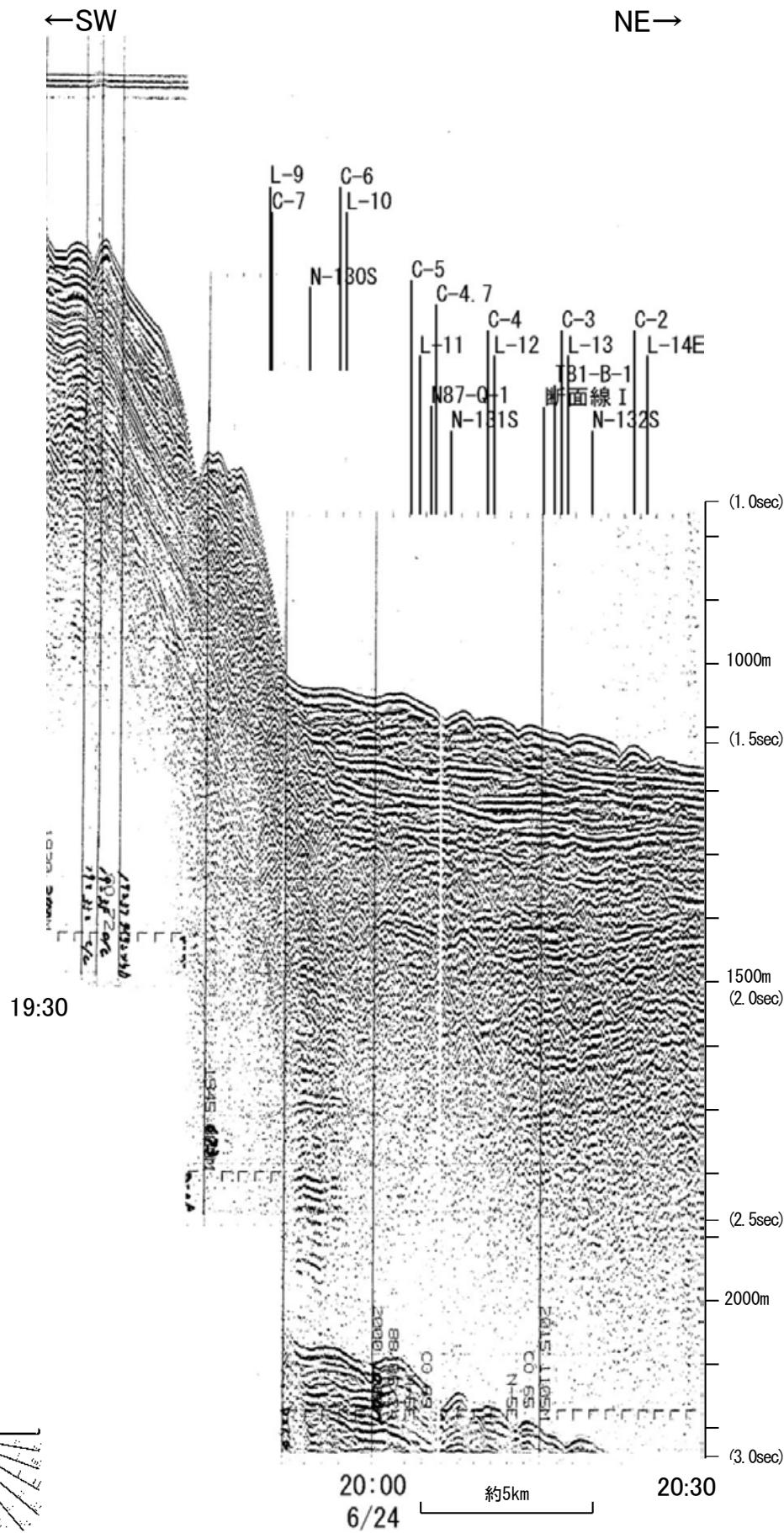


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

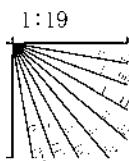
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



# 地質調査所エアガン N-5E



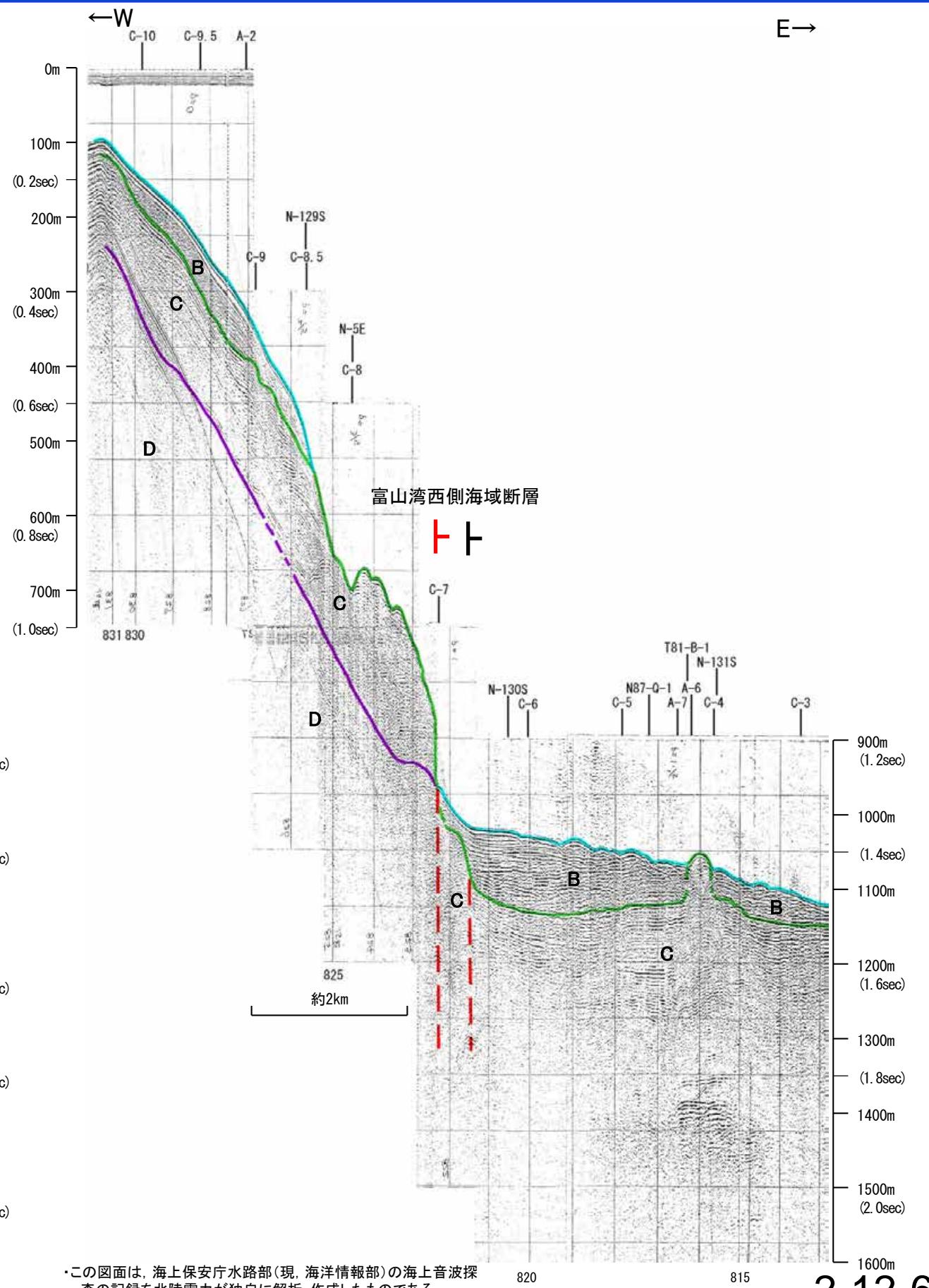
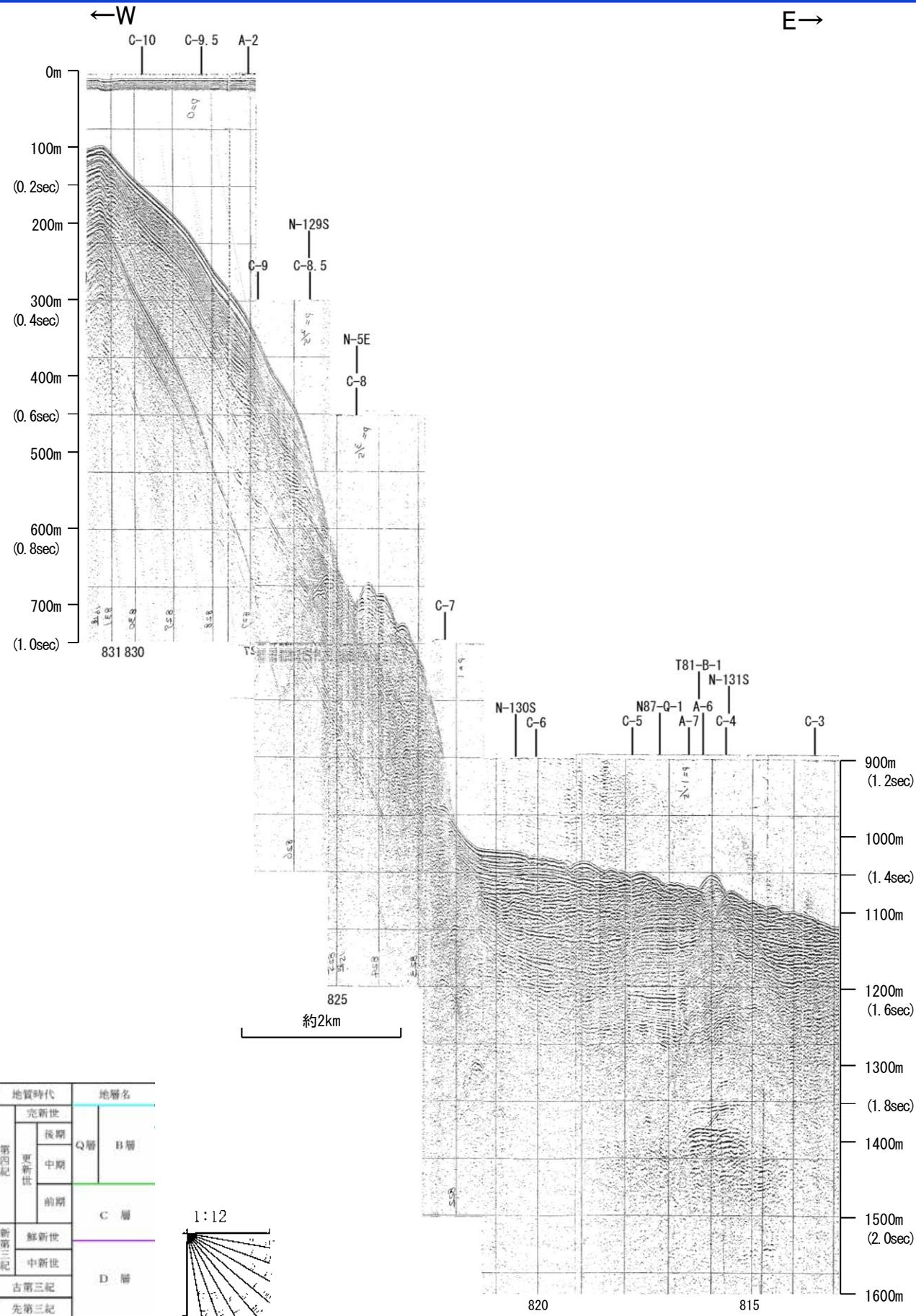
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
第三紀	前期	C層	
	鮮新世	D層	
中新世			
古第三紀			
先第三紀			



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

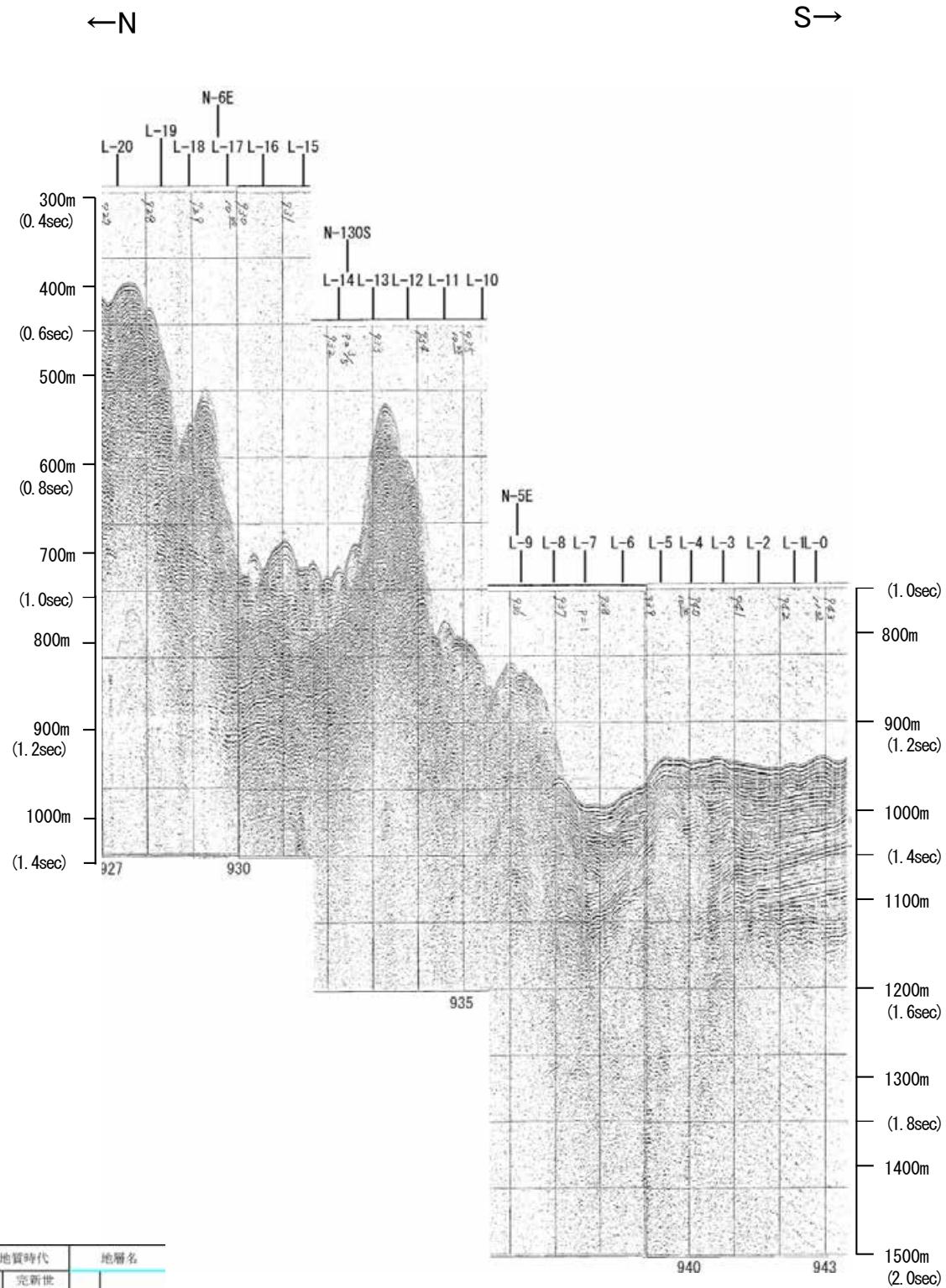
2-12-66

# 海上保安庁スパーカー L-8

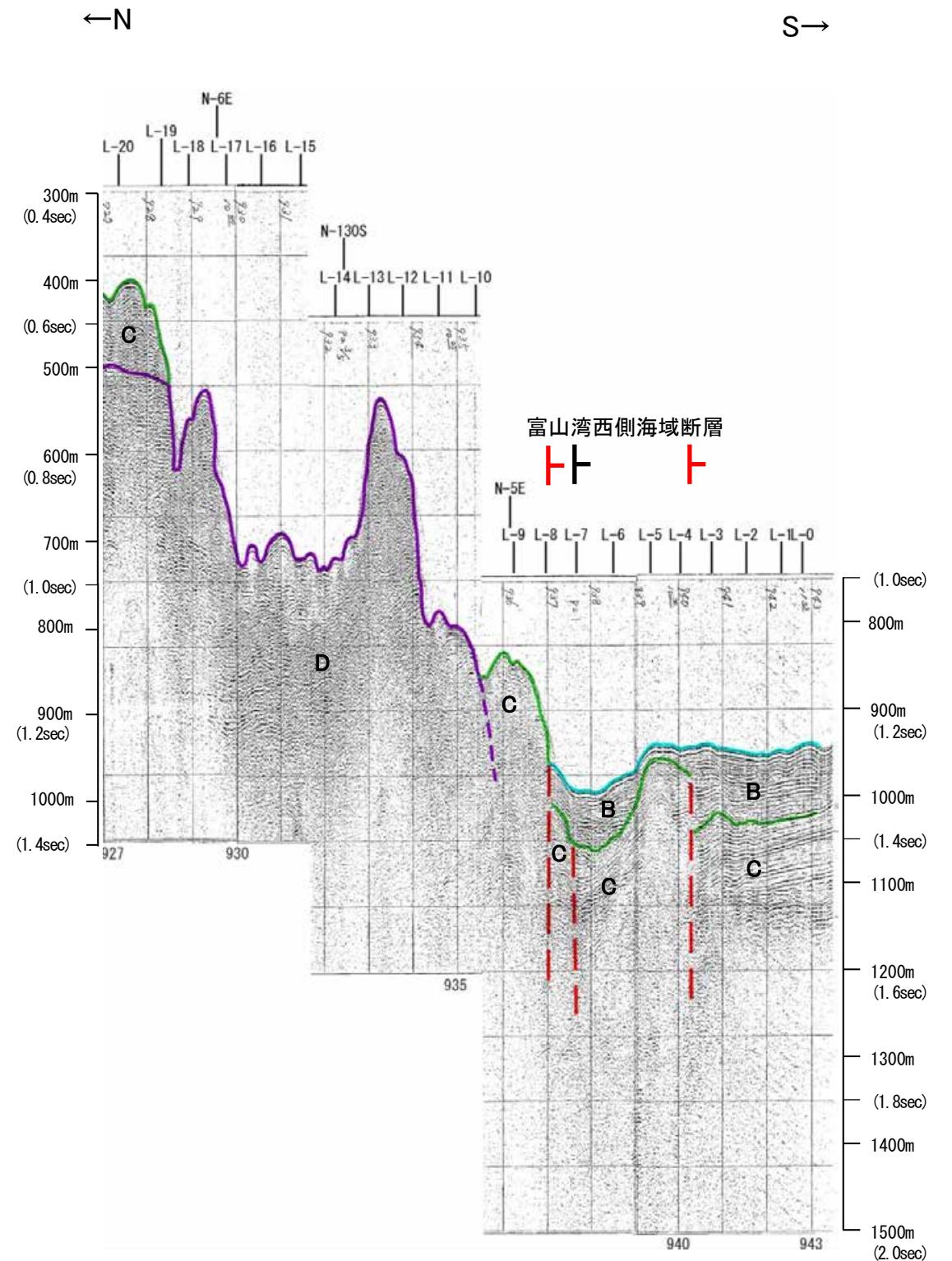
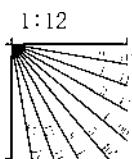


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー C-7

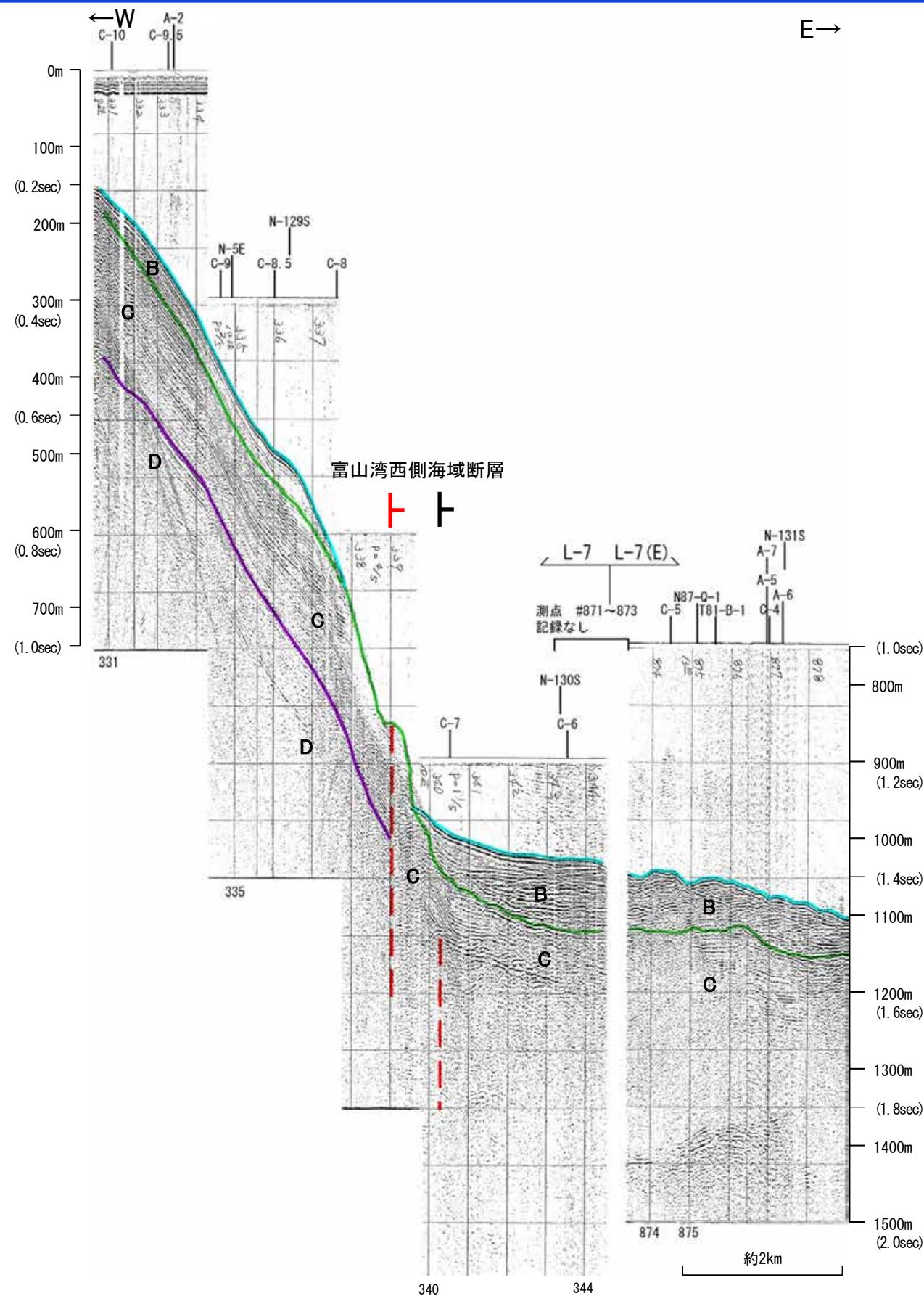
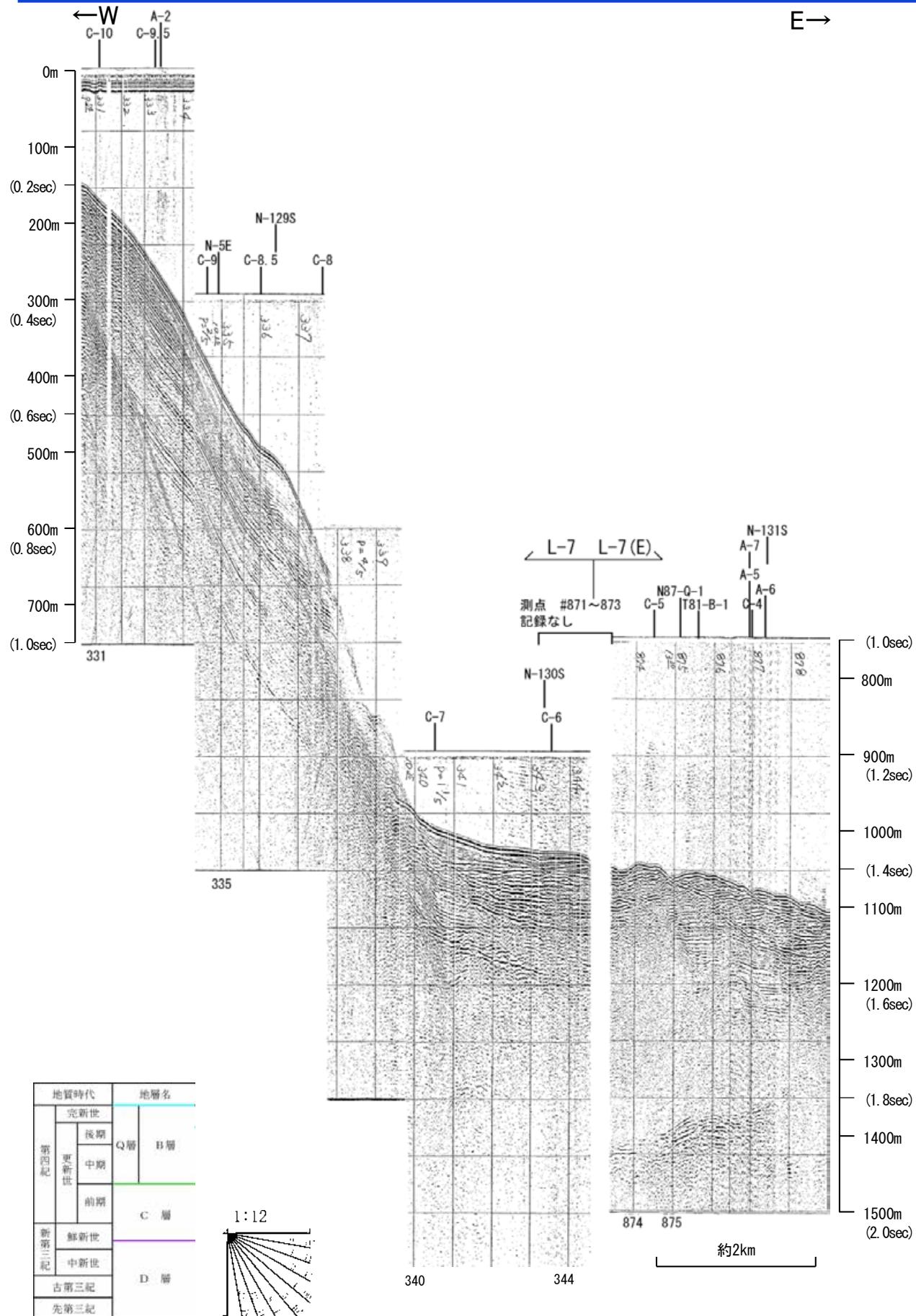


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層
		中期	B層
		前期	C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀		D層
先第三紀			



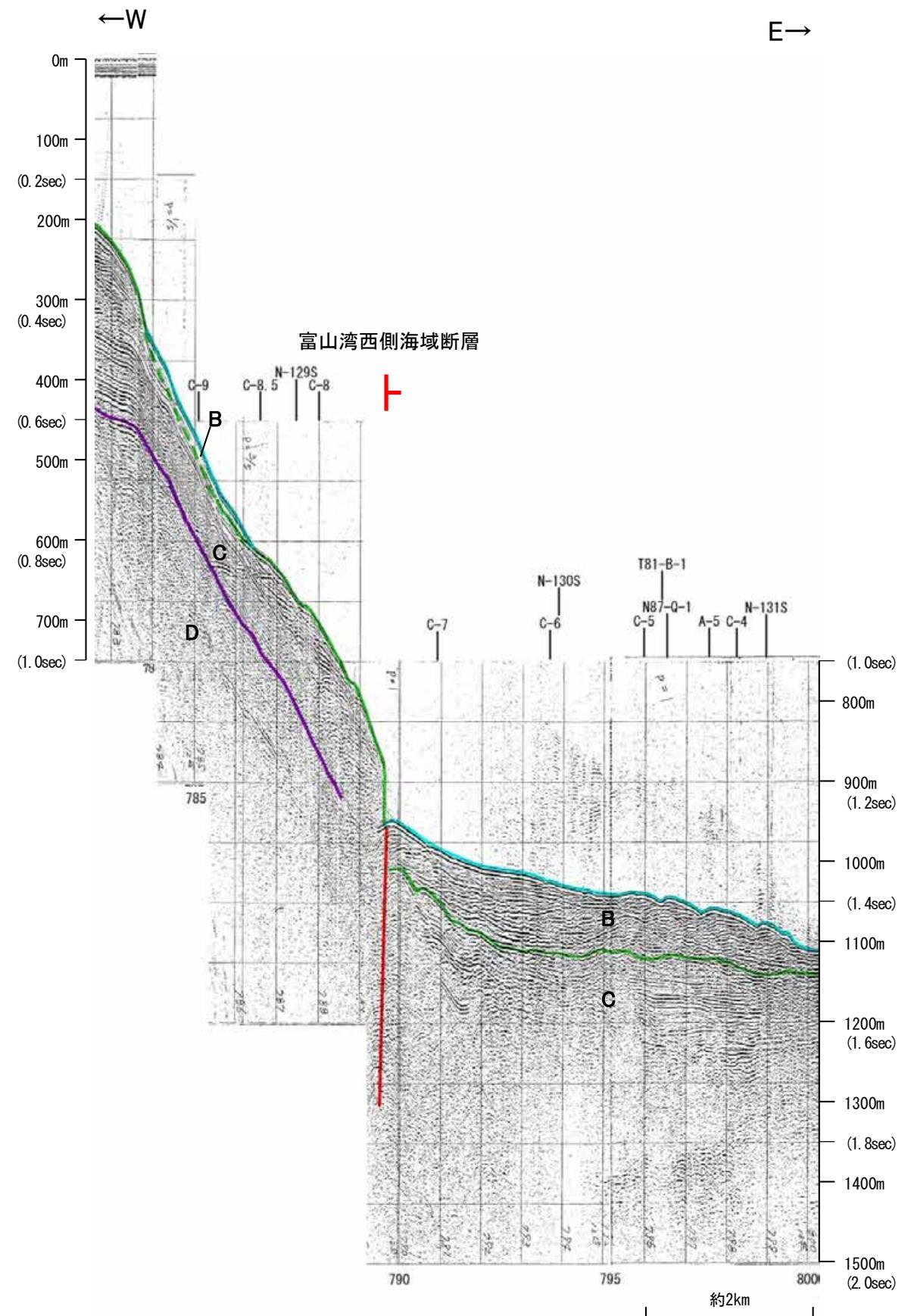
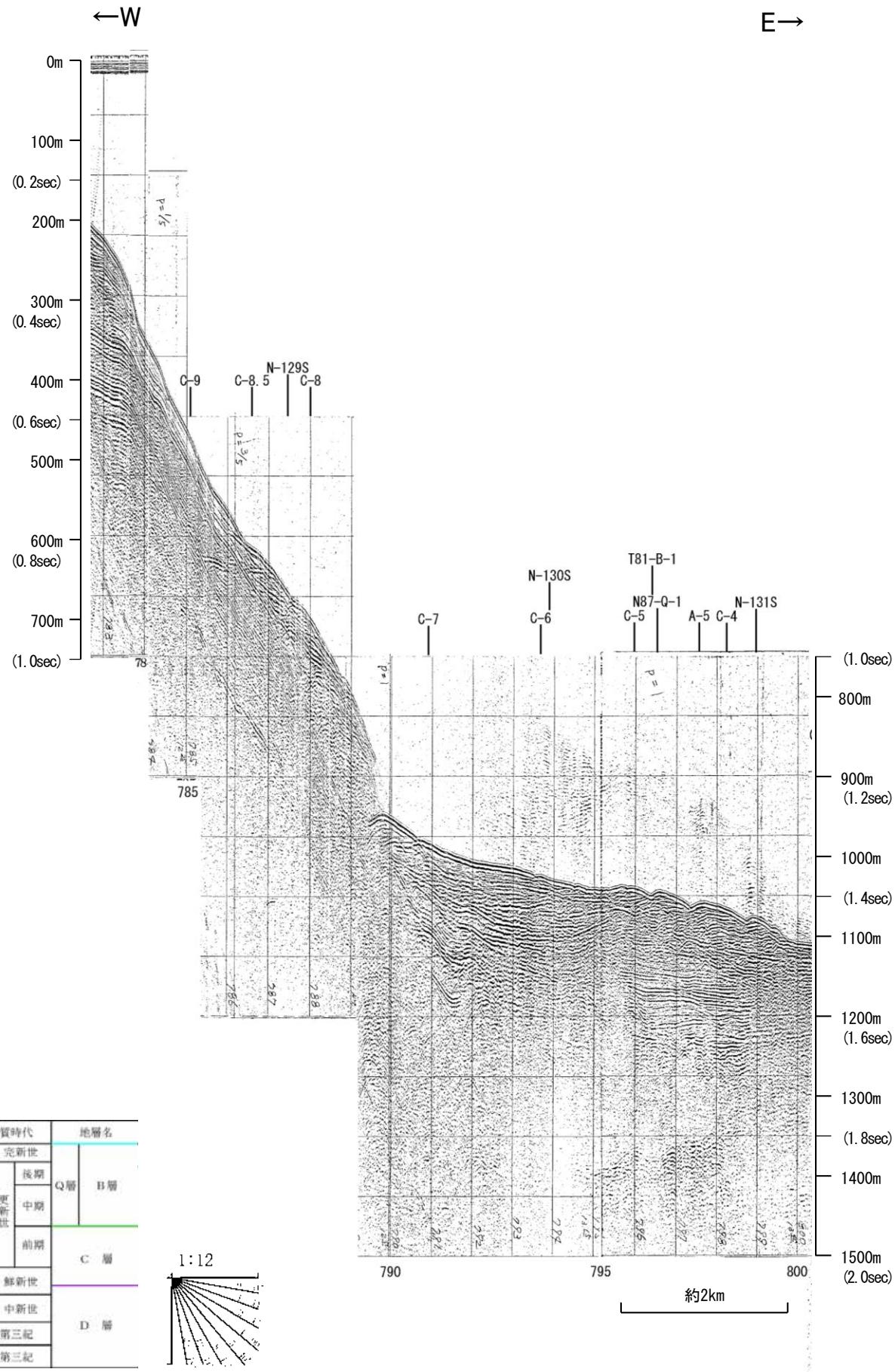
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-7



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

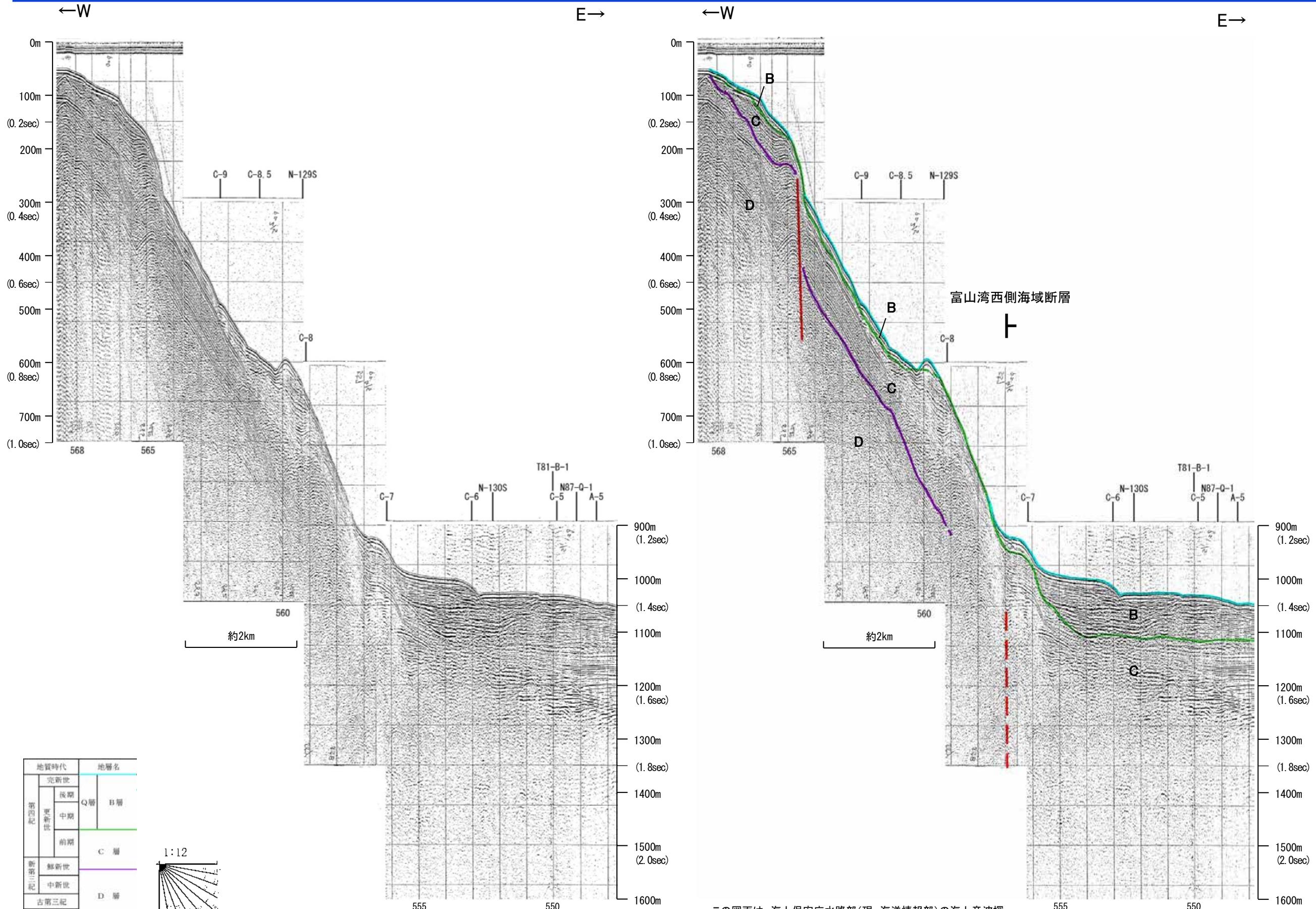
# 海上保安庁スパーカー L-6



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	B層
	後期	
	中期	C層
	前期	
第三紀	新新世	D層
	中新世	
	古第三紀	
先第三紀		

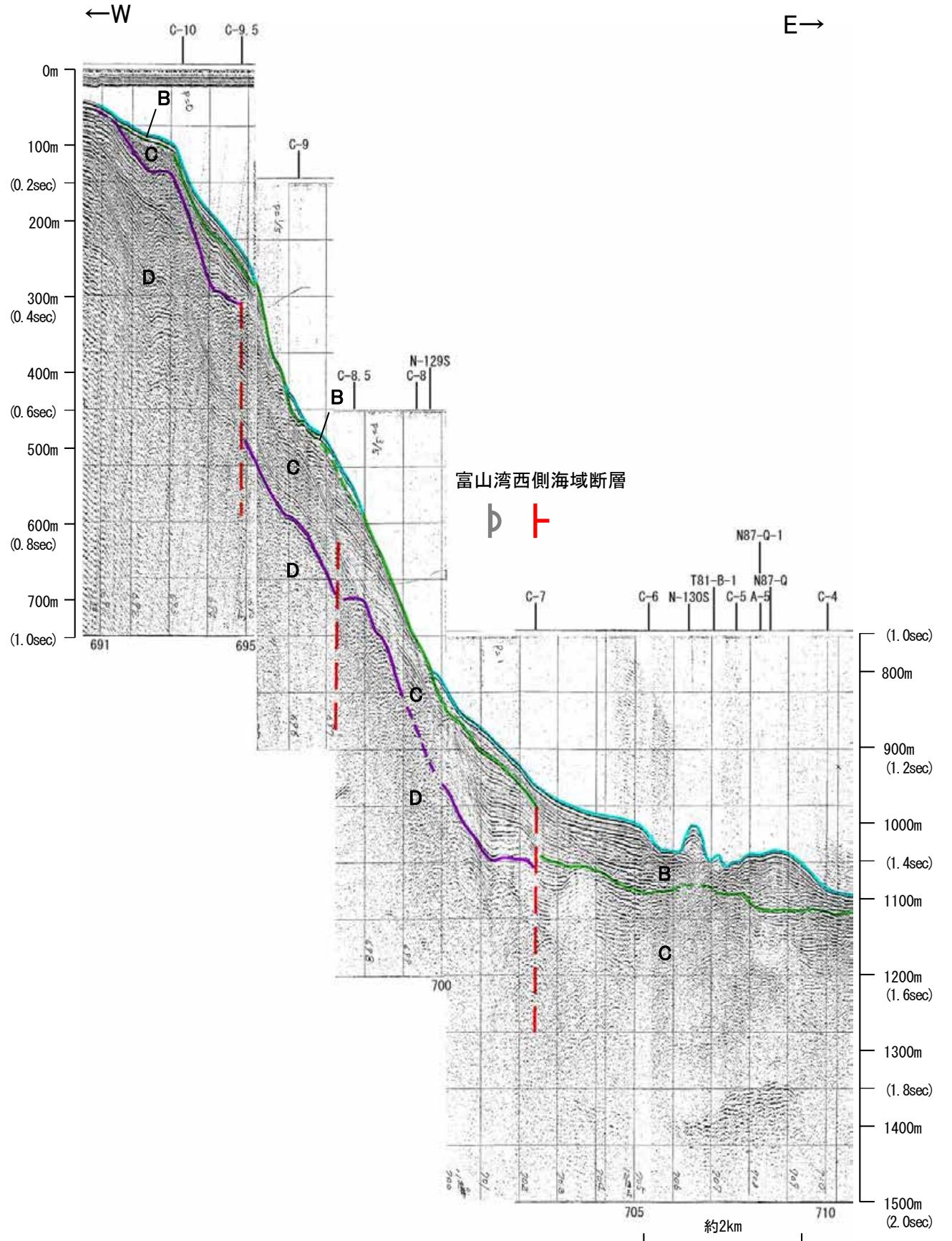
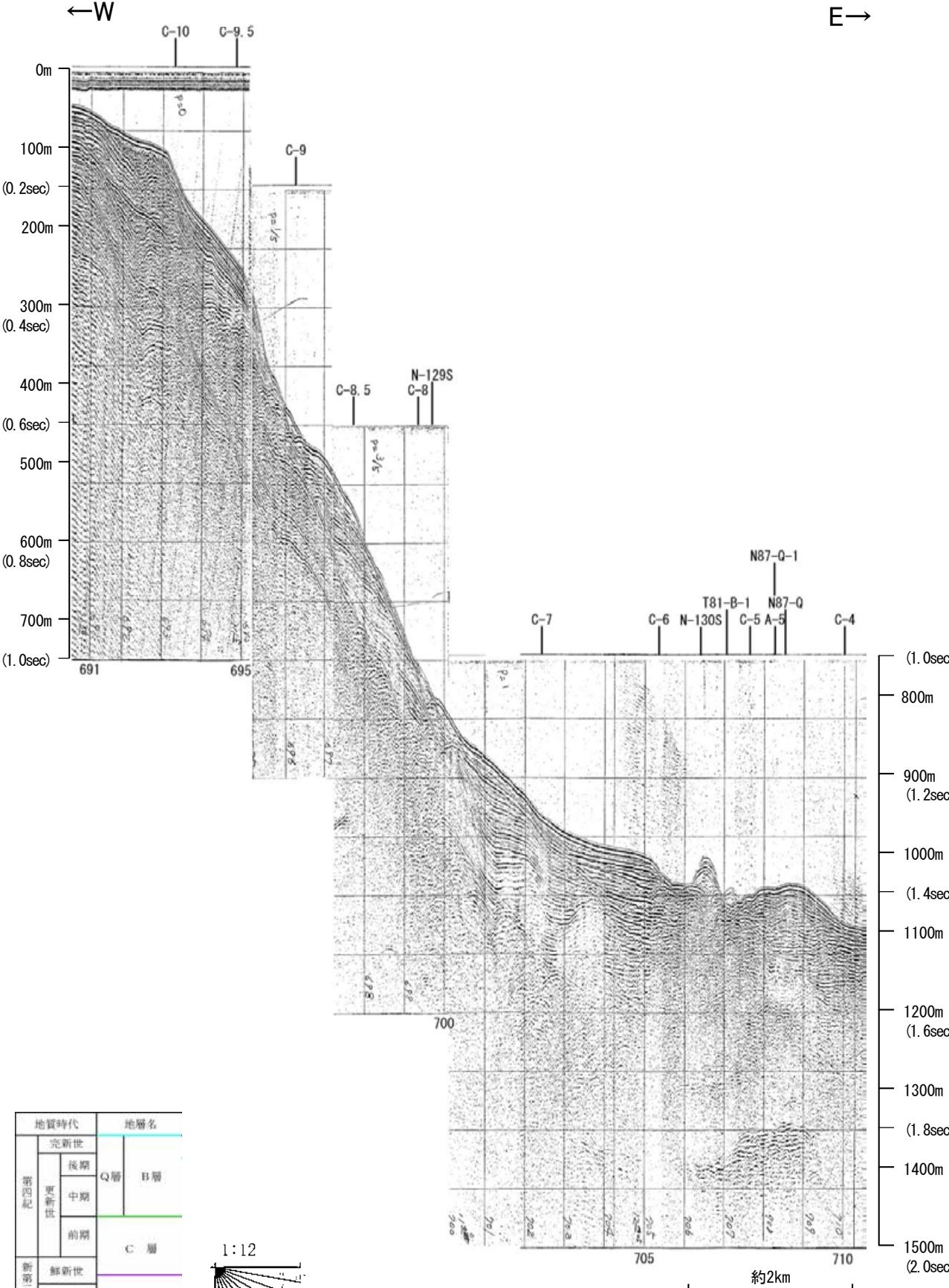
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-5

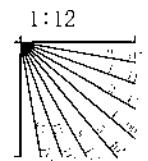


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-4

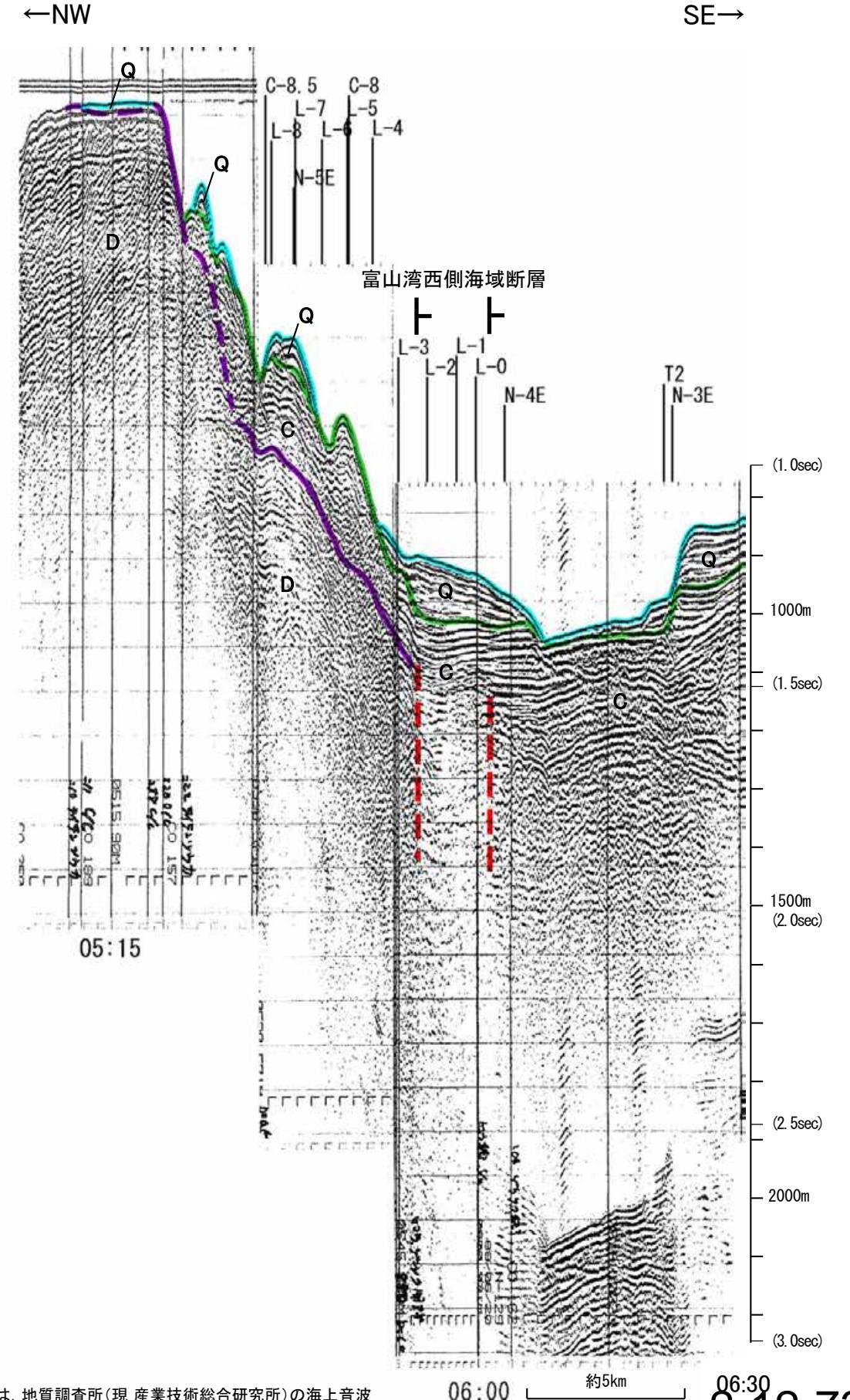
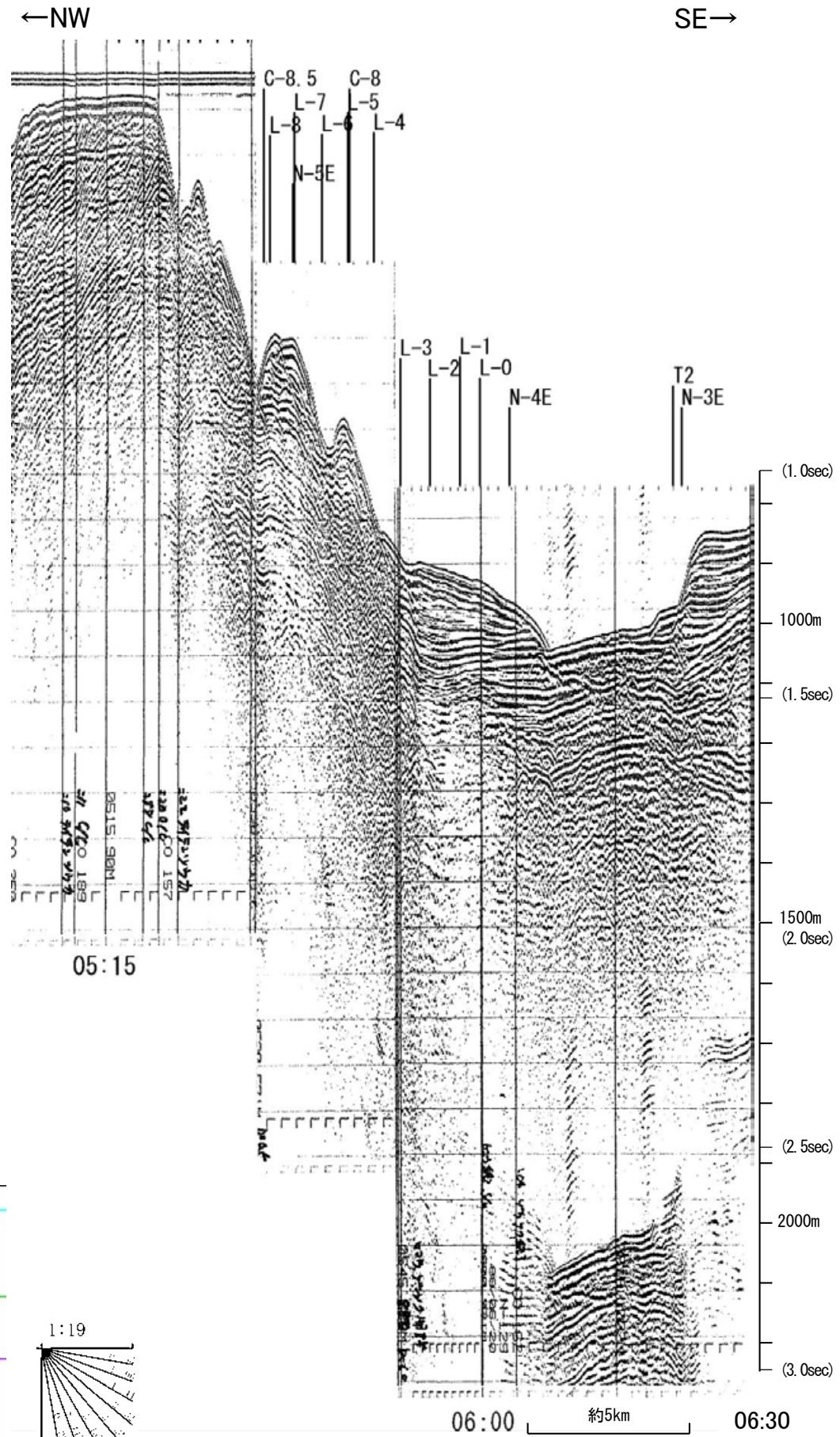


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期		C層
	鮮新世		
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			

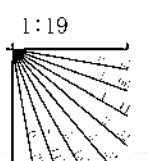


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-129S

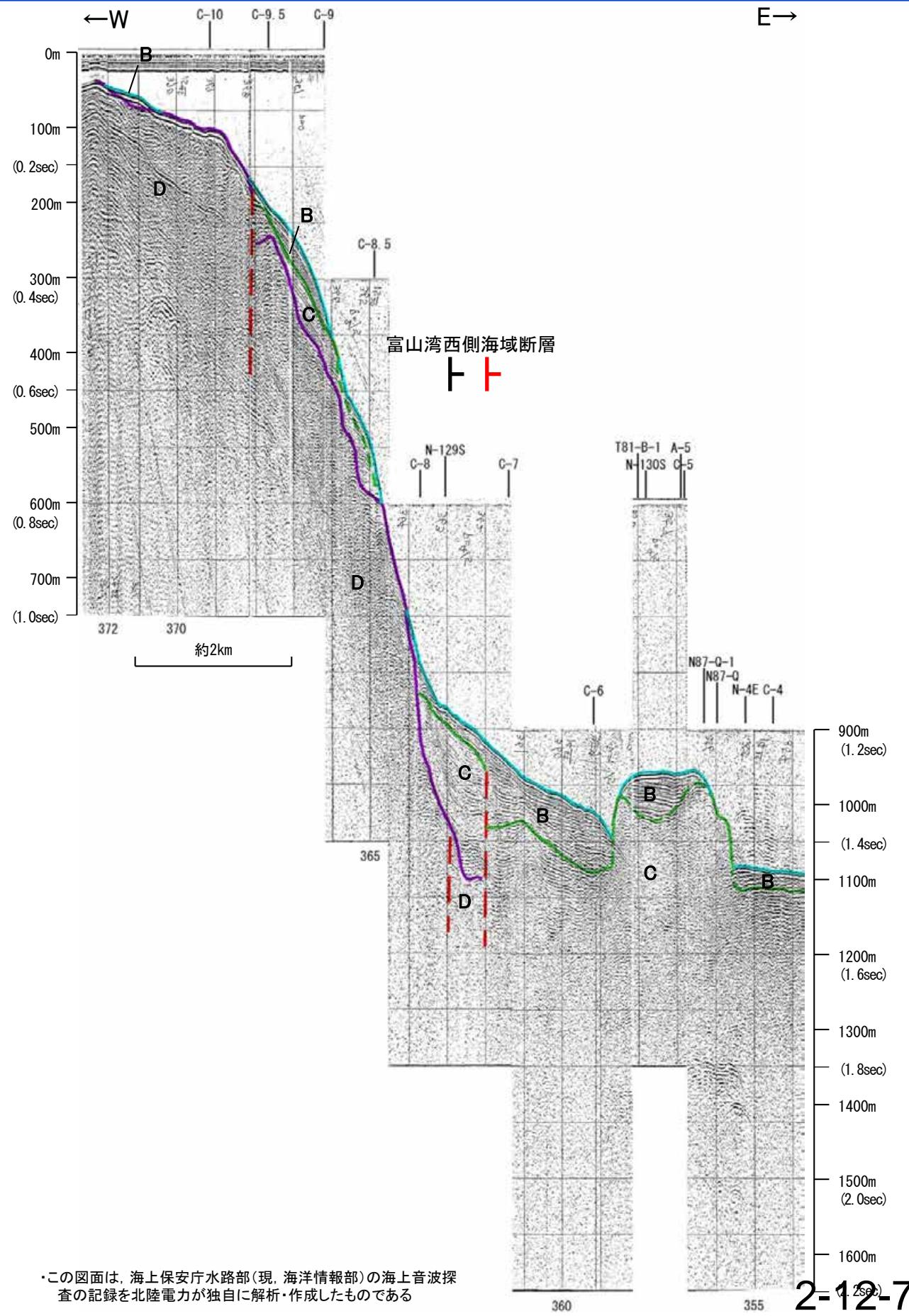
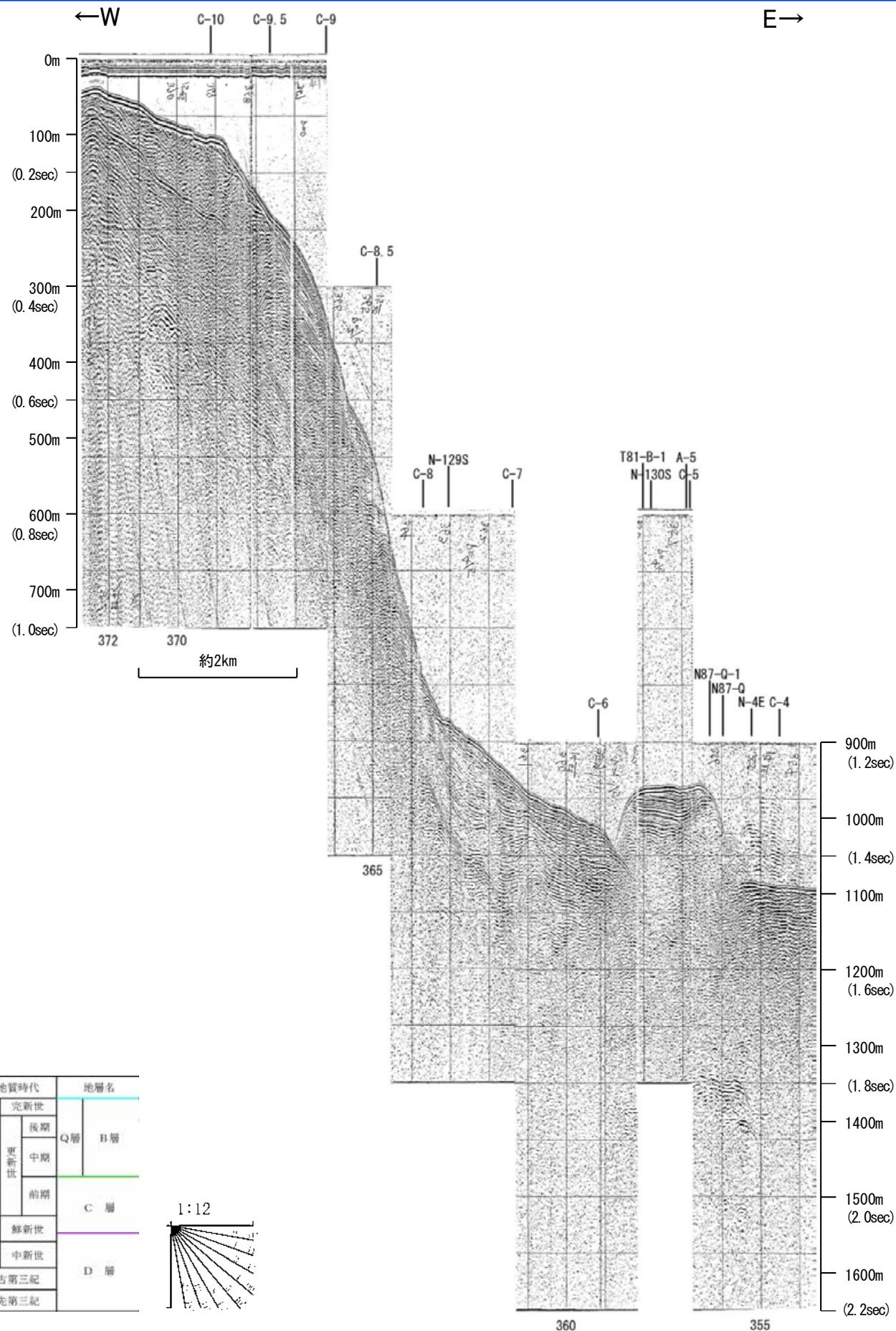


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世	D層	
古第三紀			
先第三紀			

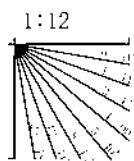


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-3

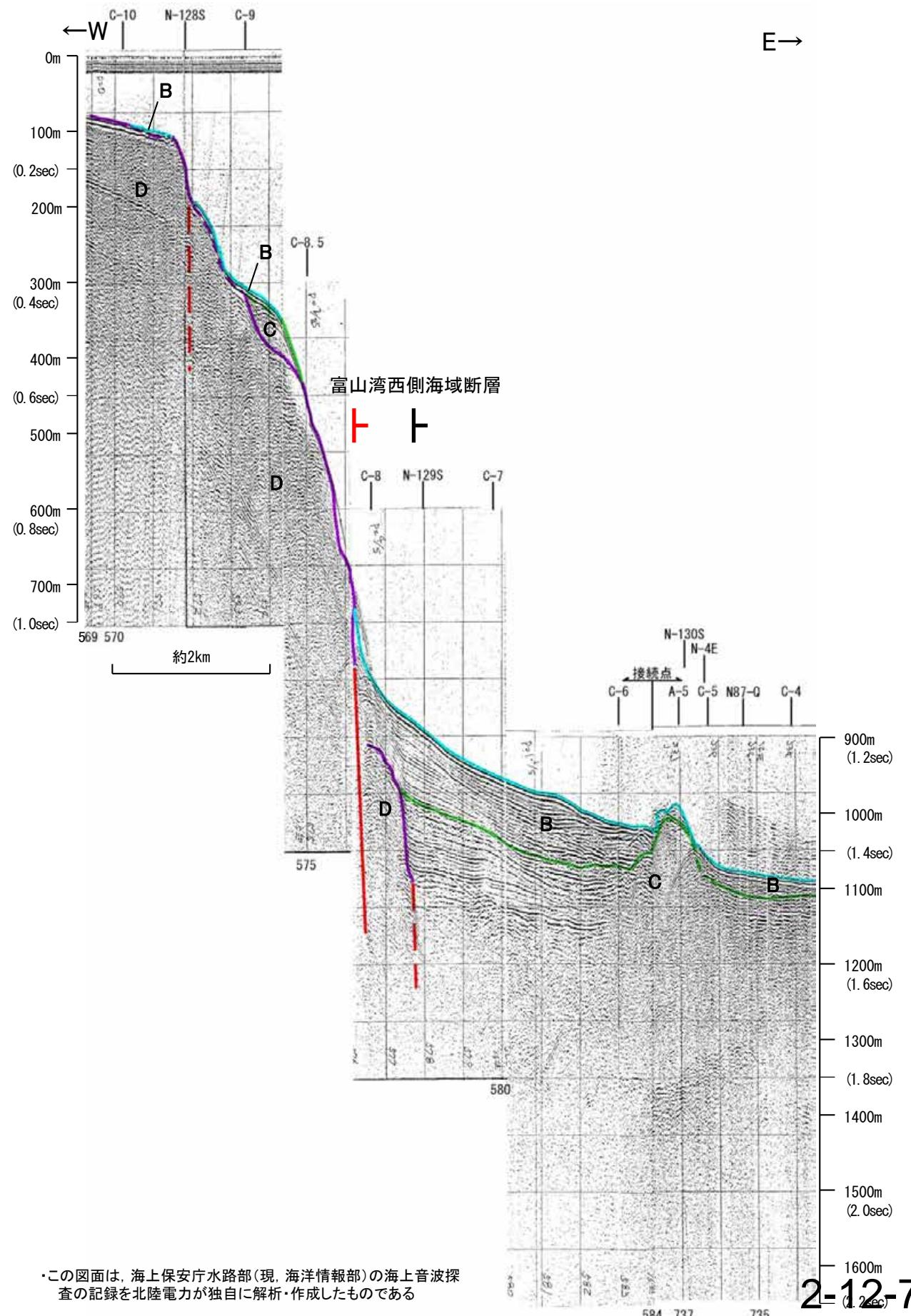
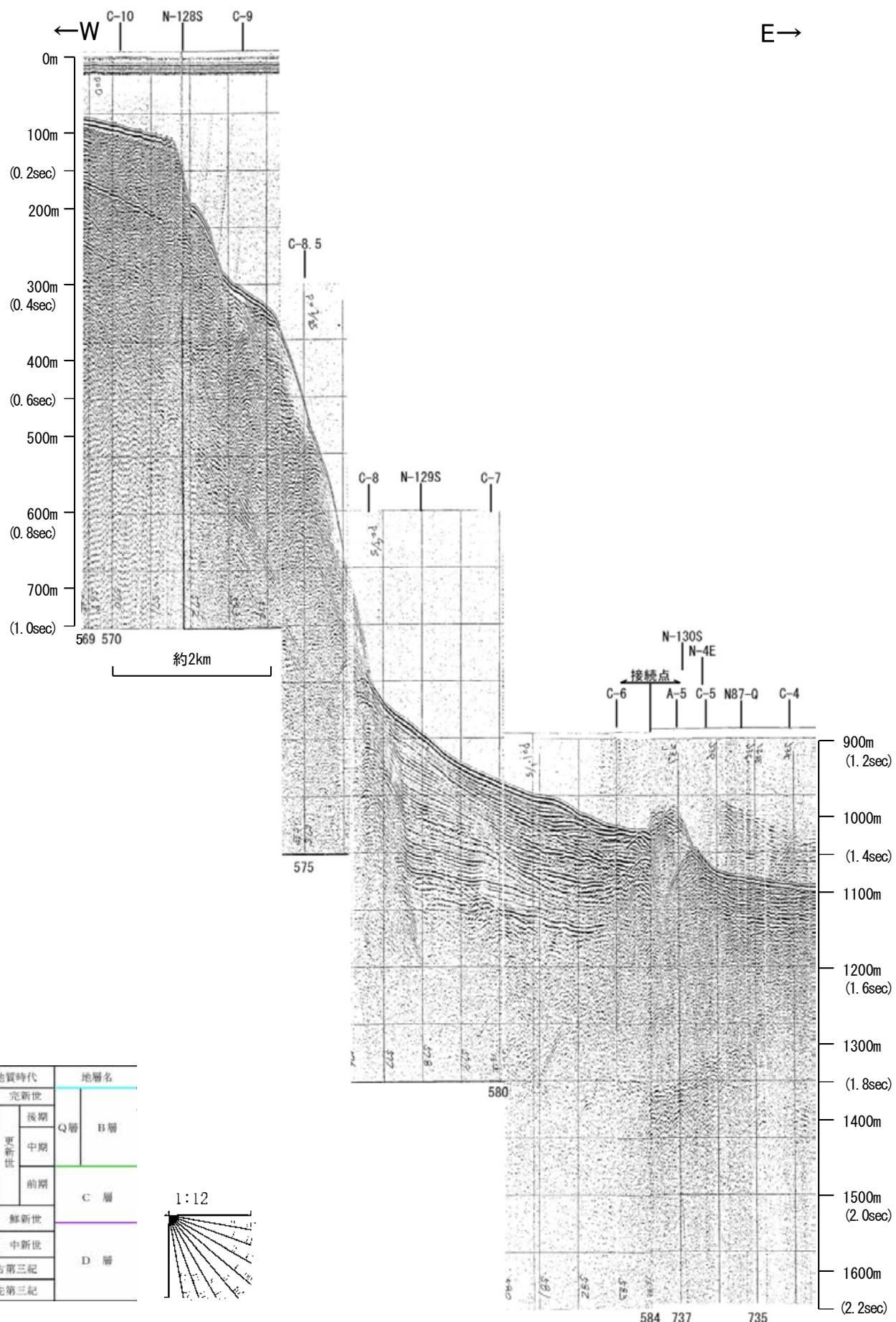


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	
	後期	Q層 B層
	中期	
	前期	C層
第三紀	鮮新世	
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		

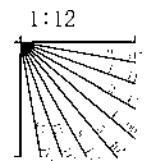


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-2

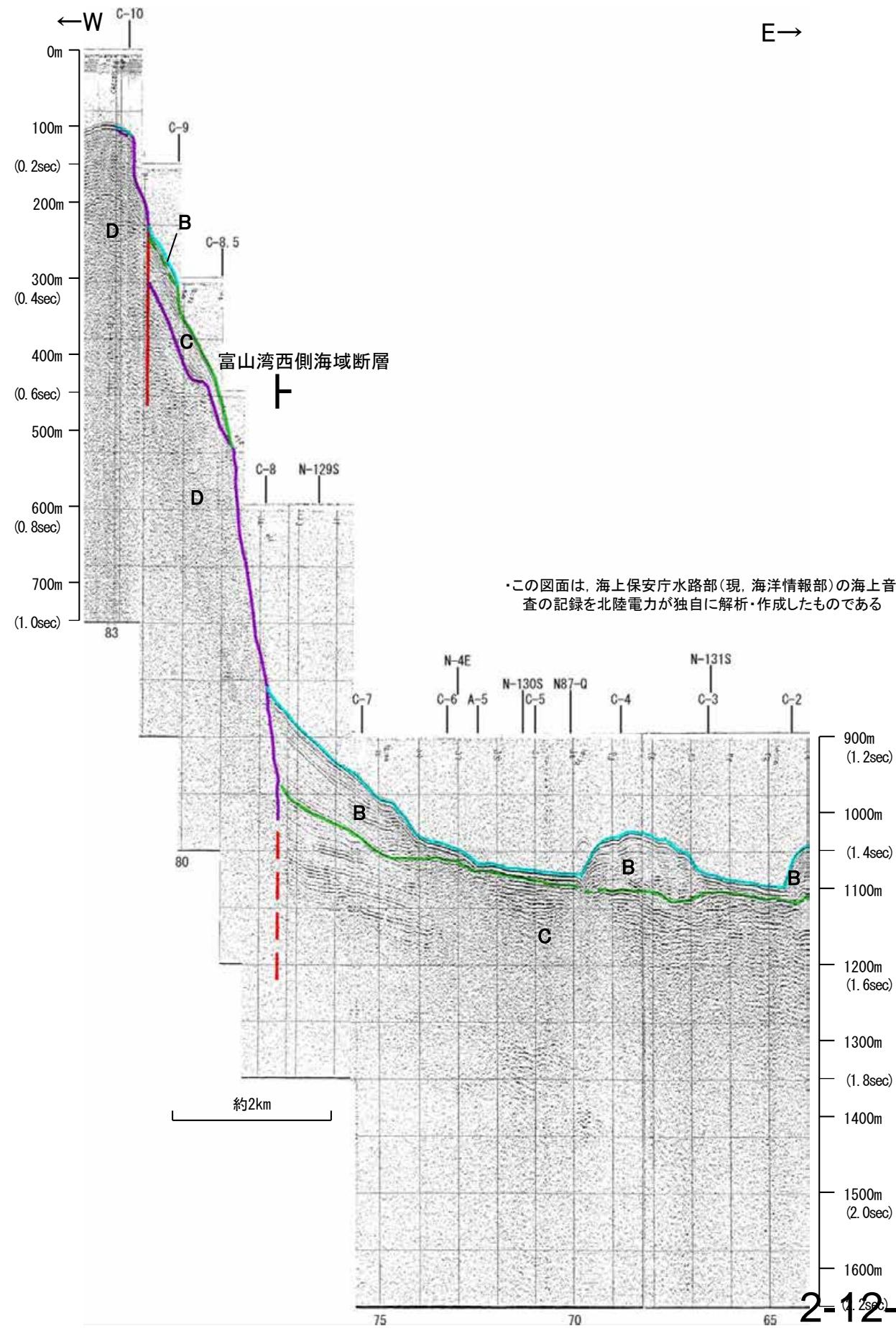
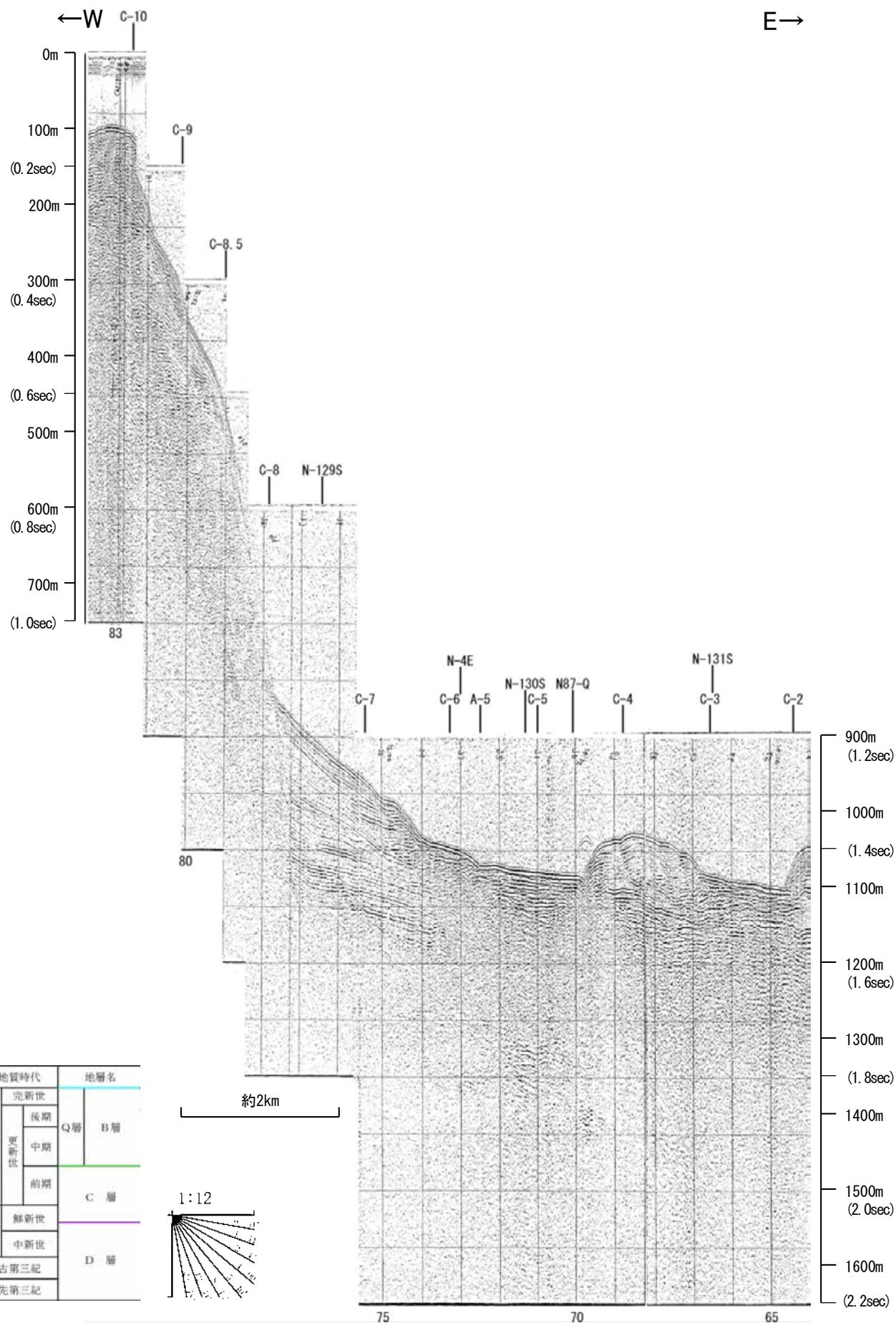


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 B層
	後期	
	更新世	中期
第三紀	前新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		



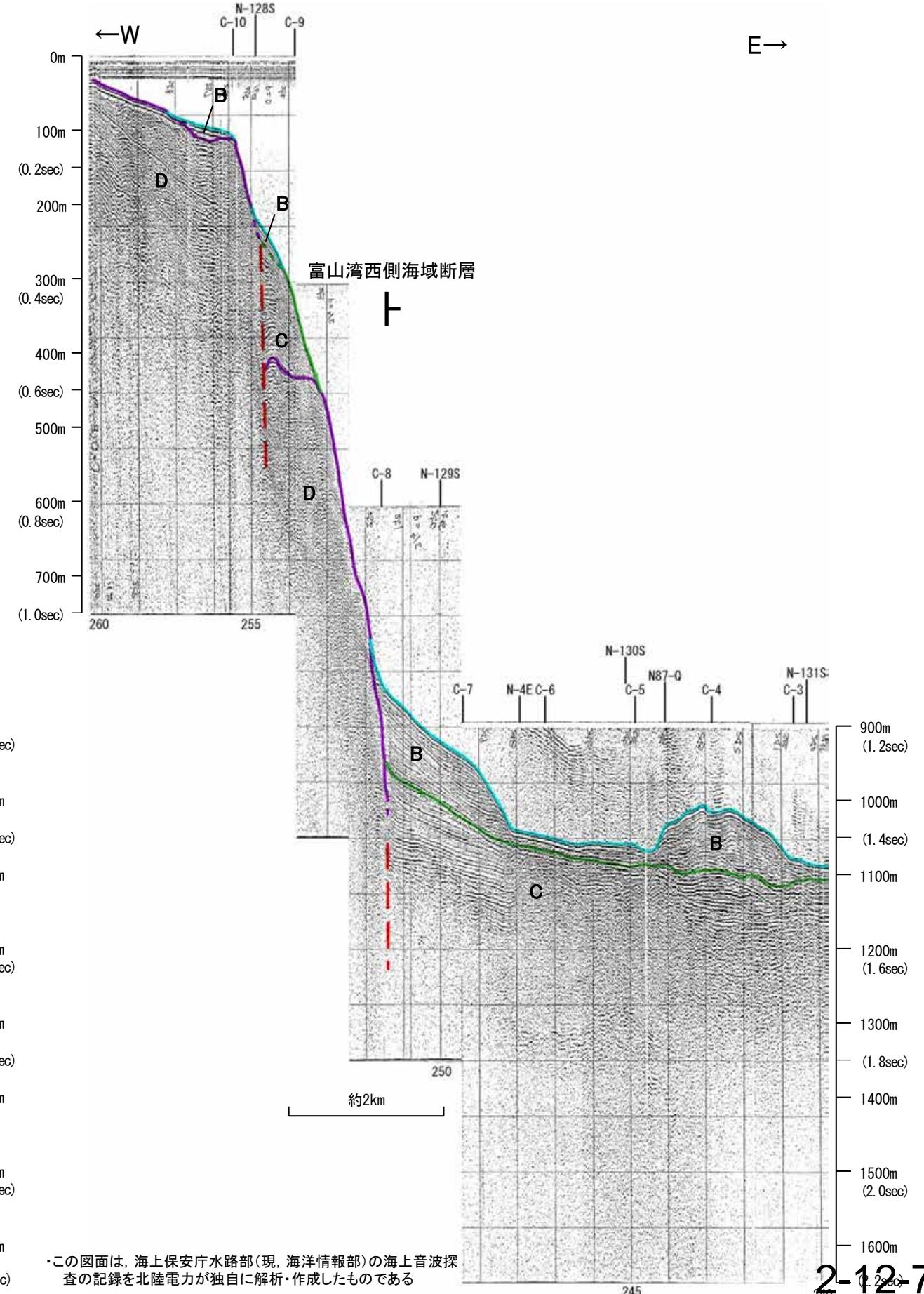
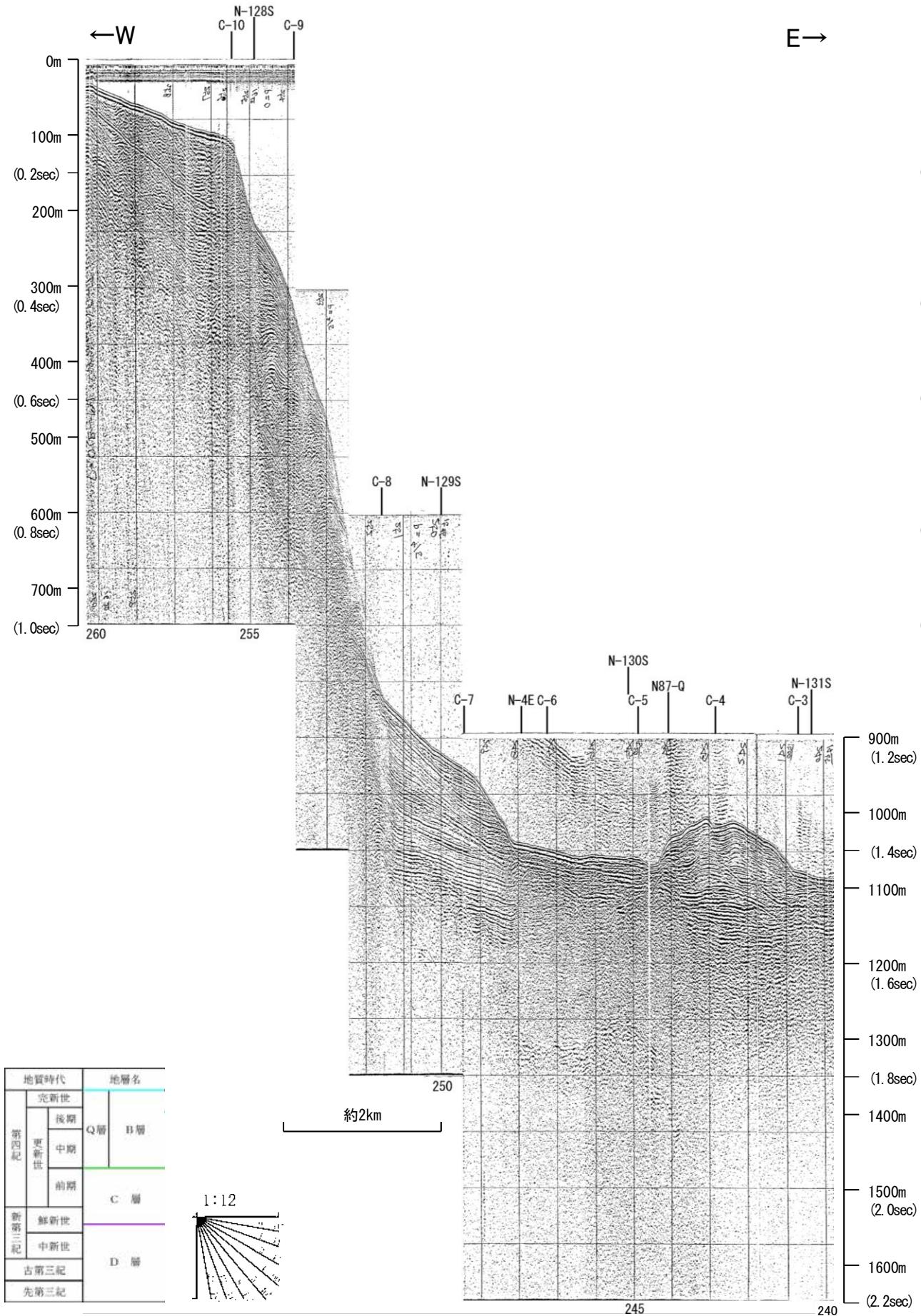
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-1



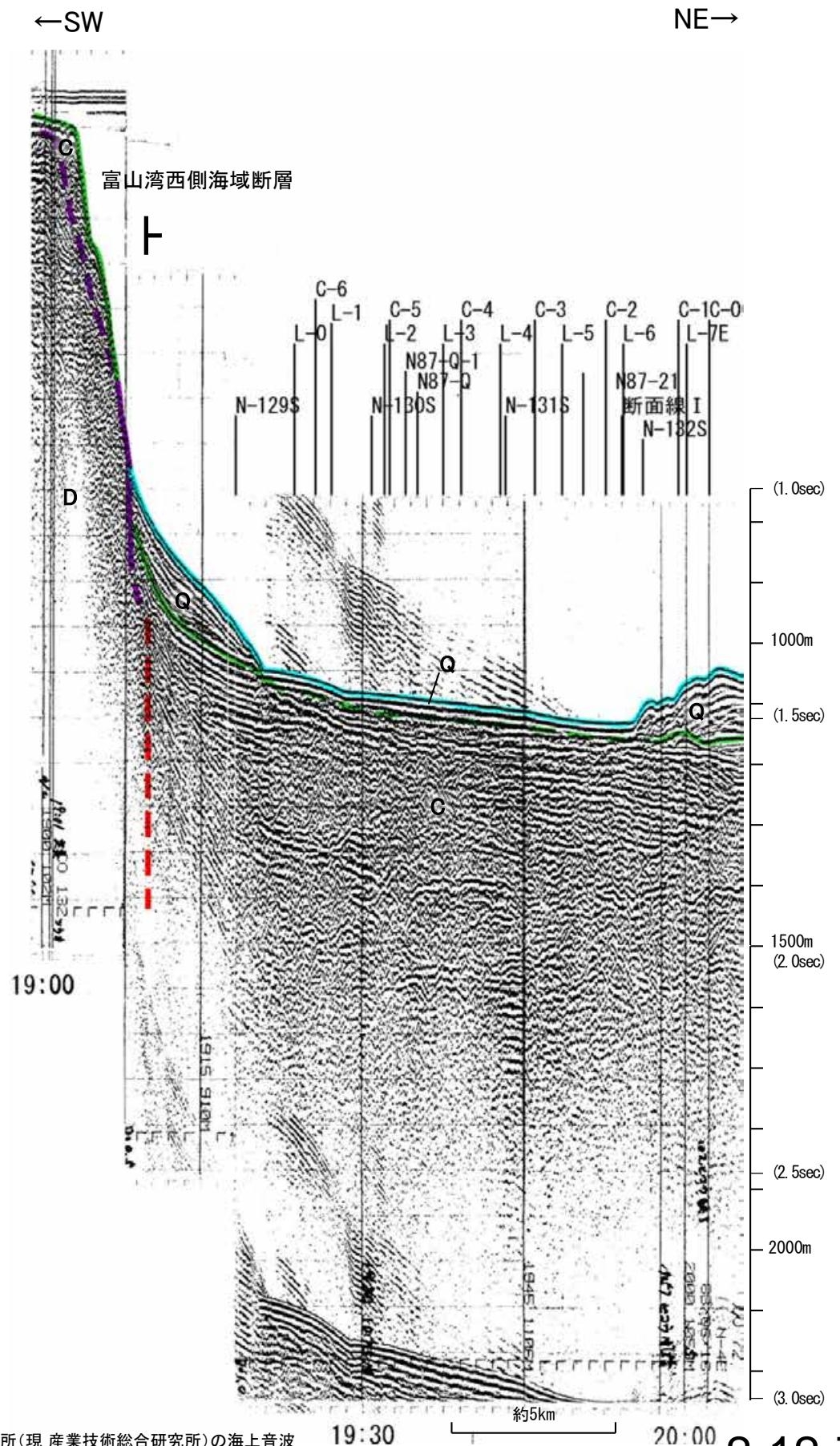
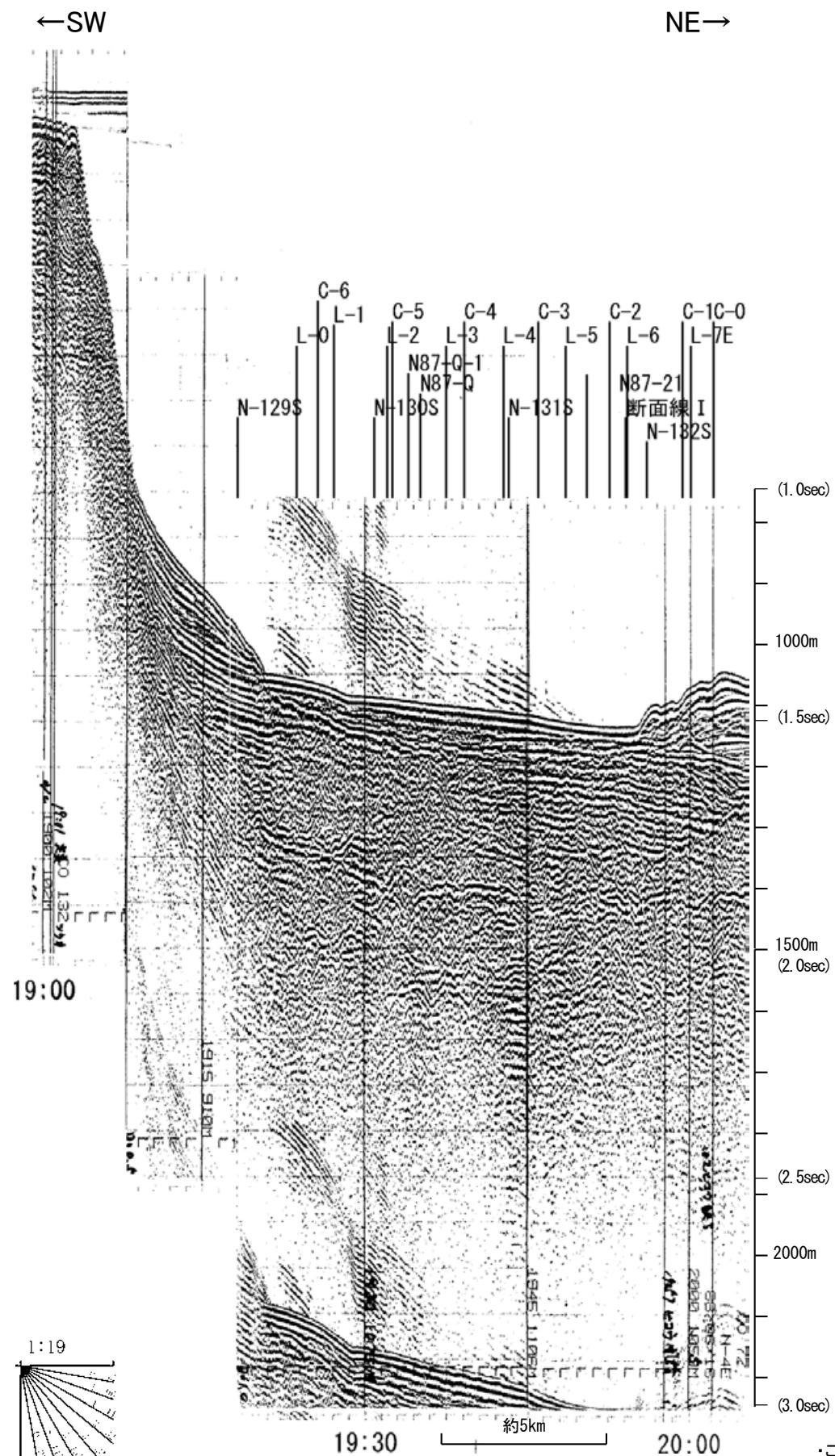
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー L-0

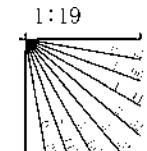


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-4E



地質時代		地層名	
表土層	完新世	Q層	B層
	後期		
	前期		
新	鮮新世	C層	
	中新世		
古	第三紀	D層	
	第三紀		



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

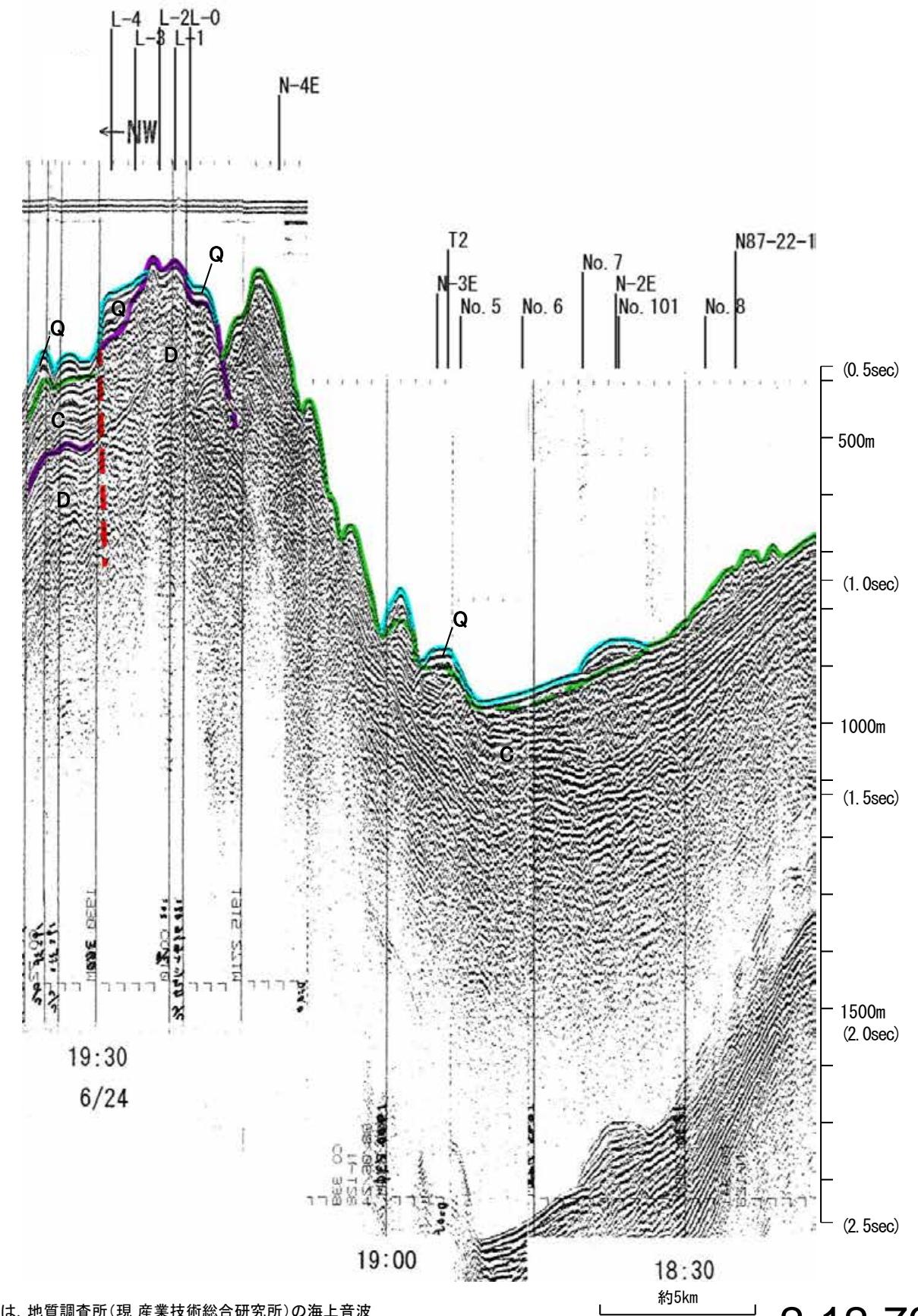
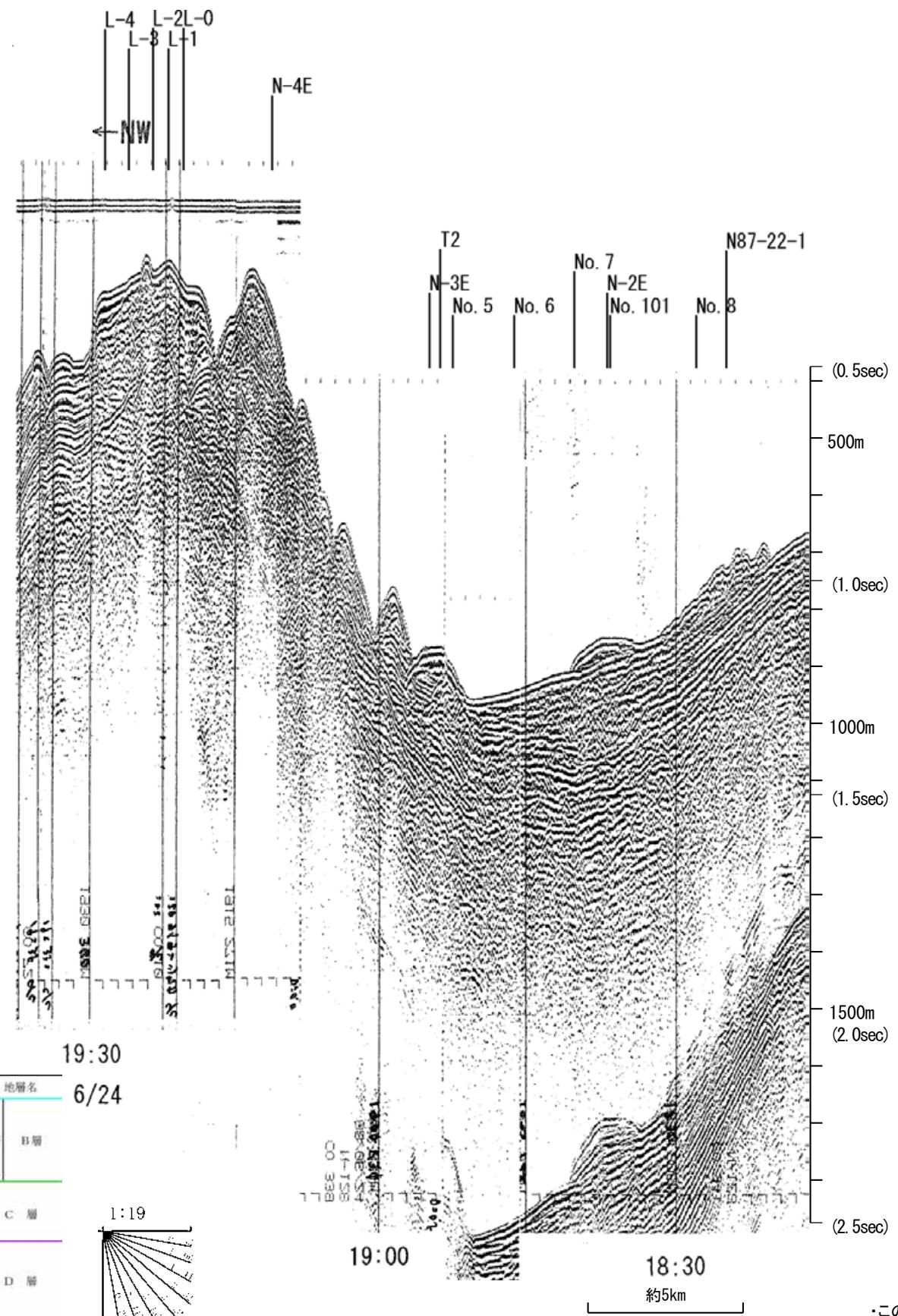
# 地質調査所エアガン N-128S

←NW

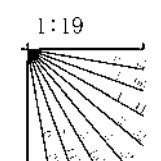
SE→

←NW

SE→



地質時代	地層名		
第四紀	完新世	Q層	
	後期		
	更新世	中期	B層
	前期		
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			

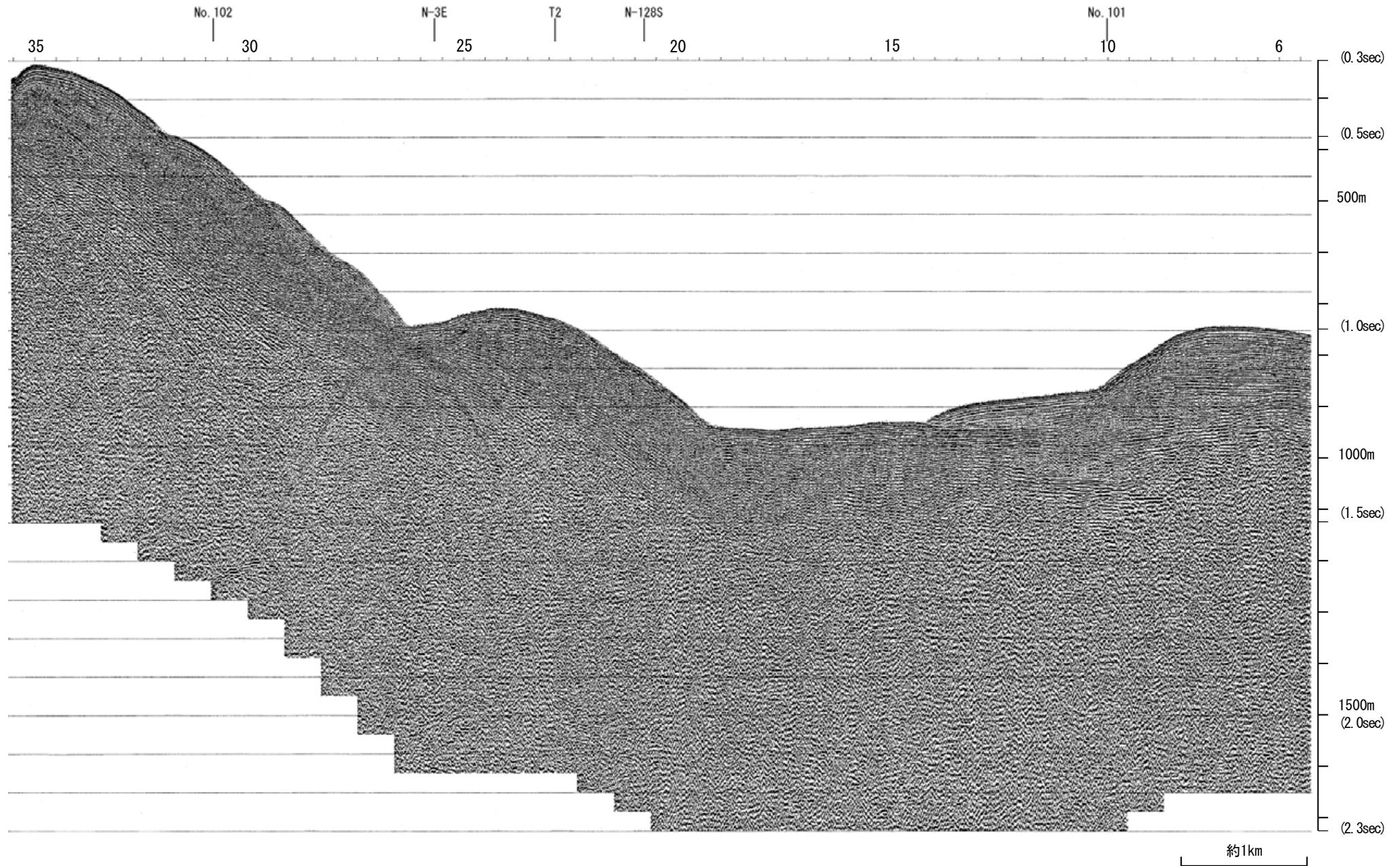


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

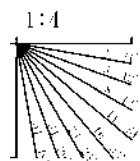
# 北陸電カスパーカー No.5

←NW

SE→



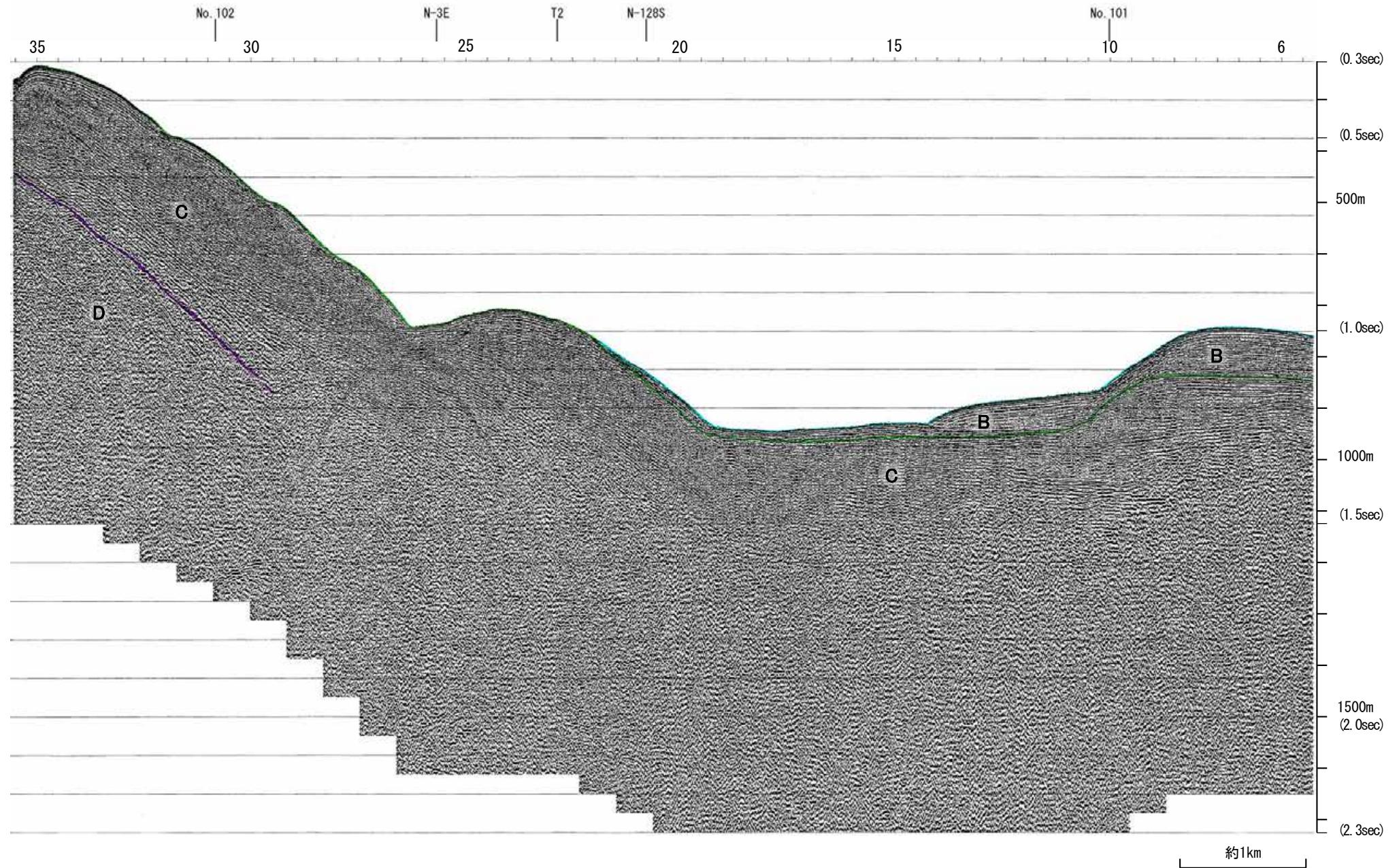
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	更新世	中期	C層
	前期		
第三紀	鮮新世	D層	
	中新世		
	古第三紀		
先第三紀			



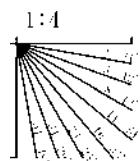
# 北陸電カスパーカー No.5

←NW

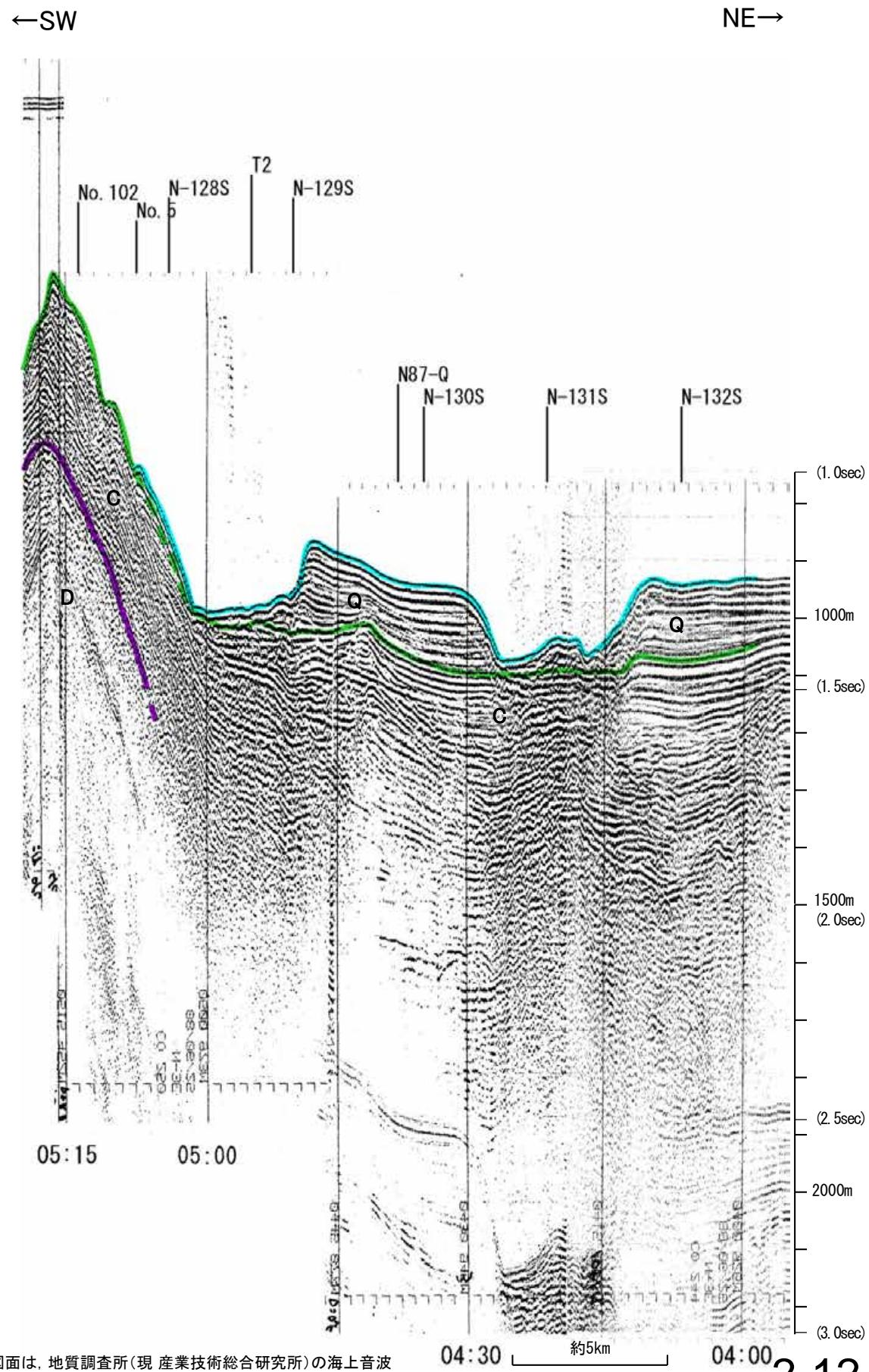
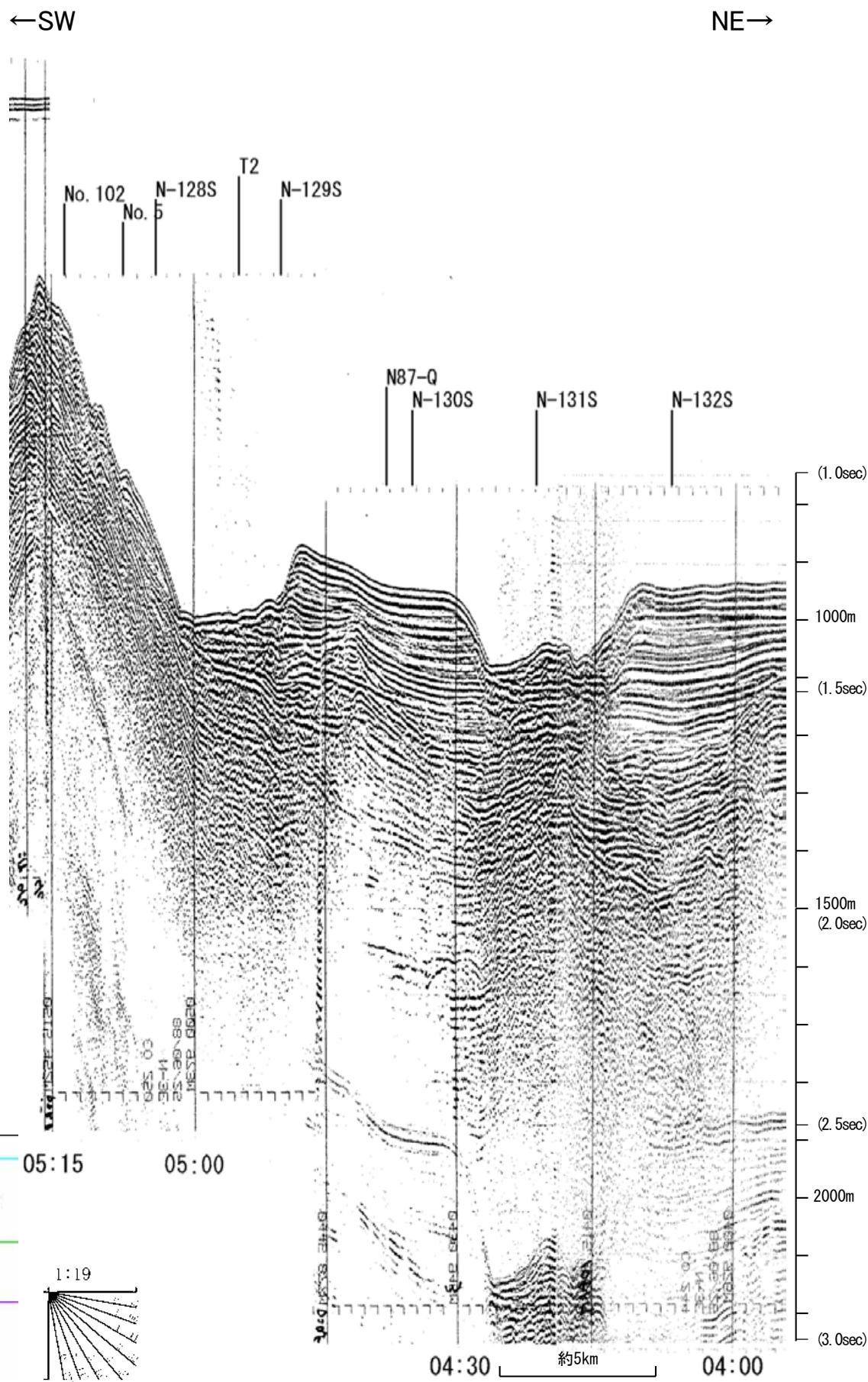
SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
		前期	C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀		D層
先第三紀			



# 地質調査所エアガン N-3E



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

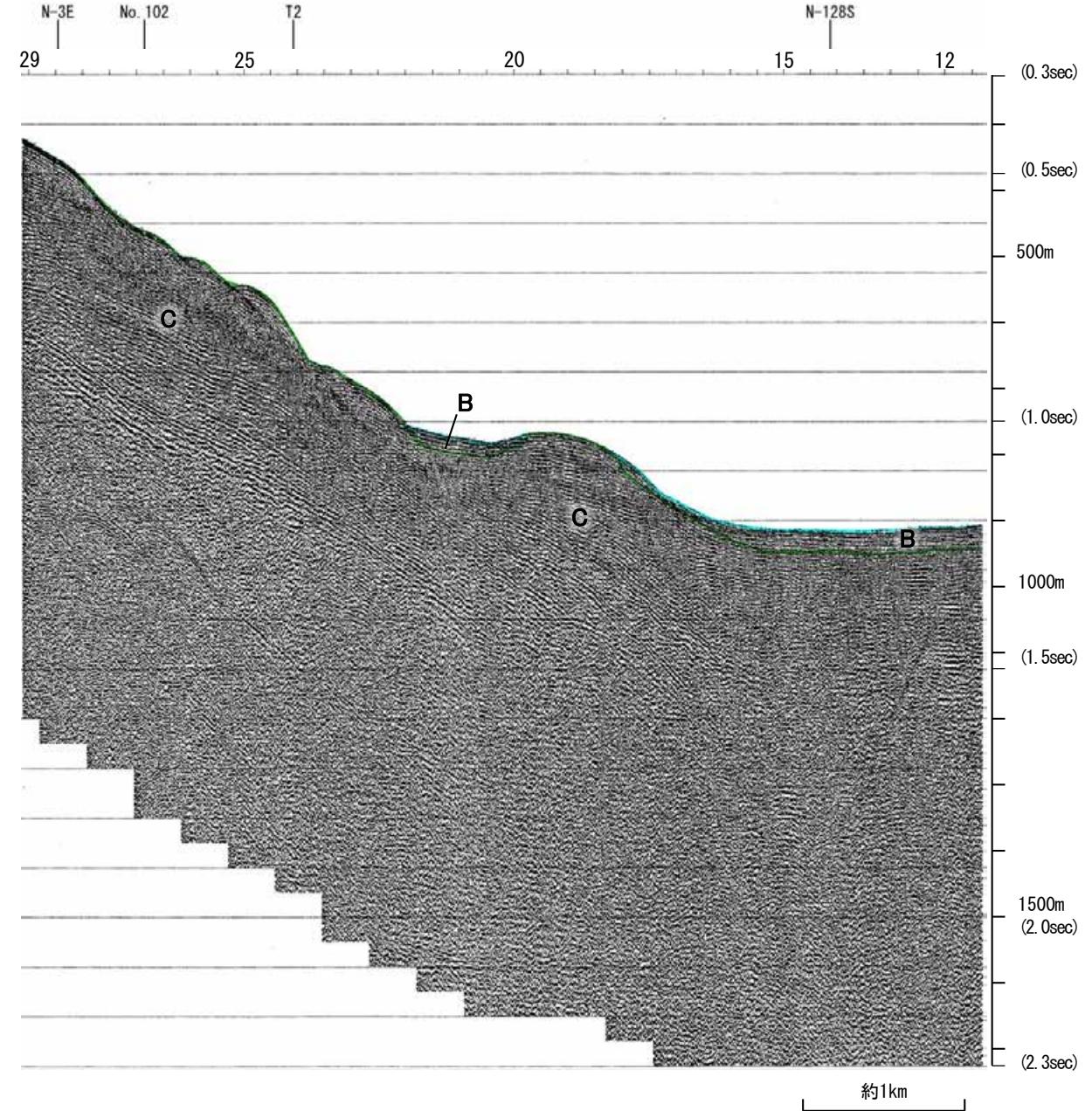
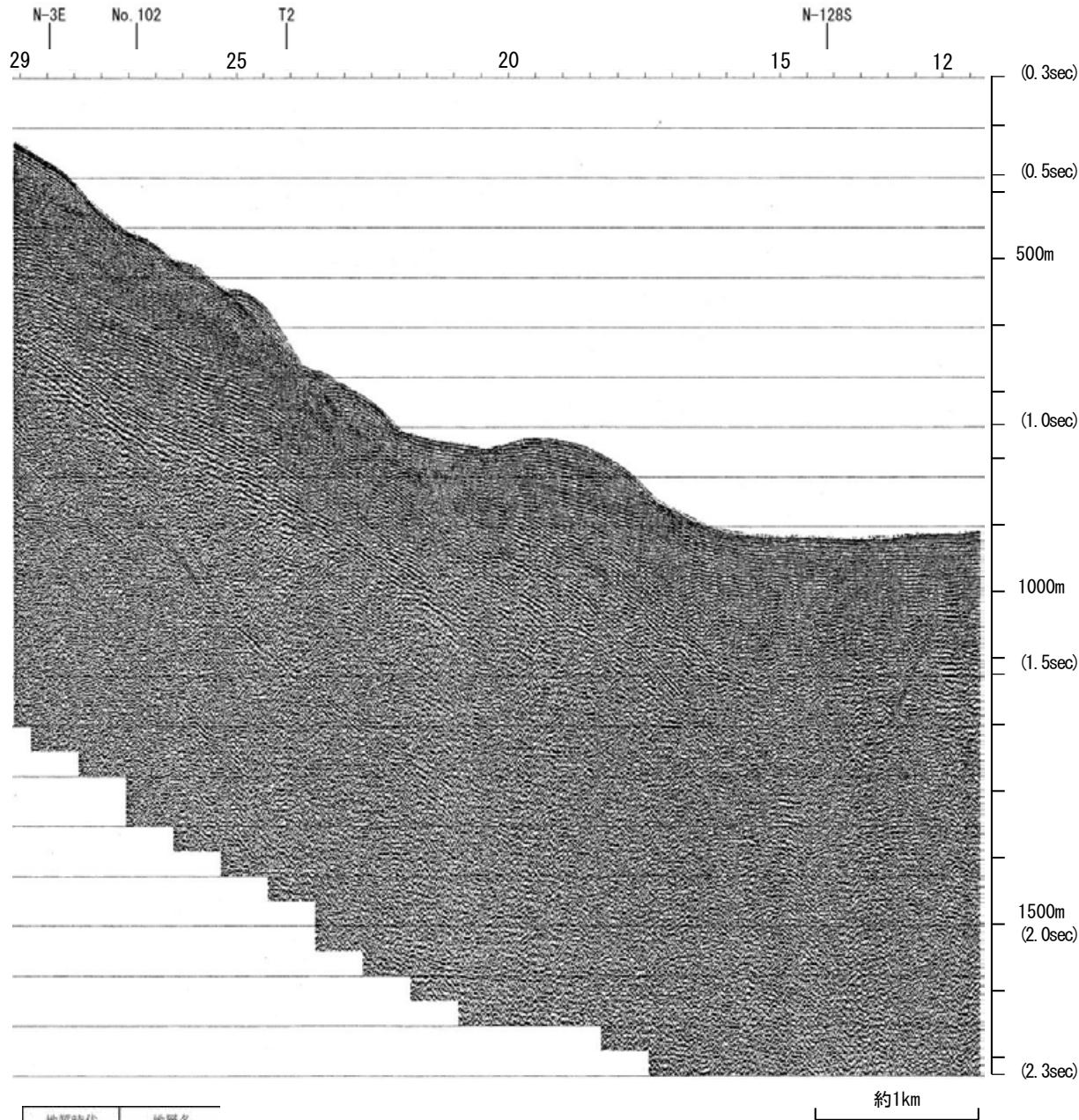
# 北陸電カスパーカー No.6

←NW

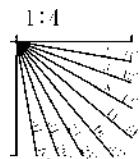
SE→

←NW

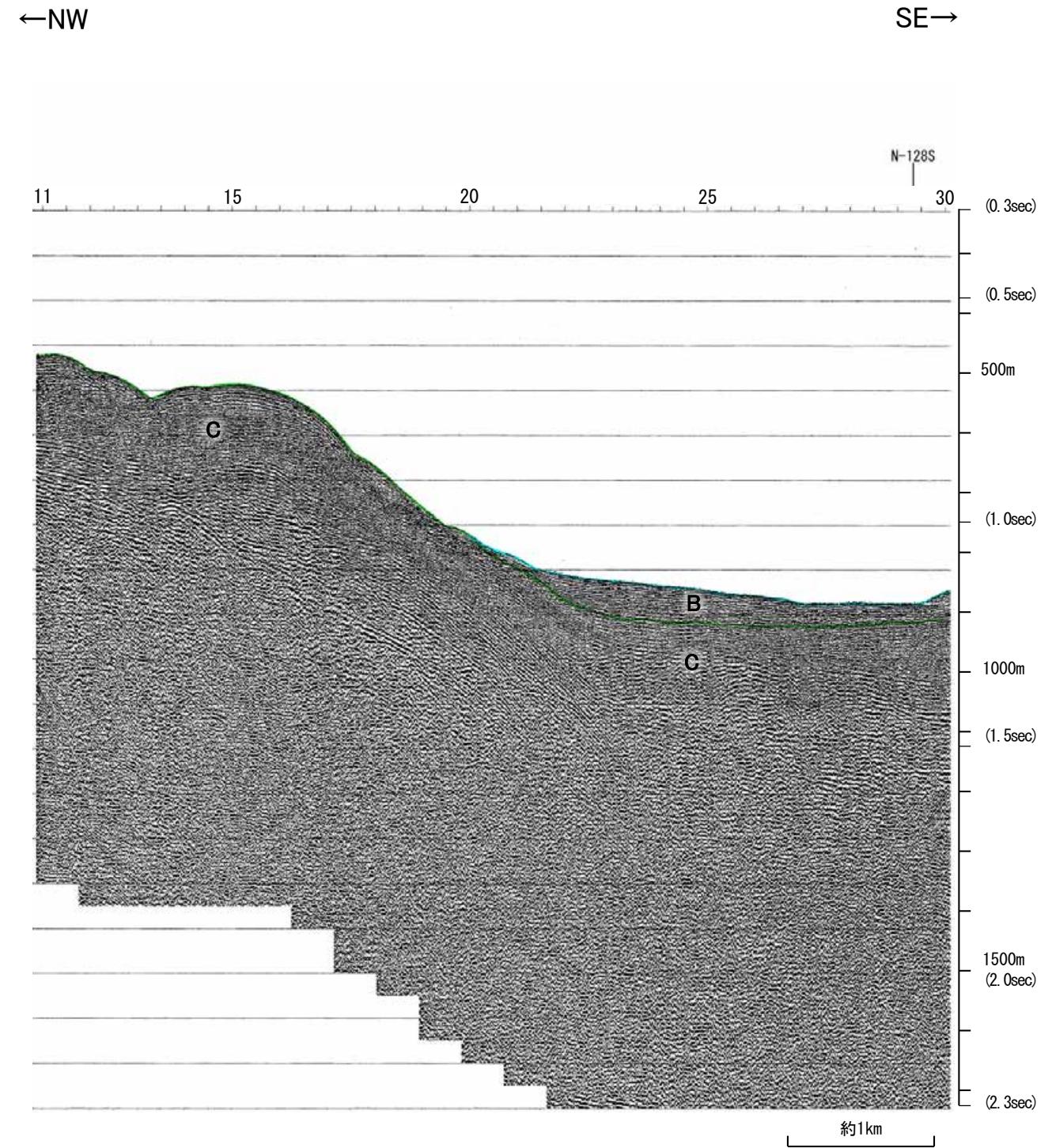
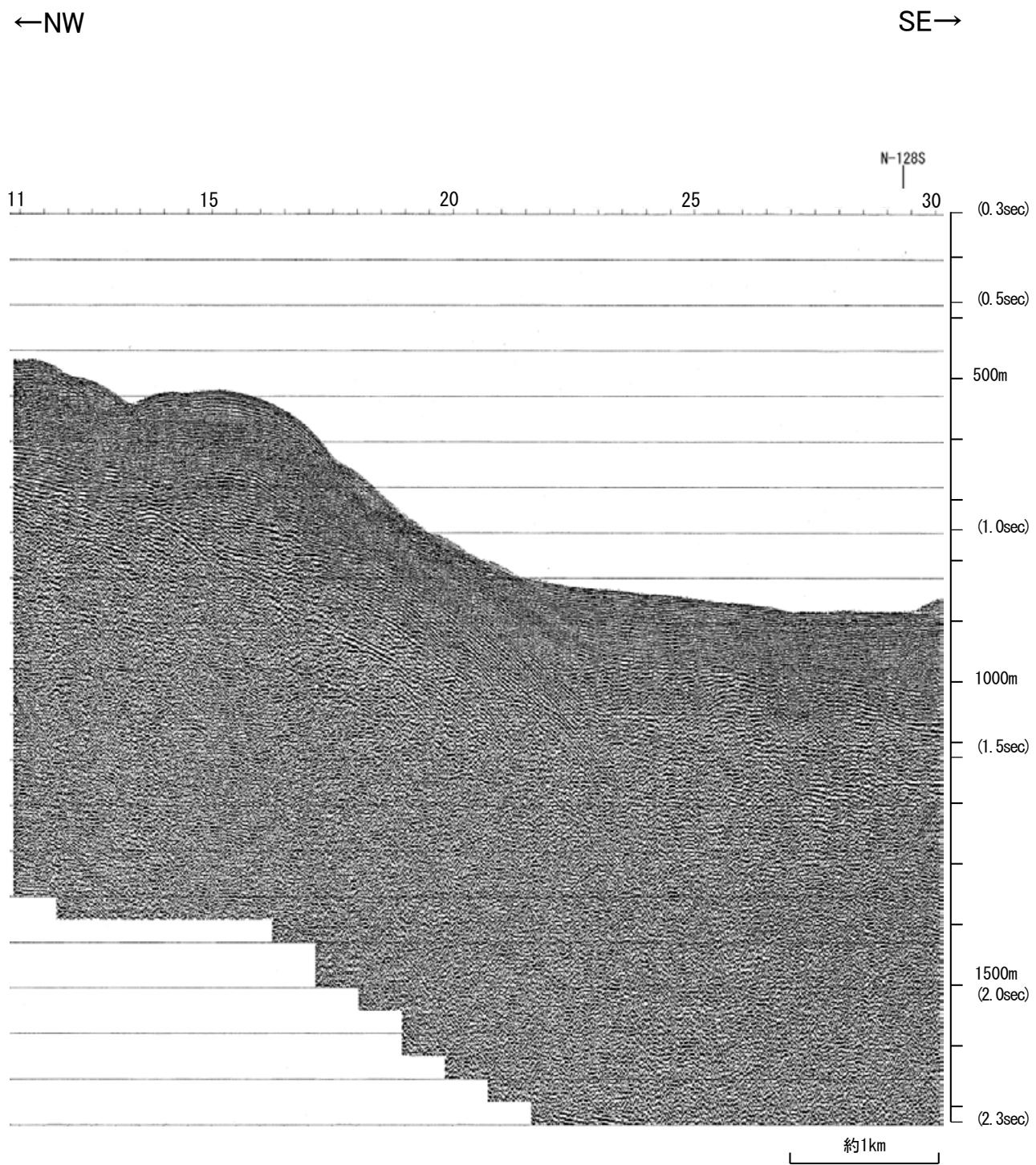
SE→



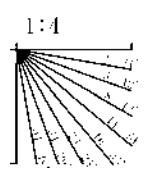
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		前期	C層
	鮮新世		
第三紀	中新世		D層
	古第三紀		
先第三紀			



# 北陸電カスパーカー No.7

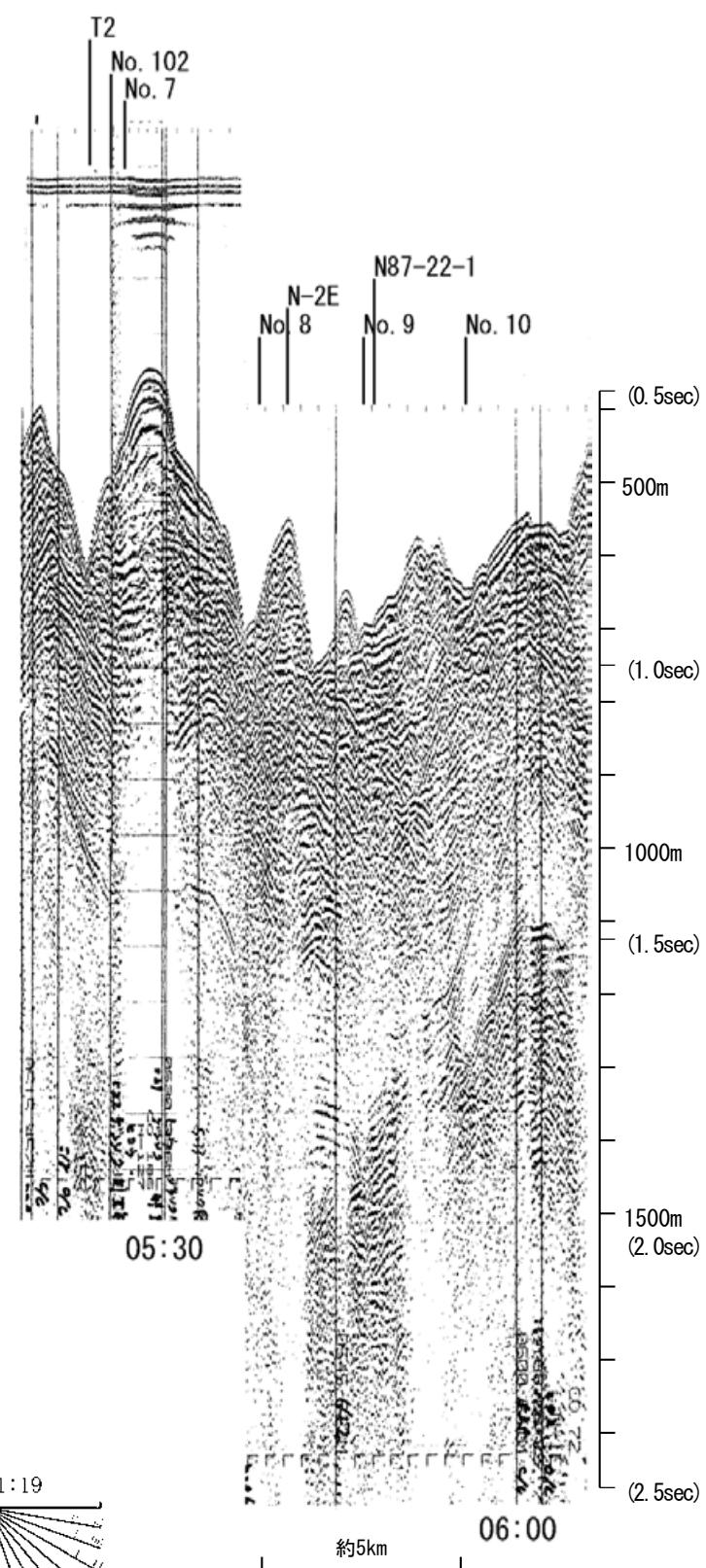


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
更新世	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			

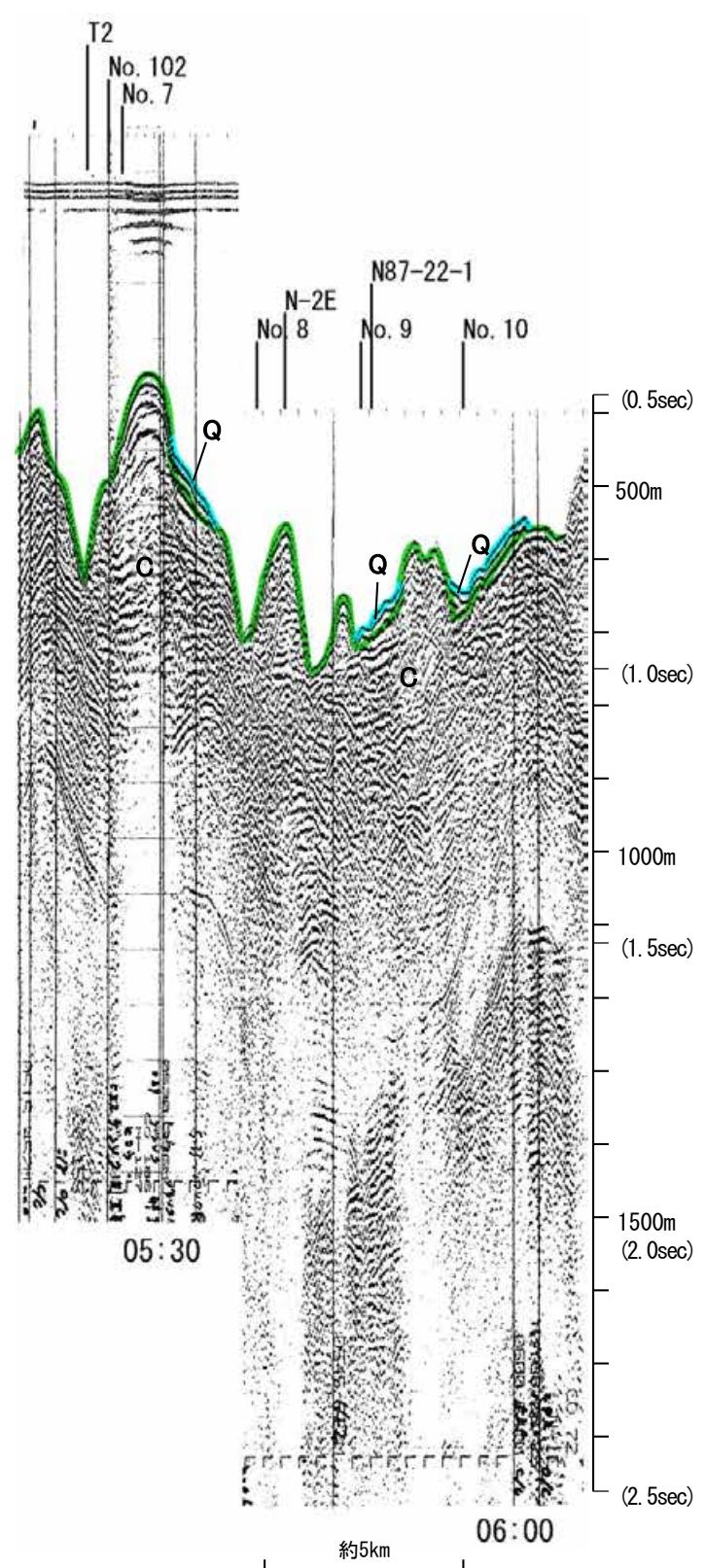


# 地質調査所エアガン N-127S

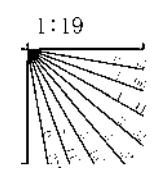
←NW SE→



←NW SE→

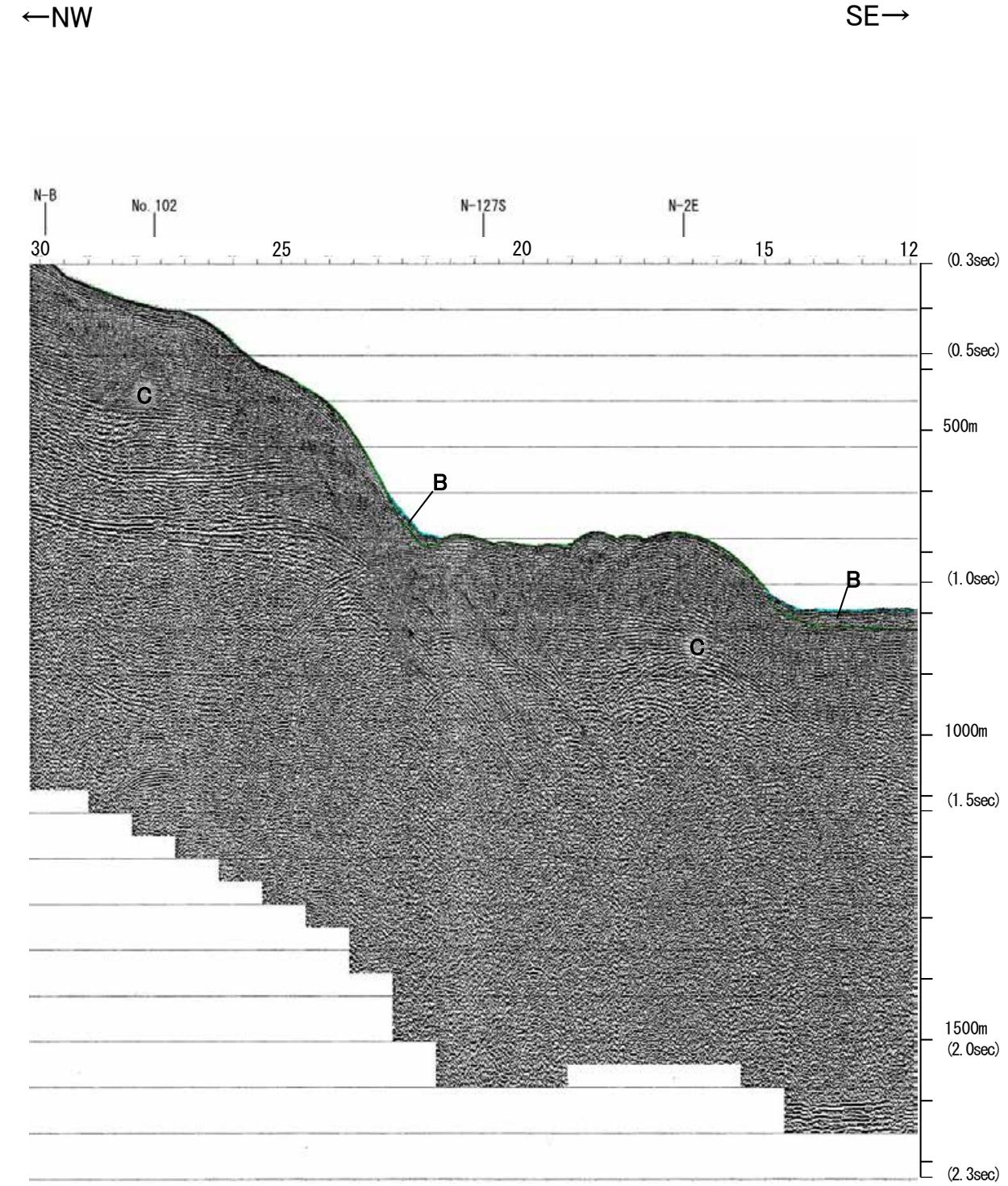
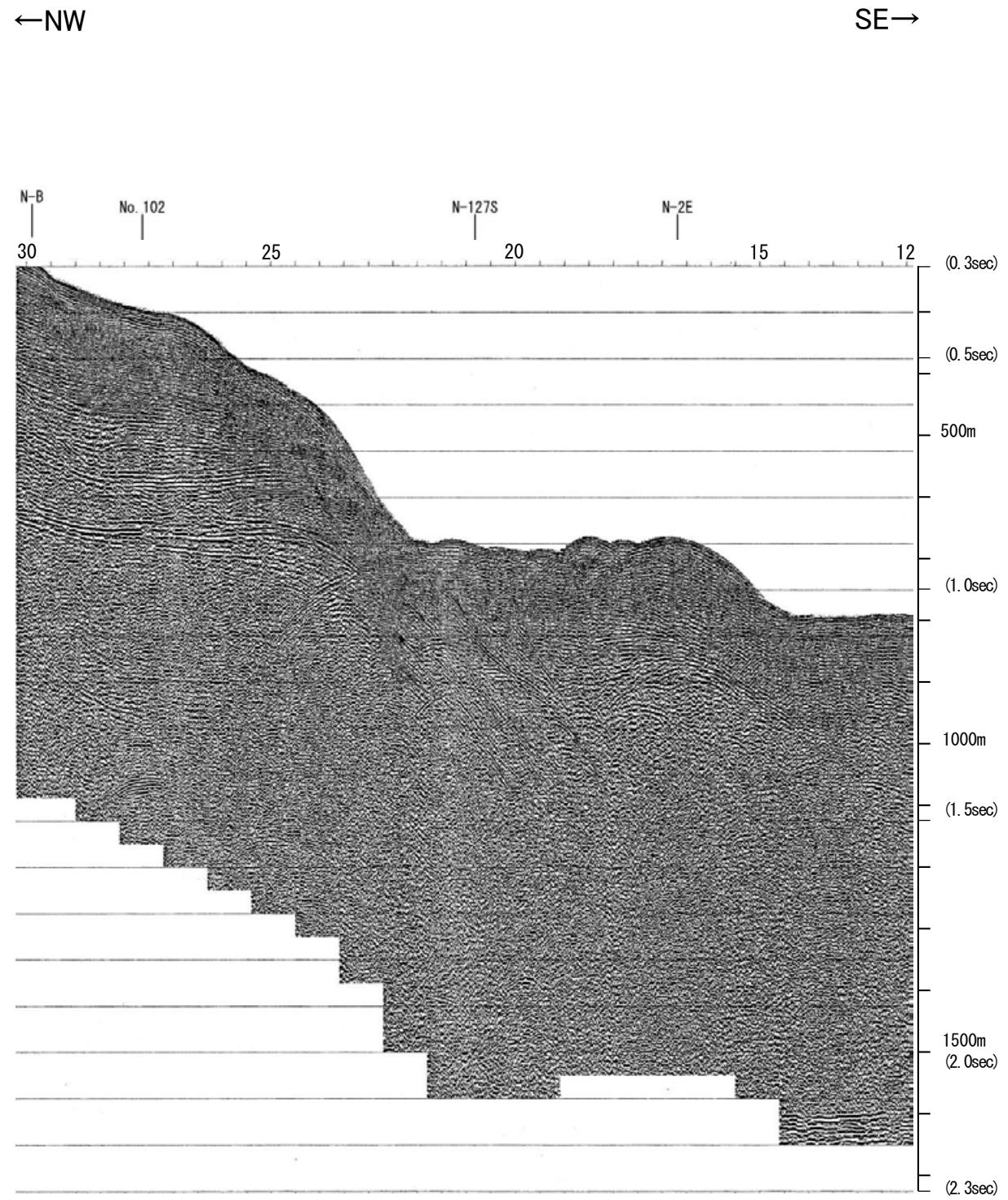


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期	C層	
新第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀			D層
先第三紀			

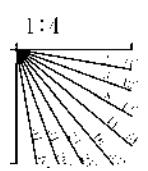


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 北陸電カスパーカー No.8

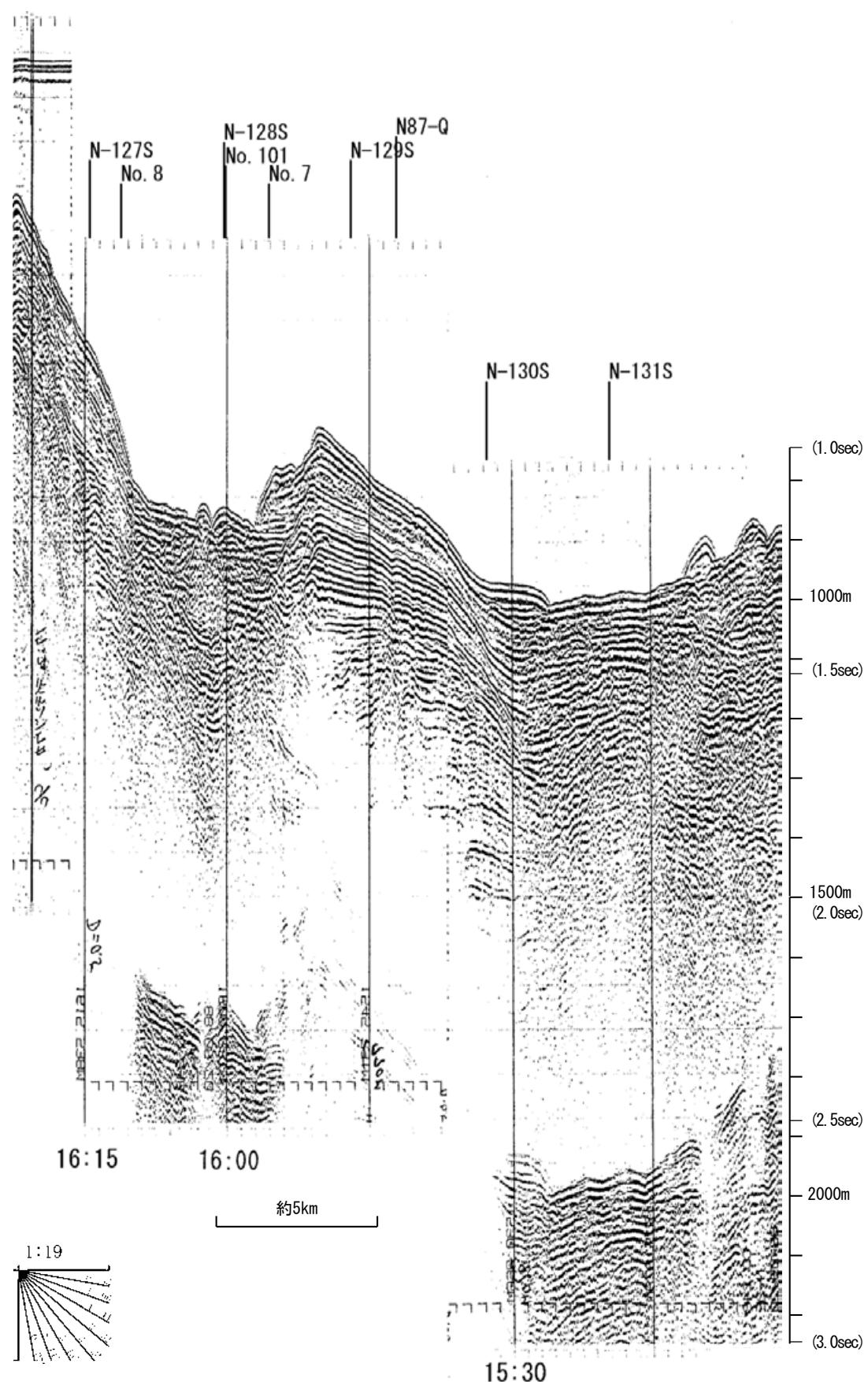


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			

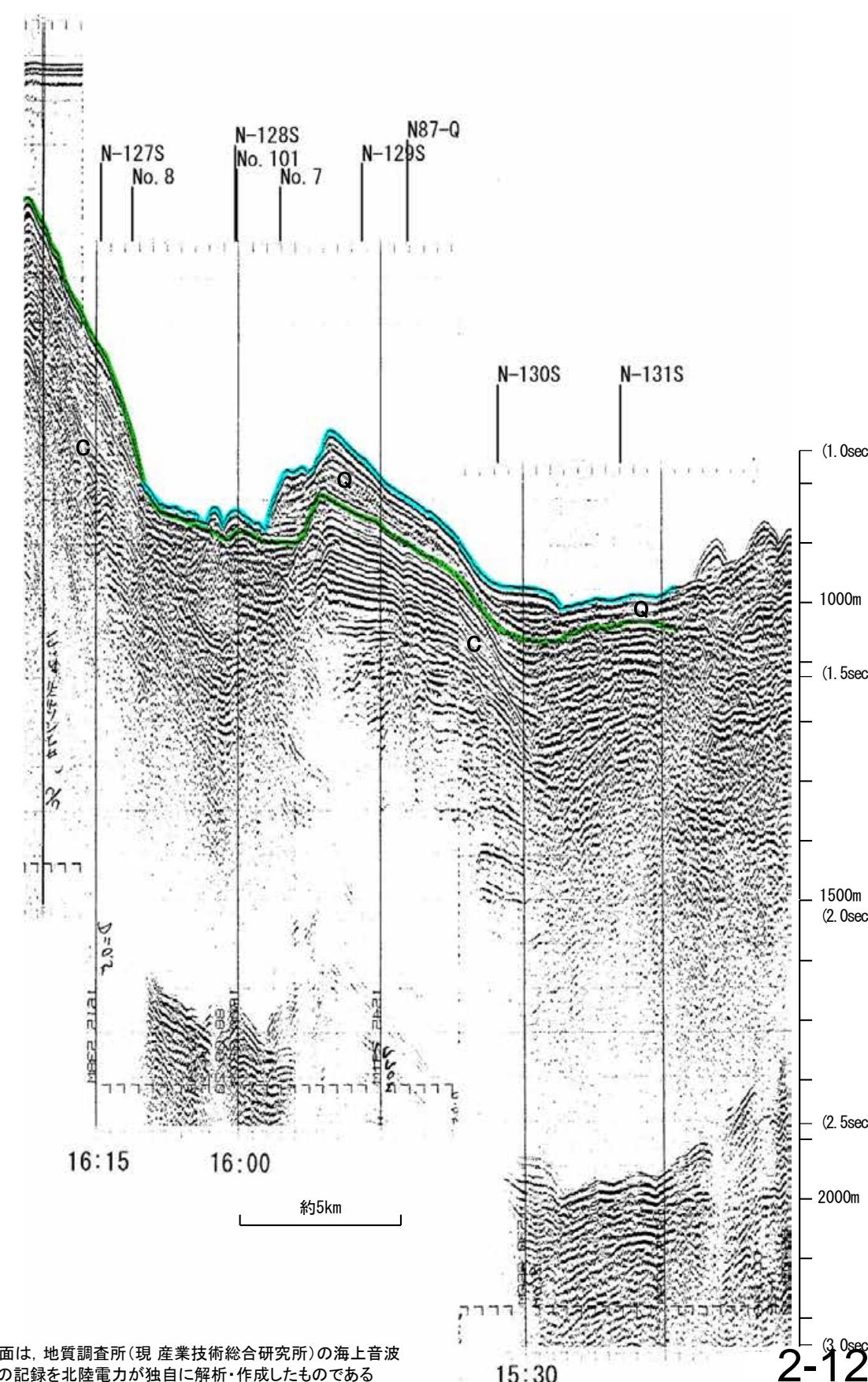


# 地質調査所エアガン N-2E

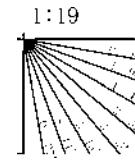
←SW NE→



←SW NE→

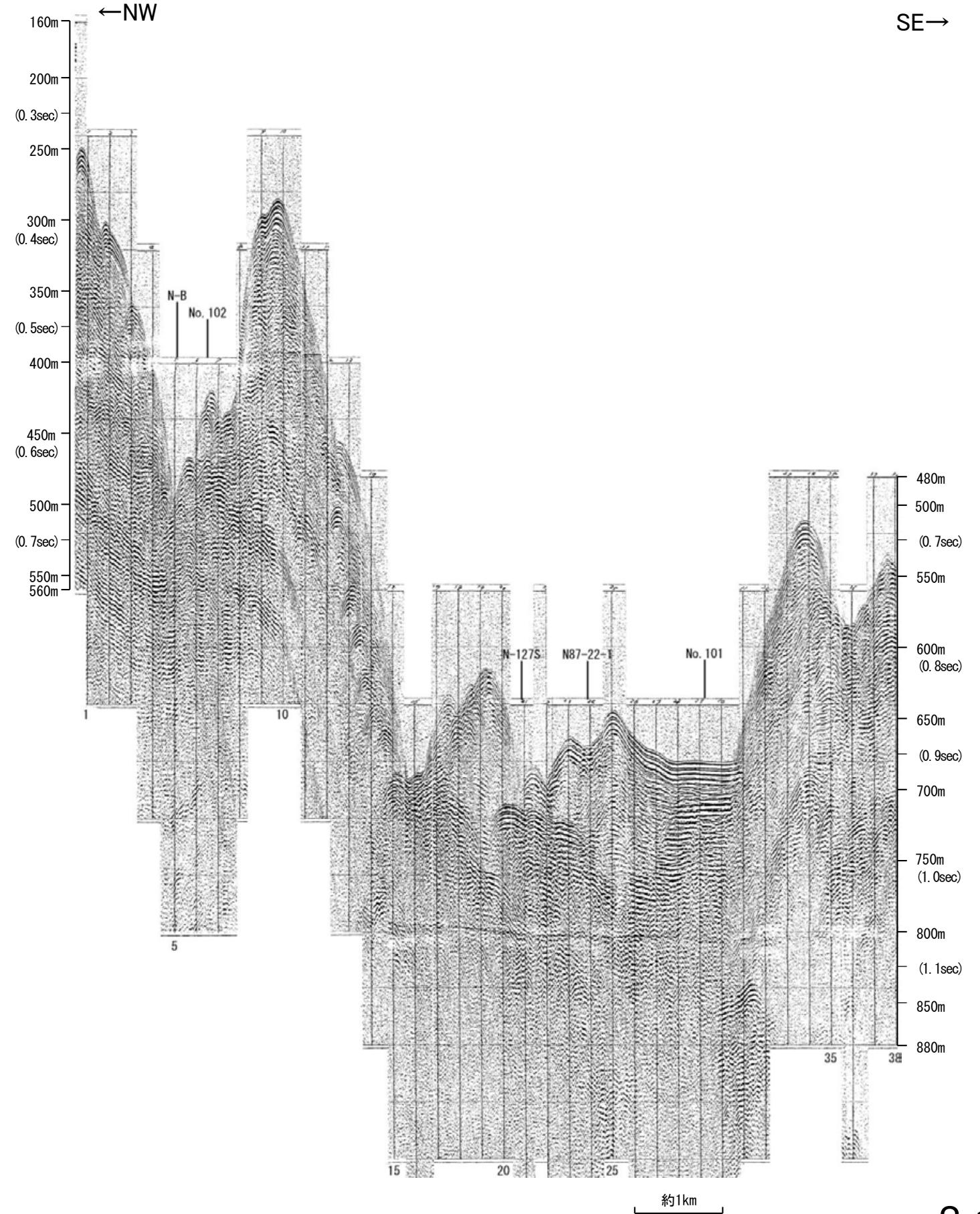


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
	前期	C層	
第三紀	新第三紀		
	古第三紀	D層	
	先第三紀		

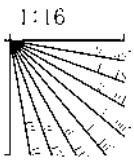


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

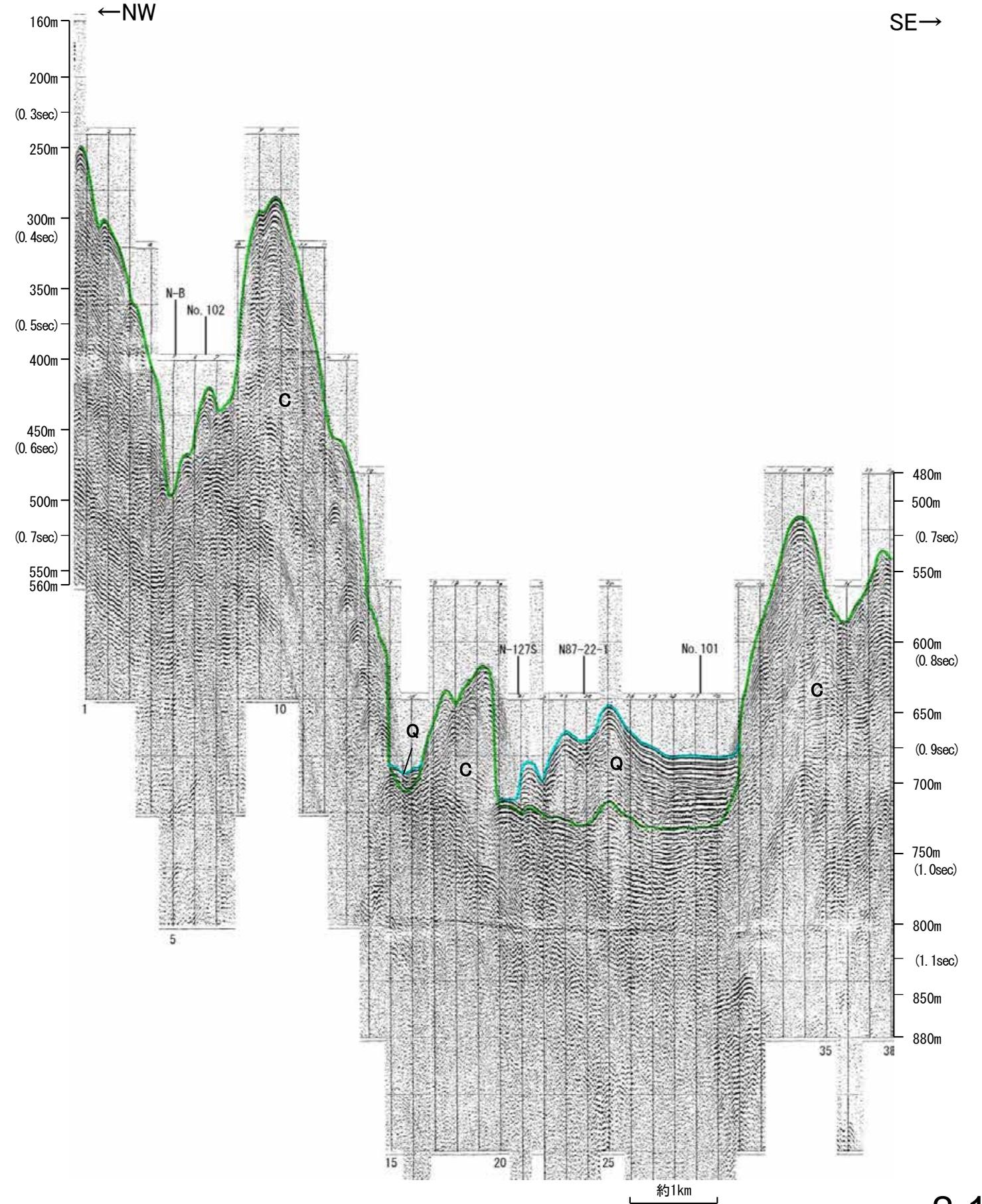
# 北陸電カスパーカー No.9



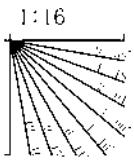
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期	C層	
第三紀	鮮新世		
	中新世		
	古第三紀	D層	
先第三紀			



# 北陸電カスパーカー No.9



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期		C層
第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



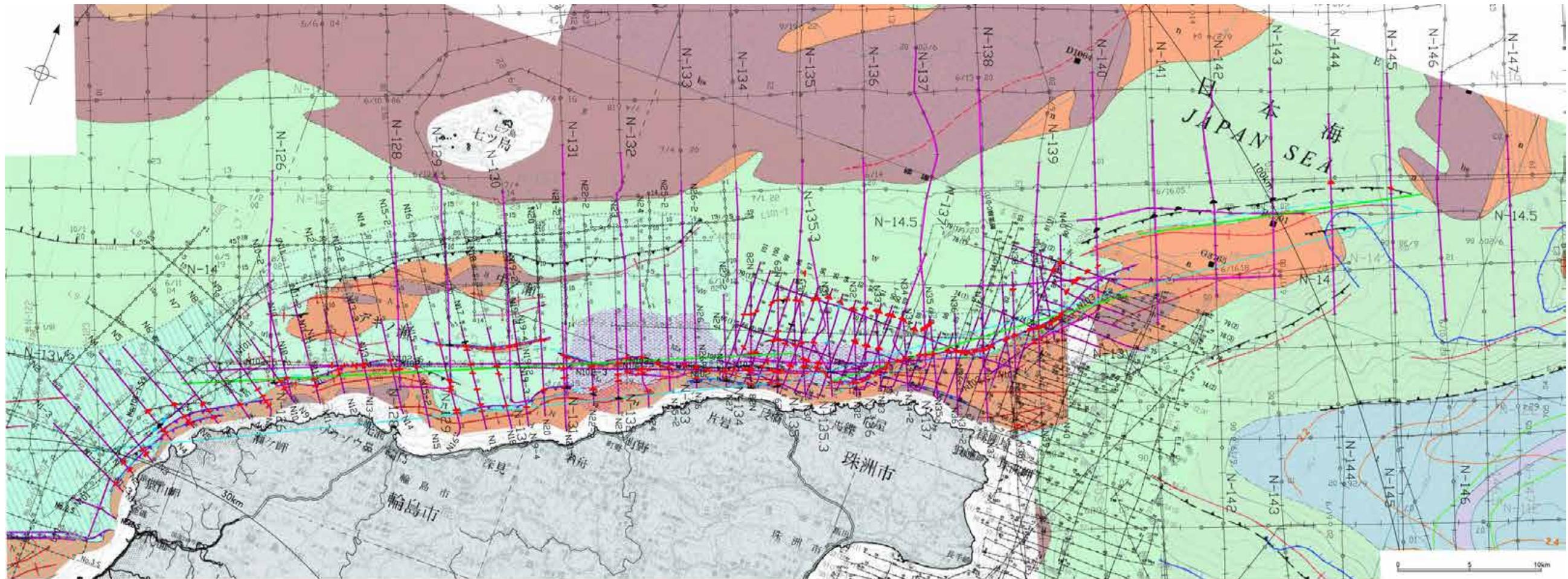
---

余白

---

## 能登半島北部沿岸域断層帯

# 音波探査記録 添付測線①(能登半島北部沿岸域断層帯)



## 凡 例

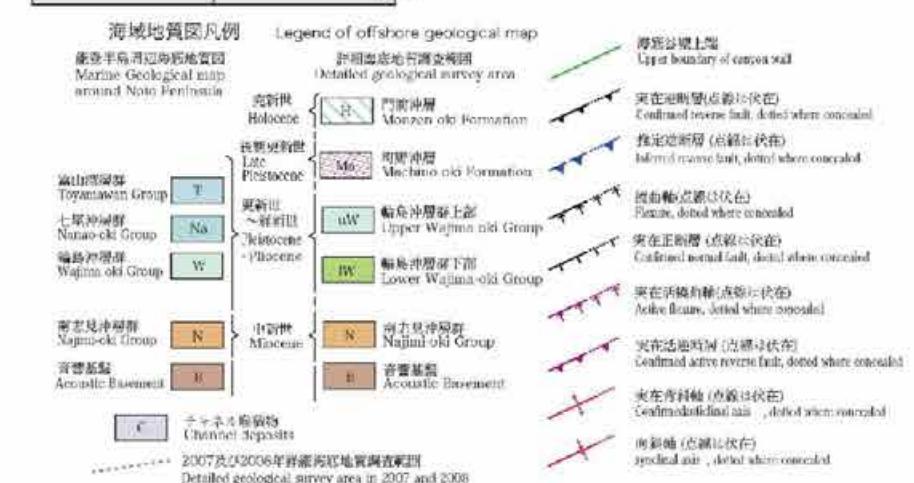
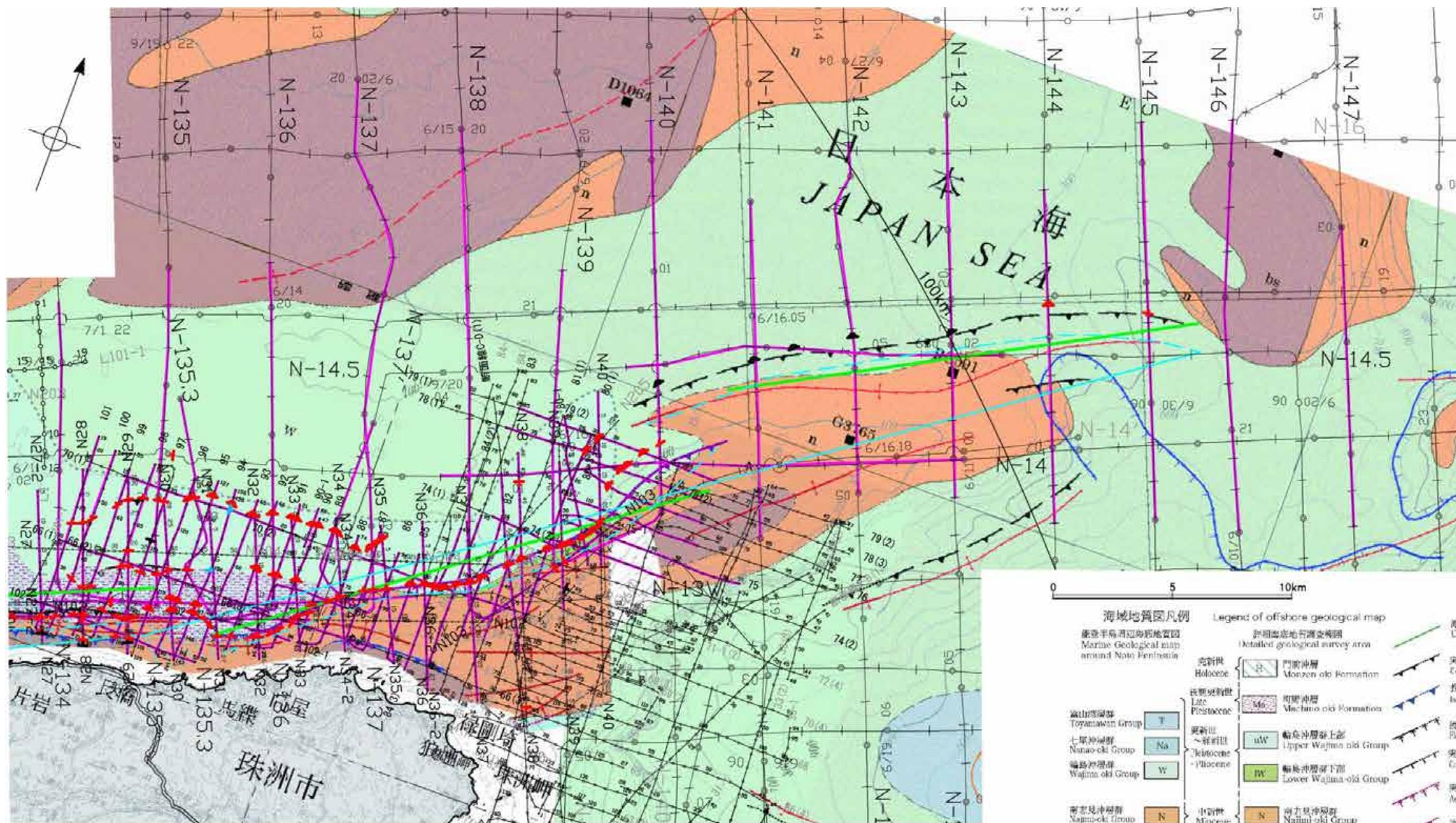
- |       |  |         |     |                                     |
|-------|--|---------|-----|-------------------------------------|
| —(D)— | 連続性のない断層(拗曲)                             | No. 3   | ○—○ | 調査測線(北陸電力:スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール) |
| —+—   | B <sub>1</sub> 層以上またはQ層に変位・変形が認められる      | No. 3-S | ○—△ | 調査測線(北陸電力:スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール)  |
| —+—   | B <sub>1</sub> 層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない | L3      | ○—○ | 調査測線(三澤(1997):ウォーターガン・シングルチャンネル)    |
| —+—   | B <sub>1</sub> 層以上またはQ層に変位・変形が認められない     | N-130   | ○—○ | 調査測線(地質調査所:エアガン・シングルチャンネル)          |
| —+—   | 添付した音波探査記録                               | N8      | ○—○ | 調査測線(産業技術総合研究所:ブーマー・マルチチャンネル)       |
|       |  | 90      | ○—○ | 調査測線(海上保安庁水路部:スーパー・シングルチャンネル)       |

- +— 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
- +— 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置

<p>海城地質図凡例</p> <p>能登半島周辺海域地質図 Noto Peninsula Marine Geological map</p> <p>2007及び2008年詳細海域地質調査範囲 Detailed geological survey area in 2007 and 2008</p>	<p>Legend of offshore geological map</p> <p>詳細海域地質調査範囲 Detailed geological survey area</p>	<p>断層帯上部 Upper boundary of canyon wall</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Confirmed active fault, dotted where concealed</p> <p>推定活断層(点線は伏在) Inferred active fault, dotted where concealed</p> <p>断層軸点線(伏在) Faults, dotted where concealed</p> <p>実在逆断層(点線は伏在) Confirmed normal fault, dotted where concealed</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Active fault, dotted where concealed</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Confirmed active reverse fault, dotted where concealed</p> <p>実在活断層(点線は伏在) Confirmed thrust fault, dotted where concealed</p> <p>活断層(点線は伏在) Inferred active fault, dotted where concealed</p>
<p>第四紀群 Quaternary Group</p> <p>上泥沖層群 Numao-oki Group</p> <p>輪島沖層群 Wajima-oki Group</p> <p>南志見沖層群 Najimi-oki Group</p> <p>音響基底 Acoustic basement</p>	<p>白垩紀 Cretaceous</p> <p>新第三紀 Neogene</p> <p>中新世 Miocene</p>	<p>門前沖層 Monzen-oki Formation</p> <p>野野沖層 Nobino-oki Formation</p> <p>輪島沖層群上部 Upper Wajima-oki Group</p> <p>輪島沖層群下部 Lower Wajima-oki Group</p> <p>南志見沖層群 Najimi-oki Group</p> <p>音響基底 Acoustic basement</p>

[井上・岡村(2010)]

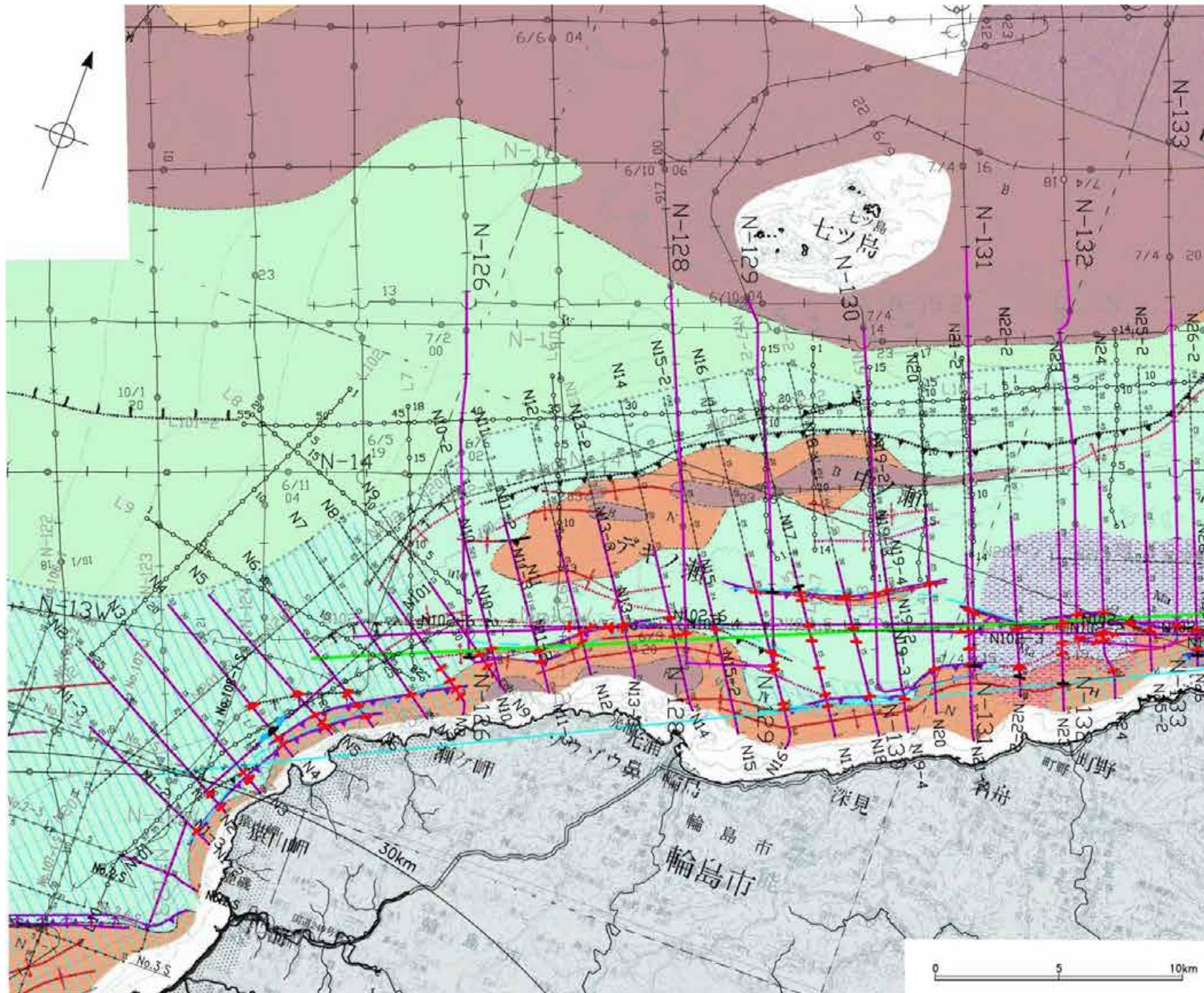
# 音波探査記録 添付測線②(能登半島北部沿岸域断層帯 北東部)



- 凡例**
- 上(D) 連続性のない断層(拗曲)
  - 上(B) B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形が認められる
  - 上(P) B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
  - 上(T) B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形が認められない
  - 添付した音波探査記録
  - 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
  - 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置
- 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル) N-130
- 調査測線 (海上保安庁水路部: スパーカー・シングルチャンネル) 90
- 調査測線 (産業技術総合研究所: ブーマー・マルチチャンネル) N8
- 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル) L3

[井上・岡村(2010)]

# 音波探査記録 添付測線③(能登半島北部沿岸域断層帯 南西部)

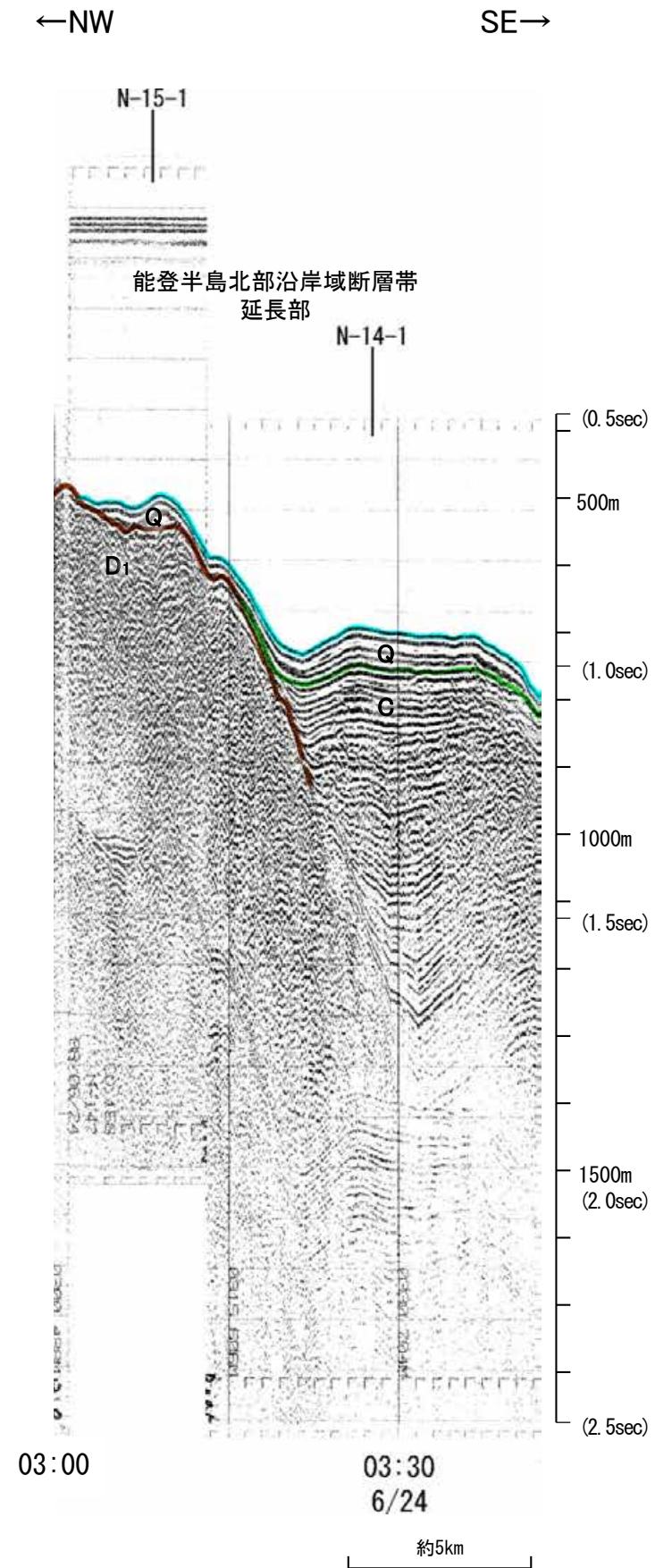
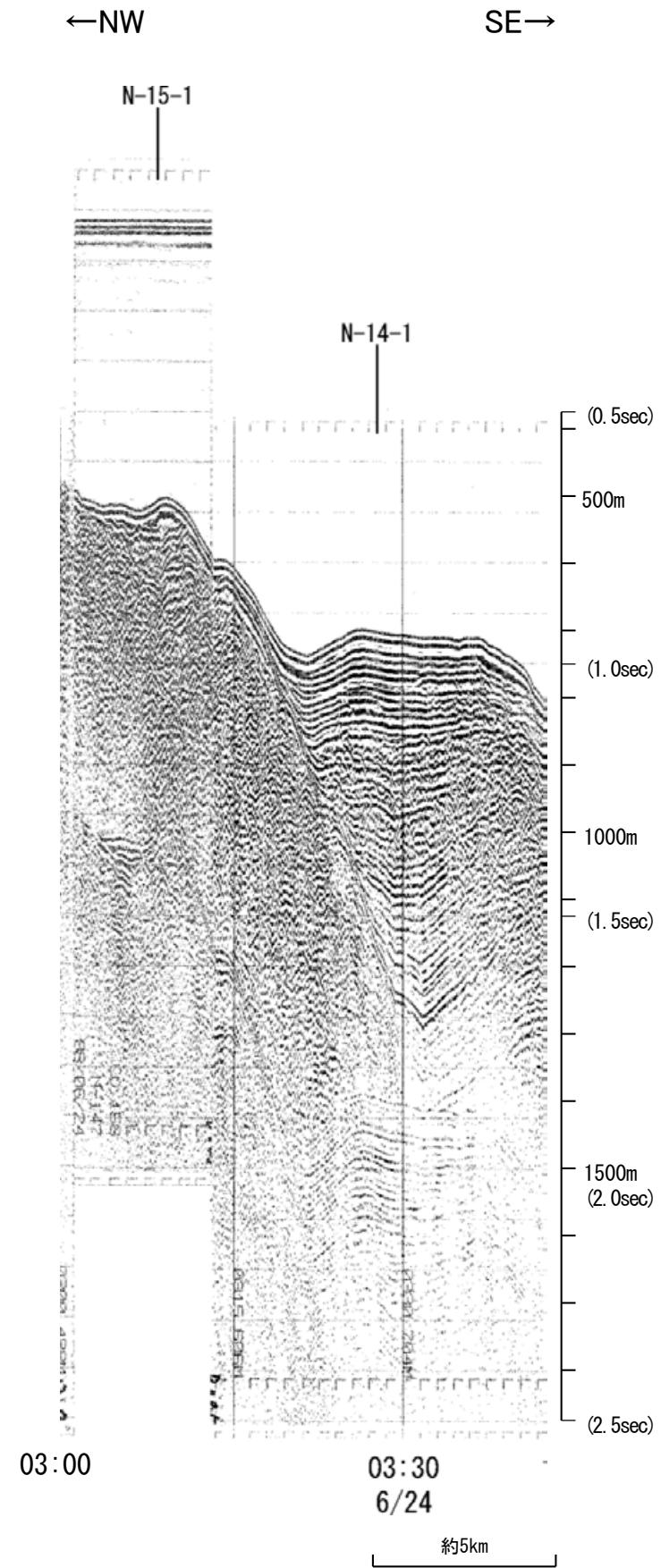


- 凡 例
- 連続性のない断層(撓曲)
  - B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形が認められる
  - B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形の可能性が否定できない
  - B<sub>1</sub>層以上またはQ層に変位・変形が認められない
  - No. 3 調査測線(北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
  - No. 3-S 調査測線(北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
  - L3 調査測線(三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
  - N-130 調査測線(地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
  - N8 調査測線(産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
  - 添付した音波探査記録
  - 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
  - 文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置

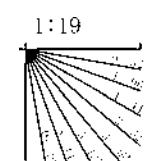
- 海域地質図凡例 Legend of offshore geological map
- |  |   |  |
|--|---|--|
| 能登半島周辺海域地質図<br>Marine Geological map around Noto Peninsula | 詳細海域地質調査範囲<br>Detailed geological survey area                             | 海成谷壁<br>Upper boundary of canyon wall                                    |
| 完全世<br>Holocene  | 門前沖層<br>Manzen-oki Formation  | 左在逆断層(点線は伏在)<br>Confirmed reverse fault, dotted where concealed          |
| 後更新新世<br>Late Pleistocene                                  | 町野沖層<br>Machino-oki Formation   | 推定逆断層(点線は伏在)<br>Inferred reverse fault, dotted where concealed           |
| Toyamawan Group  | 更新世<br>Pleistocene  | 構造軸(点線は伏在)<br>Flexure, dotted where concealed                            |
| 七尾沖層群<br>Nanao-oki Group                                   | 輪島沖層群上部<br>Upper Wajima-oki Group   | 奥在正断層(点線は伏在)<br>Confirmed normal fault, dotted where concealed           |
| 輪島沖層群<br>Wajima-oki Group                                  | 輪島沖層群下部<br>Lower Wajima-oki Group   | 実在活断層(点線は伏在)<br>Active fault, dotted where concealed                     |
| 南志見沖層群<br>Najimi-oki Group                                 | 中世<br>Miocene   | 実在活断層(点線は伏在)<br>Confirmed active reverse fault, dotted where concealed   |
| 音響基盤<br>Acoustic Basement                                  | 南志見沖層群<br>Najimi-oki Group  | 非在直断層(点線は伏在)<br>Unconfirmed normal fault, dotted where concealed         |
|  | 音響基盤<br>Acoustic Basement   | 非在活断層(点線は伏在)<br>Unconfirmed active reverse fault, dotted where concealed |
|  | チャンネル堆積物<br>Channel deposits  | 非在直断層(点線は伏在)<br>Unconfirmed normal fault, dotted where concealed         |
|  | 2007及/2008年詳細海域地質調査範囲<br>Detailed geological survey area in 2007 and 2008 | 非在活断層(点線は伏在)<br>Unconfirmed active reverse fault, dotted where concealed |

[井上・岡村(2010)]

# 地質調査所エアガン N-147

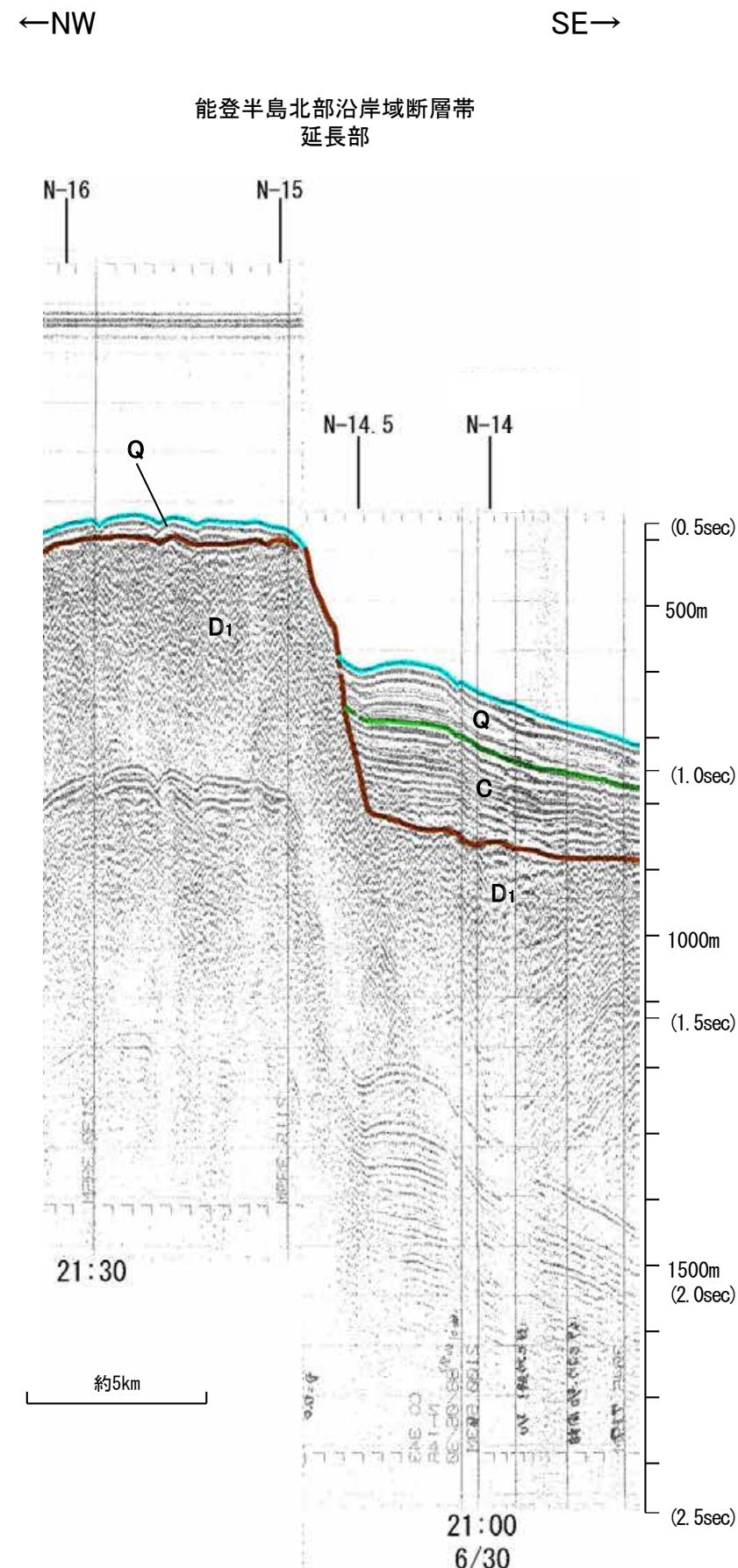
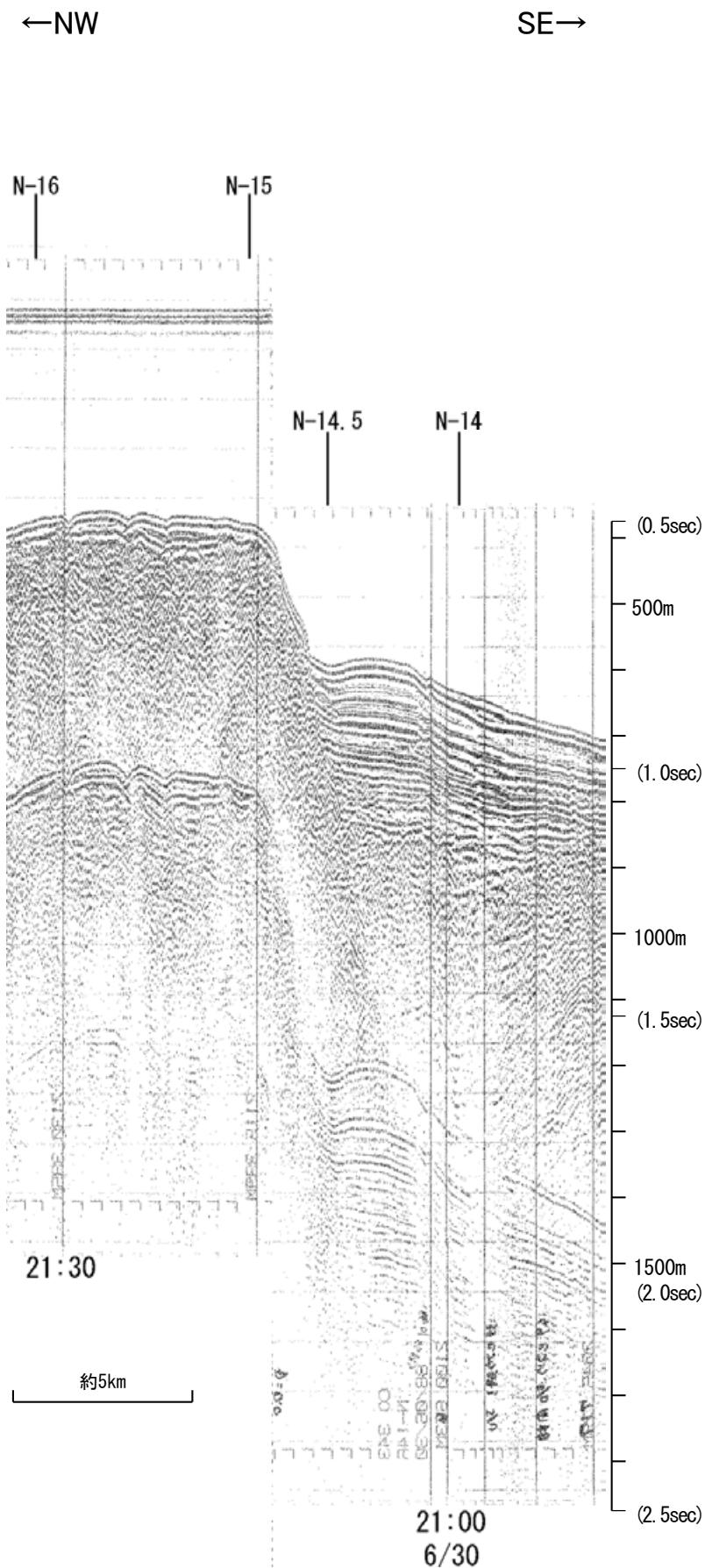


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	中期	B層
			B層
	前期	C層	
		C層	
第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層	D層	

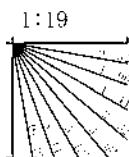


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-146

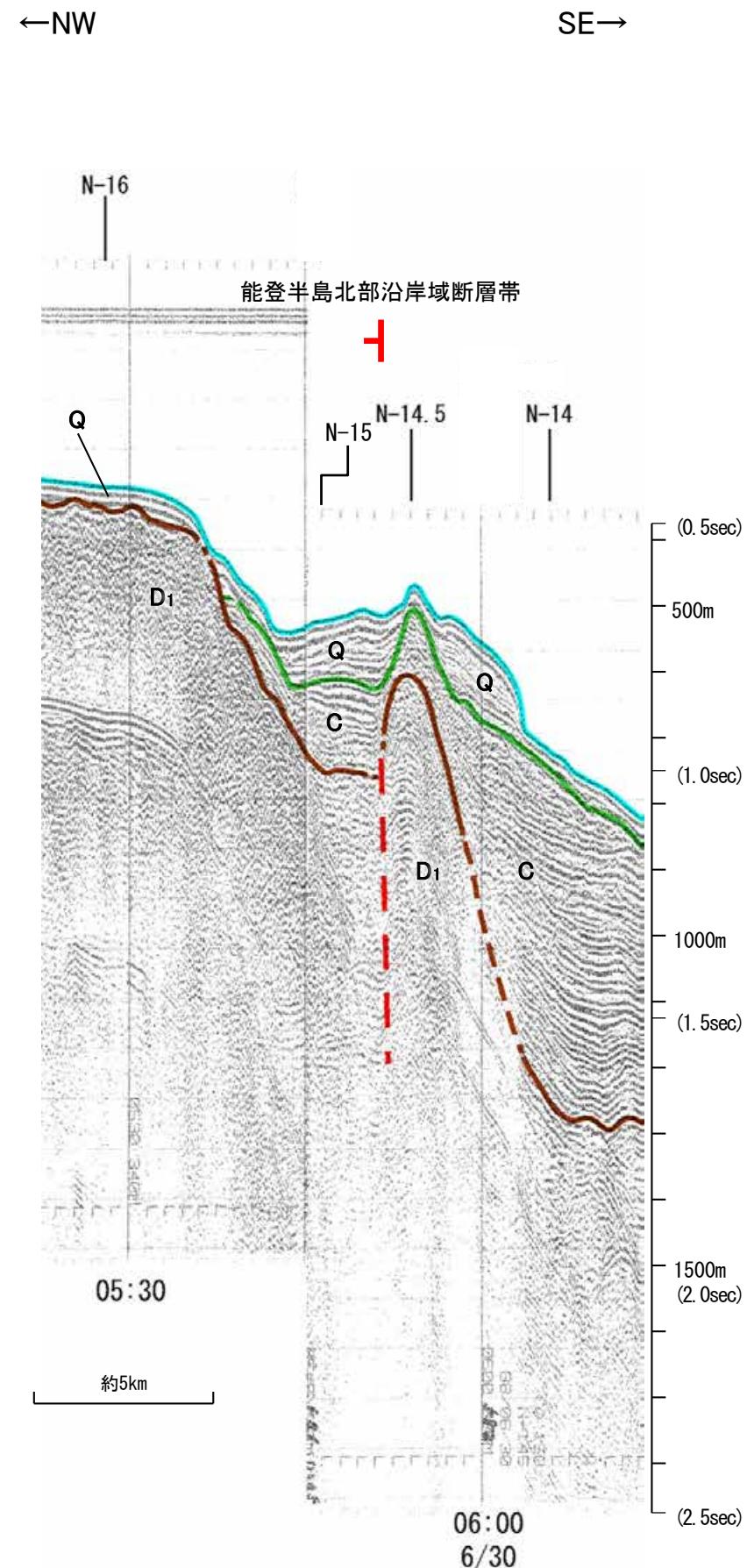
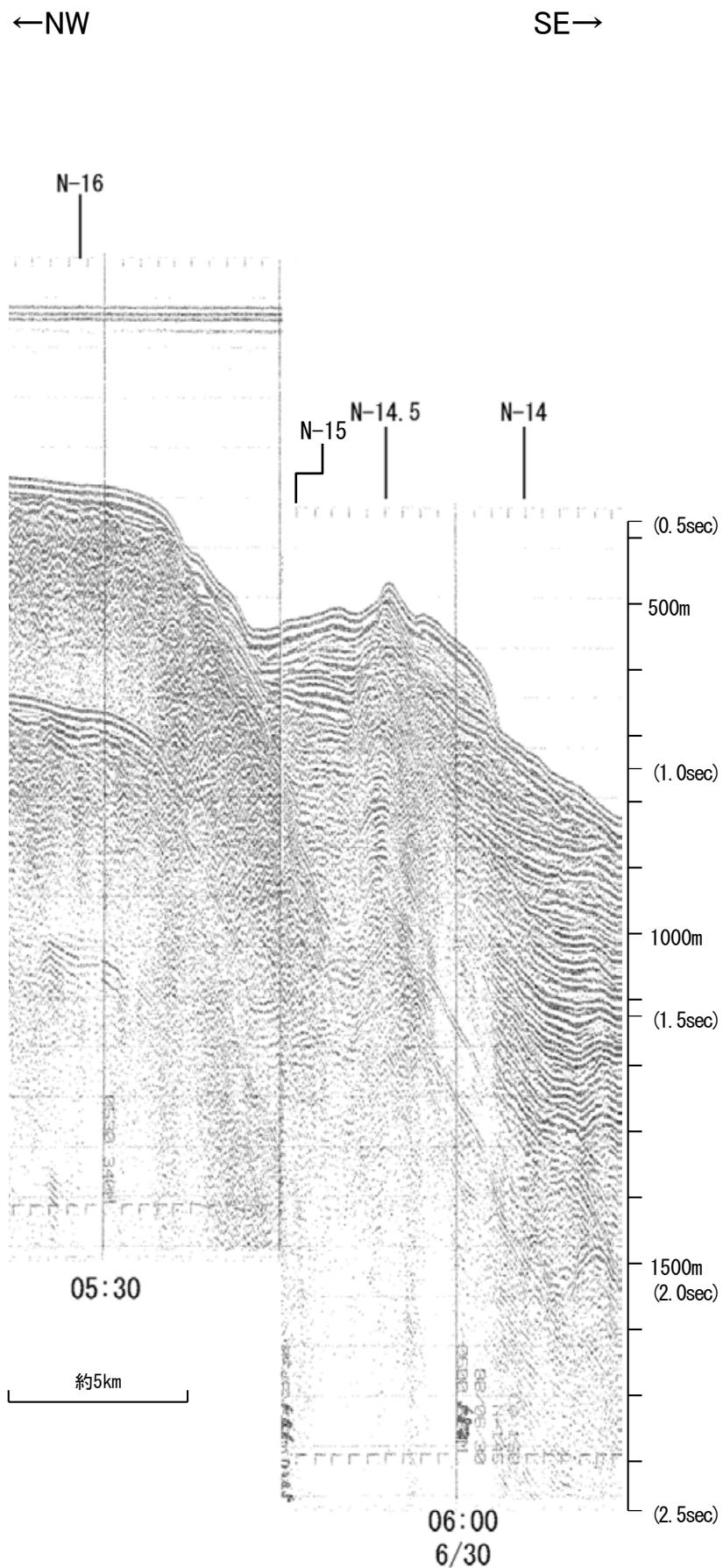


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B <sub>1</sub> 層	
		B <sub>2</sub> 層	
	中期	B <sub>3</sub> 層	
		B <sub>4</sub> 層	
前期	C層		
第三紀	鮮新世	C <sub>2</sub> 層	
	中新世	D <sub>1</sub> 層	
		D <sub>2</sub> 層	
古第三紀	D <sub>3</sub> 層		
先第三紀			

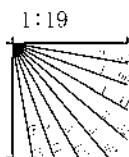


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-145

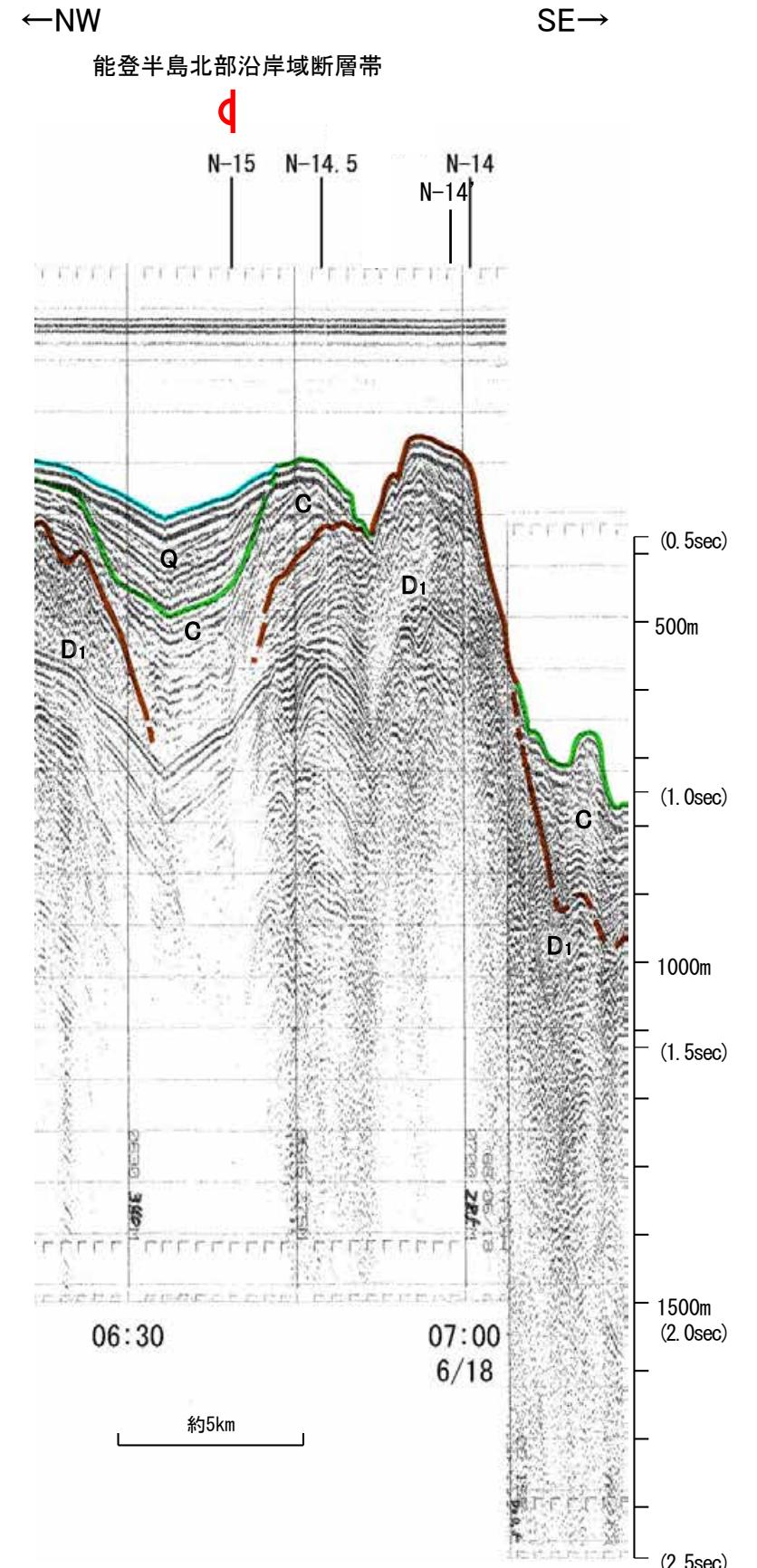
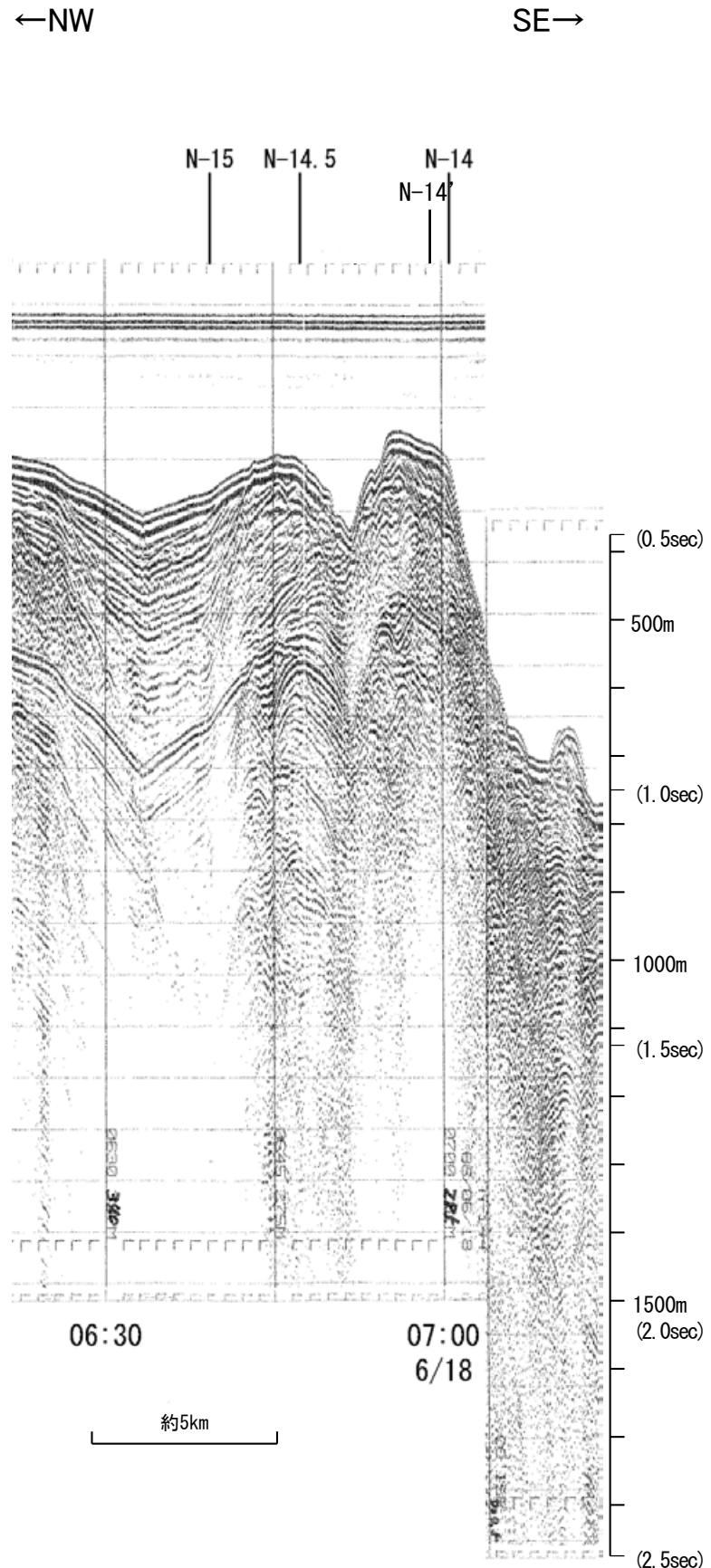


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
		B <sub>1</sub> 層	
	更新世	B <sub>2</sub> 層	
第三紀	中期	B <sub>3</sub> 層	
	前期	C層	
		C <sub>1</sub> 層	
鮮新世	D層		
新第三紀	中新世	D <sub>1</sub> 層	
	古第三紀	D <sub>2</sub> 層	
先第三紀	D <sub>3</sub> 層		

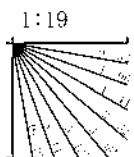


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-144

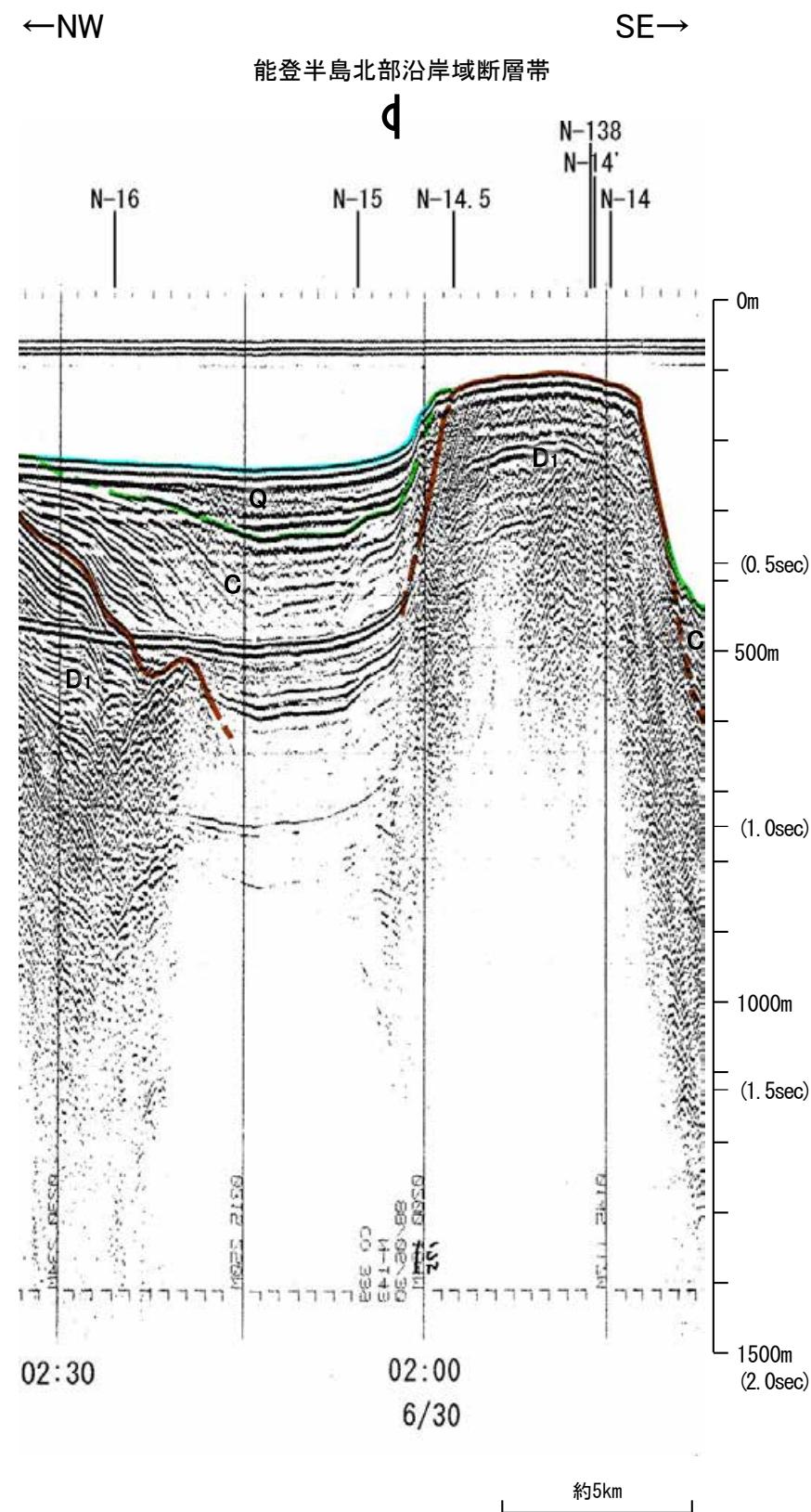
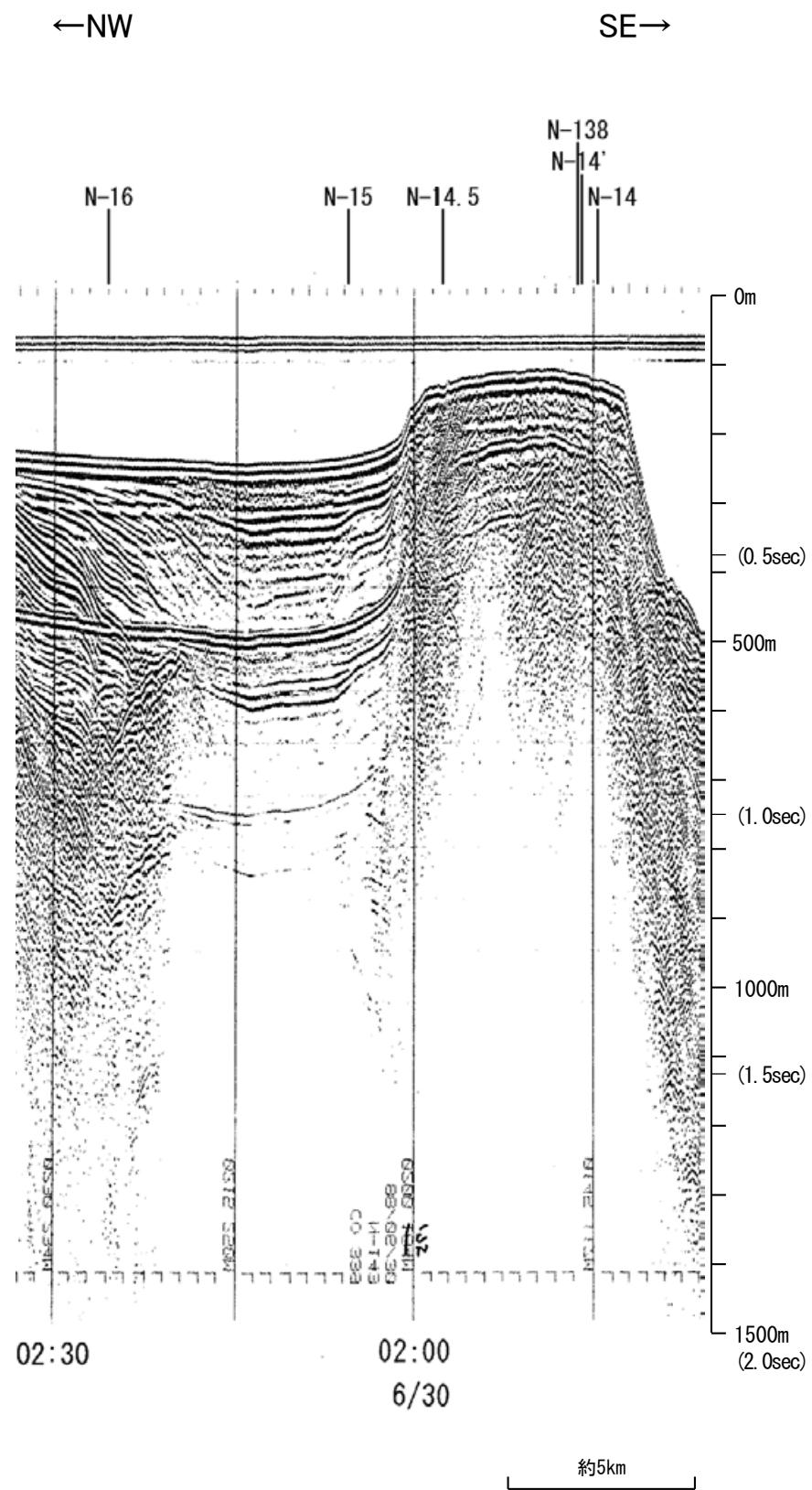


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	Q層
第三紀	中新世	B層	B層
	前期	B層	B層
	C層	C層	
鮮新世	C層	C層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

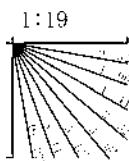


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-143

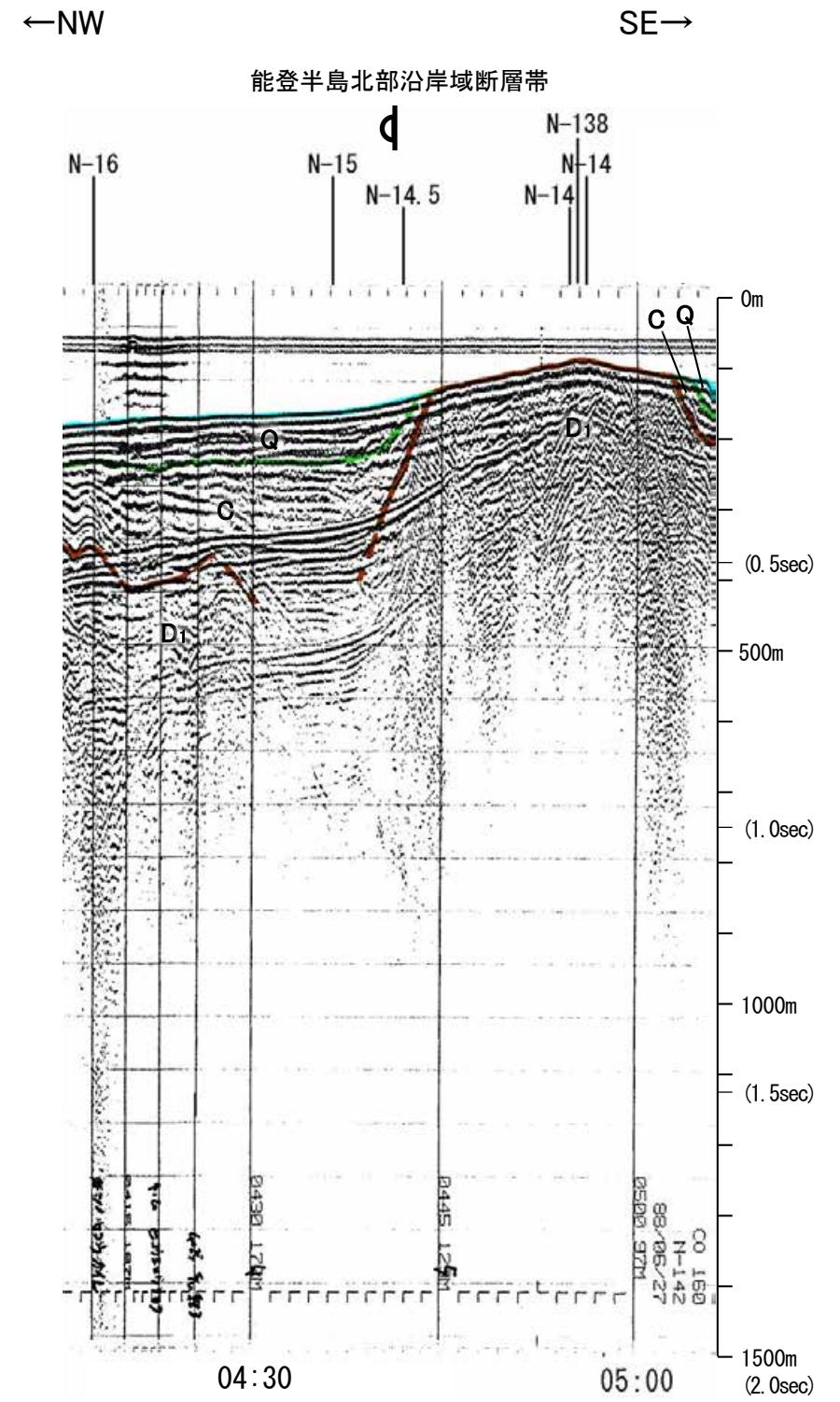
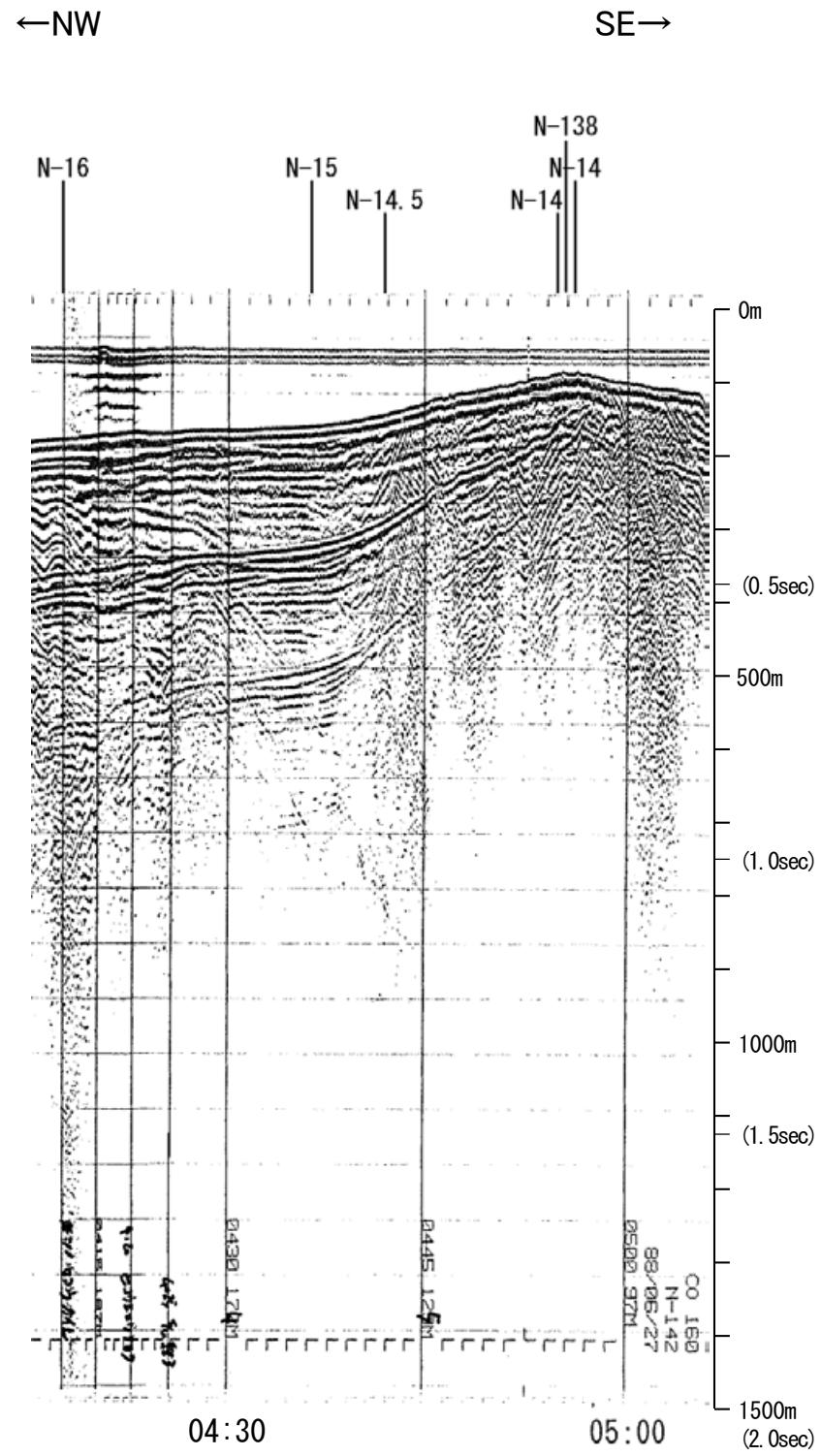


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	中期	B層	B層
	前期	C層	C層
	鮮新世	C層	C層
新第三紀	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	D層



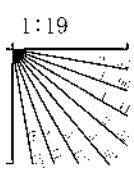
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-142



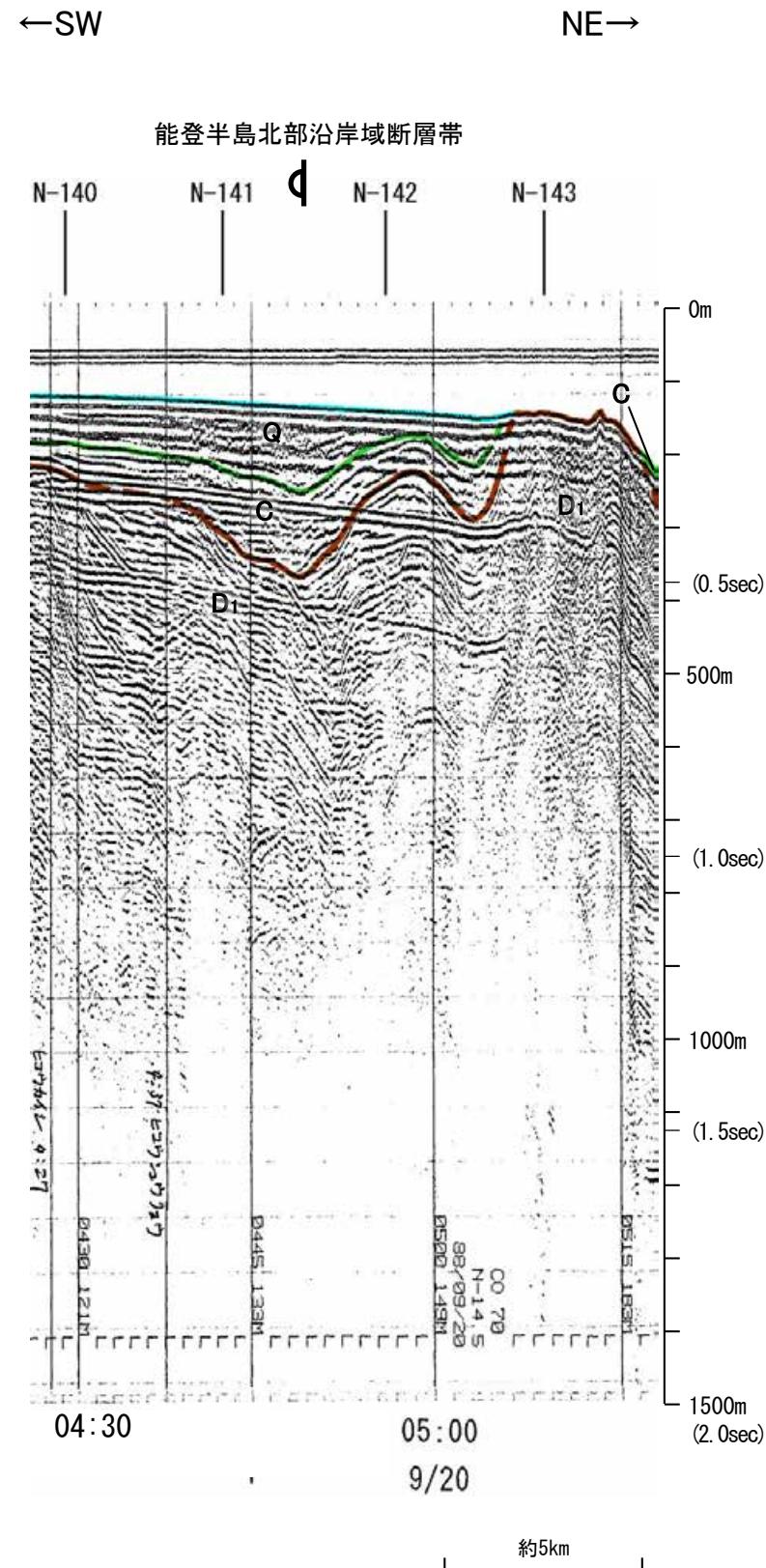
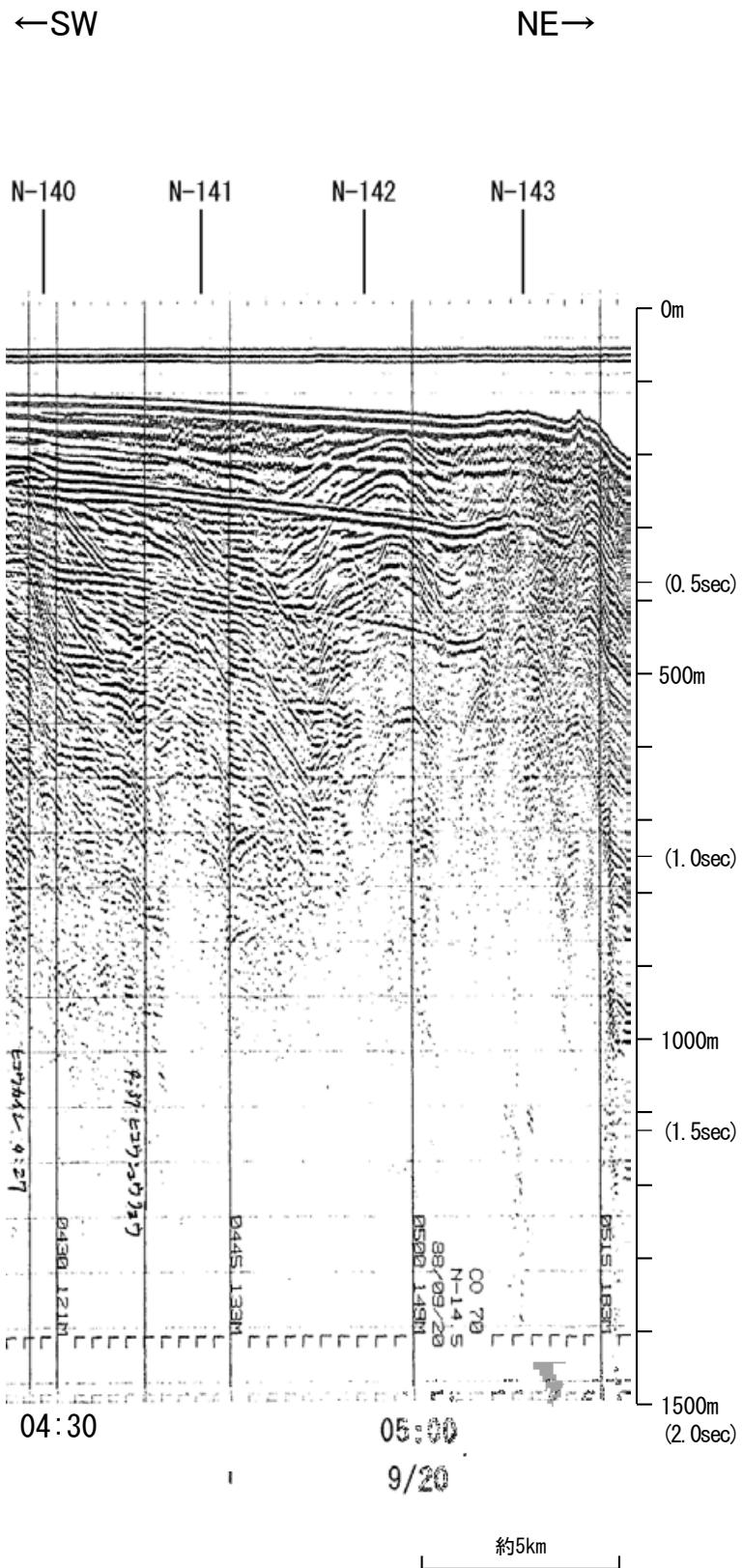
能登半島北部沿岸域断層帯

地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		Q層
	更新世	B層
		中期
前期	B層	
	C層	
	C層	
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

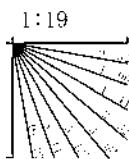


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-14.5



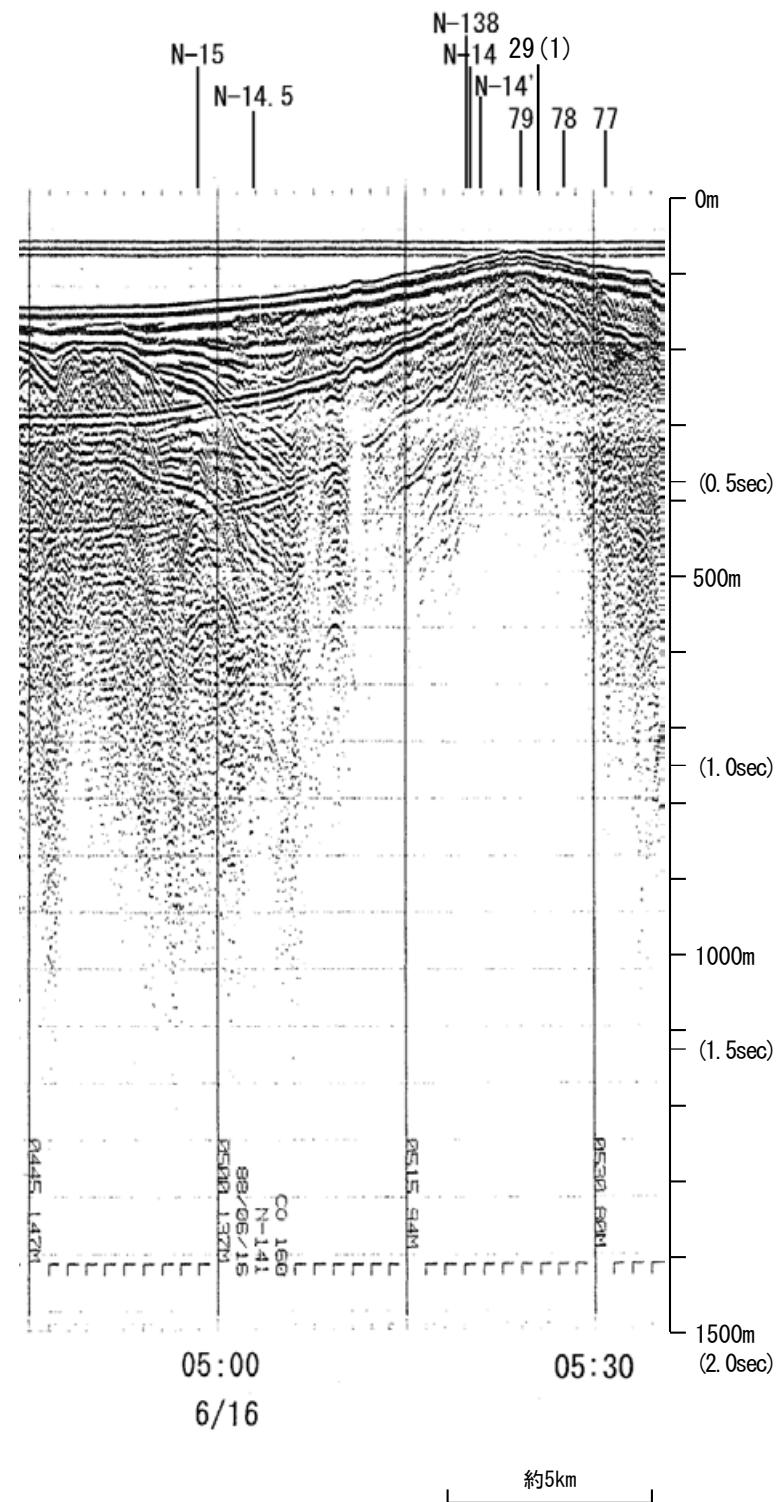
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		Q層	B層
	更新世	B層	B層
第三紀	中期	B層	B層
	前期	C層	C層
		C層	C層
鮮新世	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

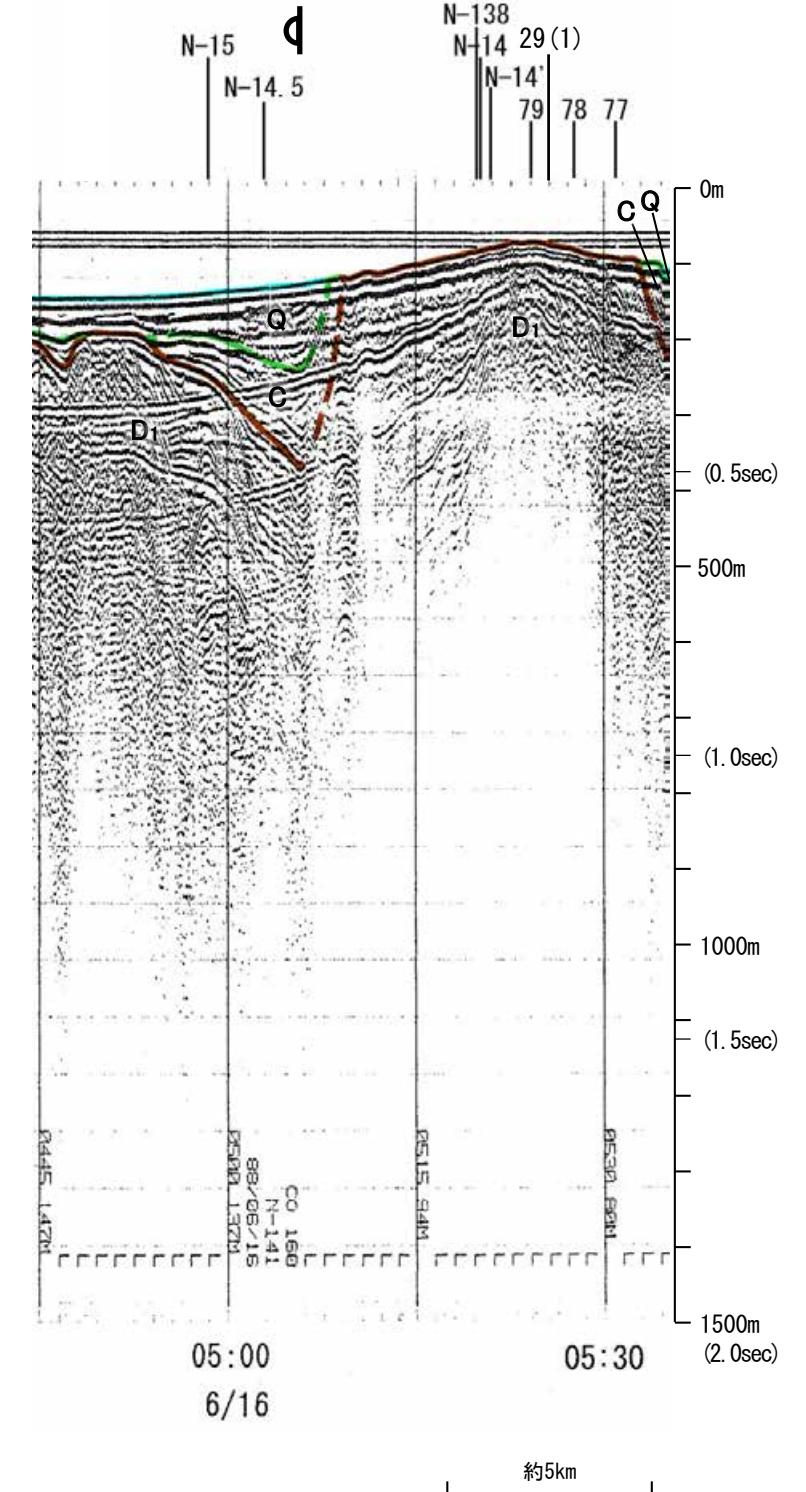
# 地質調査所エアガン N-141

←NW SE→

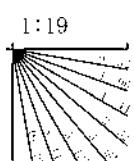


←NW SE→

能登半島北部沿岸域断層帯

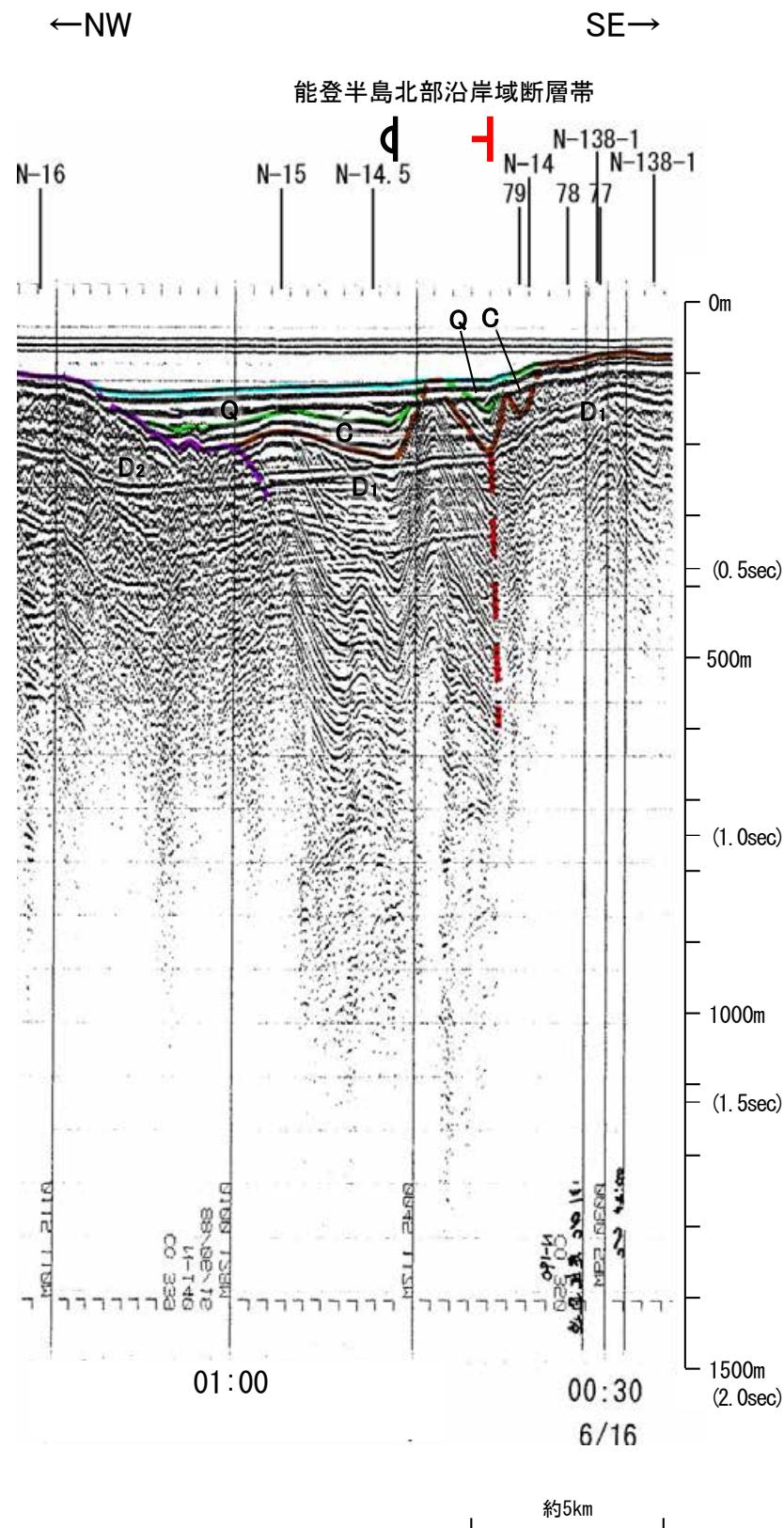
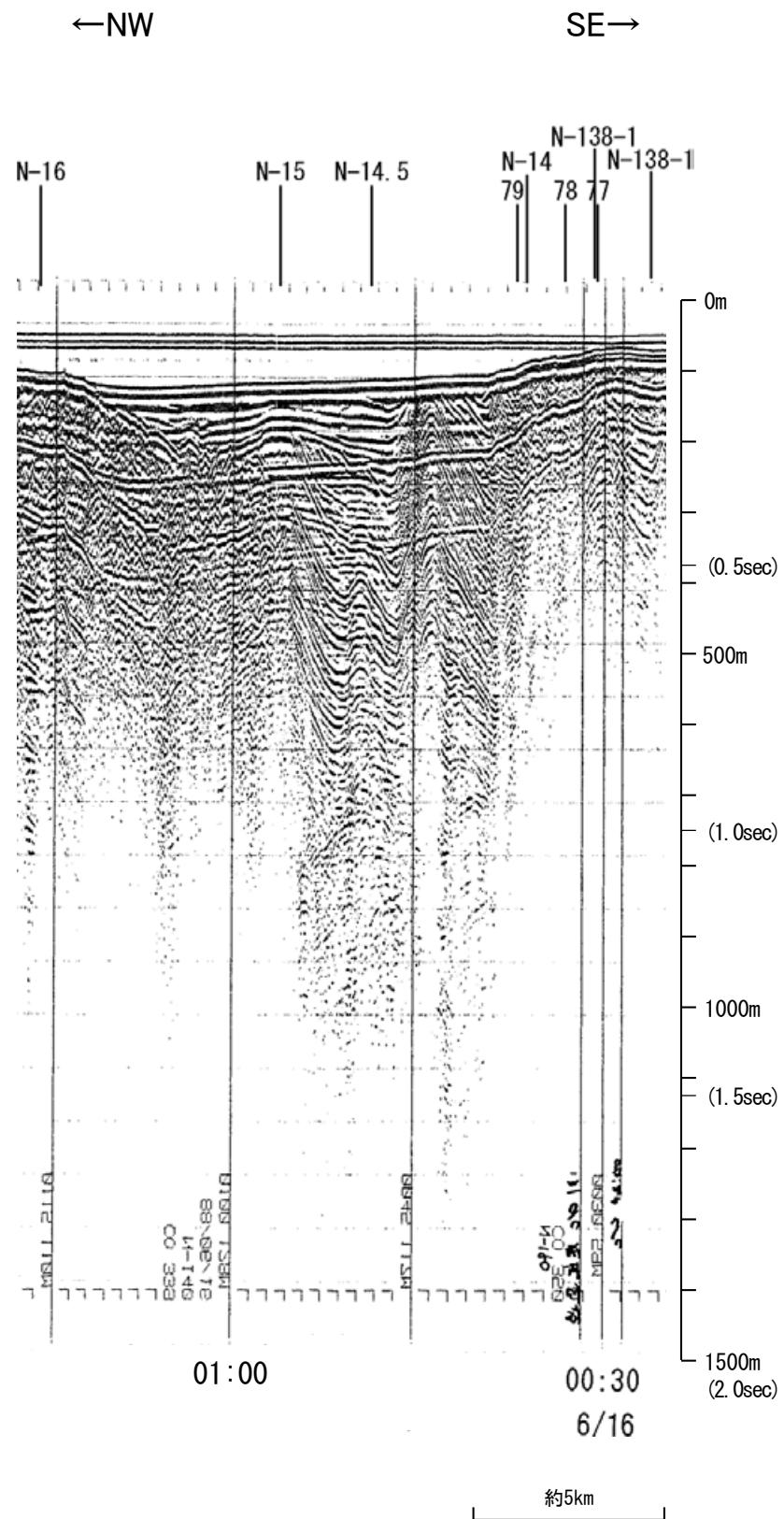


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
		B層	
	中期	B層	
		B層	
前期	C層		
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
		D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

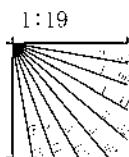


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-140

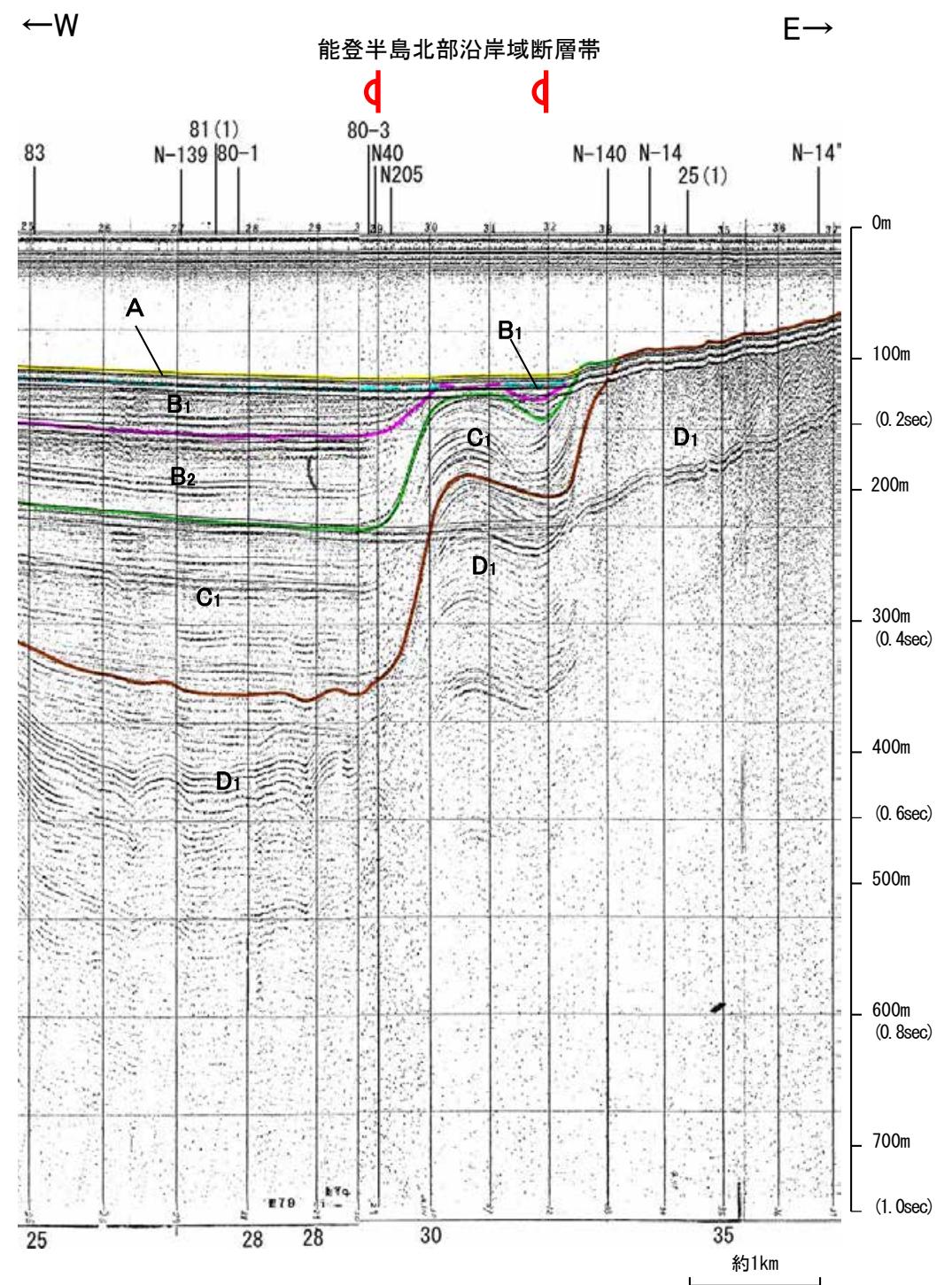
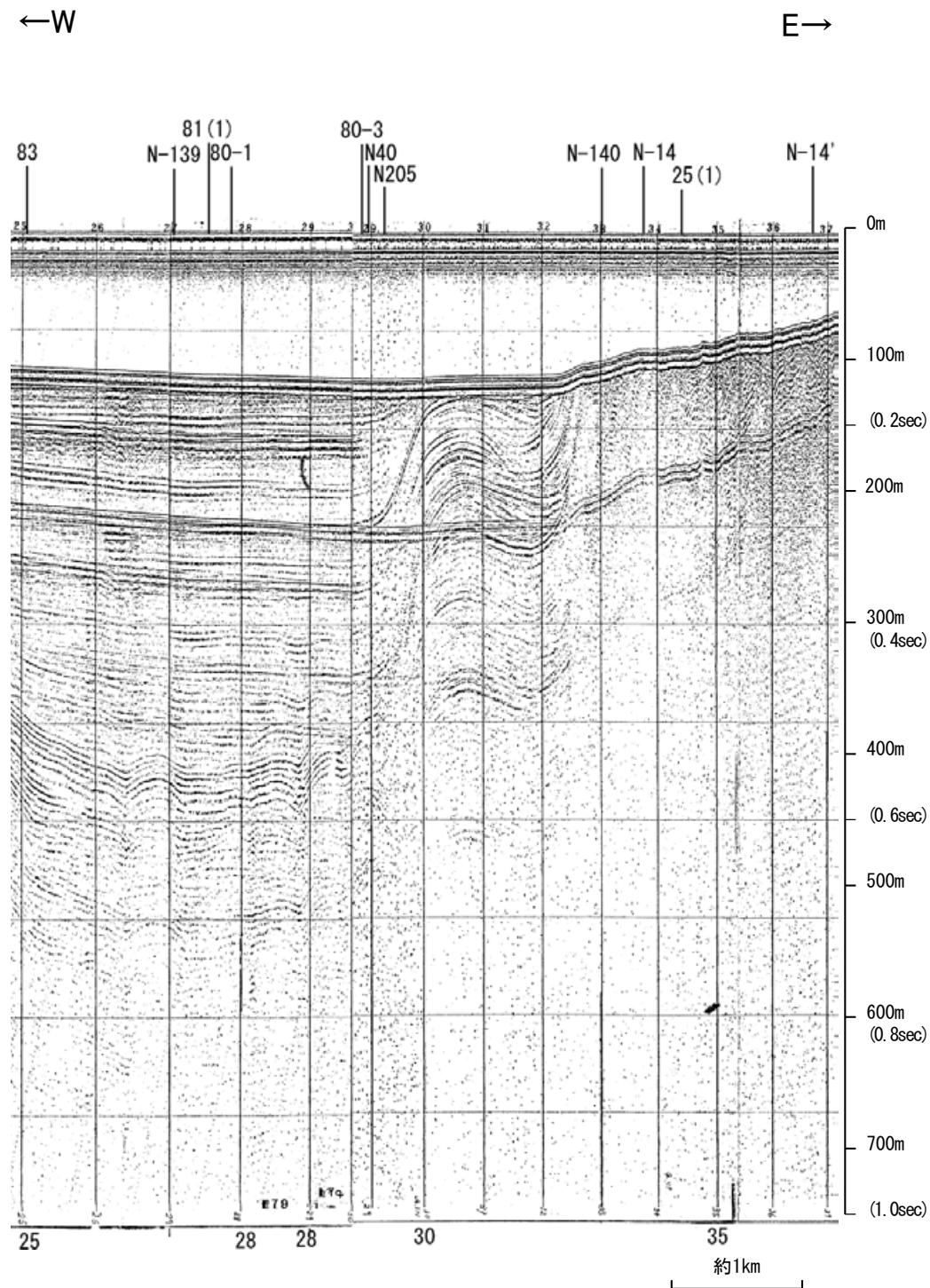


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	中新世	B層	B層
	前期	C層	C層
	鮮新世	C層	C層
古第三紀	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	D層

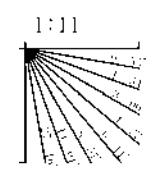


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 79(1),79(2)

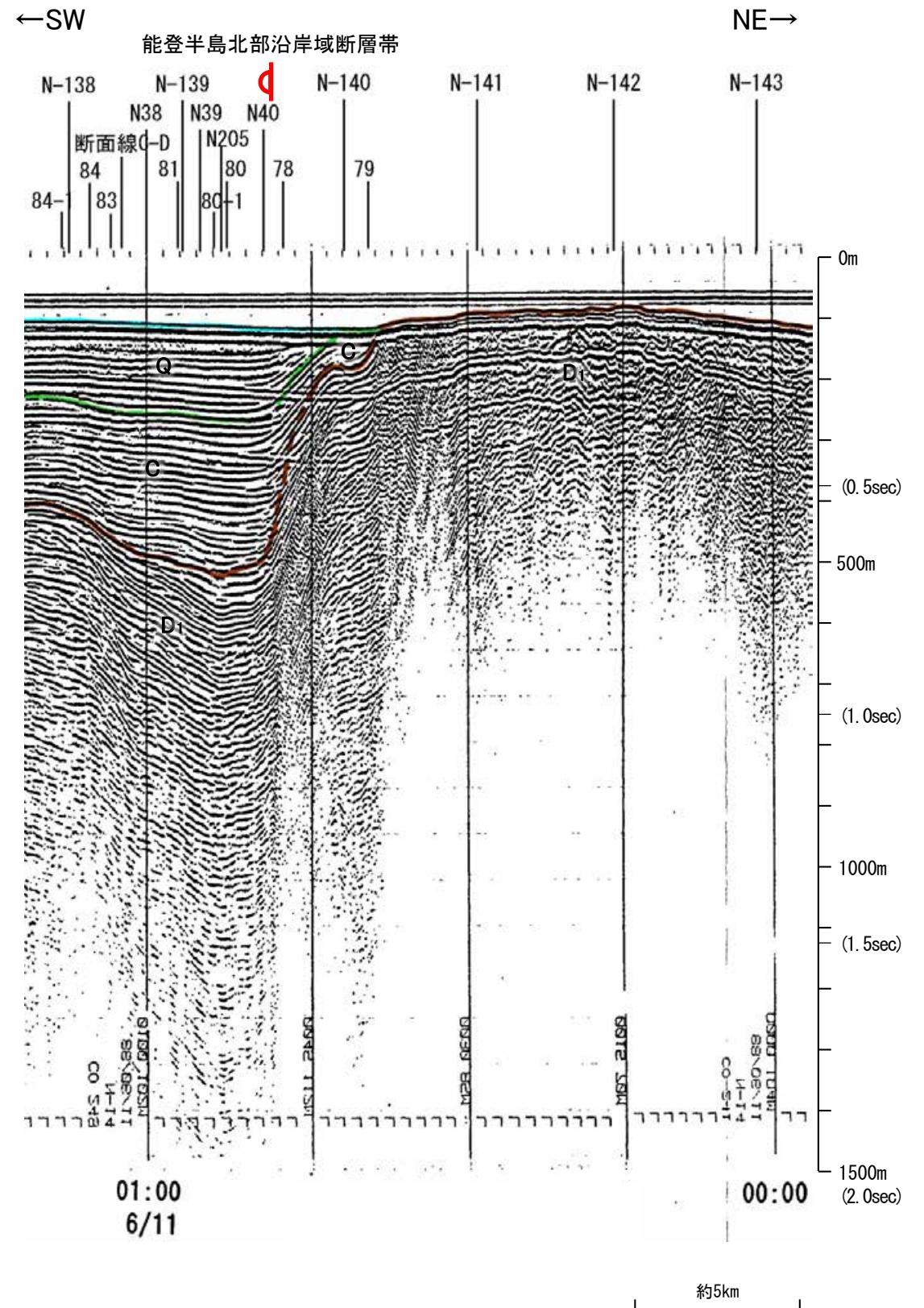
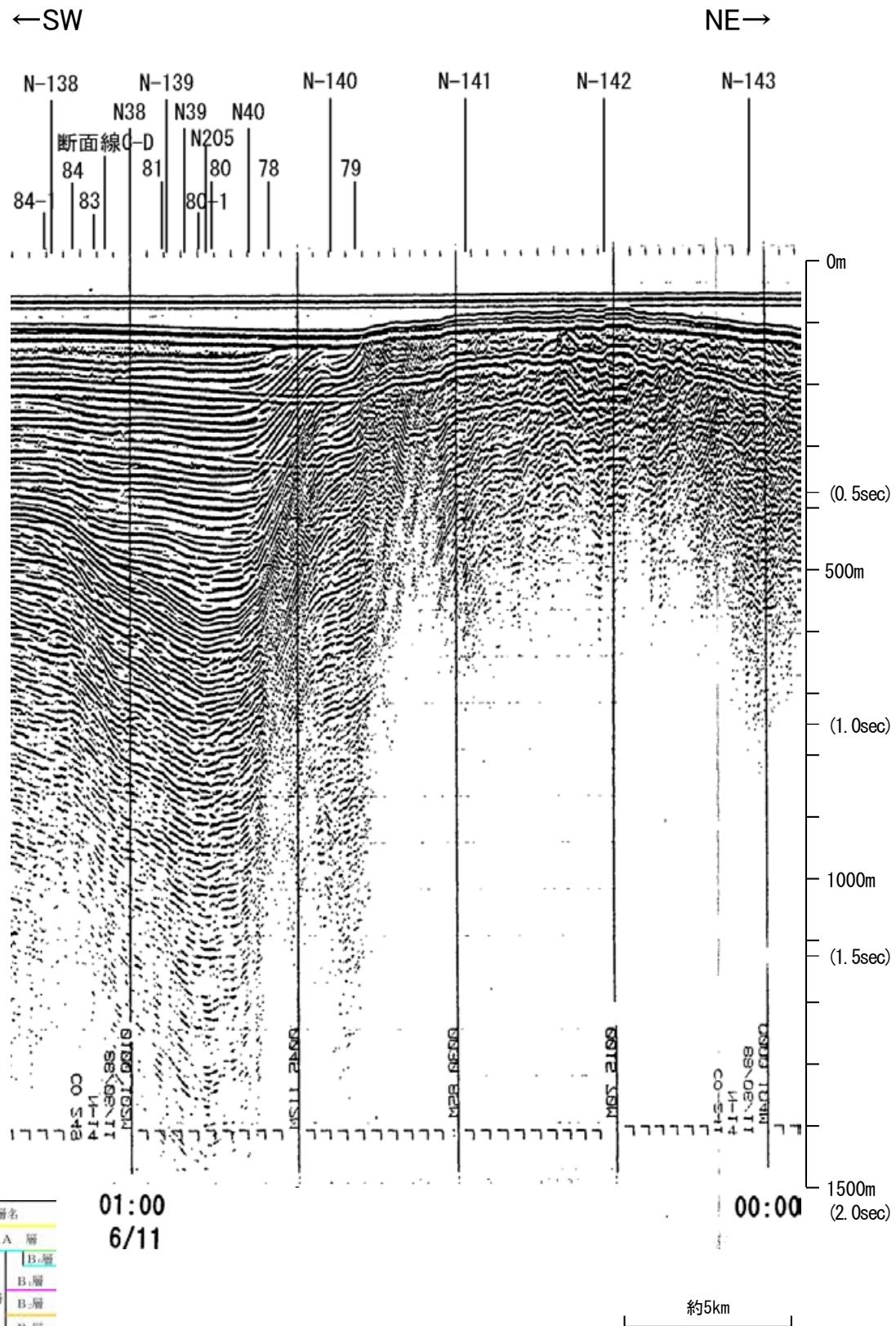


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

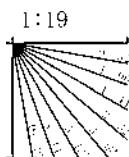


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-14



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	
	C層	
	D層	
	D層	
先第三紀	D層	

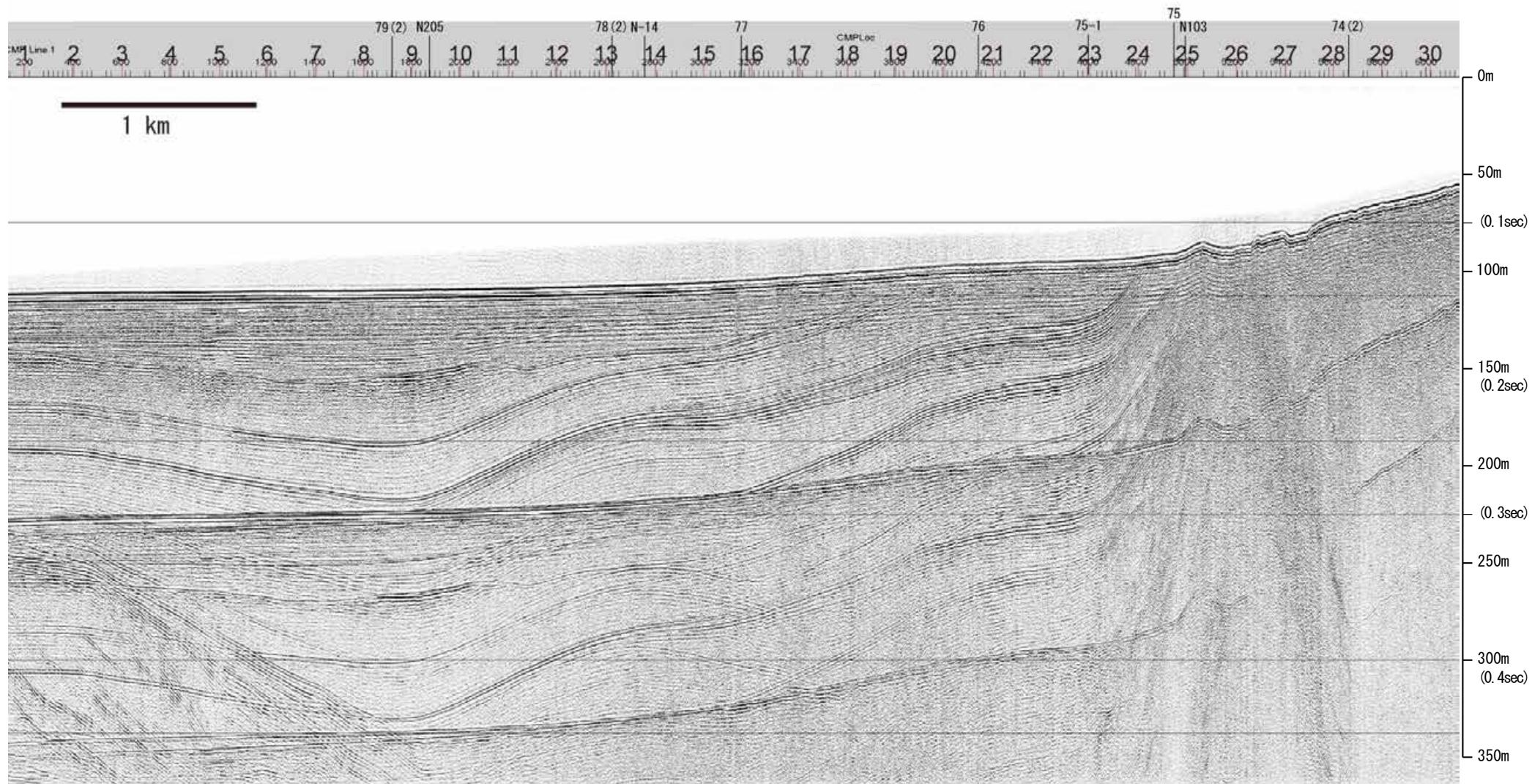


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

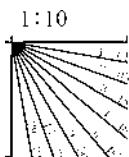
# 産総研ブーマー N40

←NNW

SSE→



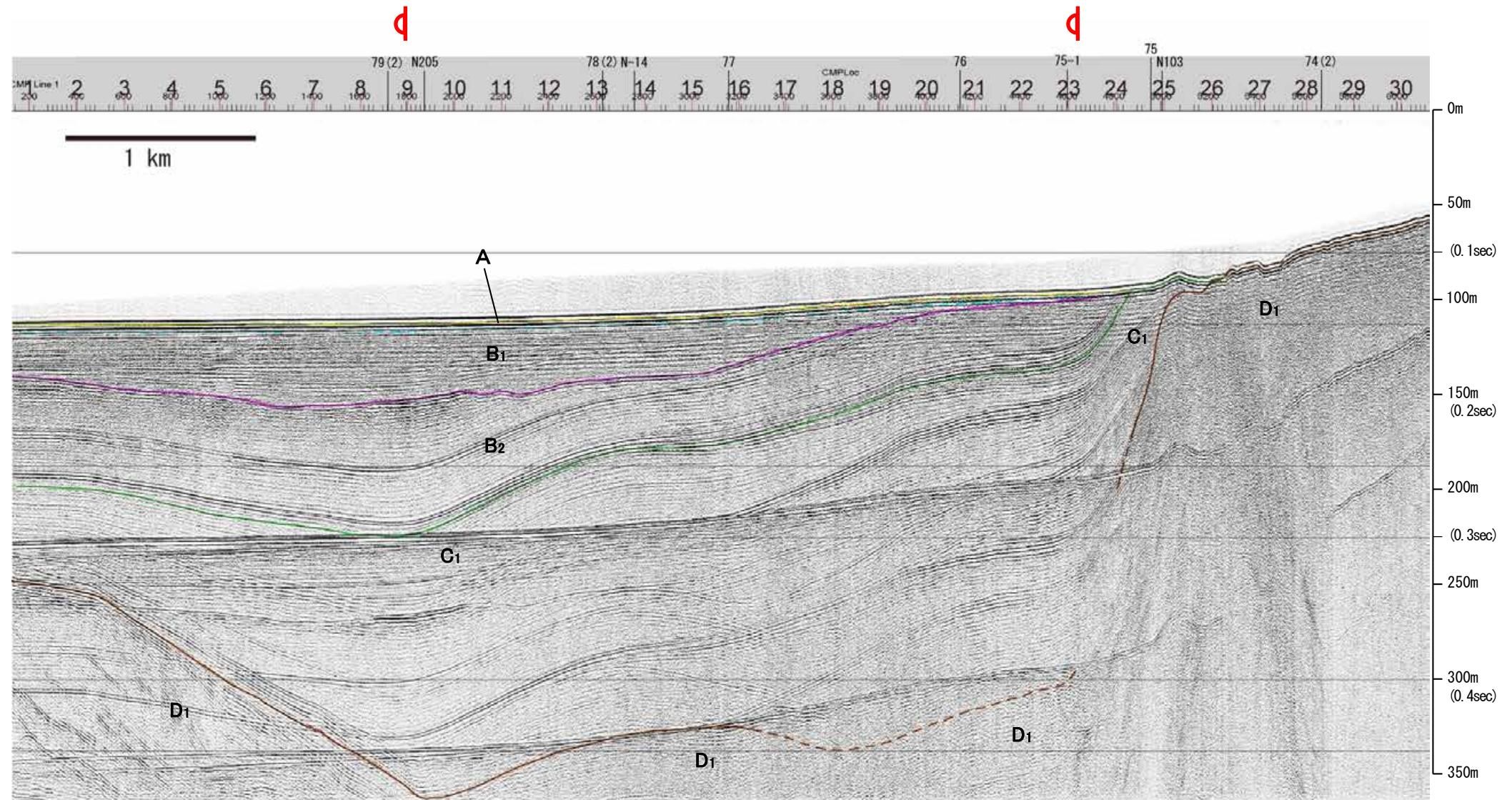
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		Q層	B層
	中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



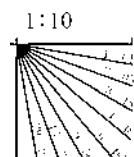
←NNW

SSE→

## 能登半島北部沿岸域断層帯



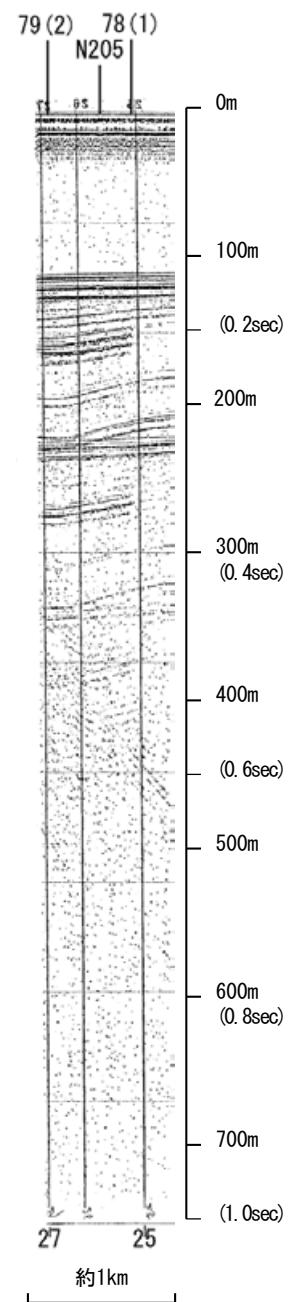
地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	中期		B層
			B層
前期		C層	
第三紀	鮮新世		C層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



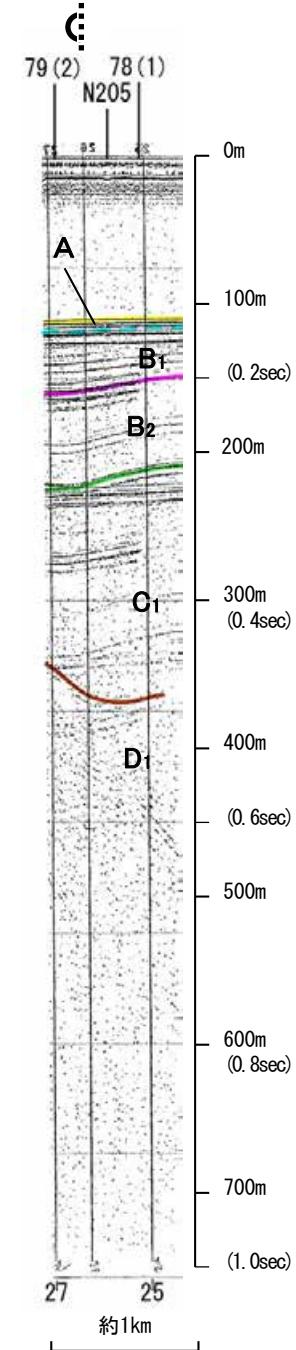
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 80-3

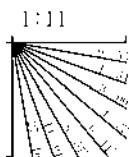
←N S→



←N S→  
能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B <sub>1</sub> 層
			B <sub>2</sub> 層
	前期	C層	
第三紀	D層	C <sub>1</sub> 層	
鮮新世		C <sub>2</sub> 層	
中新世		D <sub>1</sub> 層	
古第三紀		D <sub>2</sub> 層	
先第三紀			



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 78(1),78(2),78(3)

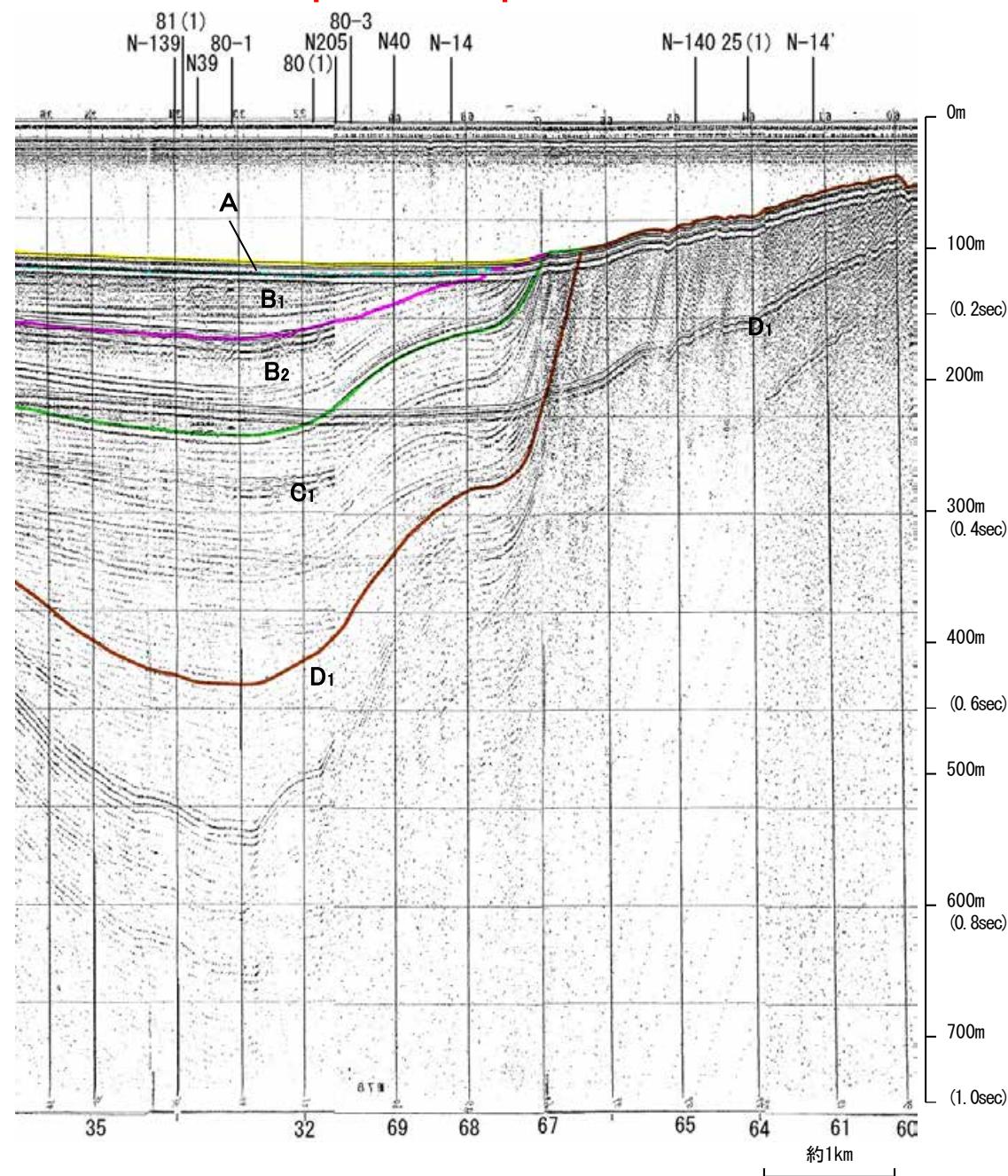
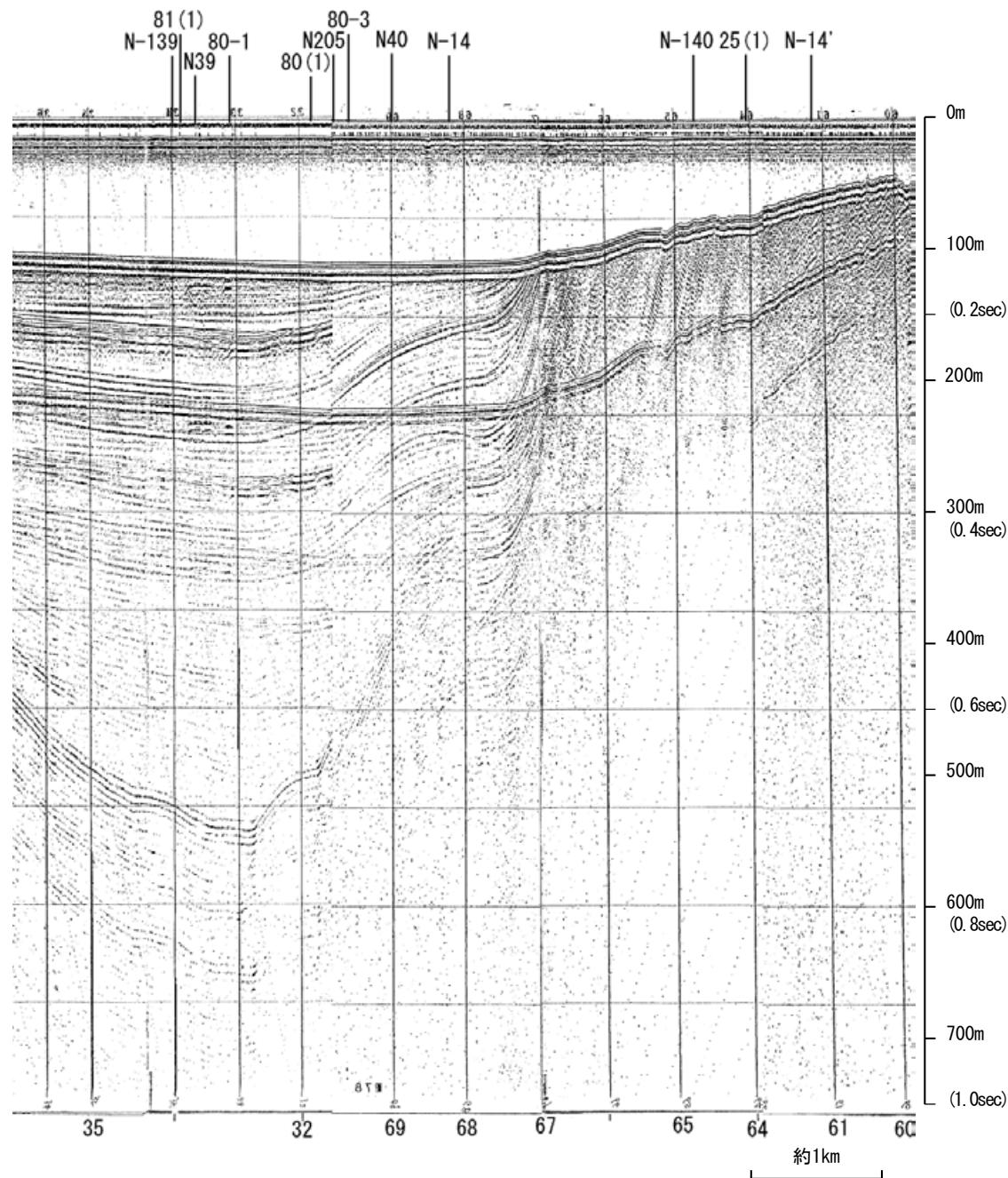
←W

E→

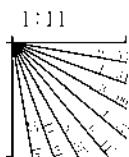
←W

E→

能登半島北部沿岸域断層帯



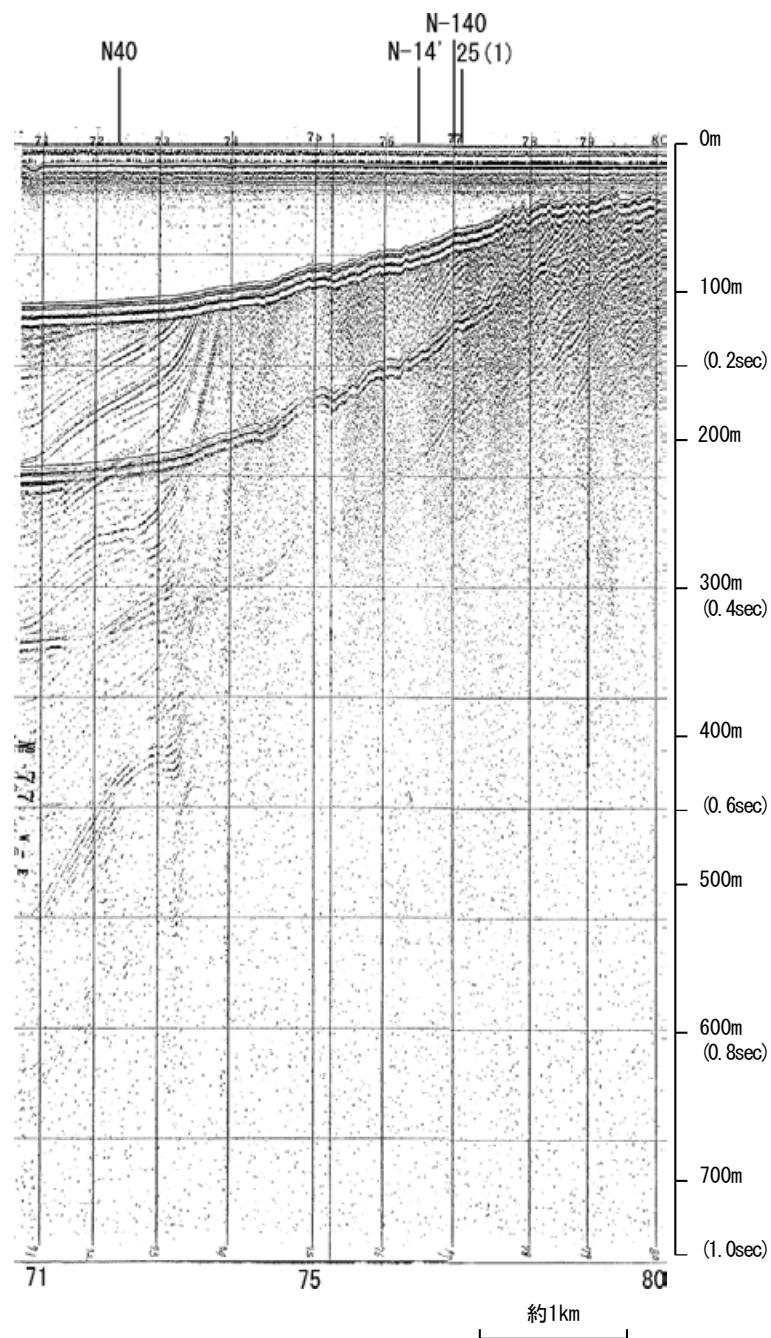
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



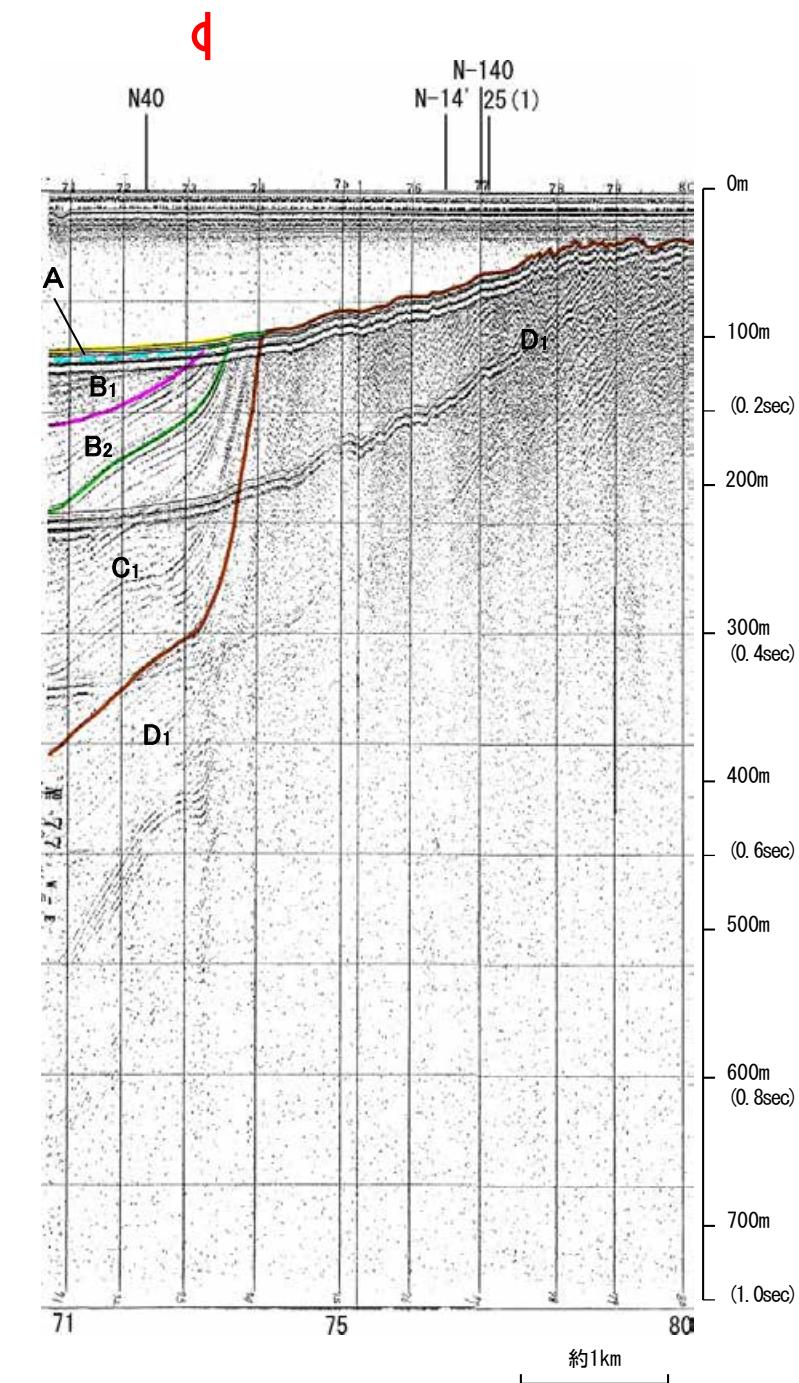
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 77

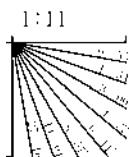
←W E→



←W E→  
能登半島北部沿岸域断層帯

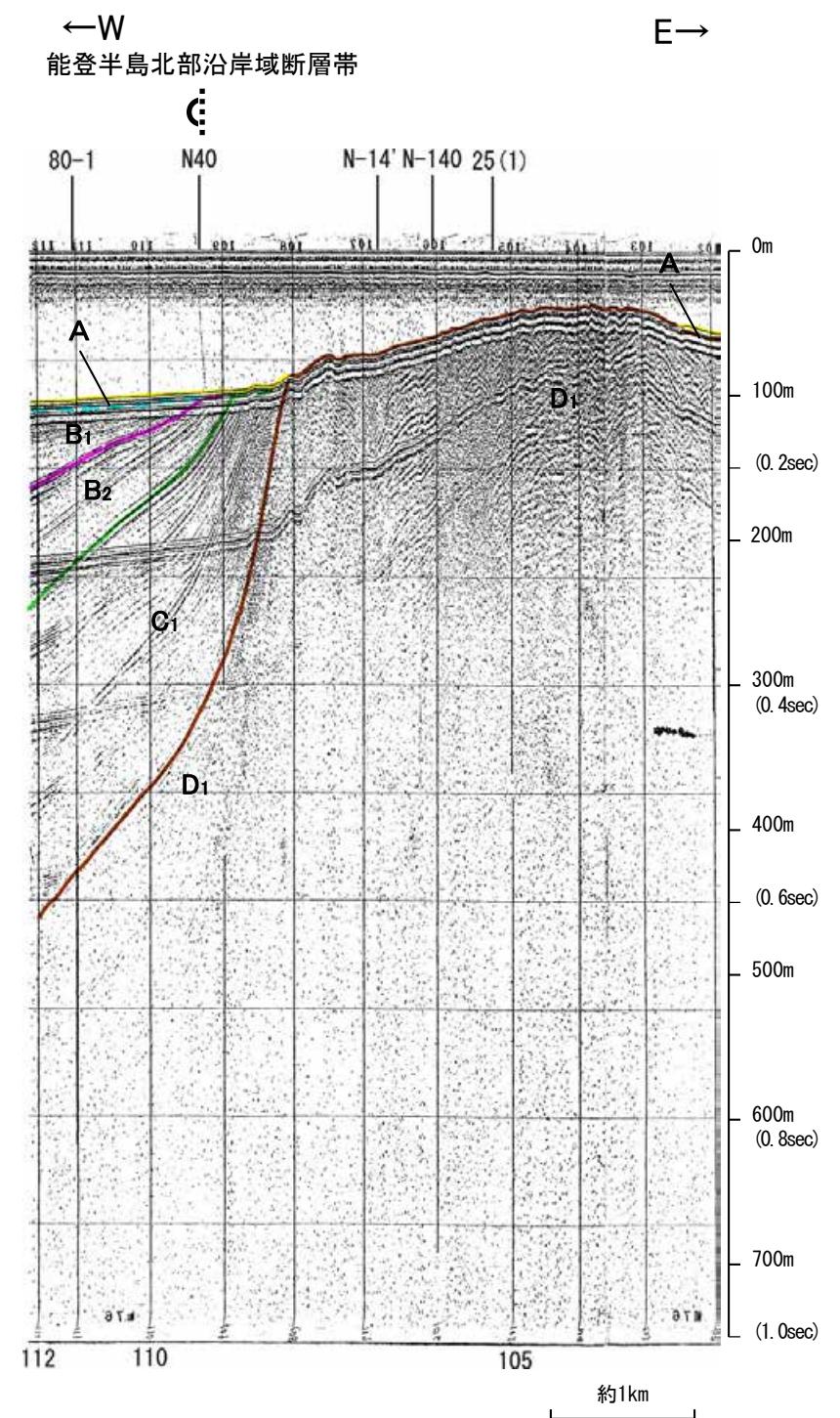
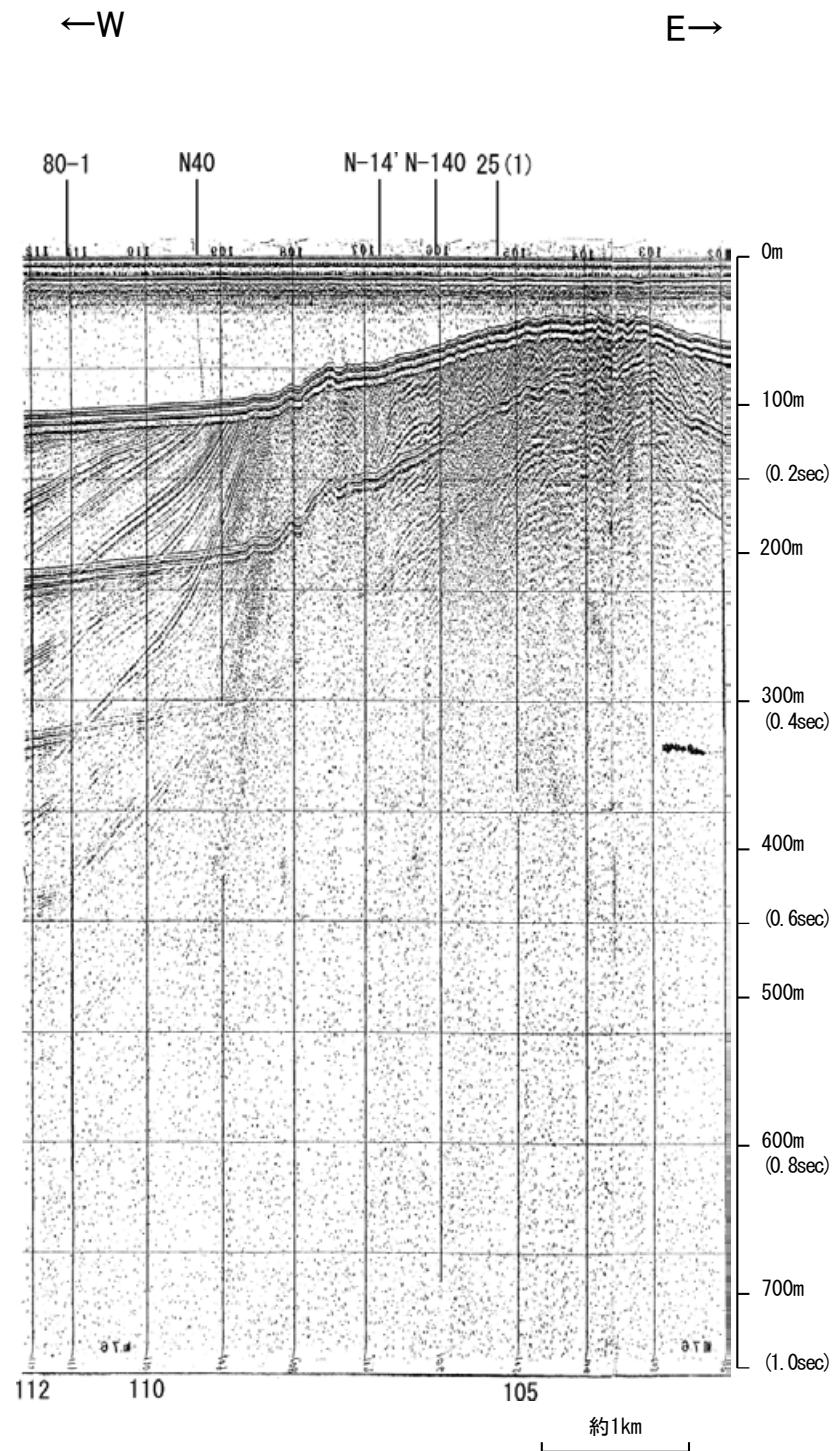


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

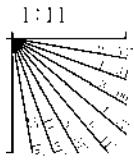


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 76



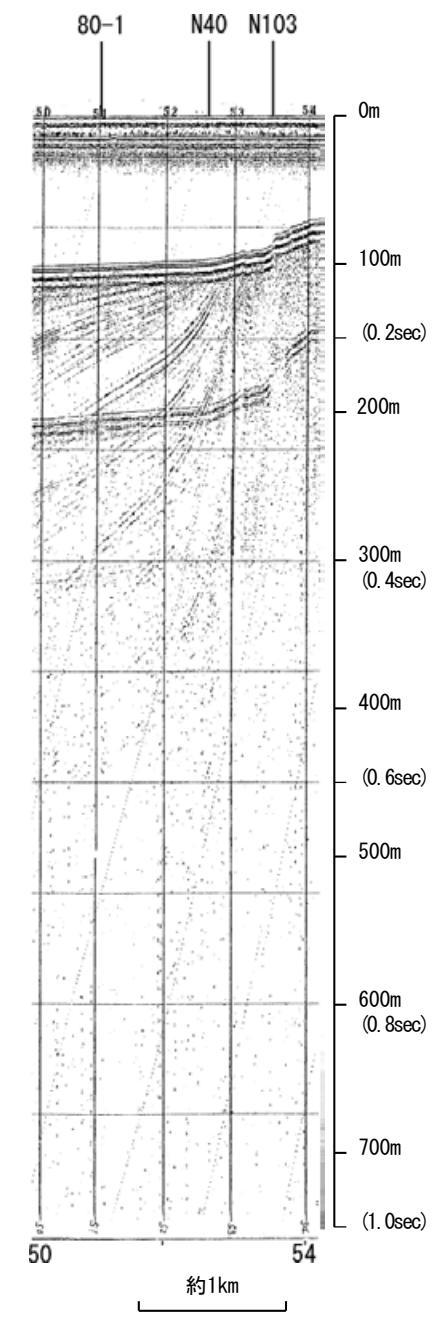
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B <sub>2</sub> 層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C <sub>2</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

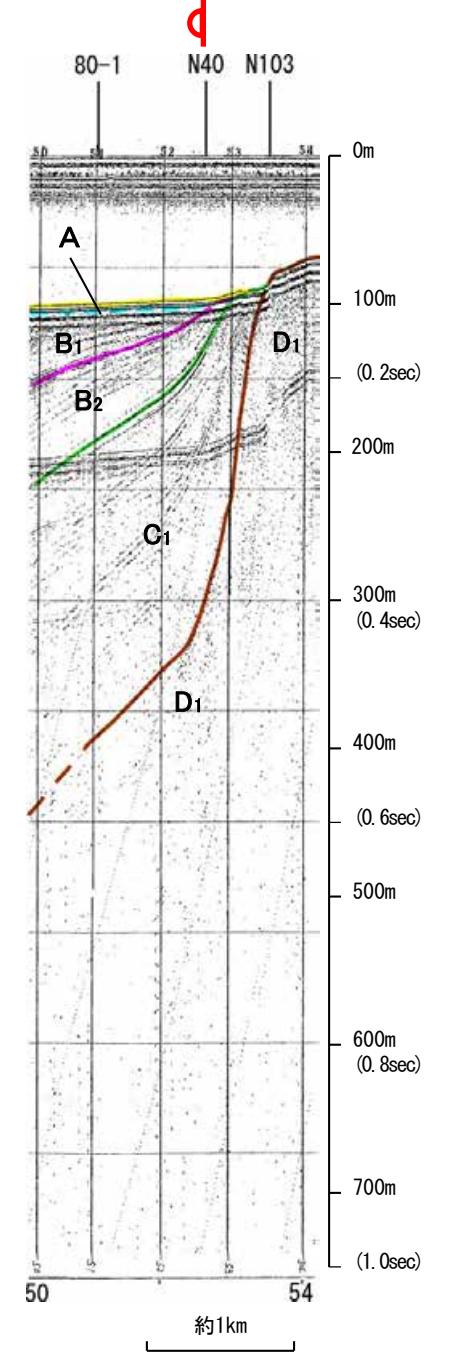
# 海上保安庁スパーカー 75-1

←W E→

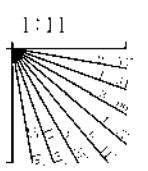


←W E→

能登半島北部沿岸域断層帯



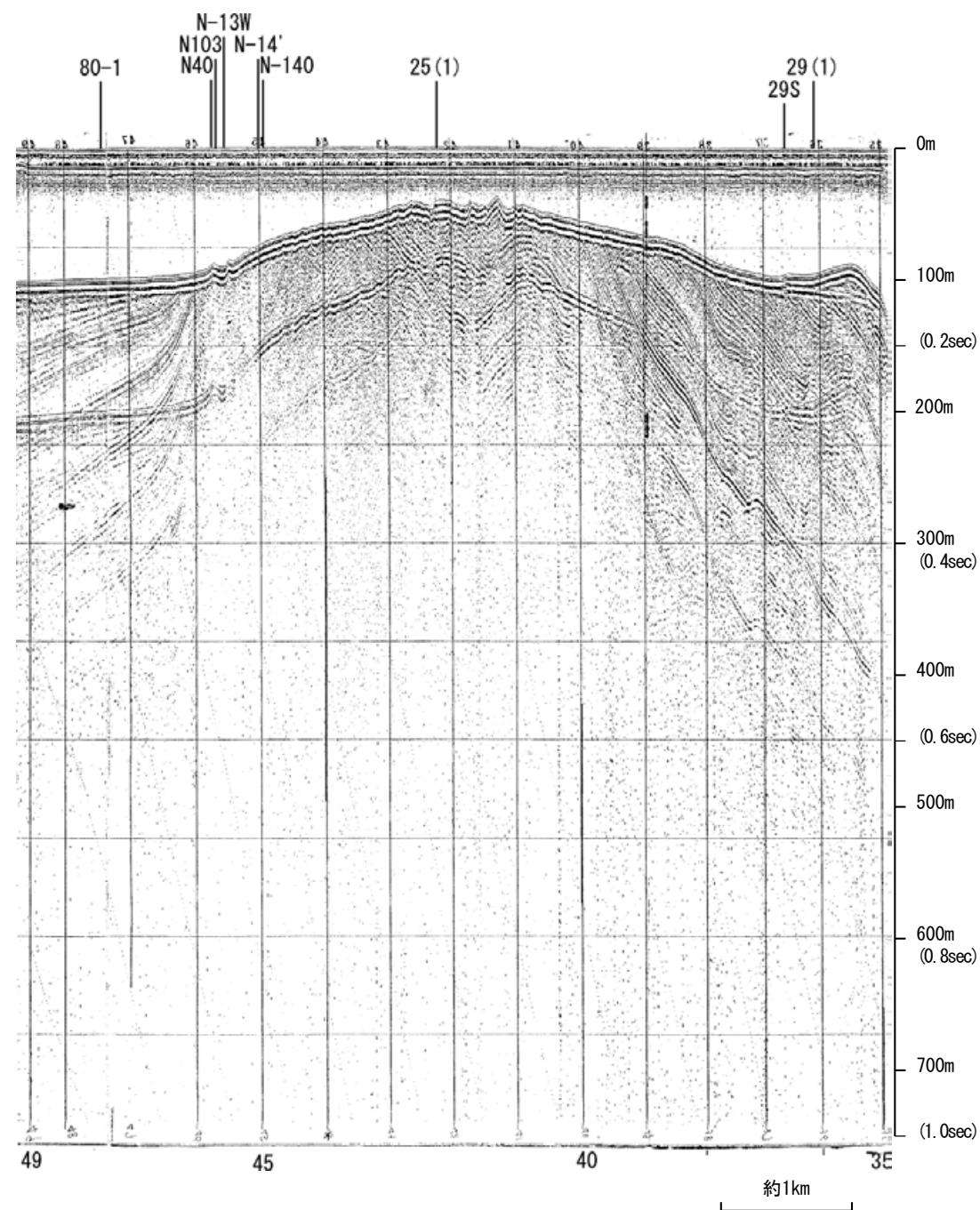
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
	中期	B層	B層
		B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層	D <sub>1</sub> 層
		D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀			



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

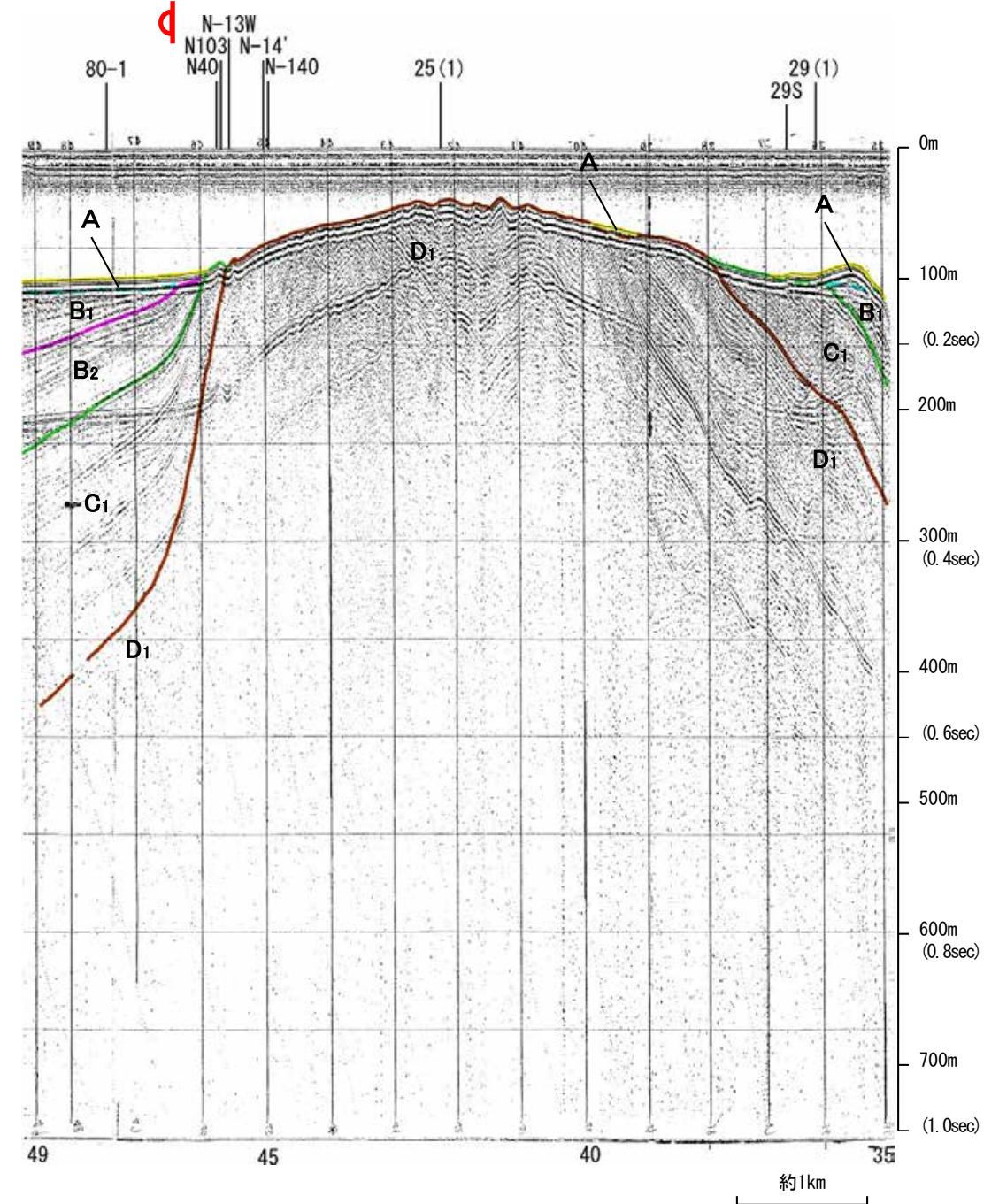
# 海上保安庁スパーカー 75

←W E→

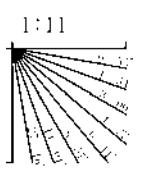


←W E→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B層
		B <sub>2</sub> 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 80-1

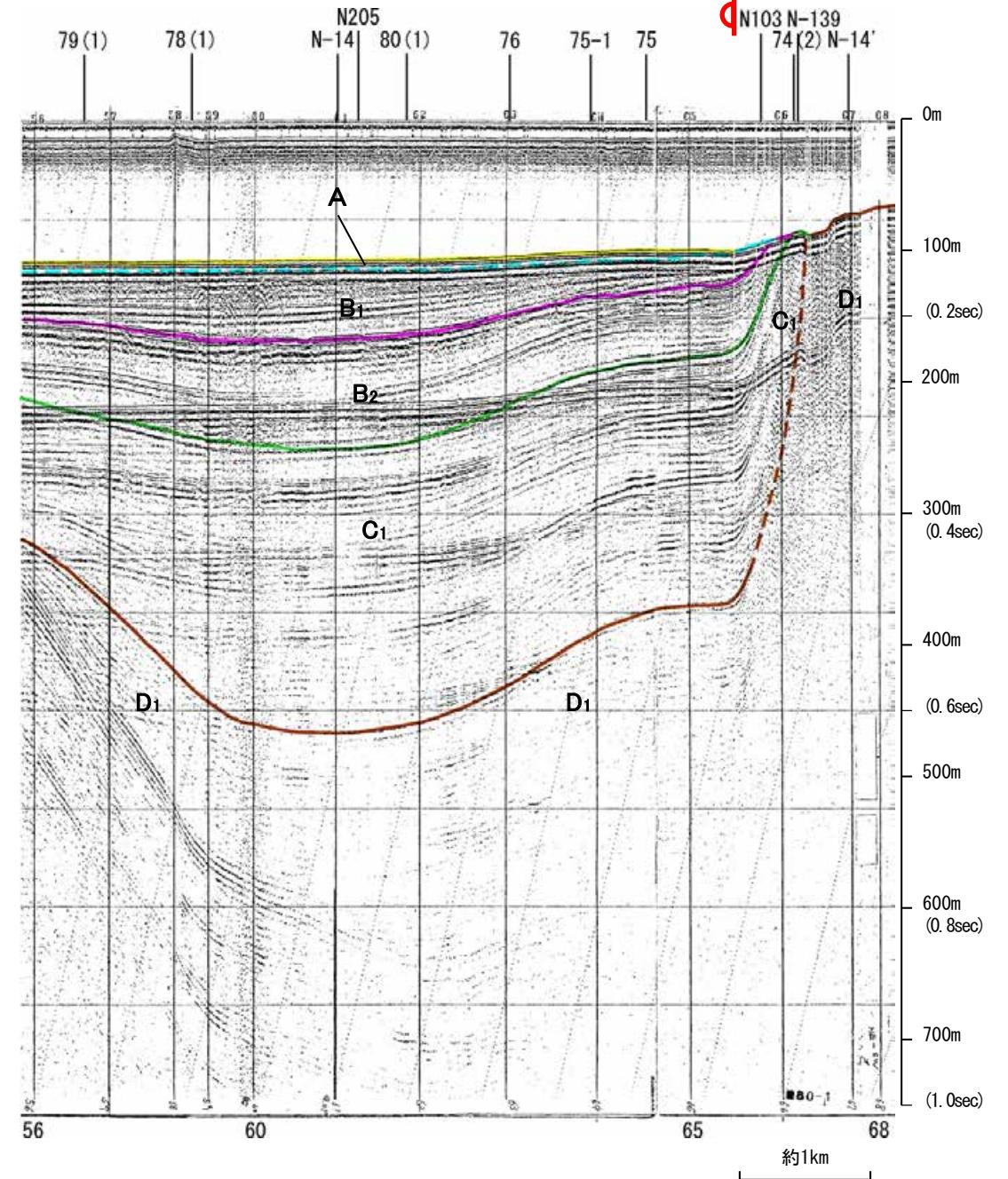
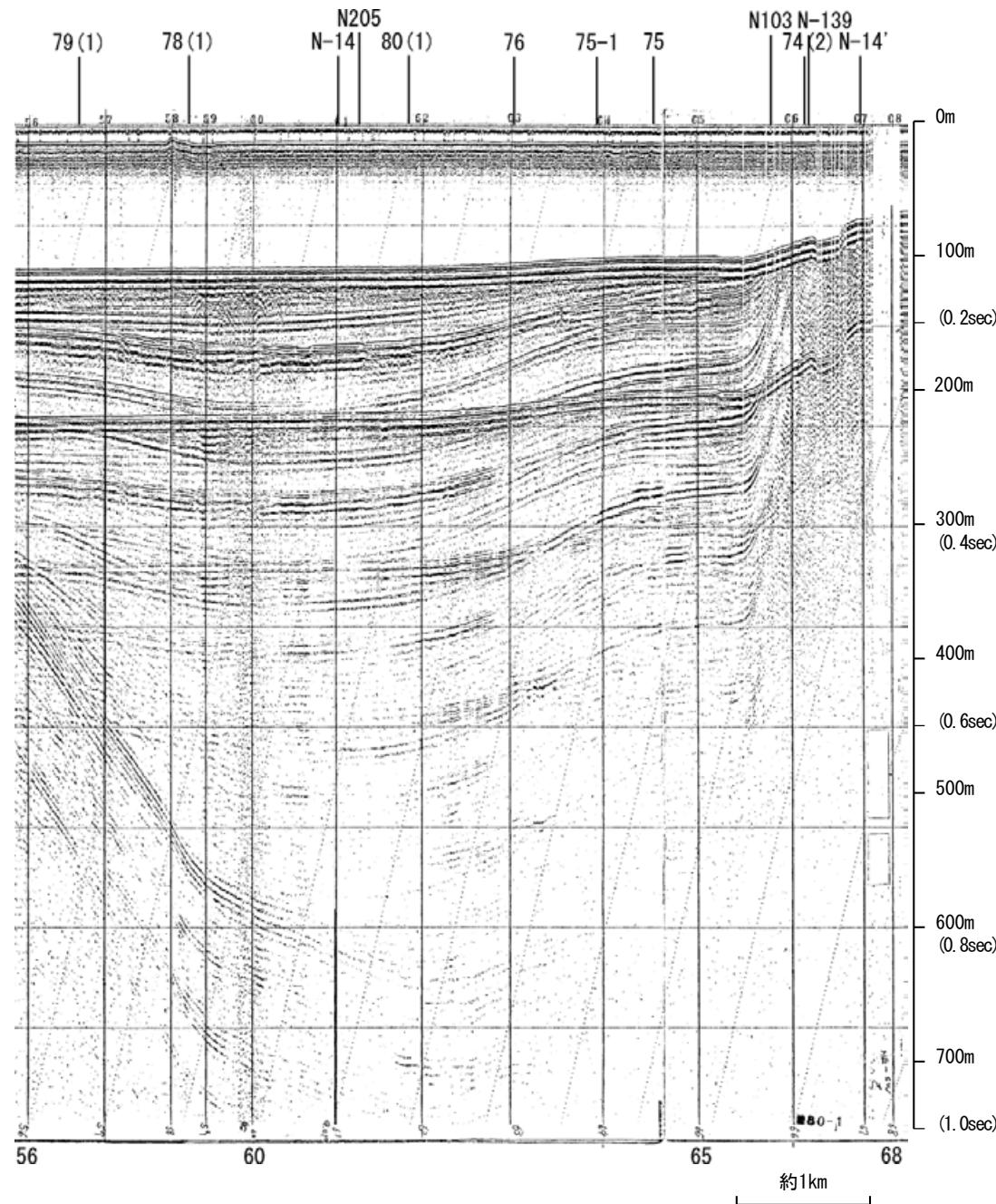
←NW

SE→

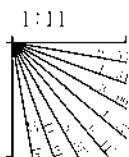
←NW

SE→

能登半島北部沿岸域断層帯

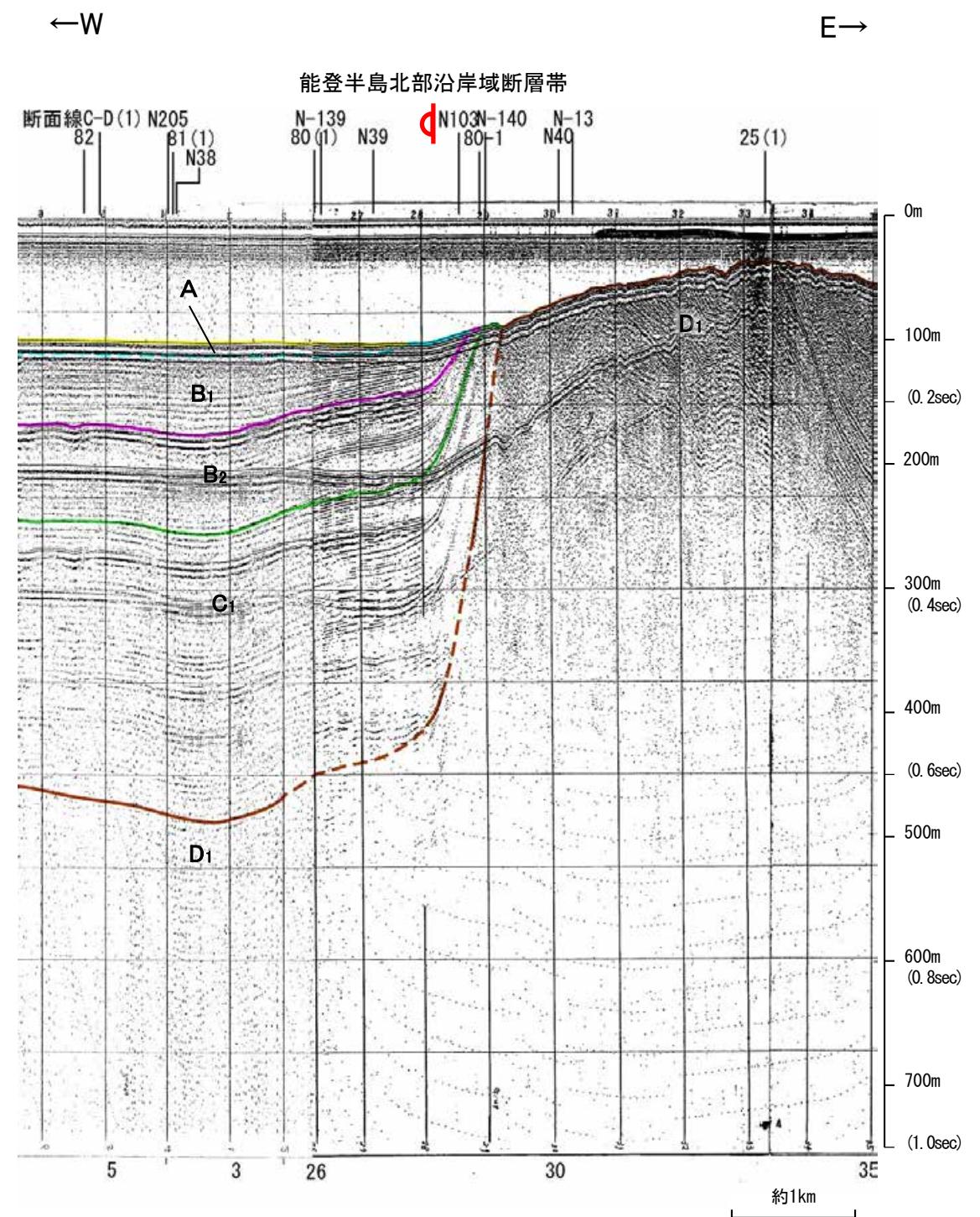
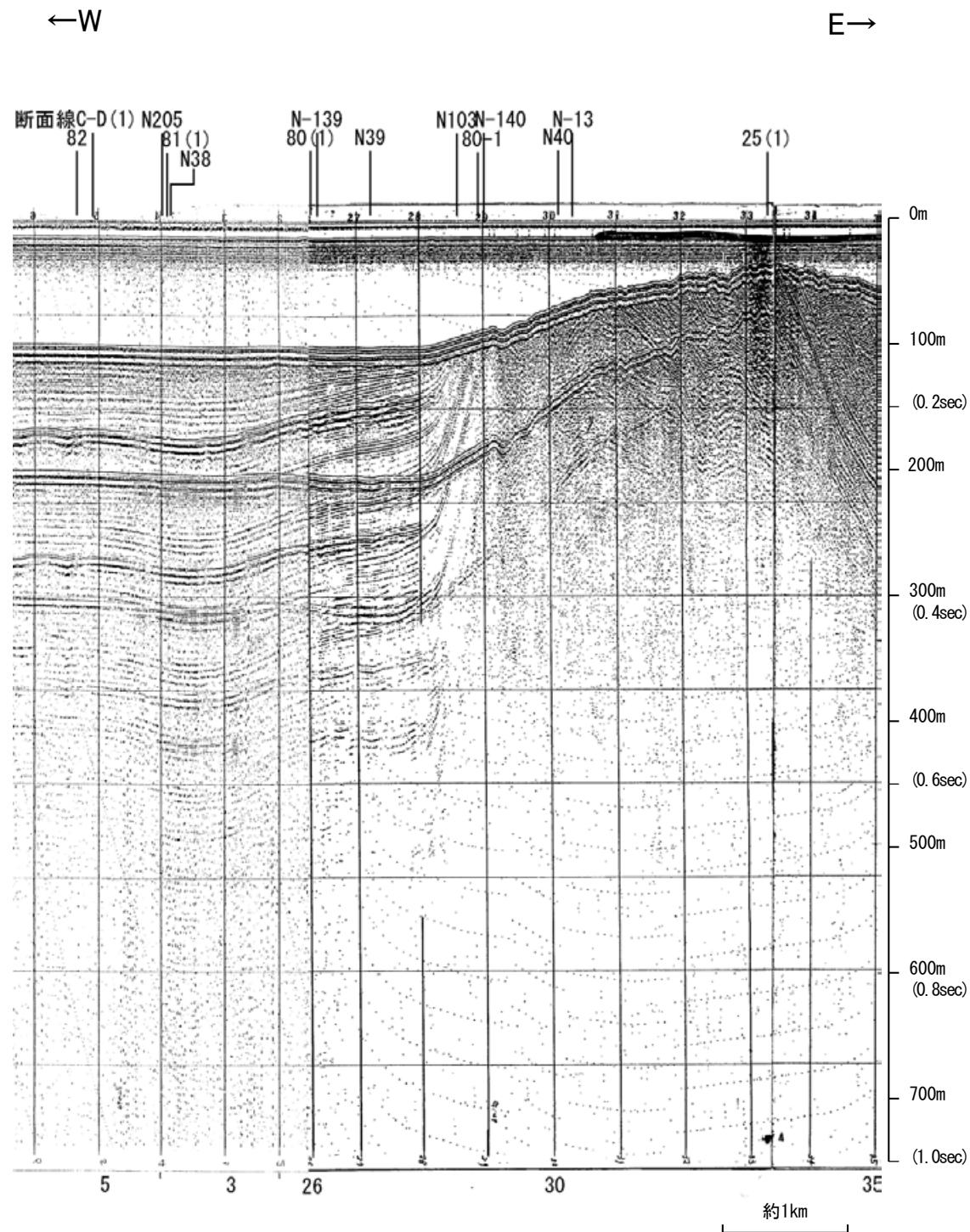


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		Q層	B層
	更新世	B層	B層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

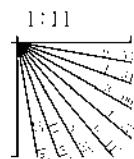


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 74(1),74(2)



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B <sub>2</sub> 層
		B層
前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

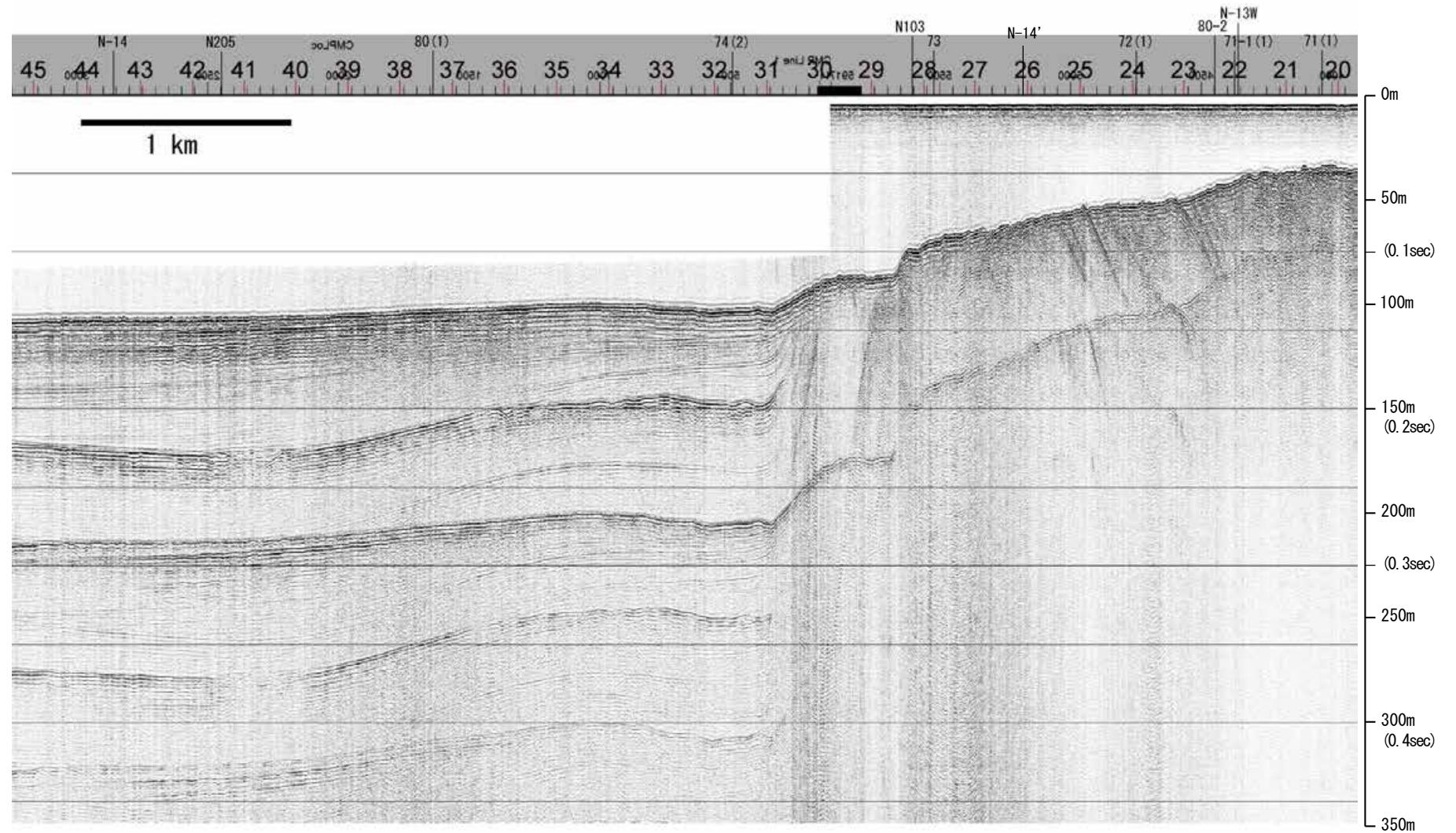


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

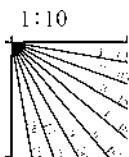
# 産総研ブーマー N39

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	中期		B層
			B層
前期		C層	
第三紀	鮮新世		C層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

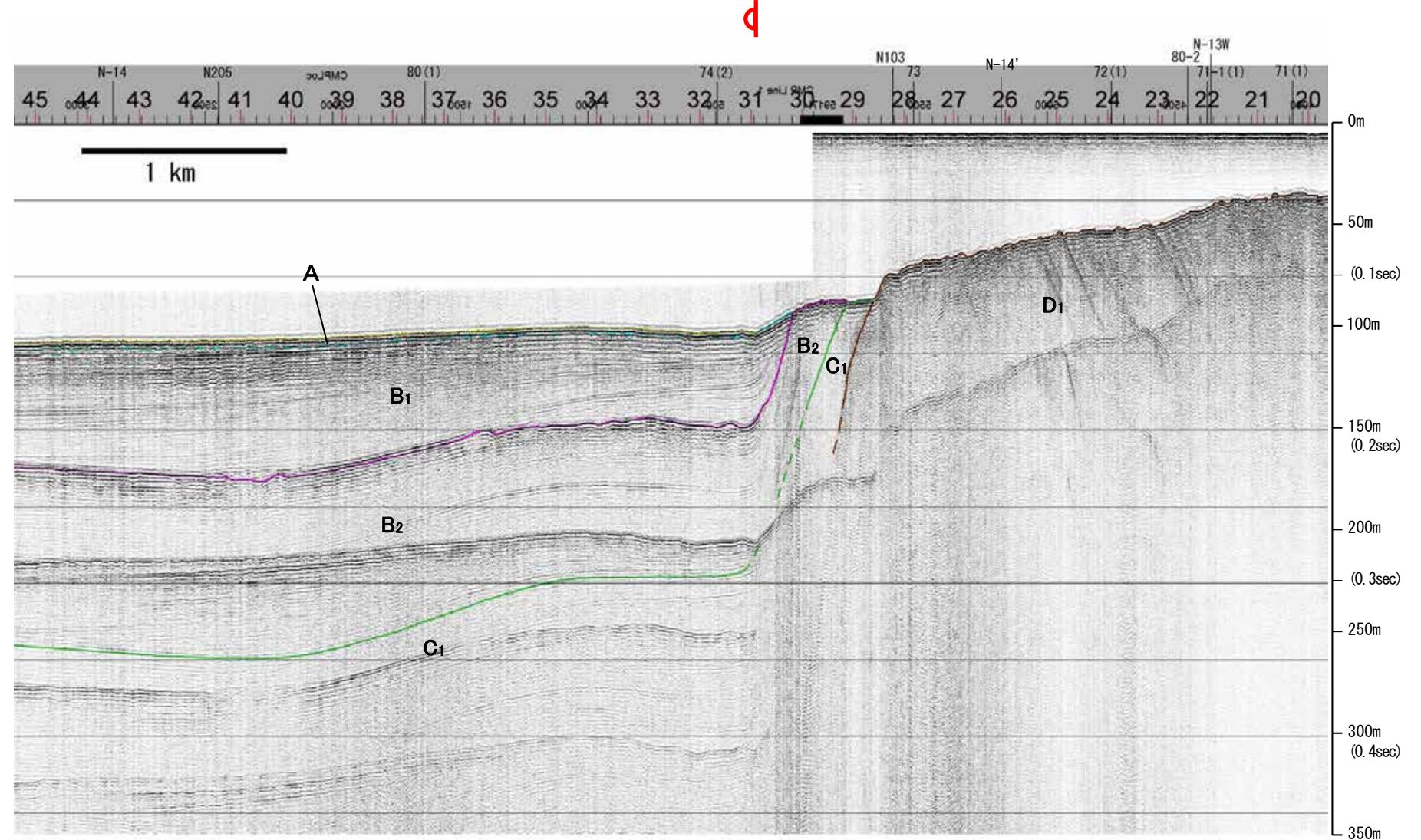


# 産総研ブーマー N39

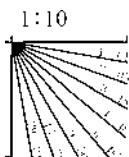
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

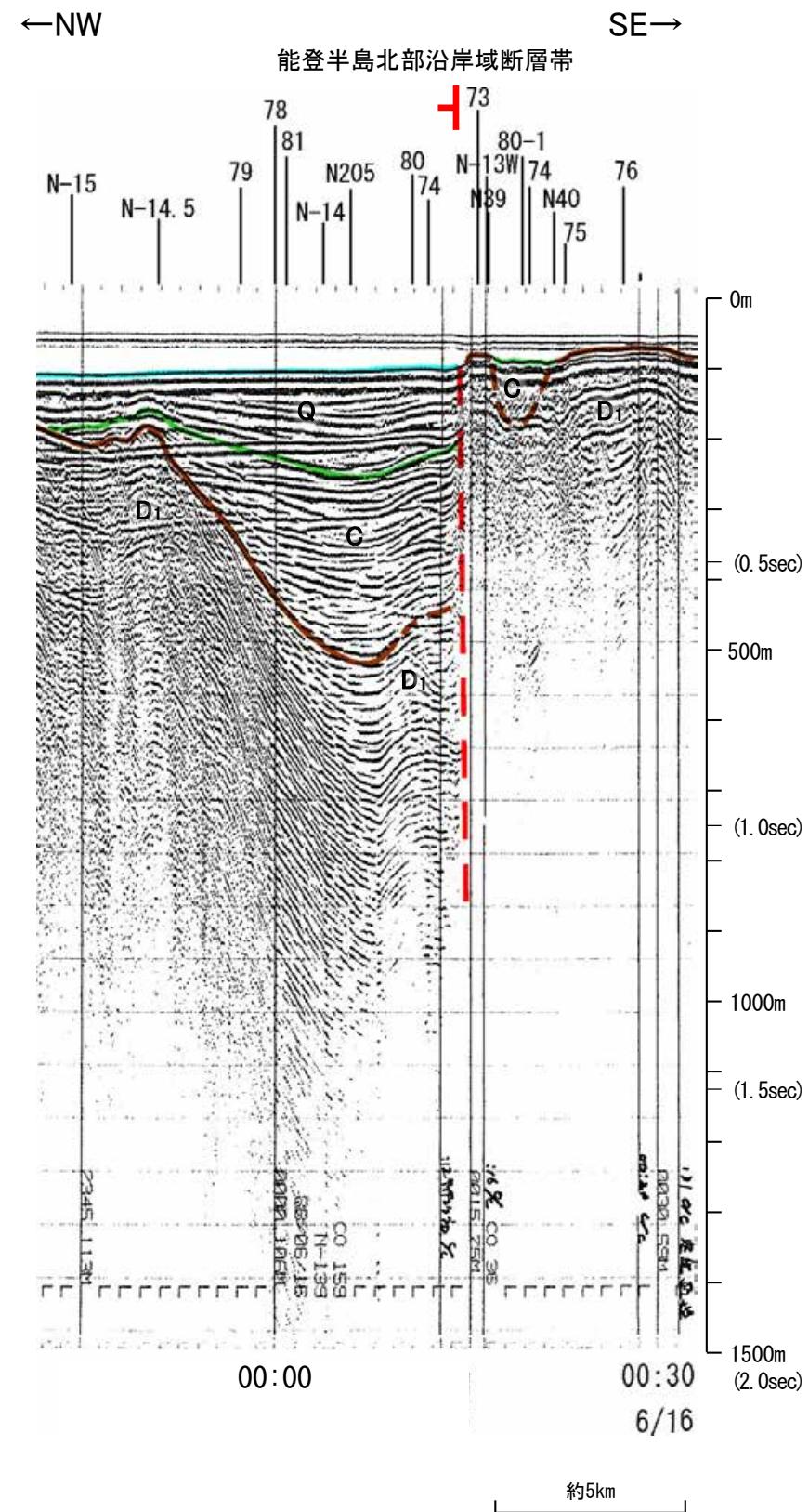
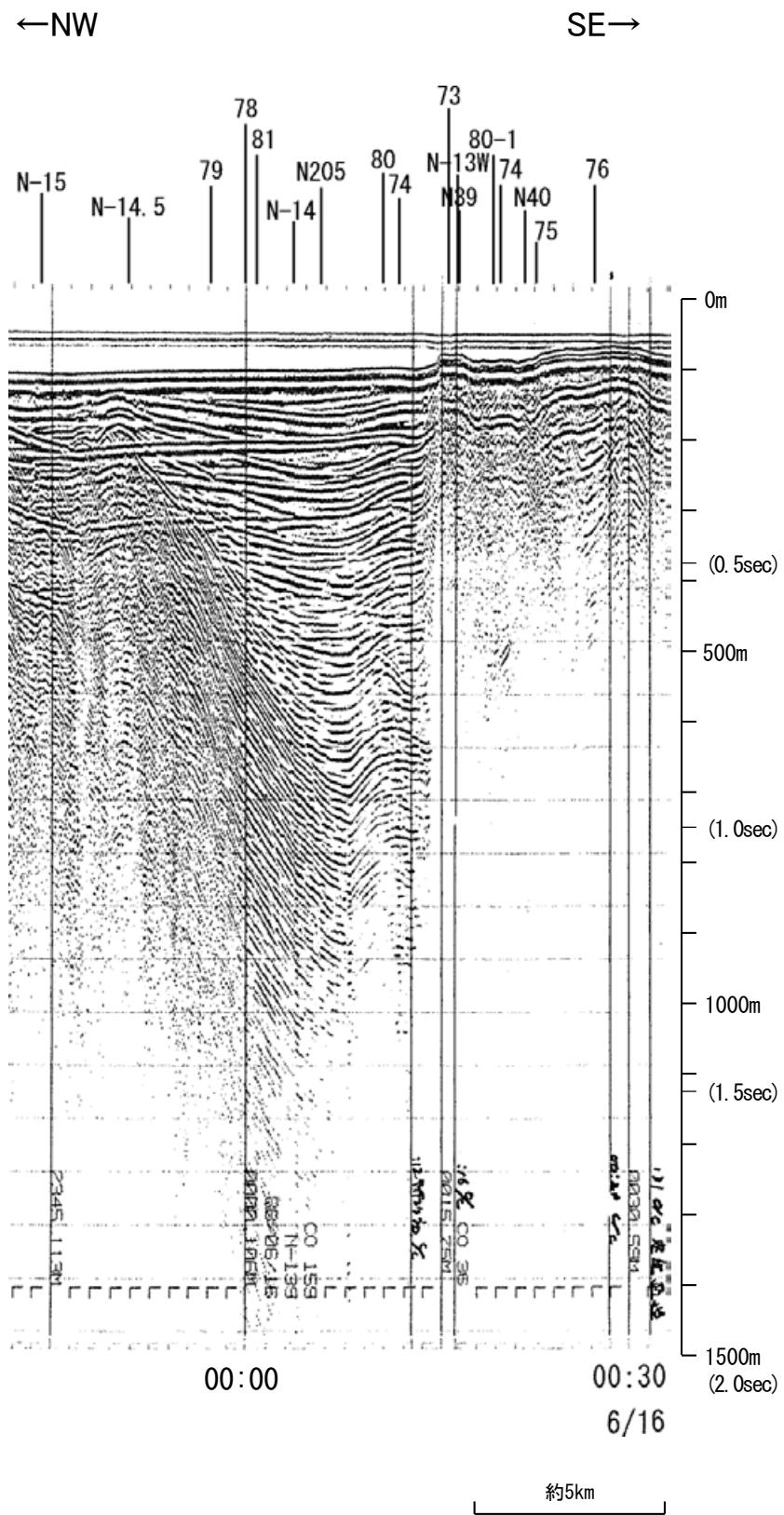


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	更新世	中期	B層
			B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世		C層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

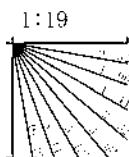


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-139



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	
	C層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

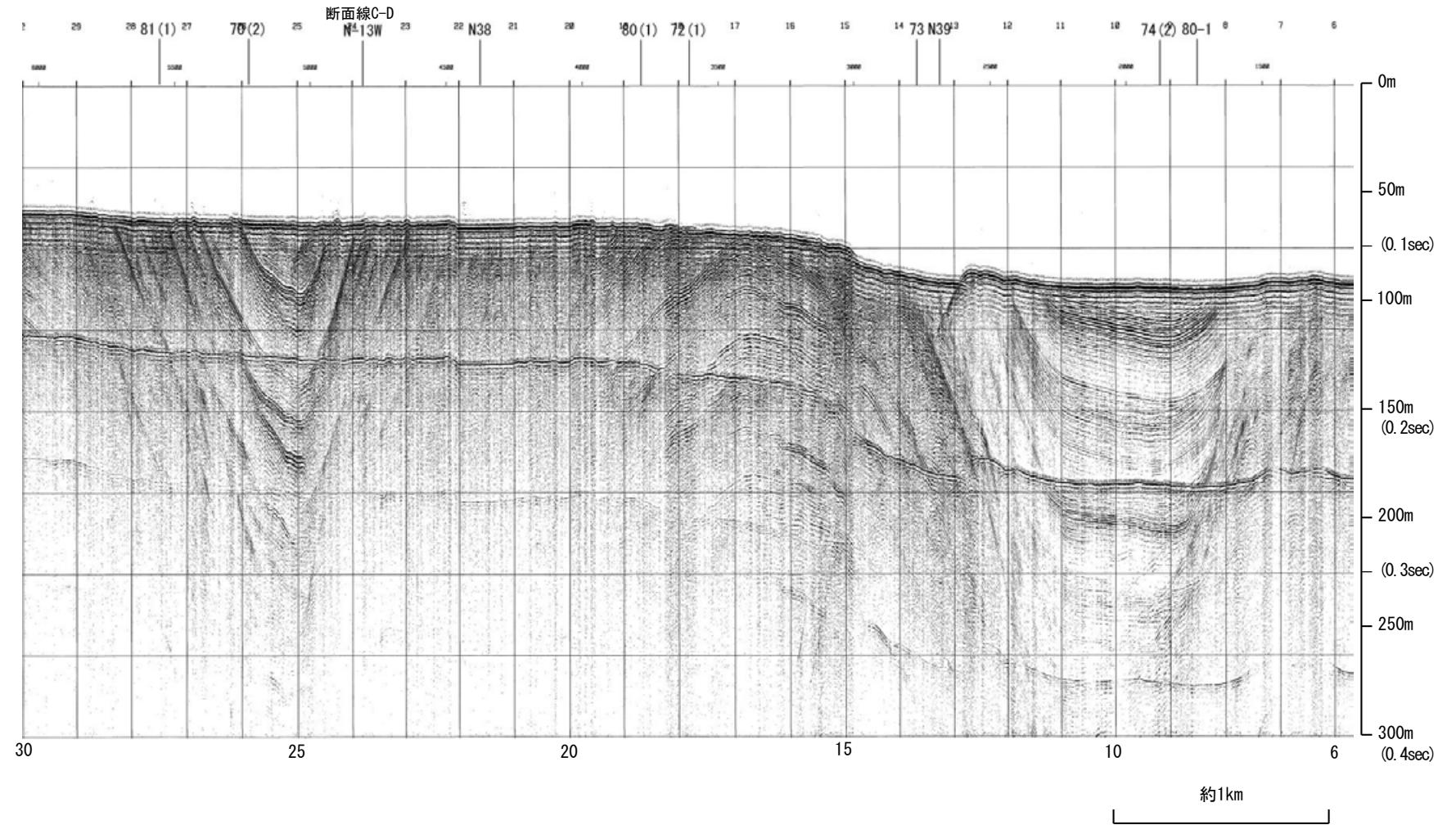


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

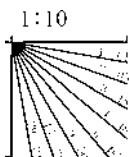
# 産総研ブーマー N103

←SW

NE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	中期		B層
			B層
前期		C層	
第三紀	鮮新世		C層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

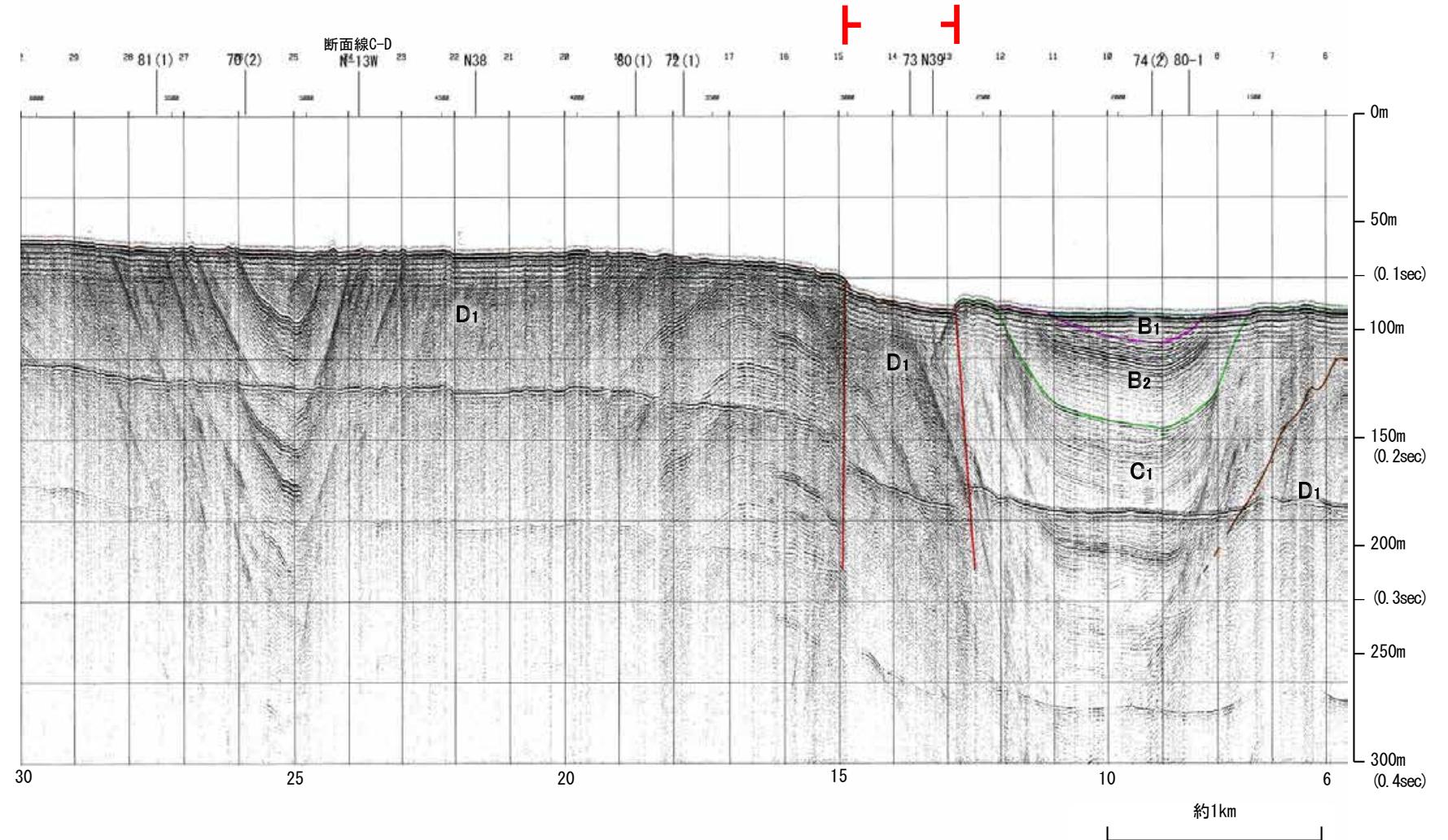


# 産総研ブーマー N103

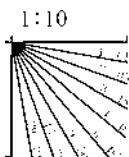
←SW

NE→

能登半島北部沿岸域断層帯

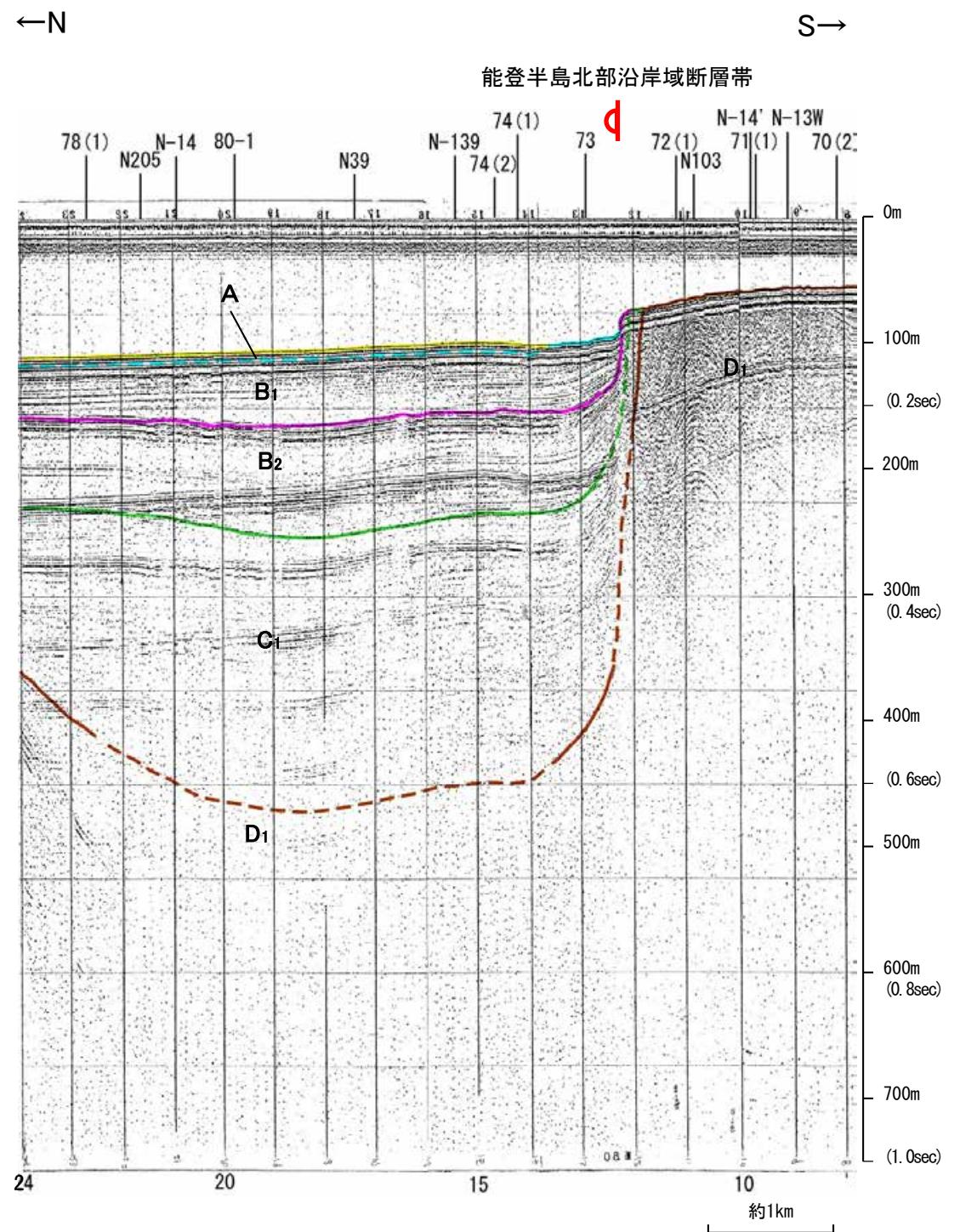
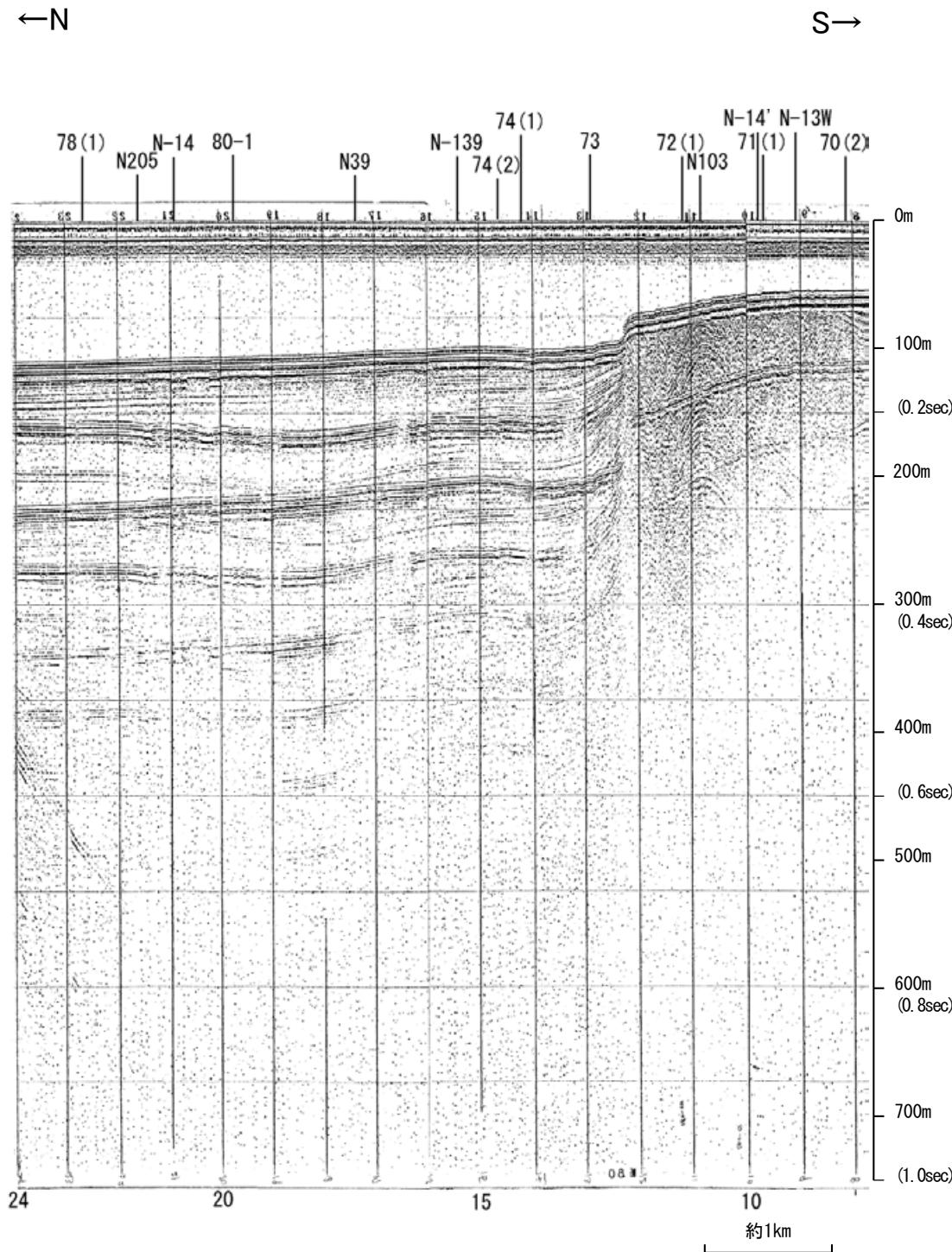


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	更新世	中期	B層
			B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	D層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層

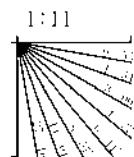


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 80(1)



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

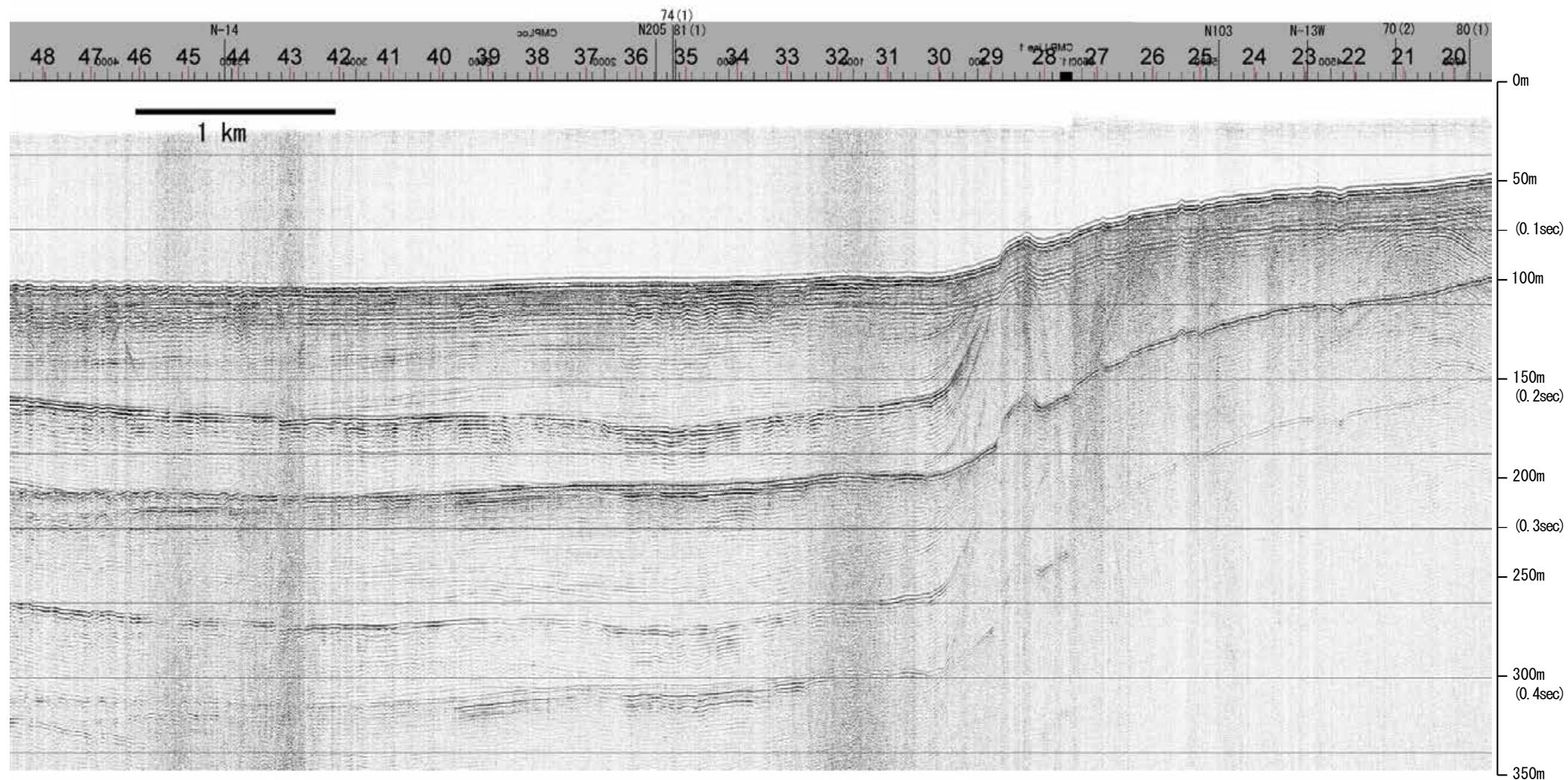


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

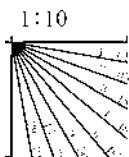
# 産総研ブーマー N38

←NNW

SSE→



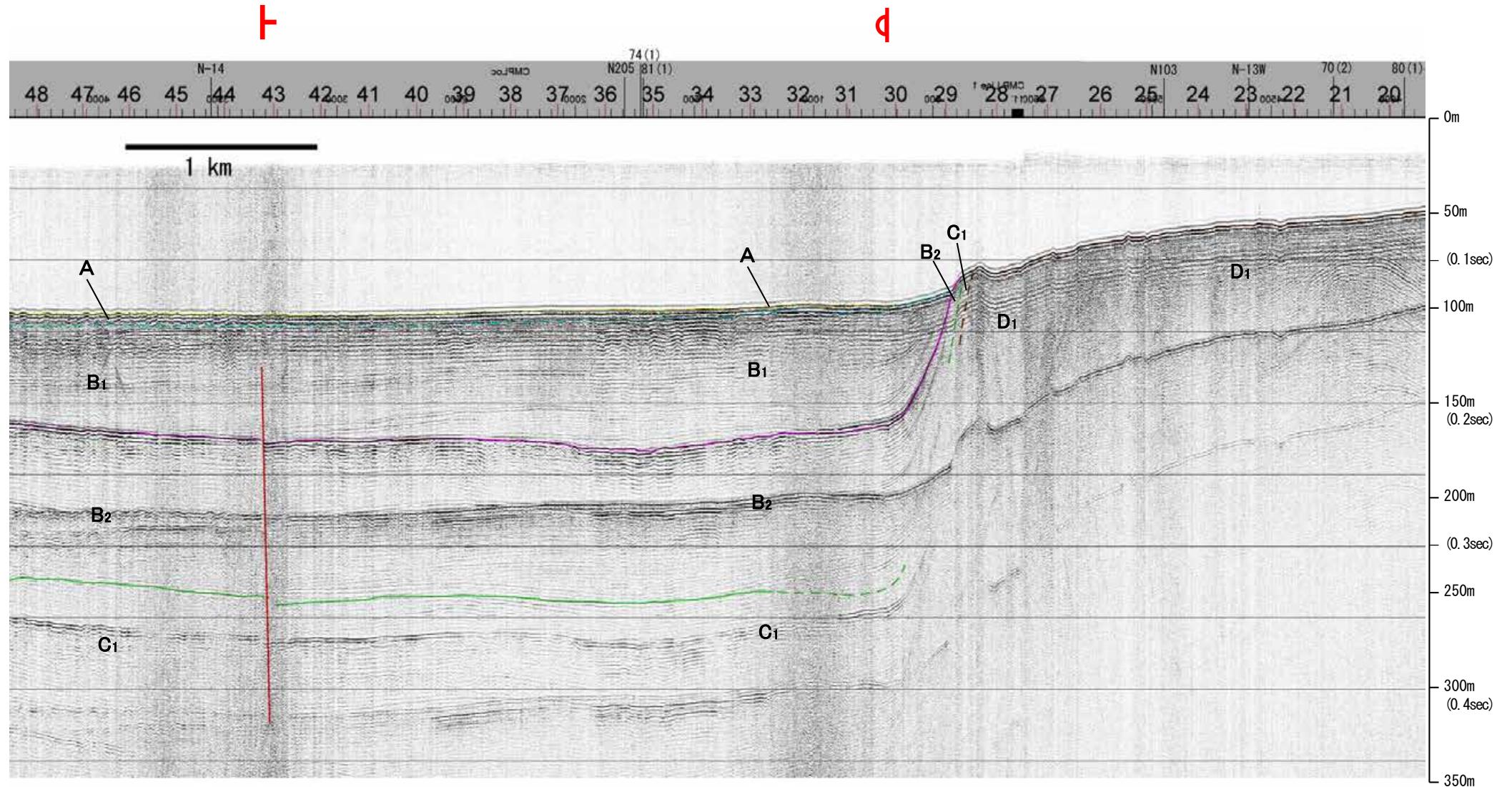
地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層	A層	
	後期	B層	B層	
		Q層	B層	
	更新世	中期	B層	B層
		前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層	
		C層	C層	
	中新世	D層	D層	
		D層	D層	
古第三紀	D層	D層		
先第三紀	D層	D層		



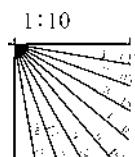
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世		A層
	後期		B層
		Q層	B層
	中期		B層
			B層
前期		C層	
第三紀	鮮新世		C層
	中新世		D層
			D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

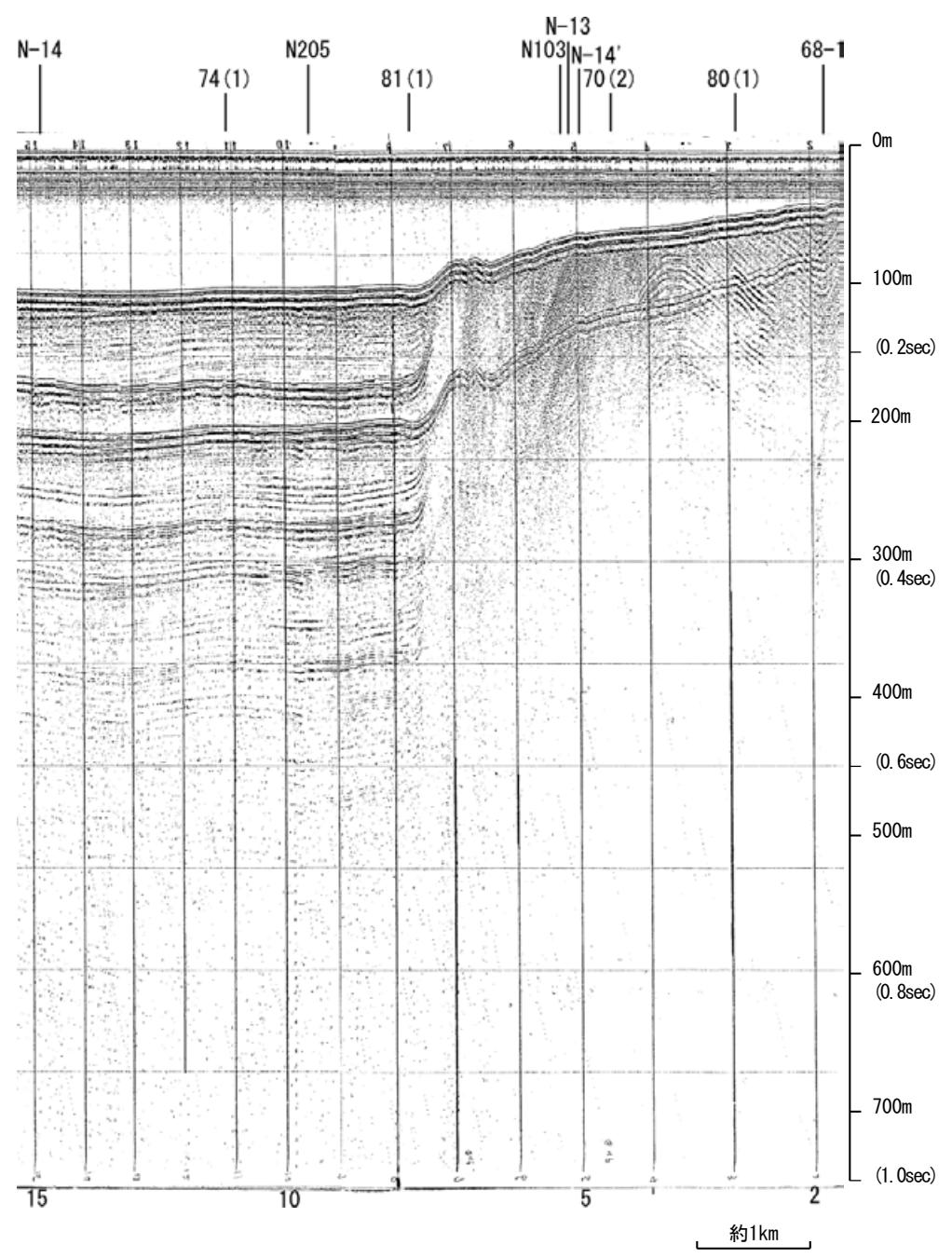


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 断面線C-D(1)

←NNW

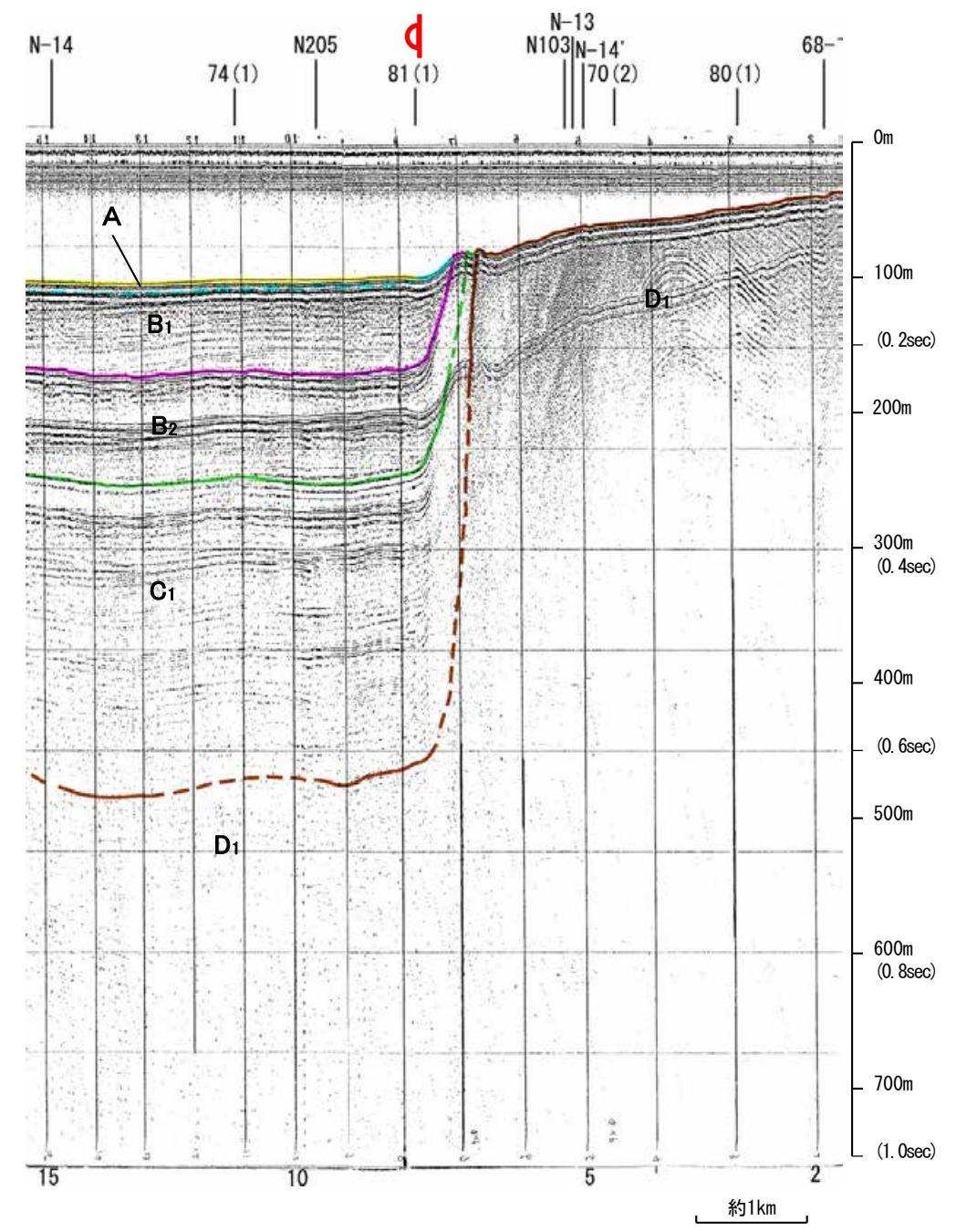
SSE→



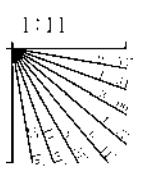
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

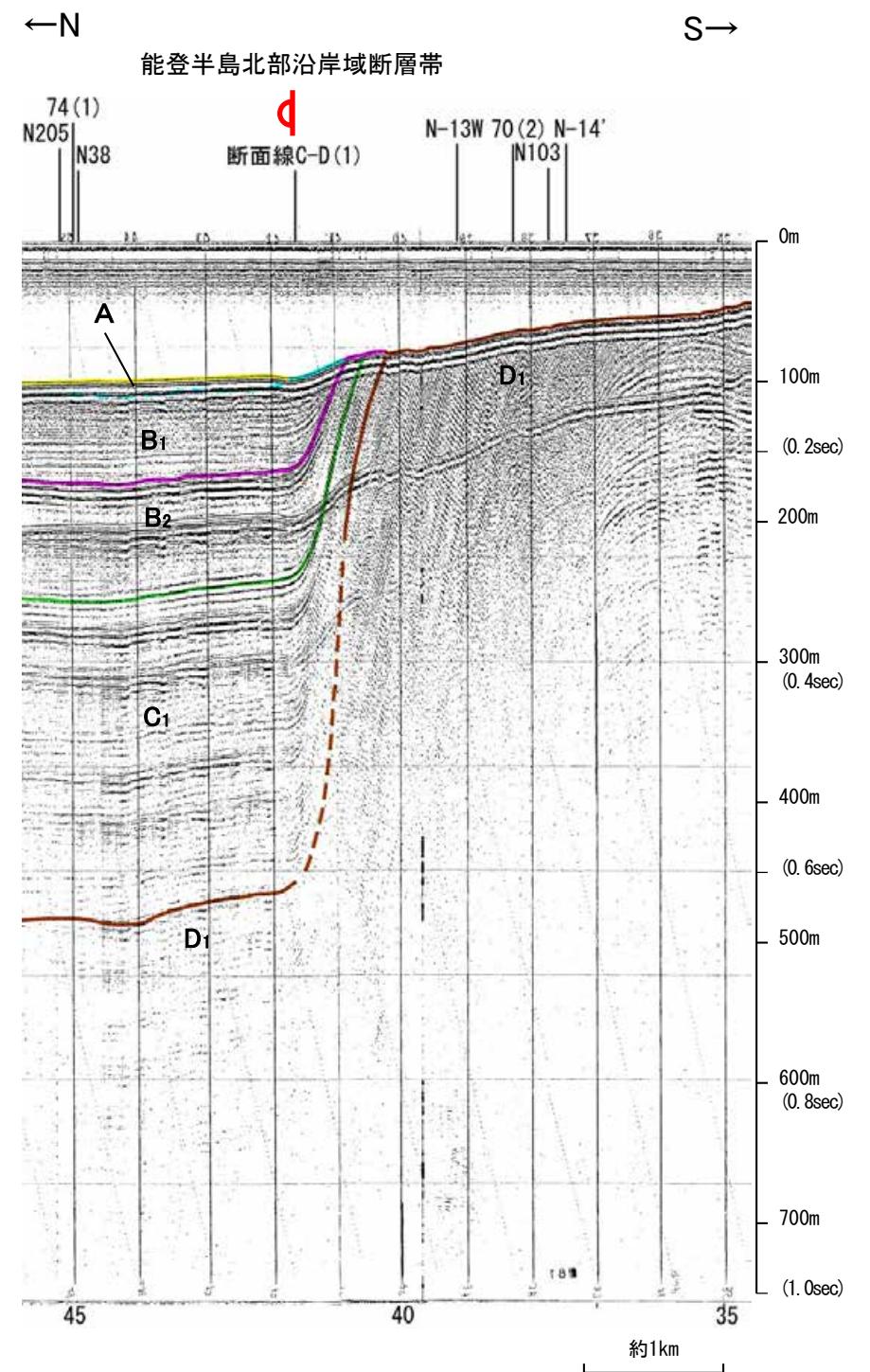
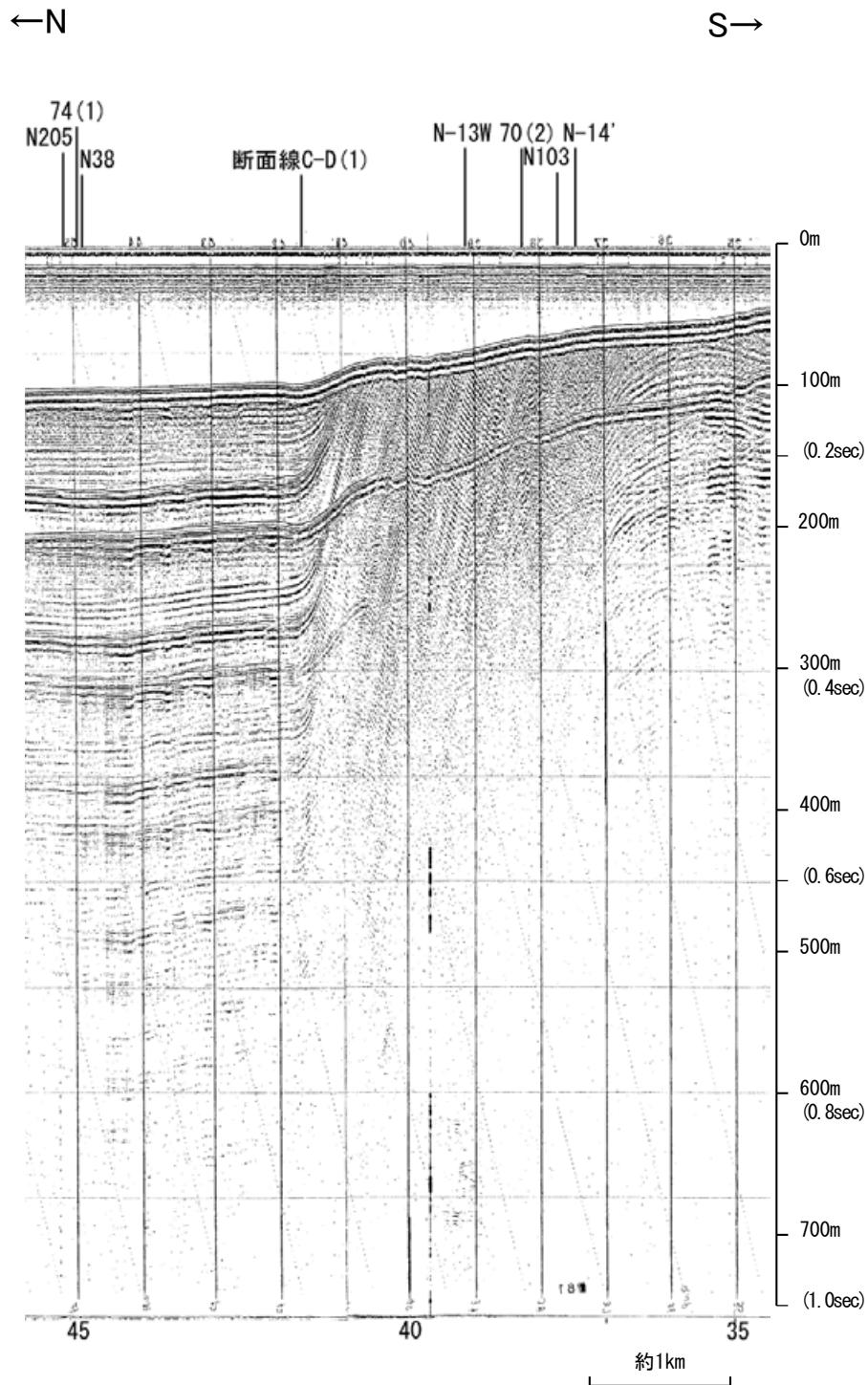


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

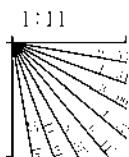


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 81(1)



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである